

雲仙普賢岳の火山災害における各機関の対応の記録(続報)

1997(平成9)年～2009(平成21)年

2010年9月

長崎大学工学部社会開発工学科

高橋 和雄

雲仙普賢岳の火山災害における各機関の対応の記録(続報)
1997(平成 9)年～2009 年(平成 21)年

2010 年 9 月

長崎大学工学部社会開発工学科

高橋和雄

まえがき

1990（平成2）年11月の雲仙普賢岳の火山噴火開始から、2010（平成20）年11月で20年経過することになる。長崎大学工学部土木構造学研究室では、この間の朝日新聞、島原新聞、長崎新聞、西日本新聞及び読売新聞の火山災害関係の新聞報道記事をコピーして、製本した。1991年6月には、1日分の新聞をコピーするのに、数時間要した時期もあった。新聞記事の取りまとめた結果は、研究の取りまとめ等に役立った。

新聞報道記事の他に、島原市、深江町、長崎県、建設省等国の機関でも、災害対応の記録誌等を刊行して、災害資料が公開されていた。

これらの資料から、毎日の火山活動、火山災害、国、長崎県、地元の市町、市民・ボランティア、研究者の対応を雲仙普賢岳日誌の形で取りまとめ始めた。また、公表資料、調査研究結果等を収集した。これらを文献目録として整理してきた。これらの資料を印刷製本して、関係者や関係機関に配布してきた。

1990（平成2）年11月から1996（平成8）年12月までの雲仙普賢岳日誌は、1997（平成9）年1月に「雲仙普賢岳の火山災害における各機関の対応の記録」として刊行された。この冊子は、雲仙普賢岳の火山災害を記録する資料として活用されてきた。また、この冊子は、火山災害時の災害対応のシナリオ作成する資料として、富士山の火山対策の策定等にも活用された。

今回、新たに1997（平成9）年1月から2009（平成21）年12月までの記録を、「雲仙普賢岳の火山災害における各機関の対応の記録」（続報）として刊行する。この20年間にわたって、災害対応、災害

復興、平成新山フィールドミュージアム構想の実現、雲仙普賢岳の火道掘削、第5回火山都市国際会議の開催、島原半島ジオパーク等に展開してきている。火山災害に取り組み、復興を遂げ、火山と共生した地域づくりを外観することが出来る。

雲仙における火山砂防事業はまだ継続中で、また、雲仙普賢岳周辺の警戒区域の設定は依然解除されていないように、火山災害対策はまだ終わっていない。今後も火山災害の記録を収集して、この対応の記録に追加するとともに、内容の精査を行って、雲仙普賢岳の火山災害のアーカイブスとして1冊の本として刊行することを計画している。

多くの資料から本冊子を取りまとめるに当たって、藤尾千鶴子さん、高橋弘子さんを始め、多くの方々の協力を得るとともに、科学研究費、学長裁量経費、財団等の助成金の支援を得たことを付記する。

2010年9月18日

高橋和雄

1997（平成9）年
1月～12月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|------------------------|---------------------------------|---|--|------------------------------------|---|--|
| 1 / 1 (水) | | | | 観光客誘致を図るため、島原城新年登閣者100人にオリジナルキーホルダー配布(市) | | | | |
| 1 / 7 (火) | | | | | 長崎県の新年度政府予算確保で災害復興対策に見通し(県) | | | |
| 1 / 9 (木) | | | | 平成新山の観光PR活動用の市・県・小浜町共同作成のポスター完成(市) | | | | |
| 1 / 10 (金) | | 定期火山情報 第1号 | | | 「がまだす計画」策定委員会農林部会(県) | | | |
| 1 / 13 (月) | | | | | 千本木地区治山工事現場の作業員を対象に土石流や溶岩ドームの崩落を想定した避難訓練(建設省) | | | |
| 1 / 14 (火) | | | | | 平成新山を新たな観光のシンボルにしようと県・島原市・小浜町が共同でポスターを完成(県) | 導流堤部分に完成した高架鉄橋「安新大橋」の命名式(島鉄) | | |
| 1 / 15 (水) | | | | | | | | 元西鉄ライオンズの4選手(稲尾、仰木、豊田、中西)がテレビ番組収録のため来島 |
| 1 / 17 (金) | | | | 雲仙岳災害復興計画調整会議(町) 阪神・淡路大震災から丸2年、正午に職員が黙祷(市、町) | 水無川1号砂防ダムの越流部第三期建設工事に着手(建設省) 「自然災害に対する国民的保障制度の実現を求める県民会議」、公的制度創設を求める署名で県内で約213,000人に達したと発表(県) | | 島原半島大越連盟、水無川下流域左岸で「鎮魂と希望」を追悼演奏 | 商店街のイメージアップを図るため万町商店街のアーケード改修工事に着手 |
| 1 / 18 (土) | | | | | 「防災とボランティアを考えるシンポジウム」開催(国十庁、県、市他) | | | |
| 1 / 22 (水) | | | | 総合計画策定に伴う座談会(農、漁業)(町) | 島原地域再生行動計画(がまだす計画)第10回生活部会の最終会議で「広域合併を検討する機関の設置」要望を同策定委員会に提案する方向でとりまとめる(県) | | | |
| 1 / 23 (木) | | | | 島原市商工課、インターネットのホームページに表示した観光施設などのタイトル画面とアドレスを印刷した観光名刺の台紙5万枚を作成(市) 総合計画策定に伴う座談会(教育、民生)(町) | 島原地域再生行動計画(がまだす計画)第7回商工観光部会の最終会議で「島原火山科学博物館(仮称)」建設事業など重点プロジェクト6項目をとりまとめる(県) | 観光トロッコ列車に被災者が「語り部」として添乗することを発表(島鉄) | 安中再生フลาวラランド実行委員会に県立農業大学校より花苗約1,700本が贈られる | |

1997年(平成9年)1月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|------------------------|---------------------------------|---|---|------------------------------------|-------------------------|---------------------------------------|
| 1 / 24 (金) | | | | 総合計画策定に伴う座談会 (商工、観光)(町) | 島原地域再生行動計画(が まだず計画)第3回水産部 会の最終会議で「漁協合併」 を柱に重点プロジェクト4 項目をとりまとめる(県) | | | |
| 1 / 27 (月) | | | | | 水無川2号砂防ダムの建設 に4月から着工と発表。ま た、大野木場小学校被災校 舎を予定地から外すと発表 (建設省) 島原地域再生行動計画(が まだず計画)第6回建設部 会で新たに「土石流災害遺 構保存公園(仮称)整備事業」 を加え6項目をとりまと める(県) | | | |
| 1 / 29 (水) | | | | | | | | 万町市民いこいの場で島原 半島の観光図展を開催 (～2月5日) |
| 1 / 31 (金) | | | | 島原ファンタジアの電飾イ ベントに対する仏教会の質 問状に対し、「クリスマス イベントではなく今後も継 続」と回答 | 雲仙普賢岳の復旧費用に約 17億円の予算(建設省) 土石流被災家屋を残す「遺 構保存公園(仮称)整備事業」 と「島原火山科学博物館(仮 称)」などに2億6,500万 円を新年度予算に確保(県) | | | |

1997年(平成9年)2月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|------------------------|---------------------------------|---|---|---|--|--|
| 2 / 1 (土) | | | | | 水無川2号砂防ダムに今年 4月に着工(建設省) | | | |
| 2 / 2 (日) | | | | 日本海の重油流出事故に対 し、タオル類など100箱分 を送る(町) | | | | |
| 2 / 3 (月) | | | | 大野木場小学校再建場所を 巡り地権者10人が起してい た訴訟で原告側が和解を申 入れ(町) | | | | |
| 2 / 4 (火) | | | | | 島原地域再生行動計画(が まだ計画)の5部門部会 の調整会議、重点プロジェ クト27項目を25項目に集約 (県) | | | |
| 2 / 5 (水) | | | | | | | | 島原復興祈念事業の打合せ に大相撲の陣幕親方と関の 戸親方が来島 |
| 2 / 6 (木) | | | | | | | 安中フラワーランド事業実 行委員会、仁田団地第1公 園の慰霊神前にバンジーの プランター80個を設置 島原市社会福祉協議会、タ ンカー重油流出事故被災地 の福井県美浜町に降灰袋15, 000枚を送付 | |
| 2 / 10 (月) | | 定期火山情報 第2号 | | | 第3回大野木場小学校被災 校舎現地保存構想検討委員 会、被災校舎の整備・維持 管理費などのケーススタデ ィを検討(建設省) | | | |
| 2 / 11 (火) | | | | | | | | 近世自然災害絵図展を島原 市で開催(～27日) |
| 2 / 12 (水) | | | | 安中三角地帯嵩上事業の完 成後に実施する安中土地区 画整理事業計画概観を開始 (市)(～26日) | | 4月1日の全線開通に合せ 急行や観光トロック列車を 含むダイヤ改正(島鉄) | ライオンズクラブ国際協会 島原クラブの主催で、安中 幼稚園児と安中老人クラブ が水無川1号砂防ダム左岸 袖部にツツジなどを植樹 | |
| 2 / 13 (木) | | | | | 第3回雲仙普賢岳砂防指定 地利用方策検討委員会、 利根川最終構想案を提示 (建設省) | | | 島原市仏教会、「島原ファ ンタジア」の島原城のイル ミネーションについての意 見書を同事業島原地区実施 委員会に提出 |
| 2 / 14 (金) | | | | | 平成9年度当初予算の概要 を発表(県) | | | |
| 2 / 17 (月) | | | | 大野木場小学校再建場所を 巡る訴訟で原告側が和解案 を提示(町) | | | | |

1997年(平成9年)2月

| 月 日 | 火山活動 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の山町村・その他 |
|---------------------|------|------------------------|---------------------------------|--|--|--------------------------------------|-------------------------|--------------------------------|
| 2 / 18 (火) | | | | | 環境庁の「緑のダイヤモンド計画」について同庁に要望する事業概要「雲仙ルネサンス計画(仮称)」まとまる(国) 雲仙・眉山地域治山対策検討委員会、「噴気温度は200度まで下がり引き続き沈静化方向。溶岩ドーム周辺を中心に雨水の浸透度高まる」との調査結果を報告(建設省) 国立公園雲仙総合整備計画検討委員会、最終会議を開催し主要5事業について協議(県) | | | |
| 2 / 19 (水) | | | | | | 4月1日の全線開通に向け島原-深江の不通区間で点検走行(島鉄) | | |
| 2 / 20 (木) | | | | | | 「島原-大牟田航路」を利用者減のため今月で運航休止と発表(島原観光汽船) | | |
| 2 / 21 (金) | | | | | 雲仙岳警戒区域等に関する調整会議(県) | | | |
| 2 / 24 (月) | | | | 横田町長、深江町全員協議会で大野木場小学校の再建場所について第3候補地で検討する意向を示す(町) | 高田知事、定例県議会で雲仙岳災害復興計画などを促進と議案上程(県) | | | |
| 2 / 25 (火) | | | | | | | | 島原半島観光連盟、福岡市で説明会および「観光の夕べ」を開催 |
| 2 / 26 (水) | | | | | | | | 島原半島観光連盟、熊本市で説明会および「観光の夕べ」を開催 |
| 2 / 28 (金) | | | | | | | | 早川文策さんの写真展「普賢の記憶」開催(東京)(~3月6日) |

1997年(平成9年)3月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|------------------------|---------------------------------|---|---|------------------------------------|-------------------------|--------------------------|
| 3 / 31 (月) | | | | 第51次警戒区域設定延長 (～平成10年3月31日)。警 戒区域は南北上木場の一 部、南千本木町(椎木台地) のみ 松井宗広雲仙復興工事事務 所長に感謝状を贈呈(市) | がまだす計画策定委員会の 森本委員長、がまだす計画 の計画書を高田知事へ提出 (県) 雲仙普賢岳の噴火に伴う24 時間体制を解除(長崎県島 原振興局) | | | |

1997年(平成9年)4月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳観候所 九大観測所 予知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|------------------------|---------------------------------|--|---|---|---|--|
| 4 / 1 (火) | | | | 島原市表彰式で太田一也教授を防災功労で島原市民特別表彰(市) | 「緑のダイヤモンド計画」に雲仙地区が採択される(興境庁) 安中土地区画整理事業事業計画決定(県) | 高架橋「安新大橋」が竣工し約4年ぶりに全線開通(島鉄) 島原-深江間間で観光トロッキ列車の運行開始(島鉄) | | 島原鉄道の全線開通を祝い島原駅で記念美術展(～20日) |
| 4 / 2 (水) | | | | 「自衛隊災害派遣隊顕彰碑建立発起人会」発足(市) | 雲仙岳復興室に派遣された島原市・深江町・小浜町の3職員に辞令交付(県) | | | |
| 4 / 6 (日) | | | | | | | 北上木場町内会解散 | 第22回島原大変遭難者慰霊祭 |
| 4 / 9 (水) | | | | | | | | 「雲仙旅の友酒館」完成 |
| 4 / 10 (木) | | 定期火山情報 第4号 | | | 噴火災害の影響で落込みが激しい島原市の商店街などを支援する県内商業復興補助事業が内定(県) | | | |
| 4 / 12 (土) | | | | | | 高架化工事竣工と運転の安全を願う安全祈願祭を水無川右岸で実施(島鉄) | | |
| 4 / 18 (金) | | | | | | 地域振興のための電波利用に関する調査研究会、無人工作機械規格を統一標準化することなどの報告書を九州電波管理局に提出 | 北上木場町の住民約50人、警戒区域内の墓石などの持出し作業を開始(～19日) 島原地区酒類懇話会、普賢岳復興地酒キャンペーン「山に緑を!」の祈念植樹祭で水無川1号砂防ダム左岸にソメイヨシノ30本を植樹 | |
| 4 / 20 (日) | | | | 島原半島復興祈念事業「復興フェスタ元氣だ!しまばら」が安徳海岸埋立地で開催され、約25,000人の人出で賑わう(市) | | | 森岳まちづくりの会、復興と観光誘致のため島原城にこい・武者のぼりを上げる | 「復興フェスタ元氣だ!しまばら!」で横綱貴乃花と曙が土俵入り 雲仙普賢岳山開き |
| 4 / 21 (月) | | | | 雲仙岳防災会議(市) | | | | |
| 4 / 28 (月) | | | | 有明フィッシュリード技術開発事業としてカサゴの稚魚5万匹を放流(市) | | | | |
| 4 / 29 (火) | | | | 「雲仙普賢岳・平成新山開連美術展」を開催(市) | | | | |
| 4 / 30 (水) | | | | 第3回深江町議会「臨時会」県が建設した被災者用住宅を取得する議案などを可決(町) | | | | |

1997年(平成9年)5月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の山町村・その他 |
|---------------------|-------------|-------------------------------------|---------------------------------|---|-------------------------------------|------------------------------------|--|---------------------------------------|
| 5 / 1 (木) | | | | | | | | 島原大変遭難者供養祭 |
| 5 / 5 (月) | | | | | | | | 名水の里島原鯉500匹を放流 |
| 5 / 7 (水) | | | | | | | | 火砕流で犠牲となったタクシ-運転手の遺族控訴 |
| 5 / 8 (木) | | 長崎県地方に大雨洪水警報発令(9:50, 13:42 注意報へ切替え) | | | | | | |
| 5 / 11 (日) | | | | | | | 5年ぶりに三会地区運動会開催 | |
| 5 / 12 (月) | | 定期火山情報 第5号 | | | | | | |
| 5 / 14 (水) | | 大雨・洪水警報発令(6:30)(10:30 注意報へ切替え) | | 1996年の年間観光動態調査を発表。やや回復傾向にはあるが、噴火以前には戻っていない(市) | | | 水無川右岸のふるかえ桜パークで桜の苗木100本を植樹 | |
| 5 / 15 (木) | | | | | | | 長崎県農業大学校から安中再生フラワーランド事業実行委員会に花苗1,500本が贈られる | |
| 5 / 17 (土) | | | | | | | | 島原水まつり |
| 5 / 19 (月) | | | | | 第1回がまだ計画推進委員会、委員長に森本元成氏を選出(県) | | | |
| 5 / 20 (日) | | | | 小浜町と合同で「誓いの火」として平成新山の火を採火(町) | 水無川上流の早期緑化を図るためヘリコプターによる航空緑化工を開始(県) | | | 火山砂防フォーラム幹事委員会(東京) 全国治水砂防協会総会(長崎市) |
| 5 / 21 (火) | | | | | 梅雨入りを前に危険箇所を視察(長崎県島原振興局) | | | 広島市立矢野中学校の修学旅行生、島原第三中学校に義援金53,331円を贈呈 |
| 5 / 22 (水) | | | | 杉谷地区住民の集団移転用地「宇土山町地」の造成に5月始めから着工と表明(市) | | | | 島原半島振興対策協議会及び島原天草架橋建設促進期成会総会 |

1997年(平成9年)5月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 子知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|------------------------|---------------------------------|---|--|------------------------------------|----------------------------|--|
| 5 / 23 (金) | | | | | | | | 市民を励まそうと川崎市の有馬富男さんが松竹紘征画伯の絵画「波瀾(室戸)」を寄贈 |
| 5 / 25 (日) | | | | | | | | がまだすinあいの桜フェスティバル(小浜町) |
| 5 / 26 (月) | | | | 安中三角地帯の嵩上げ事業が1年遅れで一部完工(市) | | | | 「雲仙国際ワークショップ—防災10年火山と科学掘削」開会(～29日) |
| 5 / 27 (火) | | | | 安中三角地帯の嵩上げに伴う十地区画整理事業審議会委員選出のための選挙人名簿の縦覧開始(市)(6～9日) | | | | |
| 5 / 28 (水) | | | | 安中三角地帯の嵩上げ事業の一部完工に伴う水無川下流左岸部で農地復旧事業に着工(市) | | | | 「雲仙国際シンポジウム」の参加学者ら約30人、普賢岳に登山し溶岩ドーム科学掘削の可能性を調査 島原半島観光連盟今年度の事業決定 |
| 5 / 29 (木) | | | | 災害危険箇所を視察(市) | 第5回雲仙普賢岳砂防指定地和活用方策検討委員会、和活用構想を発表(建設省)県議会文教委員会、大野木場小学校を視察(県) | | | 「雲仙国際ワークショップ—防災10年火山とフォーラム」、科学掘削の意義と推進を合意し閉会 |
| 5 / 30 (金) | | | | | 雲仙普賢岳災害基金理事会島原地域再生行動計画(がまだす計画)への支援事業費1億円など事業計画を決定(県) 1号スーパーダム下流の導流堤の用地買収が5年ぶりに終了(建設省) | | | 島原温泉観光協会、総会で観光の復活に向けてPRとイベントに積極的に取り組むことを決議 |
| 5 / 31 (土) | | | | | | | | 島原地区労、個人補償を伴う「特別立法」制定を求めて島原から長崎県庁まで約80kmを歩く「雲仙普賢岳災害ウォークキャラバン」スタート(～6月2日) 個人補償と公的支援をテーマに「第6回雲仙集會 市民とマスコミの対話集會—その時何に…共済制度と公的支援—」開催。250人参加 |

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|--------------------------------------|---------------------------------|--|--|------------------------------------|---|--|
| 6 / 1 (日) | | | | | | | | 陸上自衛隊第16普通科連隊 音楽部による「がまだそう! 島原半島 自衛隊と住民と の音楽祭」開催 雲仙・普賢岳災害ウォーク キャラバン隊2日目 |
| 6 / 2 (月) | | | | 吉岡市長、島原市議会全員 協議会で島原第四小学校の 用地取得に向けて県知事の 事業認定を申請する方針を 打ち出す(市) 平成新山の火を用いたモニ ュメントの構想を明らかに する(市) | | | 錦ヶ江前市長、第9版の印 税184,500円を寄付 | 雲仙・普賢岳災害ウォーク キャラバン隊、長崎県庁に て「自然災害に対する個人 補償の実現」を県に要請 |
| 6 / 3 (火) | | | | 仁田団地第一公園の追悼碑 前に献花所を設置(市) 島原地域防災連絡会議を開 催(市) 午後4時8分市内各所で犠 牲者慰霊の市民黙祷(市) | 土砂災害防止月間街頭キャ ンペーン(建設省) | | 8人の犠牲者を出した「定 点」(北上木場農薬研修所跡)で同僚や遺族らが慰霊 シマバラ表現主義クラブ、 朗読劇「レクイエム6.3ー 沈黙する定点」を上演 島原第四小学校「防災集会」 を開く | 雲仙・普賢岳ウォークキャ ラバン隊報告集会 国道57号地域幹線道路整備 促進期成会 島原市仏教会、雲仙普賢岳 噴火災害殉難者7回忌法要 |
| 6 / 5 (木) | | | | | 県議会経済活性化対策特別 委員会、島原市と深江町を 視察(県)(~6日) | | | 横浜市の写真家梅崎良さん の「普賢さんはおこっちょよ らす」と題する写真展を東 京で開催 |
| 6 / 7 (土) | | | | | 島原第五小学校の児童51人 を招き水無川スケッチ大会 を開催(建設省) | | | |
| 6 / 8 (日) | | 九州北西部梅雨入り(福岡 管区气象台) | | | | | | |
| 6 / 9 (月) | | | | 町議会全員協議会、大野木 場小学校の再建問題で議会 が紛糾し、第3候補地の議 論持越し(町) 有明海栽培漁業推進基金造 成会議(町) | | | | |
| 6 / 10 (火) | | 定期火山情報 第6号 溶岩ドームの温度最大200 ℃も下がる | | | | | | |
| 6 / 11 (水) | | | | | 島原市と深江町の町内会自 治会長を対象に砂防事業及 び道路事業説明会を実施 (建設省) | | | 島原市水産振興協議会、地 元水産業振興のためにホシ ガレイの稚魚2万尾を放流 有明海栽培漁業推進協議会 総会 |
| 6 / 13 (金) | | | | 吉岡市長、島原第四小学校 再建用地買収交渉の難航で 土地収用法に基づく事業認 定を県知事に申請する意向 を示す(市) | | | | 有明海水産振興協議会総会 |

1997年(平成9年)6月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|------------------------|---------------------------------|--|-------------------------------------|--|--|--|
| 6 / 14 (七) | | | | | | | 杉谷地区災害復興対策委員 会 | |
| 6 / 16 (月) | | | | | | 島原鉄道自治体連絡協議会 総会で安新大橋の固定資産 税の軽減措置を要望するこ とを決定(島鉄) | | |
| 6 / 18 (水) | | | | 防災連絡会議、現地調査 | | | | |
| 6 / 19 (木) | | | | 杉谷地区の住民の集団移転 のための「宇土山団地」の造 成工事に着工(市) 深江町議会復興特別委員会 大野木場小学校の再建問題 を住民代表が推進委員とな り協議(町) | | | | |
| 6 / 20 (金) | | | | 安中地区住民の大半が安中 に戻り住宅再建をしないこ とが調査により判明(市) | | | 大野木場町地自治会の有志 町議会へ小学校再建地をA C候補地の中間地に求める 請願書を提出 | 連合長崎、義援金から復興 対策費として1億円の拠出 を決定 |
| 6 / 21 (土) | | | | | | | | 火山博物館のあり方を探る 市民文化講座「これからの 火山博物館そしてクラフト 夫妻の思い出」を開催 |
| 6 / 22 (日) | | | | | | | | 県地学会総会で熊本大学教 育学部選辺一徳教授「火 山と災害」を長崎大学で特 別講演 |
| 6 / 24 (火) | | | | 第4回町議会定例会で大野 木場町地有志が提出した請 願書を3委員会に審議付託 (町) | | 島原一大牟田航路の新規事 業免許を九州運輸局へ申請 (島鉄) | | |
| 6 / 25 (水) | | | | 吉岡市長、島原市議会定例 会で三念海岸の埋立て事業 の見直しを表明(市) | | | | |
| 6 / 26 (木) | | | | 「島原復興アリーナ(仮称)」 を県に財源支援を要請、国 の起債事業として進める考 えを示す(市) | 中尾川地区治山ダム群完成 (県) | | | |
| 6 / 29 (日) | | | | | | | | 北海道駒ヶ岳周辺の町で結 成する「駒ヶ岳火山砂防会 議協議会」の一行が来島 |
| 6 / 30 (月) | | | | 雲仙普賢岳資料館の入館者 が3年2カ月で10万人を突 破(市) | 県総合水産試験場、トラフ グの稚魚4万5千尾を放流 (県) | | | 松藤小浜町長ら13人、警戒 区域の雲仙普賢岳に登頂 (小浜町) 「駒ヶ岳火山砂防会議協議 会」の担当者ら6人、島原 市の被災地を視察 (～7月1日) |

1997年(平成9年)7月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|--------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------|--|---|------------------------------------|---|--|
| 7 / 1 (火) | | | | | 雲仙普賢岳一帯の最新地形 図を示した火山土地条件図 「雲仙岳」(1/25000)を刊行 (建設省国土地理院) | | | |
| 7 / 2 (水) | | | | | | | | 一般国道57号等県南地域幹 線道路整備促進期成会、島 原深江道路の早期完成など を要望 |
| 7 / 4 (金) | | | | | | | 安中再生フラワーランド事 業実行委員会に県立農業大 学校より花苗約3,000鉢が 寄贈される | |
| 7 / 6 (日) | 水無川に土石流発生 | | | | | | | 福知山市より交流事業の一 環として「福知山市民号で 訪ねる島原への旅」の一行 180人が来島(～7日) |
| 7 / 7 (月) | | 大雨・洪水警報発令(6:20) | | | | | | |
| 7 / 8 (火) | | | | | 雲仙岳・眉山地域治山対策 検討委員会、眉山の地震波 形解明が必要との見解を示 す(建設省) | | | |
| 7 / 9 (水) | 土石流発生(2:27～2:34, 3:41～4:04) | | | 島原市防災会議並びに水防 災協議会開催(市) | 雲仙岳・眉山地域治山対策 検討委員会、荒地や施工 地の現況調査(建設省) | | | 島原幹線道路網建設促進期 成会総会 |
| 7 / 10 (木) | 土石流発生(1:51～2:05) | 定期火山情報 第7号 | | | | | | |
| 7 / 11 (金) | | | | | 豪雨に関連して土砂の発生 状況(47万m ³ の土砂堆積) を発表(建設省) | | | |
| 7 / 12 (土) | | 7月6日からの総雨量660 ミリを超える (雲仙岳測候所) | | | | | | |
| 7 / 13 (日) | | | | | | | | 島原温泉観光宣伝隊、関東 ・関西地区でPR活動を展 開(～19日) |
| 7 / 14 (月) | | | | 第5回町議会定例会で、「ふ かえ桜パーク」の設置案賛 成少数で否決(町) | | | | 県総合水産試験場、島原市 北部漁協前地先の海にトラ フグの稚魚約45,000匹を放 流 |
| 7 / 16 (水) | | | | | | | | 島原半島農業立町宣言事業 推進検討会 |

1997年(平成9年)7月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 子知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------------------------|------------------------------------|---------------------------------|---|--|------------------------------------|----------------------------|--|
| 7 / 17 (木) | 土石流発生(6:12~6:25) | 大雨・洪水警報発令 (3:15, 17:40) | | | | | | 全国知事会議で自然災害被災者の生活再建のための「災害相互支援基金」の創設を国に要望することを決議(宮崎市) |
| 7 / 18 (金) | | | | | | | | 空き店舗の活用を図る「島原がまだサンプラザ事業」の第1回委員会 |
| 7 / 19 (土) | | | | | 中尾川に架かる扇田大橋の架替えのため現在地より東側に国道を付け替える(建設省) | | | |
| 7 / 22 (火) | | | | | | | | 阪神・淡路大震災の被災者などで組織する「公的援助法実現ネットワーク」キャンペーン隊、吉岡市長らに法制定の支援を要請し、市内で署名活動 |
| 7 / 23 (水) | | | | 島原復興特別委員会(市) | | | | 「火山の恵み温泉と自然、その効用」と題した講演会 |
| 7 / 24 (木) | | | | | 島原半島の中小企業向けの融資「雲仙復興支援資金(がまだす資金)」の申込み急増のため、融資枠を50億円から100億円に増額を決定(県) | | | 島原市内の熊野温泉神社の湧水が約4年ぶりに湧出 |
| 7 / 25 (金) | | | | 島原市議会全員協議会「ふかえ桜パーク」協議の議案が深江町で否決された問題で理事者側に対処策を要請(市) | 「島原地域再生行動計画(がまだす計画)」の周知と意識高揚を図るポスターを作成(県) | | | |
| 7 / 26 (土) | 80秒を超える長動波形を始め南東側へ6回溶岩ドームから落石 | 溶岩ドームからの落石振動を6回観測(雲仙岳測候所) | | | | | | 阪神・淡路大震災の被災者への支援を求め自転車で全国縦断している兵庫県芦屋市の小学生矢崎兄弟が来島 |
| 7 / 27 (日) | | 現地観測で火口から約1kmにわたり赤松谷方向に火山礫(雲仙岳測候所) | | | | | | |
| 7 / 28 (月) | | 雲仙普賢岳南東側斜面で高温の落石頻発と発表(雲仙岳測候所) | | | 雲仙ルネサンス計画会議(県) 「島原地域再生行動(がまだす計画)」の推進ポスターを関係機関に配布(県) | | | |
| 7 / 31 (木) | | | | | 県道愛野島原線の下折橋一北千本木間の時間規制を4年ぶりに撤廃すると発表(長崎県島原振興局) | | | |

1997年(平成9年)8月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|---|------------------------|---------------------------------|---|---|--|-------------------------|---|
| 8 / 1 (金) | | | | 深江町民のために保養所を5年間にわたり無償提供した日鉄鉱業に感謝状を贈呈(町) | | 県道愛野島原線の北千木本地区区間2.3kmの夜間通行止めを19時より4年ぶりに解除 島原一大牟田航路の事業免許許可(島鉄) | | |
| 8 / 4 (月) | | | | 安中土地区画整理審議会(市) | 中尾川治山工事完工(建設省) | 中尾川本線の開通に伴う安全祈願祭(島鉄) | | |
| 8 / 5 (火) | 水無川に土石流発生(～6日) | 大雨・洪水警報発令(14:30) | | 第1回島原都市計画マスタープラン策定委員会、都市づくりの基本理念を「火山とともに生きる湧水と歴史の国民公園都市」とするなどを決定(市) | | 県道愛野島原線の北千木本地区と国道57号島原深江間が通行止め 1年8ヶ月ぶりに島原一三会間(約1km)の本線開通(島鉄) | | 第2回ながさき子ども特派員ブロック会議、被災地を見学 |
| 8 / 6 (水) | 10:00過ぎに約1年ぶりに発生した中尾川の土石流が国道57号を流下し同251号近くの0号遊砂地まで達する | | | | | 国道57号水無川導流堤の底部部分が約70㎡こわたり土砂で埋まる | | |
| 8 / 8 (金) | | | | | 第1回火山観光化基本計画検討委員会、「島原火山科学博物館(仮称)」などを話し合う(県) | | | 第1回島原半島農林業立国宣言事業作業部会 |
| 8 / 11 (月) | | 定期火山情報 第8号 | | | | 島原一大牟田定期航路再開(島鉄) | | |
| 8 / 12 (火) | | 大雨・洪水警報発令(5:40) | | 「平成新山の火モニュメント」完成点灯(市) | 光波測量による第11溶岩ドームの挙動観測結果を発表 3月から4ヶ月間に10cmほど縮む(建設省) 監視カメラから捉えた溶岩ドーム崩落(8月6日発生)の映像を公開(建設省) | | | |
| 8 / 15 (金) | | | | | | | | 福知山市の市政60周年記念事業「島原市との小学生スポーツ交流会」参加者の出発式 島原街並み今昔写真展(～9月14日) |
| 8 / 16 (土) | | | | | | | | がまだイベント「オールデイズ」の日コンサート(小浜町) |
| 8 / 18 (月) | | | | 第5回深江町議会臨時会で「ふかえ桜パーク」の設置に関する議案を可決(町) | | | | 島原市と神戸市の親睦交流「がまだせ!少年サッカー大会」開催(～19日) |
| 8 / 19 (火) | | | | 第2回自衛隊災害派遣隊員彰碑建立委員会(市) | | | | |

1997年(平成9年)8月

| 月 日 | 火山活動 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|------|------------------------|---------------------------------|--|--|------------------------------------|----------------------------|-----------------------------|
| 8 / 21 (木) | | | | 第1回親子火山教室―寛政 4年の島原大変絵図につい て―開催(市) | | | | |
| 8 / 22 (金) | | 有感地震9回を観測 (雲仙岳測候所) | | | 島原鉄道への支援策として 「女新大橋」の固定資産税の 特別減免を自治省に申請す ると発表(建設省・運輸省) | | | |
| 8 / 26 (火) | | | | 深江町立大野木場小学校体 育館の解体工事開始(町) | | | | |
| 8 / 27 (水) | | | | | | | | 第5回島原温泉がらんぼる花 火まつり |
| 8 / 29 (金) | | | | 宇土山崩地(32区画)の分譲 価格(平均78,000円)を地元 に説明(市) | | | | 平成新山太鼓フェスティバ ル(小浜町) |
| 8 / 30 (土) | | 大雨・洪水警報発令 (2:25) | | | | | | 連合の日「がまだセコンサ ートinしまばら」開催 |

1997年(平成9年)9月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 N.T.T・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|--------------------|--|---------------------------------|---|---|--------------------------------------|-------------------------------------|--|
| 9 / 1 (月) | | | | | | | | 島原温泉観光宣伝隊、山陽・四国班出発 |
| 9 / 2 (火) | | | | | | | | 島原半島観光連盟、広島市で説明会および「観光の夕べ」を開催 |
| 9 / 4 (木) | | | | | 国土庁地方振興局長、島原市仁田団地などを視察 | | | |
| 9 / 5 (金) | 水無川で土石流発生 (～7日) | | | | | | | |
| 9 / 7 (日) | 水無川で土石流発生(3回) | 大雨警報発令(1:40) 水無川で土石流とみられる 3回の振動波形を観測 (雲仙岳測候所) | | 第2回親子火山教室-火山・地震・津波について平易に解説(市) | | | | |
| 9 / 8 (月) | | | | | 7日までの雨による流出土砂は水無川で4万m ³ 、中尾川で8千m ³ と推計されると発表(建設省) | | | |
| 9 / 9 (火) | | | | 総合計画策定に係る各課のヒアリング(町)(～10日) | | | | 「第14回歴史地震研究会」が開催(～10日) |
| 9 / 10 (水) | | 定期火山情報 第9号 | | 吉岡市長、定例市議会的一般質問で「眉山崩壊の予知は可能」と答弁(市) | | | | 同研究会の「危機管理と学問の役割について」と題するパネルディスカッションと東大地震研究所の郡司嘉寛助教授「島原大變の大津波は島原半島東側全体に及び最大海抜45mまで到達していた」との調査結果を発表 |
| 9 / 11 (木) | | | | 「ろくべえどんまつり」の一環として旧大野木場小学校被災校舎をライトアップ(～13日) | 「新たな時代を拓く地域活性化フォーラム」を開催(通産省中小企業庁他)(～12日) | | | |
| 9 / 14 (日) | | | | 森岳地区住民を対象に眉山崩壊に備えた避難訓練を実施(市) 第1回深江ろくべえどんまつり(町) | | | 噴火災害の復興のシンボルとして上大野木場で栽培されたヒマワリの種を収穫 | |
| 9 / 17 (水) | | | | | | | 島原花と緑のまちづくり運動実行委員会 | |
| 9 / 18 (木) | | | | 県発表の県内基準地価で島原市は災害前の基準を回復(市) 安中十地区画整理審議会(市) | | | | |

1997年(平成9年)9月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の山町村・その他 |
|---------------------|-------------|------------------------|---------------------------------|---|--|------------------------------------|-------------------------|---|
| 9 / 25 (木) | | | | | 水無川2号ダム越流部一部 工事に10月より着手と発表 (建設省) | | | |
| 9 / 27 (土) | | | | | | | | 「島原の湧水と水屋敷一写 真と資料展」が水屋敷(旧三 村邸)で始まる(～10月15日) |
| 9 / 28 (日) | | | | 深江町防災訓練(町) | | | | 「西九州生涯学習まちづく り研究大会[島原大会]」開 催 |
| 9 / 29 (月) | | | | 「道の駅」に関する陳情を長 崎県と島原振興局に行う (町) | | 島原鉄道架線復旧開始 | | |
| 9 / 30 (火) | | | | 「道の駅」事業で第3セクタ ー会社設立の総資金の1/3 の2,000万円の予算計上を 議会に提案することを発表 (町) | 水無川2号ダムの右岸袖部 完成(建設省) | | | |

1997年(平成9年)10月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 N T T・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|----------------------|-------------|------------------------|---------------------------------|---|---|--------------------------------------|--|---|
| 10 / 1 (水) | | | | 町議会最終本会議で「大野 木場小早期再建請願書」を 不採択(町) | | | 島原地域と生涯学習を学ぶ 会「森岳地区のまちづくり 活性化報告」 | がまだずサンブラザ事業の 1つ「街の美術館」「街のイ ンターネット館」がオープ ン(市) 街の美術館—島原今昔写真 展・ちびっこカメラマン・ 小学生絵画展開催(～31日) |
| 10 / 5 (日) | | | | | 水無川1号砂防ダム右岸の インフォメーションセン ターで「無人化施工体感フ ェア」開催。地元の小学生 親子210名が参加(建設省) | | | |
| 10 / 7 (火) | | | | | | | 仁田団地へのバスの乗入れ を決定(島鉄) | |
| 10 / 8 (水) | | | | | 水無川2号砂防ダム越流部 工事着工(建設省) | | | |
| 10 / 10 (金) | | | | | | | | 普賢岳災害写真館「早川文 象写真展—普賢の記憶」開 催(～15日) |
| 10 / 11 (土) | | | | 道の駅整備のための火山観 光施設会社「みずなし本陣 (仮称)」の設立総会(市、町) | | | | 尊後高田市より約100人が 訪問(～12日) 島原温泉不知火まつり (～12日) |
| 10 / 12 (日) | | | | | | | | 東京都の宮島資雄さんが絵 画「平成新山」を島原山に寄 贈 第2回島原阿波踊り大会 |
| 10 / 13 (月) | | 定期火山情報 第10号 | | | | | | |
| 10 / 15 (水) | | | | | | | 仁田団地循環「島原市内団 地循環線」の開通式(島鉄) | 島原城で薪能 |
| 10 / 16 (木) | | | | | 県議会総務委員会、深江町 川原端(うらせ)地区を視察 (県) | | | |
| 10 / 18 (土) | | | | | | | | 愛媛県内子町の岡田文淑氏 のまちづくり講演会「街並 み保存に始まる地域の活性 化」開催 |
| 10 / 20 (月) | | | | | 砂防利活用イベント実行委 員会(建設省) | | | 普賢岳火山活動警戒連絡会 警戒区域の登山道の一部を 平成10年3月に解除の方向 で検討(小浜町) 防災営農対策事業を東京で 陳情 |

1997年(平成9年)10月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の山間村・その他 |
|----------------------|-------------|------------------------|---------------------------------|---|---|------------------------------------|---|---|
| 10 / 21 (火) | | | | 島原市議会全委員会で杉谷 公民館の造成工事に年明け から着工と発表(市) | | | | |
| 10 / 22 (水) | | | | 豊丘地区市長を囲む懇談会 (市) | | | | |
| 10 / 23 (木) | | | | | | | | 島原・天草・長島3県架橋 構想推進委員会(東京) |
| 10 / 24 (金) | | | | 安中地区市長を囲む懇談会 (市) | | | 「希望と再生の復興の森実 行委員会」の設立総会 | 島原がまだサンプラザ事 業の一環として毎月第4金 曜日にナイトバザールを開 催と発表 |
| 10 / 25 (土) | | | | 安中地区嵩上げ事業の完成 年度が予定より1年遅れて 1999年度になるとの見通し を示す(市) | | | | |
| 10 / 27 (月) | | | | | | | | 防災営農対策事業を九州農 政局に陳情(町) |
| 10 / 28 (火) | | | | | 雲仙普賢岳調査報告会 (建設省雲仙復興工事事務所) 第2回火山観光化基本計画 検討委員会(県) | | | |
| 10 / 29 (水) | | | | 第5回大野木場小学校被災 校舎保存構想検討委員会、 被災校舎の保存工事に来年 度から着工を決定(町) | | | 島原ボランティア協議会、 「森をつくる会」の第1回会 合で今後の実施計画を決定 | |
| 10 / 30 (木) | | | | 被災農地ほ場整備地区の農 作物栽培状況調査(町) | 第13回民有林治山工事コン クールで中尾川地区の治山 工事が農林水産大臣賞を受 賞 「平成新山(溶岩ドーム)百 景づくり」の事業説明会(県) | | | |
| 10 / 31 (金) | | | | 杉谷地区市長を囲む懇談会 (市) 深江町総合計画審議会で平 成8年9月に実施した町民 意識調査を発表(町) | | | | |

1997年(平成9年)11月

| 月 日 | 火山活動 七石流 | 雲仙岳観測所 九大観測所 予知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|----------------------|-------------|--|---------------------------------|------------------------|--|--|---------------------------------------|---|
| 11 / 4 (火) | | 福岡管区気象台、観測機械の置き場所提供の7人を表彰 | | | | | | |
| 11 / 5 (水) | | | | | 第1回雲仙普賢岳砂防指定地利活用整備計画検討委員会開催。利活用の基本方針を示す(建設省) | | | 葉タバコの買入れ(深江町) |
| 11 / 6 (木) | | | | | | | | 災害救援体制について地元防災関係機関と情報交換のため、米国連邦緊急時管理庁(FEMA)危機管理専門官レオ・ボスター氏が来島 兵庫県淡路町議会特別委員会、深江町を視察 |
| 11 / 7 (金) | | | | '97がまだ島原の産業まつり(市)(~9日) | | | | |
| 11 / 9 (日) | | | | | | | 島原ボランティア協議会他の「森をつくる会」の呼びかけで約150人が種子拾い | |
| 11 / 10 (月) | | 定期火山情報 第11号 太田一也九州大学島原地震火山観測所長、普賢岳の呼称を「平成新山」を合わせた総称を「普賢岳」とする考えを提案 | | | | | | |
| 11 / 11 (火) | | | | | 中尾川上流域に千本木1号砂防ダム着工(計画貯砂量約37万m ³)(建設省) | | | |
| 11 / 12 (水) | | | | | 中尾川横断橋河原(じゆ)橋着工(建設省) | | | |
| 11 / 13 (木) | | | | みずなし本陣ふかえ臨時総会(町) | | | | |
| 11 / 14 (金) | | | | 自衛隊災害派遣隊額彰建立委員会役員会(市) | 第11溶岩ドーム挙動観測結果(最大約10cm移動)を発表(建設省) 「雲仙復興支援資金(がまだず資金)」の融資枠を150億円に再拡大(県) | | 帯広地区避難訓練 | |
| 11 / 15 (土) | | 雲仙普賢岳の溶岩ドームが1995年5月の噴火停止から約2年間で斜面全方向へ最大3m移動と発表(九大観測所) | | | 千本木1号砂防ダム工事着工(建設省) | 観光トロッコ列車の運行終了。見込みを5割増の44,180人が乗車(島原鉄道) | | |
| 11 / 16 (日) | | | | 第14回深江町産業まつり(町) | 水無川下流域を利用した「雲仙普賢岳SPORTS FESTIVAL'97」を開催。砂防ウォーキングなどに約600人が参加(建設省) | | 島原第四小学校児童、千本木町の山林に巣箱かけ | |

1997年(平成9年)11月

| 月 日 | 火山活動 十石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 了知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|----------------------|-------------|------------------------|---------------------------------|---|--|------------------------------------|----------------------------|---|
| 11 / 17 (月) | 噴火から丸7年 | | | 災害の教訓や火山との共生 を考える十石流対策シンポ ジウム「火山と共生・災害 の教訓を生かそう」を開催 (市) | 全国からの支援に感謝する 地元住民の2種類の寄せ書 きなどを新聞各紙に掲載。 「きなんせ島原」をアピール (県) | | | 「普賢ライブ!」を開催 |
| 11 / 18 (火) | | | | 森岳地区市長を囲む懇談会 (市) 観光絵はがき・絵画コンク ールの入賞者表彰式(市) | | | | |
| 11 / 19 (水) | | | | 白山地区市長を囲む懇談会 (市) | | | | 国際交流教育団体「アッ プルウィズビープル」の一行 40人が島原城復興記念館や 水無川を視察 |
| 11 / 20 (木) | | | | | | | 島原ボランティア協議会、 地方自治大臣賞を受賞 | |
| 11 / 21 (金) | | | | 市議会全員協議会、がまだ ず計画の中の「島原復興ア リーナ」の建設計画案を示 す(市) 森岳地区「市長を囲む懇談 会」(市) 島原・深江十地区画改良事 業懇談会 | | | | |
| 11 / 25 (火) | | | | | 平成10年の「ふるさと切手」 の題材に平成新山も採用と 発表(郵政省) | | | |
| 11 / 26 (水) | | | | 三合地区市長を囲む懇談会 (市) | | | | |
| 11 / 27 (木) | | | | | 島原半島内での地殻変動の 有無を調べる水準測量を開 始(建設省国土地理院) | | | '97島原ファンタジアに向 けた島原城のイルミネーシ ョンを試験点灯 |
| 11 / 28 (金) | | | | | | | | 地域高規格道路「島原道路」 島原市工区建設促進期成会 建設省九州地方建設局に陳 情 |

1997年(平成9年)12月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|----------------------|-------------|------------------------|---------------------------------|--|---|------------------------------------|------------------------|---|
| 12 / 1 (月) | | | | | | | | '97島原ファンタジアスター ート。島原城と堀端の桜並 木にイルミネーション点灯 (~1月7日) 島原半島観光連盟、観光情 報誌第4弾を発刊 |
| 12 / 2 (火) | | | | 道の駅川地買収説明会 (町) | | | | |
| 12 / 6 (土) | | | | | | | | '97島原ファンタジアのイ ルミネーション川車パレ ード |
| 12 / 8 (月) | | | | 吉岡市長、島原市議会定例 会で三合海岸埋立について 現時点では財源のメド立 たずとの見解を示す(市) | 県議会総務委員会、雲仙普 賢岳の治山ダムの建設計画 の見直しを発表(県) | | | |
| 12 / 9 (火) | | | | 吉岡市長、市議会の質問で 島原温泉の湯量減少の対策 に新源泉掘削調査を行う方 針を表明(市) | 被災地の初防事業区域内で ゴミの不法投棄が増加と発 表(建設省) | | | |
| 12 / 10 (水) | | 定期火山情報 第12号 | | | | | | |
| 12 / 12 (金) | | | | | | | | 島原半島幹線道路網建設促 進期成会の会長らが松尾長 崎県副知事に要望書を提出 |
| 12 / 13 (土) | | | | 「島原火山科学博物館(仮称) 」のあり方を考える「がまだ すプラザ'97井戸端会議for ツインピークス」を開催 (市) | | | | 雲仙岳噴火災害写真展で松 下誠治写真展(~28日) |
| 12 / 14 (日) | | | | | | | | 第10回名水の里ジョギング フェスティバル |
| 12 / 15 (月) | | | | 農業振興地域整備促進協議 会(町) | 第2回航空緑化技術検討委 員会(熊本営林署、県) | | | |
| 12 / 17 (水) | | | | 第1回「島原復興アリーナ (仮称)」建設検討委員会 (市) | | | | |
| 12 / 18 (木) | | | | | 雲仙グリーンロード北部地 区開通(県) | | | 島原半島農林業立国宣言事 業推進委員会、国に伊藤 俊一おばま農業協同組合長 を選出 |
| 12 / 19 (金) | | | | | 雲仙岳・眉山治山対策研究 報告会、雲仙普賢岳の治山 ダムの基數削減を明示 (熊本営林署、県) | | | 同上委員会、島原半島農林 業事業の概要をまとめる |

1997年(平成9年)12月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の山田村・その他 |
|----------------------|-------------|------------------------|---------------------------------|------------|--|------------------------------------|---|--|
| 12 / 20 (土) | | | | | | | | '97島原ファンタジアのキ ャッスルステージに約3,0 00人の入場者 島原がまだオサンプラザ事 業の一環として「島原の木 轡と和ろうそく展」開催 (～28日) |
| 12 / 24 (水) | | | | | 中尾川地区治山工事安全対 策協議会の農林大臣賞受賞 を祝う記念碑の除幕式 | | | |
| 12 / 25 (木) | | | | | | | 錦ヶ江管一前島原市長、第 10版の目録334,000円を島 原市へ寄付 | |
| 12 / 26 (金) | | | | | 長崎県が新聞各紙に掲載し た復興アピールに対し、全 国から約8,800通の激励メッ セージが届く(県) | | | |

1998（平成10）年
1月～12月

1998年(平成10年)1月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|------------------------|---------------------------------|--|----------------------------------|------------------------------------|---|--|
| 1 / 2 (金) | | | | 観光客の誘致を図るため島原城の新年登閣者先着1,000人にオリジナルバッジを配布(市) | | | | |
| 1 日/ 8 (木) | | | | タバコ産地ビジョン推進検討会(町) | | | | |
| 1 / 9 (金) | | | | 水無川右岸堤防で「ふかえ桜パーク」着工。木契約物件を残す(町) | | | 大野木場小学校のスクールバス最終運行 | |
| 1 / 12 (月) | | 定期火山情報 第1号 | | | | 県営バスの北安徳一浜の町間の運行を6年7ヶ月ぶりに再開(島鉄) | | 島原市の橋岡輔さん、雲仙岳噴火災害写真館で被災前の安中地区などの写真展を開催(～31日) |
| 1 / 13 (火) | | | | | 長崎県総合防災訓練打合せ会(県) | | | |
| 1 / 16 (金) | | | | 杉谷公民館の移転造成工事着工(市) | | | | 神戸市で開催の「地域防災シンポジウム'98」に吉岡市長がパネリストとして参加 |
| 1 / 17 (土) | | | | | | | 阪神・淡路大震災被災地にエールを送る夕べで島原太鼓連盟、阪神・淡路大震災犠牲者の追悼演奏 島原第二小学校、阪神・淡路大震災犠牲者追悼の黙祷 大野木場小学校のスクールバス廃止のお別れ会 | |
| 1 / 19 (月) | | | | 都市計画マスタープラン検討委員会(市) | 雲仙岳防災会議協議会総会(県) | | | |
| 1 / 20 (火) | | | | 「地下水保全要項」を4月1日より施行と告示(市) | | | | |
| 1 / 21 (水) | | | | 島原市議会全員協議会において、都市計画課より安中三角地借上げ事業の最終必要土砂量は320万m ³ 、事業費は約90億円と報告(市) | | | | |
| 1 / 22 (木) | | | | ふかえ勤労者会館完成(町) | | | | |
| 1 / 25 (日) | | | | | 無人化施工システムの機能充実の研修会を水無川流域で行う(建設省) | | | |
| 1 / 26 (月) | | | | | 県議会経済労働委員会、森岳商店街を視察(県) | | | 噴火7周年記念の全国紙広告に対する激励ハガキの特産品プレゼント抽選会(長崎市) |

1998年(平成10年)1月

| 月 日 | 火山活動 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の山町村・その他 |
|---------------------|------|------------------------|---------------------------------|---|---|------------------------------------|-------------------------|--|
| 1 / 27 (火) | | | | | 県立島原温泉病院の基本設 計概要を発表(県) | | | 島原半島農林業立国宣言事 業推進大会、「がまだすア グリ王国」を立国。営農復 興を宣言 |
| 1 / 29 (木) | | | | 第2回復興アリーナ(仮称) 建設検討委員会(市) 自衛隊災害派遣隊編成種委 員建立会(市) | 火山地域防災機能強化総合 治山工事起工(建設省、県) 国道57号島原深江道路の下 部工工事(131基)完了 (建設省) | | | |
| 1 / 30 (金) | | | | 熊本・鹿児島向けの観光リ ーフレット「熊本・鹿児島 県民のためのぶらっととい こう島原半島」を作成(市) | | | 「安中地区まちづくり推進 協議会」発足 | |
| 1 / 31 (土) | | | | 宇土山田地32区画竣工(市) | | | | |

1998年(平成10年)2月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|------------------------|---------------------------------|---|---|------------------------------------|--|--------------------------|
| 2 / 1 (日) | | | | 被災者用団地「仁田団地」内に仁田の丘町内会公民館が完成(市) | | | | |
| 2 / 5 (木) | | | | | 大野木場小学校再建場所問題の解決に向けて、中川忠県教育長は町と地権者代表と県教委の3者で話し合うことを合意(県) | | | |
| 2 / 6 (金) | | | | | | | 島原ボランティア協議会、「森をつくる会(仮称)」の名称を「雲仙百年の森づくりの会」と正式に決定し発足 | |
| 2 / 7 (土) | | | | 中心市街地づくり先進地視察で飛騨高山へ(市) (～8日) | | | | |
| 2 / 9 (月) | | | | 第2回島原都市計画マスタープラン策定委員会(市) | | | | |
| 2 / 10 (火) | | 定期火山情報 第2号 | | | | | | |
| 2 / 13 (金) | | | | | 道の駅「みずなし本陣ふかえ」の登録説明会(建設省) | | | |
| 2 / 14 (土) | | | | 3県架橋実現推進事業の一環として「三県少年サッカー大会」(市)(～15日) | | | | |
| 2 / 15 (日) | | | | 島原深江道路一部開通記念「寒風マラソン大会」(市、町) | | | | |
| 2 / 17 (火) | | | | 深江町「活性化事業実行委員会、「六兵衛」にちなんだキャラクター“ろくべえどん”を発表(町) | | | | |
| 2 / 18 (水) | | | | | 第3回火山観光化基本計画検討委員会最終会議で、「島原火山科学博物館(仮称)」の基本計画案承認(県) | | | |
| 2 / 19 (木) | | | | | 水無川1号砂防ダム竣工(流出土砂量100万m ³ を捕捉可能)(建設省) 国道57号島原深江道路一部開通(建設省) 第2回がまだず計画推進委員会で、27重点プロジェクト事業の推進状況が報告される(県) | | | |

1998年(平成10年)2月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 千知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の山町村・その他 |
|---------------------|-------------|------------------------|---------------------------------|---|---------------------------|------------------------------------|---|--------------------------|
| 2 / 21 (土) | | | | 自衛隊への感謝の象徴として「自衛隊災害派遣隊顕彰碑(博愛の塔)」が水無川右岸の「ふかえ桜パーク」用地内に完成、除幕式(市) | | | 雲仙百年の森づくりの会、安中再生フラワーランド隣接地で高田知事を招き種子まき | |
| 2 / 22 (日) | | | | | | | 島原市上折橋町町内会解散 | がまだす芸能唄まつりで「ガマダス音頭」の発表会 |
| 2 / 23 (月) | | | | | 水無川の除石開始(建設省) (～3月30日) | | | |
| 2 / 27 (金) | | | | 千本木地区の住民が集団移転する「宇土山田地」が完成(市) | 広域農道導流堤横断橋着工(建設省) | | | |
| 2 / 28 (土) | | | | | | | 希望と再生の復興の森実行委員会の主催で女徳海岸埋立地で約1,200人による植樹 | |

1998年(平成10年)3月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|--|---------------------------------|---|--|------------------------------------|--|---|
| 3 / 1 (日) | | | | | | | | 「がまだす島原半島(雲仙岳 災害復興)第8回原城マラ ソン大会」に1,500人が参加 (有馬町) |
| 3 / 2 (月) | | | | 6月3日を「6.3いのりの 日」とし、11月17日を「11. 17島原防災の日」とすると 発表(市) 1998年度当初予算一般会計 7%増の155億円(市) | | | | |
| 3 / 4 (水) | | 普賢岳の活動状況を発表 (雲仙岳測候所) | | 雲仙岳警戒区域設定等の調 整会議、警戒区域の平成11 年3月31日までの延長と普 賢岳登山道を解禁する警戒 区域の一部解除を決定 (市、町) | | | | 雲仙普賢岳の警戒区域のう ち登山道の一部を4月26日 10:00に解除することを決 定(小浜町) |
| 3 / 5 (木) | | | | 大野木場小学校の再建場所 問題で第3候補地に住民側 が反発(町) | | | | |
| 3 / 6 (金) | | 太田一也九州大学附属島原 地震火山観測所長退官会見 | | 「土石流災害遺構保存公園 (仮称)」整備工事着工 (市、町) | | | | |
| 3 / 7 (土) | | | | | | | 島原第二小学校児童、中央 公園の園路に溶岩の小石を 敷き詰める作業を実施 | |
| 3 / 9 (月) | | | | 横田町長、第2回町議会定 例会で大野木場小学校の再 建用地問題は第3候補地で 話し合うと表明(町)(~12日) | | | | 西村幸夫東京大学工学部教 授、「地域の個性を生かし たまちづくり」を講演 |
| 3 / 10 (火) | | 定期火山情報 第3号 | | | | | | |
| 3 / 12 (木) | | | | 吉岡市長、一般質問で三合 海岸埋立て構想を今年中に 内容提示と答弁(市) 深江町議会定例会で第三次 町総合計画の「ふかえフェ ニックスプラン」を可決(町) | 新しい無人化技術の施工試 験を水無川2号砂防ダムで 実施(建設省) | | | 島原半島観光連盟、観光情 報誌第5弾を発行 |
| 3 / 13 (金) | | | | | 雲仙岳・眉山地域治山対策 検討委員会、総設置数を42 1基から70基減の351基とす る見直しを発表 (林野庁、県) | | | 写真家の古賀義章さん、写 真集「普賢岳OFF LIMITED」 を刊行 |
| 3 / 16 (月) | | 太田一也九州大学島原地震 火山観測所長、定年退官を 前にヘリコプターによる最 後の観測 | | 深江町と町議会、高田前知 事に感謝状を贈呈(町) | | | 深江中学校3年生、「ふか え桜パーク」で卒業記念の ツクシヤマザクラ16本を植 樹 | |
| 3 / 17 (火) | | | | 第6回大野木場小学校被災 校舎現地保存検討委員会(最 終会議)とりまとめ、初期 整備のための事業費6,00 0万円を6月議会に補正予 算案で計上(町) | | 中尾川高架化工事に着工 (島鉄) | | |

1998年(平成10年)3月

| 月 日 | 火山活動 | 雲仙岳観測所 九大観測所 予知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|------|--|---------------------------------|---|---|------------------------------------|----------------------------|-----------------------------|
| 3 / 20 (金) | | | | | 安中三角地帯の嵩上げに伴う土地区画整理事業の第一期工事起工(建設省) | | 大野木場小学校6年生21人が仮設校舎で卒業式 | |
| 3 / 21 (土) | | | | | | | 電力総連森づくり実行委員会、水無川リバーパークで植樹 | |
| 3 / 23 (月) | | | | | 第2回雲仙普賢岳砂防指定地和活用整備計画検討委員会、水無川グリーンライン整備など3事業について、短・中・長期に分けて進める方針を発表(建設省) | | | |
| 3 / 24 (火) | | | | 島原復興アリーナ建設検討委員会(市) 深江町総合計画策定委員会(町) | 被災者生活支援法案を参院で可決(国会) | | | |
| 3 / 25 (水) | | | | | 水無川砂防工事に伴う国道251号の付替え工事の事業認定を告示(建設省) | | | |
| 3 / 27 (金) | | | | 第3回島原都市マスタープラン策定委員会、島原市の目指す都市の将来像をまとめる(市) | 雲仙普賢岳砂防指定地和活用委員会で「われん川整備計画案」を提案(建設省) | | | 島原半島観光連盟、半島観光を紹介したパンフレットを作成 |
| 3 / 28 (土) | | | | 第3回建設検討委員会、「島原復興アリーナ」の基本設計の概要を示す(市) | 「ふるさとの森」記念植樹(建設省) | 新島原港ターミナルビル完成 | | 島原半島観光連盟、熊本市で観光宣伝を実施 |
| 3 / 30 (月) | | | | 新大野木場自治会公民館完成(町) | | | | |
| 3 / 31 (火) | | 太田一也九州大学島原地震火山観測所長の定年退官と長崎大学環境科学部助教授に着任する馬越孝道助手の送別会(九大島原地震火山観測所) | | 第52次警戒区域設定延長(～平成11年3月31日) | | | | |

1998年(平成10年)4月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|-----------------------------|---------------------------------|--|---|--|--|--------------------------------------|
| 4 / 1 (水) | | 太田一也前所長に代わり鈴木貞臣所長が着任(九大観測所) | | | | 観光トロッコ列車運行開始 すでに2万人超の予約 (島鉄) 新島原ターミナルビル供用 開始 | | |
| 4 / 3 (金) | | | | | 平成新山をデザインした「ふるさと切手(80円)」を全国25郵便局と九州管内全郵便局で5月20日から発売と発表(郵政省) | | | |
| 4 / 5 (日) | | | | | | | | 島原大変遭難者慰霊祭 |
| 4 / 7 (火) | | | | | | | 火砕流で犠牲となった佐原俊秀さんの長男幸祐君と鐘ヶ江利雄さんの三女利咲ちゃんが島原第一小学校などに入学 大野木場小学校の7人が仮設校舎で入学式 | |
| 4 / 9 (木) | | | | 中大野木場自治会公民館落成(町) | | | | オニオコゼ、ホシガレイの稚魚を放流(深江町) |
| 4 / 10 (金) | | 定期火山情報 第4号 | | | 所轄事業予算は前年度より8%減の約190億4,000万円と発表(建設省) | | | |
| 4 / 14 (火) | | | | 自衛隊災害派遣隊顕彰碑「博愛の塔」の下に募金芳名録などを収めたタイムカプセルを埋設(市、町) | | | | |
| 4 / 15 (水) | | | | | 金子知事、島原半島の島原市や深江町など1市6町の復興状況を視察開始(県) | | | |
| 4 / 16 (木) | | | | | 県総合防災訓練島原振興局管内連絡会議(県) | | | |
| 4 / 17 (金) | | | | 道の駅「みずなし本陣ふかえ」が建設省の道の駅に登録される(町) | | | | 6月26日の普賢岳山頂への登山道の一部解禁を前に危険箇所を調査(小浜署) |
| 4 / 19 (日) | | | | | | | 森岳まちづくりの会、心意気をアピールするために島原城こいのぼり300匹と武者のぼり150本を掲げる | 島原大変流死者供養法要 |
| 4 / 20 (月) | | | | 道の駅「みずなし本陣ふかえ」県庁で登録証交付式(町) | | | | |

1998年(平成10年)4月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|------------------------|---------------------------------|--|--|------------------------------------|-----------------------------|--|
| 4 / 21 (火) | | | | 島原市議会全員協議会、売 れ残った仁田団地の37区画 を買い取る方針を発表(市) 第16回九州学生駅伝対校選 手権大会が島原半島で11月 開催が有力となると発表 (市) | 公的支援法案参院へ提出さ れる | | | |
| 4 / 22 (水) | | | | | 島原沿岸海域の土地条件図 と地形図の2種類の改訂版 (1/25000)を発表。1792年 の眉山崩壊で島原湾にでき た「流れ山」の海底地形の範 囲と形状が確定(通産省国 土地院) | | | |
| 4 / 24 (金) | | | | | 北上木場町のおしが谷に治 山ダム2基の工事に着手 (県) 火山観光化基本計画を公表 総事業費は30億円(県) | | | |
| 4 / 26 (日) | | | | | 普賢岳登山道路の一線(国 見別荘ー紅葉茶屋ー普賢 岳)の警戒区域指定を解除 (県) | | | 妙見岳からの登山ルートが 7年5ヶ月ぶりに解除され 開山式(小浜町) |
| 4 / 27 (月) | | | | | 雲仙岳防災会議(県) | | | |
| 4 / 30 (木) | | | | 第3回町議会臨時会で被災 者用県営住宅「あぜつ木出地」 の買取りに同意(町) | 「緑のダイヤモンド計画」事 業で基本計画「雲仙天草可 立公園地域総合整備基本計 画」を決定(環境庁) 島原半島地域の9県施設の 耐震調査で8施設が震度6 の地震に備え補強が必要と 判明(県) | | 大野木場小学校児童、旧大 野木場小学校へ歓迎遠足 | |

1998年(平成10年)5月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|------------------------|---------------------------------|---|---|------------------------------------|-------------------------|---|
| 5 / 1 (金) | | | | | 雲仙普賢岳などを図中に取 めた「沿岸海域地形図」と「 沿岸海域土地条件図」の改 訂版を発行(通産省国土地 理院) | | | 島原大変遭難者慰霊祭 |
| 5 / 4 (月) | | | | | | | | 博多どんたくに不知火速も 参加して島原をアピール |
| 5 / 7 (木) | | | | | 雲仙地域総合整備基本計画 「緑のダイヤモンド計画」の 概要を発表(県) | | | |
| 5 / 11 (月) | | 定期火山情報 第5号 | | | | | | 島原商工会議所主催の経済 講演会「雲仙普賢岳災害が 与えた影響と地域復興に向 けての課題」を開催 |
| 5 / 13 (水) | | | | 島原市商工観光課、観光客 動態調査で宿泊客数は前年 比7.8%(19,000人)増の 261,450人と発表(市) 水無川流域一帯整備計画連 絡会議、水無川流域など10 箇所を視察(市、町) | 国道57号島原-深江間の交 通規制を14日から緩和と発 表(建設省) | | | |
| 5 / 14 (木) | | | | 災害危険箇所視察(市) 島原中心市街地街づくり推 進協議会(市) | | | | 宿泊客数は前年比9%減の 1,015,417人と発表(小浜町) |
| 5 / 15 (金) | | | | | 国道57号山側ルートの水無 川流域区間の通行止めを緩 和(建設省) 自然災害の被災者1世帯あ たり最高100万円を支給す る「被災者生活再建支援法」 が成立(国) | | | |
| 5 / 16 (土) | | | | | 湯江川流域で「治山の森」造 成記念植樹祭(県) | | | |
| 5 / 17 (日) | | | | | | | | 島原大変流死者供養祭 |
| 5 / 18 (月) | | | | | 県議会農林水産委員会、中 尾ダムと水無川復興状況を 視察(県) | | | |
| 5 / 19 (火) | | | | | | | | 火砕流で犠牲となったモー リス・クラフト夫妻の写真 遺作展と「雲仙普賢岳の四 季」展(東京)(~6月3日) 島原半島復興対策協議会と 島原天草架橋建設期成会 |

1998年(平成10年)5月

| 月 日 | 火山活動 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|------|------------------------|---------------------------------|---|---|-------------------------------------|--|---|
| 5 / 20 (水) | | | | | ふるさと切手「平成新山」の 発売(郵政省) | | | 「ふるさと切手」の原画作者 の写真家西川清人さんに初 刷りの切手が贈呈される。 また、「平成新山写真展」 (～29日) |
| 5 / 21 (木) | | | | 島原市議会全員協議会、「 復興アリーナ(仮称)」の基 本設計発表(市) | | | | |
| 5 / 22 (金) | | | | (財)深江町災害対策基金理 事会(町) | 管内危険箇所の現地調査 (長崎県島原振興局) | | | |
| 5 / 23 (土) | | | | | | | | 第11回島原水まつり |
| 5 / 25 (月) | | | | | | | | 島原半島農林業立国宣言事 業作業部会 |
| 5 / 26 (火) | | | | | 緊急時を想定した県総合防 災訓練(県) | | | |
| 5 / 28 (木) | | | | (財)島原市義援金基金定例 理事会、平成10年度事業計 画を承認(市) | 県地震等防災アセスメント 調査報告書を公表(県) | | 九州電力島原営業所、島原 花と緑のまちづくり実行委 員会に苗木と緑化樹を贈呈 | |
| 5 / 29 (金) | | | | | 水無川1号砂防ダムの無人 化施工技術が平成10年度の 土木学会賞技術賞を受賞 (建設省) (財)雲仙岳災害対策基金理 事会、総額25億400万円の 今年度事業予算(がまだす 支援へ2億円)を承認(県) | | | |
| 5 / 30 (土) | | | | | | | | 普賢岳災害7周年記念一朗 読と音楽の夕べ「みどりの ひびき」開催 |
| 5 / 31 (日) | | | | | 水無川1号砂防ダム右岸袖 部で「水無川グリーンライ ン植樹」で桜などを植樹 (建設省) | 「雲仙百年の森づくりの会」 苗木の苗床の草取り作業を 実施 | | |

1998年(平成10年)6月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|------------------------|---------------------------------|--------------------------------------|--|------------------------------------|--|---|
| 6 / 1 (月) | | | | 島原市内の7郵便局と災害時に相互協力に関する覚書を締結(市) | 土砂災害月間ちなみ街頭キャンペーン実施(建設省)千本木地区の中尾川流域に「防災の森」造成の記念植樹(県) | | | |
| 6 / 2 (火) | | | | 島原防災会議及び水防協議会開催(市) | 県議会文教委員会、旧大野木場小学校などの被災地を視察(県) | | | |
| 6 / 3 (水) | 火砕流から丸7年 | | | 仁田団地第一公園内に献花台を設置(市) 午後4時8分市民黙祷(市) | 長崎県庁で午後4時8分黙祷(県) | | 北上木場の「定点」で遺族が供養 島原第四小学校で「6.3いのりの日」集会 島原第五小学校で「災害体験の継承」活動 | 長崎大学工学部高橋和雄教授、島原市民を対象に行ったアンケート調査の結果を発表 |
| 6 / 4 (木) | | | | | 「国際消防防災展'98in東京」に「噴火災害の脅威と復興」をテーマに参加(県) (~7日) | | | KTNテレビ長崎、北上木場の「定点」に卒塔婆を立てて火砕流の犠牲者を供養 島原半島観光連盟、総会で今年度の事業計画を決める |
| 6 / 6 (土) | | | | | | | | 「第7回雲仙集會 市民とマスコミの対話集會—私たちの思い届け—明日のために。阪神・淡路大震災、沖縄そして島原から」のテーマで話し合う。150名参加 |
| 6 / 9 (火) | | | | | 島原地域防災連絡会議、危険区域の砂防工事の進捗状況を報告(長崎県島原振興局) | | | ふるさとの切手「平成新山」発売記念資料展示会 (~14日) |
| 6 / 10 (水) | | 定期火山情報 第6号 | | | | | | |
| 6 / 11 (木) | | | | | | | | 九州大学展示会「九州大学の研究—過去・現在・未来—雲仙普賢岳の噴火とその背景」を福岡市で開催 (~29日) |
| 6 / 13 (土) | | | | 大野木場小学校再建場所問題で町側が第3候補地を提示(町) | | | | |
| 6 / 14 (日) | | | | | | | | 「いのりの日」災害体験作文コンクール優秀作品発表会一般の部で佐原次子さんが最優秀賞に選ばれる |
| 6 / 15 (月) | | | | 島原市中心市街地街づくり推進協議会総会(市) | | | | |
| 6 / 17 (水) | | | | 深江町防災連絡会議(町) | 総額873億円の補正予算の概要を発表(建設省) | | | 島原農林業立国宣言事業推進委員会、本年度の事業計画を決定 |

1998年(平成10年)6月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳観測所 九大観測所 予知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|--|---------------------------------|-------------------------------------|--------------|--|-------------------------|---|
| 6 / 18 (木) | | | | 安中土地区画整理委員会 (市) | | | | |
| 6 / 20 (土) | | | | | | | | 島原市の中央公園第一期工 事完了記念に「湧水(みず)と 遊ぼう」を開催 |
| 6 / 21 (日) | | 太田一也前九州大学島原地 震火山観測所長、「雲仙普 賢岳の噴火とその背景」で 講演 | | 横田町長、第3候補地で大 野木場小学校の再建を示す (町) | | 前夜からの雨で国道57号の 水無川で土石流発生の恐れ により0:10から全面通行 止め | | |
| 6 / 28 (日) | | | | | | | | 島原温泉観光宣伝隊の関東 東北、関西班が出発 (～7月4日) |
| 6 / 30 (火) | | | | 杉谷公民館の移転建設工事 に着工。(市) | | | | |

1998年(平成10年)7月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|------------------------|---------------------------------|--|--|------------------------------------|--|---|
| 7 / 1 (木) | | | | 第1回高等看護学校の設置 事業設立準備委員会(市) | | | | |
| 7 / 4 (土) | | | | | 中尾川横断橋六ツ木橋着工 (建設省) | | | |
| 7 / 9 (木) | | | | | | | | 九州地区土地開発公社等連 絡協議会総会で、公共事業 用地の代替地提供者に対す る特別免除額の引上げを大 蔵省等に要望することを決 定 |
| 7 / 10 (金) | | 定期火山情報 第7号 | | | | | | |
| 7 / 13 (月) | | | | 大野木場小学校再建場所に 第3候補地を提示(町) | | | | |
| 7 / 16 (木) | | | | | | | | 平成10年度全国広域行政圏 事務局長会議開催。「雲仙 普賢岳災害とその対応」を テーマにしたパネルディス カッション |
| 7 / 20 (月) | | | | | | | 島原第一中学校3年の親子 水無川周辺から赤松谷まで の往復22kmを歩く「モーニ ングウォーク」を実施 | |
| 7 / 24 (金) | | | | (財)島原市義援金基金理事 会、97年度決算で次年度繰 越金は約12億2,000万円と 発表(市) | | | | |
| 7 / 27 (月) | | | | 深江町災害対策基金理事会 (町) | 雲仙岳・眉山地域治山対策 検討委員会、ダム計画など を協議(建設省) | | | |
| 7 / 28 (水) | | | | | 水無川流域一帯整備計画連 絡会(県) 同会議一行、水無川上流の 赤松谷を現地調査(県) | | | |

1998年(平成10年)8月

| 月 日 | 火山活動 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|------|------------------------|---------------------------------|---|--------------|---|-------------------------|---|
| 8 / 1 (土) | | | | | | | | 復興祈念一竹中真ジャズビ アノリサイトル |
| 8 / 2 (日) | | | | | | | | 島原市商店連盟、「歴史散 歩一湧水めぐり」を開催 |
| 8 / 3 (月) | | | | | | | | 第14回九州まちづくりシン ポジウム「新しいまちづく りで再生目指す島原」で、 作家市川森一氏の基調講演 やパネルディスカッション 島原温泉観光宣伝隊、北九 州市へ(～6日) |
| 8 / 5 (水) | | | | | | | | 島原観光連盟、福岡市で 「島原半島観光の夕べ」を開 催 |
| 8 / 8 (土) | | | | | | 道の日イベントを開催 (建設省) | | 噴火災害復興祈念島原市長 杯長崎県少年サッカー交流 大会(～10日) |
| 8 / 10 (月) | | 定期火山情報 第8号 | | | | | | |
| 8 / 11 (火) | | | | | | 島原一大牟田航路高速旅客 船「島鉄1号」就航(島鉄) | | 女優の星由里子さん、テレ ビのロケでトロッコ列車に 乗車 |
| 8 / 17 (月) | | | | | | 砂防に関する分野を志す 大学生を対象に「キャンプ 砂防in雲仙'98」を開講 (建設省)(～28日) | | |
| 8 / 20 (木) | | | | 旧大野木場小学校被災校舎 のライトアップ始まる(町) (～22日) | | | | |
| 8 / 22 (土) | | | | | | | | 鹿児島大学合唱団OB、「 楠声会合唱団」によるチャ リティコンサート |
| 8 / 23 (土) | | | | 第2回「深江ろくべえどん 祭り」(町) | | | | 復興への激励と観光交流に 役立てようと「復興島原市 体感ツアー “海を渡る飾り 馬”」が行われる |
| 8 / 26 (水) | | | | 道の駅「みずなし本陣ふか え」の起工式(市、町) | | | | |
| 8 / 27 (木) | | | | | | | | 第6回島原温泉ガマダス花 火大会に約24,000人の人出 明るい観光を考える会議 |

1998年(平成10年)8月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|------------------------|---------------------------------|---|--------------|------------------------------------|-------------------------|--------------------------|
| 8 / 28 (金) | | | | | | | | 県防災協議会総会 |
| 8 / 29 (土) | | | | 大野木場小学校再建用地問題で第3候補地で町民との話し合い。再建へ向け前進(町) | | | | 第3回「がまだせコンサートinしまばら」開催 |
| 8 / 31 (月) | | | | 仁田出地の35区画が売れ残り一般向けに分譲を行うことに決定(市) | | | | |

1998年(平成10年)9月

| 月 日 | 火山活動 | 雲仙岳観測所 九大観測所 予知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|------|------------------------|---------------------------------|---|--|------------------------------------|-------------------------------|---|
| 9 / 1 (火) | | | | オコゼの稚魚を放流(町) | | | | 平成新山のエコーはがきが長崎・熊本両県の各郵便局で発売開始 島原温泉観光協会、南九州へ観光宣伝隊を派遣(～6日) |
| 9 / 3 (木) | | | | | | | 葉タバコの買入れ開始 | |
| 9 / 5 (土) | | | | | 雲仙普賢岳フェスティバル実行委員会発足(建設省) | | | 響け普賢の山コンサート(市) |
| 9 / 6 (日) | | | | | | | | さつき会発足30周年普賢岳噴火終息記念「島原がまだす大会」開催(市) |
| 9 / 8 (火) | | | | | 県議会離島半島地域振興特別委員会、深江町の「道の駅」を視察(県) | | | 長崎大学附属中学校1年生56人、旧大野木場小学校被災校舎を見学 |
| 9 / 9 (水) | | | | 市議会で吉岡市長、三会海岸埋立て事業を継続する意向で県などと協議中であることを表明(市) | | | | |
| 9 / 10 (木) | | 定期火山情報 第9号 | | | 旧大野木場小学校被災校舎現地保存で合意(建設省、県、町) | | | |
| 9 / 12 (土) | | | | | | | 雲仙百年の森づくり会、2回目の草取り作業を水無川上流で行う | |
| 9 / 14 (月) | | | | | | | | 子供と湧水・写真コンクール入賞者表彰式(市) |
| 9 / 15 (火) | | | | | 水無川2号砂防ダム越流部第二期工事に着工(建設省) 旧大野木場小学校火砕流被災校舎保存工事に着工に向け「大野木場メモリアルデー'98」を開催(建設省) | | | |
| 9 / 21 (月) | | | | 横田町長、町議会定例会で旧大野木場小学校被災校舎の現地保存・管理の費用で見学費徴収の検討を明示。また、再建場所は第3候補地に動く(町) 道の駅「みずなし本陣ふかえ」の増資問題で町は一切出さないと表明(町) | 雲仙復興対策会議(県) | | | |
| 9 / 25 (金) | | | | | 千本木1号砂防ダム本体部着工(建設省) | | | 九州の日赤8県支部、M7の地震発生時の想定で合同救援訓練 |

1998年(平成10年)9月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|------------------------|---------------------------------|------------|--------------|------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------|
| 9 / 27 (日) | | | | | | | | 湧水をテーマにした「しまばら湧水館(旧三村邸)」がオープン |
| 9 / 30 (水) | | | | | | | 緑の募金を活用して被災地の緑化を図る「再生の森」づくり実行委員会総会 | |

1998年(平成10年)10月

| 月 日 | 火山活動 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 N.T.T・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の山岡村・その他 |
|----------------------|------|------------------------|---------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------|---|
| 10 / 2 (金) | | | | 安徳海岸埋立地に島原勤労者福祉総合センター着工(市) | | | | |
| 10 / 3 (土) | | | | | | | | 国見高校サッカー部監督小嶺忠敏さんの講演会「頑張れ島原!!教育・指導的立場から見たふるさとの活性化について」(市) |
| 10 / 5 (月) | | | | | | | 九州薬草趣味の会連絡協議会、中尾川上流砂防堰堤右岸で記念植樹 | |
| 10 / 6 (火) | | | | 東日本の豪雨災害の被災10市町村に義援金600万円を送る(市) | | | 雲仙普賢岳みどりの復興連絡会発足 | 1991年6月3日の火砕流で死亡したタクシー運転手の遺族とタクシー会社が和解 |
| 10 / 12 (月) | | 定期火山情報 第10号 | | | 島原深江道路側道建設説明会(建設省) | | | |
| 10 / 13 (火) | | | | | 県議会改革21行政視察団ら旧大野木場小学校などを視察(県) | | | |
| 10 / 15 (木) | | | | 道の駅「みずなし木陣ふかえ」への参入業者を対象とした説明会(町) | | | | |
| 10 / 18 (日) | | | | | | | | しまばら温泉不知火まつり |
| 10 / 19 (月) | | | | | | | 県立小浜高校3年生普賢岳でゴミ拾い | |
| 10 / 21 (水) | | | | 市議会全員協議会、「島原復興アリーナ」の実施設計を示す(市) | | | | |
| 10 / 22 (木) | | | | | 旧大野木場小学校保存にか かる覚書締結(建設省、県、 町) | | | 第1回長崎・小浜雲仙・島原観光ルート連絡会(長崎市) |
| 10 / 23 (金) | | | | 白山地区市長を囲む懇談会(市) | | | | |
| 10 / 24 (土) | | | | 第5回「島原半島ツアー マーチ」(~25日) | | | | |
| 10 / 27 (火) | | | | 雲丘地区市長を囲む懇談会(市) | | | | |

1998年(平成10年)10月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 高崎市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|----------------------|-------------|------------------------|---------------------------------|---|--------------|------------------------------------|---|--------------------------|
| 10 / 28 (水) | | | | 大野木場小学校再建用地問題で第3候補地で住民側と基本合意。本年度中にも着工したい意向を表明(町) 霊丘地区市長を囲む懇談会(市) | | | 島原第四小学校の児童ら、中尾川治山ダム右岸袖部の「防災の森」で除草作業 | |
| 10 / 29 (木) | | | | 三合地区市長を囲む懇談会(市) | | | | |
| 10 / 30 (金) | | | | 平成11年度版観光絵ハガキ 絵画コンクール表彰式(市) | | | 「緑の募金」の活用による再生の森づくり実行委員会の設立総会。来年2月14日に植樹祭の開催を決定 | |

1998年(平成10年)11月

| 月 日 | 火山活動 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|----------------------|---------|------------------------|---------------------------------|--|--|---|--|--|
| 11 / 1 (日) | | | | 大野木場小学校再建用地の 合意を受けて、C候補地の 住民らが第3候補地を視察 (町) | | | | |
| 11 / 5 (木) | | | 陸上自衛隊第16普通科連隊 島原半島地域空中偵察訓練 | 自治体防災情報ネットワー ク連絡会(市)(～6日) | | | | |
| 11 / 6 (金) | | | | 杉谷地区市長を囲む懇談会 (市) | | | | |
| 11 / 8 (日) | | | | 雲仙普賢岳の保全管理を考 える「がまだす計画推進国 際ワークショップ」(市) | | | | 「がまだす計画推進国際ワ ークショップ」が開催され、 ハワイ大学名誉教授ミュー ラー・ドンボア博士が「ハ ワイにおける火山植生の保 全管理と活用」を講演の後、 太田一也氏ら4人による緑 の再生や火山観光化などに ついての意見発表 |
| 11 / 9 (月) | | | | 安中地区市長を囲む懇談会 (市) | | | | |
| 11 / 10 (火) | | 定期火山情報 第11号 | | | | | | 国道57号線整備期成会、建 設省九州地方建設局へ要望 地域高規格道路「島原道路」 島原工区建設期成会、雲仙 復興工事事務所と長崎工事 事務所へ要望 |
| 11 / 10 (火) | | | | | | | | 島原半島観光説明会と観光 の夕べを岡山市で開催 |
| 11 / 15 (日) | | | | 壱丘地区住民を対象に眉山 崩壊に備えた避難訓練(市) | 水無川導流堤を上会場に「 雲仙普賢岳フェスティバル '98」を開催(建設省) | 観光トロッコ列車の運行終 了。乗客は30,132人で昨年 を約14,000人下回る(島鉄) | | |
| 11 / 16 (月) | | | | 大野木場小学校再建場所は 第3候補地に正式決定(町) | | | | |
| 11 / 17 (火) | 噴火から丸8年 | | | 「普賢岳の緑の復元を目指 して」をテーマに「島原防災 の日」シンポジウムを開催 (市) | | | | 一般国道57号線整備期成会 など東京で陳情(～18日) |
| 11 / 20 (金) | | | | 吉岡市長と横田町長が水無 川流域に新たな治山ダムの 建設を求め金子知事に陳情 (市) | 大手川河川改修砂防事業完 工(県、市) | | | |
| 11 / 22 (日) | | | | | | | 雲仙百年の森づくりの会、 田代原キャンプ場周辺で種 子拾いを実施 | |

1998年(平成10年)11月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 N T T・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|----------------------|-------------|------------------------|---------------------------------|---|--------------|--------------------------------------|-------------------------|--|
| 11 / 24 (火) | | | | 旧大野木場小学校被災校舎の保存工事開始。平成11年3月完成予定(町) 大野木場小学校再建用地の問題で横田町長による合意に至った経緯の議員説明会と議会の承認(町) | | | | |
| 11 / 25 (水) | | | | | | | | 島原半島農林業立国宣言事業の一環で「がまだすアグリ王国」生産者大会 |
| 11 / 26 (木) | | | | 災害復興課の廃止を12月定例会市議会に提案する方針と発表(ii) | | | | 「島原半島みち・みらいフォーラム」開催。「島原半島再生への道しるべを求めて」の題でパネルディスカッション |
| 11 / 27 (金) | | | | 第15回「98がまだす島原産業まつり(市) | | | | 地域高規格道路「島原道路」島原市工区建設促進期成会建設省九州地方建設局へ要望 |
| 11 / 28 (土) | | | | | | | | 島原・北松浦・西彼杵の半島の魅力を探る「半島ふるさと再発見フォーラムin島原」開催(～29日) 島原城に島原ファンタジアのイルミネーションの試験点灯(～1月7日) |
| 11 / 29 (日) | | | | | | | | 第16回九州学生駅伝対抗選手権大会「島原・雲仙学生駅伝」を初めて島原市で開催 |
| 11 / 30 (月) | | | | 市議会島原復興特別委員会三会海岸埋立事業の今後の見通しについて、平成12年3月までには発表したいとする意向を示す(市) | | | | |

| 月 日 | 火山活動 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|----------------------|------|------------------------|---------------------------------|---|---|------------------------------------|----------------------------|--|
| 12 / 1 (火) | | | | | | | | '98島原ファンタジアの一環として島原地区イルミネーション点灯(～1月7日) |
| 12 / 2 (水) | | | | | | | | 災害復旧促進全国大会(東京) |
| 12 / 3 (木) | | | | 吉岡市長、島原第四小学校移転用地交渉問題で、木買収2人のうち1人と契約成立し、年明けにも造成工事に着工と表明(市) | | | | |
| 12 / 5 (土) | | | | | | | | '98島原ファンタジアイルミネーション山車パレード「長崎県美しいふるさと推進大会」を島原市で開催 |
| 12 / 8 (火) | | | | | 自然環境保全審議会、普賢岳山腹の景観保全を強化する雲仙天草国立公園の区域変更を環境庁に答申 | | | |
| 12 / 10 (木) | | 定期火山情報 第12号 | | | | | | |
| 12 / 13 (日) | | | | | | | | 第11回名水の里島原ジョギングフェスティバルに約260人が参加 |
| 12 / 17 (木) | | | | 町議会定例会、大野木場小学校再建用地取得議案を地権者の同意を得て可決(町) | | | | |
| 12 / 18 (金) | | | | | 第1回雲仙普賢岳砂防指定地利活用整備計画検討委員会(建設省) 島原道路(諫早市-深江町約50km)着工を前提とした整備区間に格上げ(建設省) | | | |
| 12 / 19 (土) | | | | | | | | '98島原ファンタジアキャッスルステージに約8,000人の参加(島原市) |
| 12 / 21 (月) | | | | | | | | 島原半島広域観光ルート形成魅力アップ計画策定北部検討部会 |
| 12 / 22 (火) | | | | 市議会全員協議会、売れ残った仁田同地の34区画を一般分譲すると発表(市) | 1999年度予算大蔵省原案の内示で島原復興に手厚い配分となる(県) | | | |
| 12 / 24 (木) | | | | 町議会「雲仙普賢岳災害復興対策特別委員会」(町) | 1999年度政府予算の復活折衝で「緑のダイヤモンド計画」が全国枠として認められたと発表(県) | | | |

1999（平成 11）年
1 月～12 月

1999年(平成11年)1月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 N.T.T・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|---|---------------------------------|--|---|--------------------------------------|---|---|
| 1 / 1 (金) | | | | | | | 安中地区まちづくり推進協 議会発足 | |
| 1 / 7 (木) | | | | 安中新切地区の被災農地整 備事業での散在していた宅 地の集積化本決まり(市) | 「雲仙岳災害記念館(仮称) 」建設に県民の意見を反映さ せるため、2月に同整備検 討委員会を設置する方針を 明示(県) | | | |
| 1 / 11 (J) | | 定期火山情報 第1号 | | | | | | |
| 1 / 12 (火) | | | | 仁田団地の34区画の一般分 譲開始(市)(~2月10日) | | | 島原第四小学校の移転造成 工事着工 | |
| 1 / 13 (水) | | | | | 「地震動予測地図」作成を 発表(国) | | | 島原半島農林業立国宣言事 業推進幹事会、プラザ大阪 出店などの事業展開につい て話し合う |
| 1 / 14 (木) | | | | | | | | 島原半島観光連盟魅力アッ プ事業島原市計画審議会 |
| 1 / 15 (金) | | | | | | | 島原花卉(株)組合、白菊500 本を阪神・淡路大震災追悼 式の供花として神戸市へ送 る | |
| 1 / 17 (日) | | | | | | | 島原半島太鼓連盟(5団体) 「鎮魂と希望の集い」を開き 14:00から日暮れまで激 励の太鼓演奏 | |
| 1 / 20 (水) | | | | 宇土町に移転した杉谷公民 館落成(市) | | | | 島原半島農林業立国推進委 員会、県外向けガイドブッ ク「有感!がまだアグリ王 国ガイドマップ長崎県島原 半島」を発行 |
| 1 / 21 (木) | | | | | 雲仙岳防災会議協議会総会 | | | |
| 1 / 22 (金) | | | | | | | | 安心・安全まちづくり女性 フォーラムinながさき「坂 の長崎・佐世保・復興の島 原のくらしとまちづくりを 考える」を佐世保市で開催 (~23日) |
| 1 / 23 (土) | | 現在の4段階の火山情報を 活動レベルに合わせて数字 と色で5段階に区分するこ とを固め、4月から普賢岳 などで試行することを発表 (予知速) | | | | | | |

1999年(平成11年)1月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の山間村・その他 |
|---------------------|-------------|------------------------|---------------------------------|------------|--------------|------------------------------------|---|--|
| 1 / 25 (月) | | | | | | | | 島原半島農林業立国推進委 員会、「ふるさとプラザ大 阪」について話し合う |
| 1 / 28 (木) | | | | | | | 島原工業高校の今春の卒業 生約180名が千本木砂防ダ ム右岸袖部でヤマボウシな ど250本を卒業記念植樹 | |
| 1 / 29 (金) | | | | | | | | 「ふるさとプラザ大阪」への 「がまだすアグリ王国」の特 産出展の出発式 |
| 1 / 31 (日) | | | | | | | | 雲仙公園ビジターセンター 来場者が130万人を突破 (小浜町) |

1999年(平成11年)2月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳観候所 九大観測所 予知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|--------------------------------------|---------------------------------|--|--|------------------------------------|---|---|
| 2 / 1 (月) | | | | | 水無川2号砂防ダム副ダム 工で無人化施工機械による コンクリートブロック型枠 技術を採用(建設省) | | 葉タバコ生産組合「播種祭」 | 島原ミニコミ誌「しまばら 通信」100号 |
| 2 / 2 (火) | | 活火山活動度を5段階に分 けるなどを気象庁に提言 (予知連) | | | | | | 1市16町で建国した「がま だすアグリ王国」、大坂市 で特産品展示即売会を開催 (～28日) |
| 2 / 3 (水) | | | | 土石流労働災害防止現場責 任者研修会 | | | | |
| 2 / 4 (木) | | | | | 雲仙岳噴火災害農地復旧・ 復興事業竣工と記念碑の除 幕(県) | | | |
| 2 / 5 (金) | | | | | 雲仙岳災害記念館(仮称)整 備検討委員会委員に公募の 草野久恵さん他2名を選出 (県) | | | |
| 2 / 7 (日) | | | | 島原深江道路開通記念「が まだすマラソン大会」に約 2,500人が参加(市、町) | | | | |
| 2 / 9 (火) | | | | 土石流労働災害防止施工担 当者研修会 | | | | |
| 2 / 10 (水) | | | | 仁田住宅団地の一部分譲申 込込メ切(市) | 第1回雲仙岳災害記念館(仮 称)整備検討委員会(県) | | 千本木1号砂防ダム右岸袖 部で島原半島内9高校の今 春卒業生518名による「卒業 の森」記念植樹 | |
| 2 / 11 (木) | | 定期火山情報 第2号 | | | | | | |
| 2 / 13 (土) | | | | | | | | ガマダス島原半島観光特別 宣伝隊(大坂市) |
| 2 / 14 (日) | | | | | | | 安徳海岸埋立地の島原市「 再生の森」づくり植樹祭に 約700人が参加して苗木4,3 20本を植樹 | |
| 2 / 18 (木) | | | | | 中尾川砂防工事が土地収用 法の対象事業に建設大臣よ り認定される(建設省) | | | |
| 2 / 20 (土) | | | | | 水無川流域を高架橋で股ぐ 一般国道57号島原深江道路 (4.6km)が全線開通 (建設省) | | | |
| 2 / 21 (日) | | | | | | | | 島原半島観光連盟、熊本市 で街頭宣伝 |

1999年(平成11年)2月

| 月 日 | 火山活動 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 N T T・島原鉄道) | 住 氏 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|------|------------------------|---------------------------------|---|--|--------------------------------------|-------------------------|--|
| 2 / 22 (月) | | | | | 国道57号水無川橋を3月16 日17:00より一般供用と発 表(建設省) | | | |
| 2 / 23 (火) | | | | 市議会全員協議会で吉岡市 長、三倉海岸の埋立て事業 の休止を表明(市) | | | | |
| 2 / 26 (金) | | | | | | | | 島原半島観光連盟、観光情 報「がまだす島原半島」の第 9弾を発行 N I Bの特別番組で「ボル ケーノフゲン3302-火山と 向き合う人々」を放送 |
| 2 / 28 (日) | | | | 火砕流で焼失した深江町消 防団第8分団の詰所完成 (町) | | | | |

1999年(平成11年)3月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|------------------------|---------------------------------|--|--|------------------------------------|--|---|
| 3 / 1 (月) | | | | | | | | 第2回島原半島広域観光ル ート形成魅力アップ計画策 定事業北部検討部会 |
| 3 / 2 (火) | | | | | 雲仙岳・眉山地域治山対策 検討委員会、赤松川流域に 治山ダム4基を建設と発表 (建設省、県) | | | 関東有馬会、千本木地区の 治山ダムでフクハゼなどを 記念植樹 |
| 3 / 3 (水) | | | | | | | | 島原半島観光連盟、NTT 諫早などの島原半島観光P R用CD-ROM「島原半 島TRAVEL-ROM」が完成 |
| 3 / 6 (土) | | | | | | | | 福知山市で「島原はいま展」 と「島原うまか市」を開催 (～7日) |
| 3 / 10 (水) | | 定期火山情報 第3号 | | 町議会定例会で大野木場小 学校建設用地を議決(町) | 県議会総務委員会、「島原 半島観光ルート形成事業」 に関連して「魅力アップ計 画」策定を表明(県) | | | |
| 3 / 12 (金) | | | | | | | 深江町の小・中学校卒業予 定者代表、「ふかえ桜パー ク」に記念植樹 | |
| 3 / 15 (月) | | | | | 第3回がまだ計画推進委 員会、27重点プロジェクト 事業などの進捗状況(85% 着手、16%終了)を検討(県) 第2回雲仙岳災害記念館 (仮称)整備検討委員会、基 本設計の素案を明示(県) | | | 慶應義塾中等部3年生、修 学旅行で募金した42,500円 を島原市と深江町に半額づ つ寄付 |
| 3 / 16 (火) | | | | 雲仙岳警戒区域等の調整会 議、警戒区域の平成12年3 月31日までの延長と霧山道 1.5kmを4月18日に解除す ると発表(市) 大野木場小学校建設用地工 事入札(町) | 一般国道57号「水無大橋」開 通(建設省) | | | 仁田峠から紅葉茶屋までの 登山道を4月18日10:00に 解除を決定(小浜町) |
| 3 / 17 (水) | | | | | 第2回雲仙普賢岳砂防指定 地活用整備計画検討委員 会、農業研修所跡地保存の 検討を決める(建設省) | | 安中地区まちづくり推進協 議会、建設省委員会で「わ れん川整備計画案」を発表 | |
| 3 / 18 (木) | | | | | | | 大野木場小学校仮設校舎で 最後の15人の卒業式 | |
| 3 / 19 (金) | | | | | 平成11年度の事業予算総額 は前年比13%減少の166億 700万円(建設省) | | | |
| 3 / 21 (日) | | | | | | | 電力総連森づくり実行委員 会の第2期植樹祭 | |

1999年(平成11年)3月

| 月 日 | 火山活動 | 雲仙岳観測所 九大観測所 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|------|------------------------|---------------------------------|---|------------------------|------------------------------------|--|---|
| 3 / 24 (水) | | | | 大野木場小学校建設工事入 札(町) | | | | |
| 3 / 25 (木) | | | | 水無大橋命名者表彰式(町) | 代替県道千本木島原港線着 工(建設省) | | | 1991年6月3日の大礫流で 死亡したタクシー運転手遺 族の控訴棄却される |
| 3 / 26 (金) | | | | | 竣工記念フォーラム (建設省) | | | |
| 3 / 27 (土) | | | | 道の駅「みずなし木陣ふか え」と「土石流被災家屋保存 公園」完成。竣工式 (市、町) | | | | |
| 3 / 28 (日) | | | | | | | 安中地区まちづくり推進協 議会、水無川下流導流堤で の「ふるさとの森づくり」植 樹祭で約1,500本を植樹 | 島原市に湧水を活かした中 央公園完成 |
| 3 / 29 (月) | | | | 第3回災害対策基金理事会 (町) | | | | |
| 3 / 30 (火) | | | | 臨時協議会、大野木場小学 校新築工事の契約案件を主 に一般会計補正予算など6 議案を上程(町) | | | | |
| 3 / 31 (水) | | | | 機構改革による統廃合のた め災害復興課の看板取外し 式。被災者対策は新設の災 害対策課が、復興関係は企 画課が引き継ぐ(市) 第53次警戒区域設定延長 (～平成12年3月31日) | | | 南北千本木町内会解散 | |

1999年(平成11年)4月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|------------------------|---------------------------------|---|---|------------------------------------|--|---|
| 4 / 1 (木) | | | | 道の駅「みずなし本陣ふかえ」(土石流被災家屋保存公園)オープン(町) | | 観光トロッコ列車運行開始(島鉄) | 大野木場小学校仮設校舎3月末で使用期限切れのため延床面積を縮小して仮校舎として使用となる | |
| 4 / 2 (金) | | | | 上大野木場自治会公民館落成(町) | | | | |
| 4 / 4 (日) | | | | オープン後初の日曜日に道の駅「みずなし本陣ふかえ」に約17,000人の入場者(町) | | | | 眉山大変遭難者慰霊祭 |
| 4 / 6 (火) | | | | 大野木場小学校新校舎起工(町) | | | | |
| 4 / 7 (水) | | | | | | | 大野木場小学校仮設校舎で最後の8人の入学式 | |
| 4 / 12 (月) | | 定期火山情報 第4号 | | | 国土庁「雲仙普賢岳災害住宅再建等」の委員現地視察(国土庁)(~13日) | | | |
| 4 / 14 (水) | | | | 安徳海岸埋立地で「島原復興アリーナ(仮称)」起工式(市) | | | | 島原地区酒類業総協会、復興地酒キャンペーン「山に緑を!」で水無川1号砂防ダム左岸袖部でソメイヨシノなどの苗木300本を植樹 |
| 4 / 16 (金) | | | | | 「雲仙岳災害記念館(仮称)」の基本設計を発表(2000年度開館予定)(県) 砂防事業用土地の強制収用申請中の北安徳町の宅地を県収用委員会が現地審理(県) | | | |
| 4 / 18 (日) | | | | | | | | 雲仙岳登山道「あざみ谷ルート(1.5km)」を約8年半ぶりに解除(小浜町) 島原大変流死者供養法要 |
| 4 / 25 (日) | | | | 横田町長3選(町) | | | 島原市安中地区住民体育祭 | 森岳まちづくりの会、島原城に60匹の鯉のぼりと150本の武者のぼりをあげる |
| 4 / 26 (月) | | | | 陸上自衛隊第16普通科連隊に感謝状贈呈(市) | | | | |
| 4 / 27 (火) | | | | | | | | 清水寺森清範貫主、道の駅「みずなし本陣ふかえ」で火砕流犠牲者の供養と説法(町) |
| 4 / 28 (水) | | | | 平成10年度の観光客動態調査で「入込み客数」は162万5,000人で、前年比3.6%の増加と発表(市) | | | | |

1999年(平成11年)5月

| 月 日 | 火山活動 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 氏 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|------------------|------|------------------------|---------------------------------|---|---|------------------------------------|--|--|
| 5 / 10 (月) | 土石流 | 定期火山情報 第5号 | | | | | | 島原半島農林業立国宣言推 進委員会 |
| 5 / 12 (水) | | | | 道の駅「みずなし本陣ふか え」修学旅行生などで賑わう (町) | | | | 島原半島広域ルート形成魅 力アップ計画策定事業合同 検討会議 |
| 5 / 13 (木) | | | | 梅雨期を前に災害危険箇所 を現地調査(市) | | | | |
| 5 / 14 (金) | | | | 1998年の観光客動態調査前 年とほぼ同じ261,300人と 発表(市) | | | | 有明海漁業環境調査報告会 (市) 水と緑の子供スケッチ大会 の作品展示会(市)(~16日) 1998年の観光客動態調査で 小浜町は前年比5.2%減の 301,000人、雲仙は2.8%減 の678,000人と発表 |
| 5 / 16 (日) | | | | | | | | 島原半島振興対策協議会及 び島原大草架橋建設促進期 成会総会 |
| 5 / 19 (水) | | | | (財)島原市義援金基金理事 会、予算総額約3億5,500 万円の今年度事業計画を承 認(市) | 水無川おしが谷地区に治山 ダム2基完工(県) | | | |
| 5 / 20 (木) | | | | | | | | 高知県吾北村消防団、深江 町を視察 |
| 5 / 21 (金) | | | | | | | | 第1回島原半島農林業立国 推進委員会「ふるさとプラ ザ東京」への出店などの事 業計画を決定 |
| 5 / 23 (日) | | | | | | | | がまだすアグリ王国の親善 大使クイーンアグリとプリ ンセスアグリの選彰式とイ メージソング発表会 |
| 5 / 25 (火) | | | | | 長崎県島原振興局や林野庁 森林管理署などと杉防・治 山事業の進捗状況を視察 (建設省) | | 九州電力(株)苗木・緑化樹 を島原花と緑の街づくり実 行委員会に贈呈 | |
| 5 / 26 (水) | | | | | 防災機関の防災担当者と管 内の危険箇所を現地調査 (長崎県島原振興局) 長崎県総合防災訓練(県) | | | |
| 5 / 27 (木) | | | | | | | | 島原半島観光連盟、観光P R用に平成新山フォトコン テスト入賞作品の「平成新 山絵はがき」を発行 |
| 5 / 28 (金) | | | | (財)深江町災害対策基金理 事会(町) | | | | がまだすアグリ王国事業の 「ふるさとプラザ東京」への 出発式 |

1999年(平成11年)5月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|------------------------|---------------------------------|------------|---|------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------|
| 5 / 31 (月) | | | | | (財)雲仙岳災害対策基金理事 事会、予算総額約26億円(前 年比3.9%増)の今年度予算 と事業計画を承認(県) 県防災会議、県地域防災計画 の修正や新たに震災対策策 編などを盛り込む(県) | | 島原鉄道の松尾英三社長引 退を表明。後任には池山剛 氏が内定 | |

| 月 日 | 火山活動 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 | |
|---------------------|------|------------------------|---------------------------------|---|---|------------------------------------|---|---|--|
| 6 / 2 (水) | | | | 島原市防災会議及び水防協 議会で、市地域防災計画を 修正。中尾川の土石流危険 区域を2.5km延長し、さら に火山堆積物にはなお警戒 が必要との見解を示す(市) | | | | | |
| 6 / 3 (木) | | | | 仁田田地の雲仙普賢岳噴火 災害犠牲者追悼之碑前に献 花所を設置(市) 午後4時8分犠牲者慰霊の 黙祷(市) 道の駅「みずなし本陣ふか え」でも修学旅行生らが黙 祷(町) | 午後4時8分犠牲者慰霊の 黙祷(県) | | 北上木場農業研修所跡地で 犠牲者を追悼 島原第三中学校で避難訓練 と追悼の会 島原第四、第五小学校で「 6.3いのりの日」集会 島原第五小学校の空き教室 を利用した「災害資料展示 室」の開室式 本光寺で火砕流犠牲者の報 道関係者の追悼法要 | 「がまだすアグリ王国新鮮 市場」開催(東京)(～29日) | |
| 6 / 6 (日) | | | | 「いのりの日」の一環として 市主催の水無川1号ダムや 被災地を巡るバスツアーの 全参加者、北上木場農業研 修所跡地に慰霊の支柱を立て る(市) | | | | 火砕流犠牲者の鎮魂と復興 祈念の深江人鼓保存会主催 の「水無月祭」 | |
| 6 / 7 (月) | | | | 島原第四小学校新校舎の入 礼会(10共同体)が市の予定 価格を超え不調に終る(市) | 出水期における情報伝達演 習及び工事現場からの避難 訓練と工事現場の合同安全 パトロール | | | | |
| 6 / 8 (火) | | | | | | | 島原第四小学校の児童ら中 尾川上流域の「防災の森」で サザンカなどの苗木300本 を植樹 | | |
| 6 / 9 (水) | | | | 島原地域防災連絡会議、島 原半島内の危険箇所は51 箇所と発表。また、雲仙普 賢岳の火山活動の現状など を報告(市) | | | | | |
| 6 / 10 (木) | | 定期火山情報 第6号 | | | | | | | |
| 6 / 12 (土) | | | | | | | | 災害と報道を考える「第8 回雲仙集会 市民とマスコ ミの対話集会―見つめなお そう、真の復興」開催。150 名参加 | |
| 6 / 15 (火) | | | | 深江町防災連絡会議(町) | | | | | |
| 6 / 16 (水) | | | | | | | 安中地区まちづくり推進協 議会、われん川湧水の保存 整備と噴火10周年のイベン ト開催への協力を市に要請 安中地区の献穀田で宮中へ 献上する米づくりの「お田 植え祭」 | | |

1999年(平成11年)6月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|------------------------|---------------------------------|--|---|------------------------------------|----------------------------|---|
| 6 / 17 (木) | | | | | 水無川ボタン山地区治山工 事完成、竣工式(県) | | | |
| 6 / 18 (金) | | | | 道の駅「みずなし本陣ふか え」内の「土石流被災家屋保 存公園」の移築復元の一棟に ついて説明書きを設置する と県が明示(町) | | | | |
| 6 / 19 (土) | | | | | 土砂防止月間の街頭キャン ペーン(建設省) | | | 島原・天草・長島架橋南九 州西回り自動車道構想建設 促進総決起大会(本渡市) |
| 6 / 23 (金) | | | | | 県長期構想検討委員会地域 づくり小委員会と島原地区 地域づくり関係者との意見 交換会(県) | | | |
| 6 / 25 (金) | | | | | | 島原鉄道の新社長に池山剛 氏が就任 | | |
| 6 / 29 (火) | | | | (株)みずなし本陣の新社長 に池山剛氏が就任 | | | | |
| 6 / 30 (木) | | | | | 雲仙普賢岳の噴火のメカニ ズムと火山の歴史を解明す るために行う「普賢岳掘削 計画」の地元説明会 (科学技術庁他) 災害弱者に対するマップ作 成及び配布(建設省) | | | 雲仙普賢岳火山砂防促進期 成同盟会、九州治水期成同 盟連合会と合同で「九州の 直轄砂防事業に関する要望 書」を建設省や大蔵省に提 出 |

1999年(平成11年)7月

| 月 日 | 火山活動 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 | 長崎県 | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|------|-------------------------------------|---------------------------------|---|--|------------------------------------|---------------------------------|--|
| 7 / 2 (金) | 土石流 | 6月23日から7月2日までの総雨量318.5ミリを記録(雲仙岳測候所) | | 深江町 | | | | |
| 7 / 7 (水) | | | | | | | 安中地区まちづくり推進委員会、われん川周辺の整備などを県に要望 | |
| 7 / 8 (木) | | | | | 県企画部の川端一夫部長、県議会総務委員会で2001年度で期限切れの基金延長はないと表明(県) | | | 兵衛県関野宮町議会深江町を視察 島原・天草・長島架橋構想及び九州西岸軸構想推進懇談会(長崎市) |
| 7 / 9 (金) | | | | 「歓迎いらっしゃいませ島原温泉」と書いた宣伝塔を水無川近くの国道57号沿いに設置(市) | | | | |
| 7 / 10 (土) | | | | | 「緑のダイヤモンド計画」の一環として整備した焼山園地のオープン式典(県) | | | |
| 7 / 11 (日) | | | | 島原第四小学校の工事安全祈願祭(市) 島原城振興協会理事会(市) | | | | |
| 7 / 12 (月) | | 定期火山情報 第7号 | | | | | | 一般国道57号等県南地域幹線道路整備促進期成会理事会と総会 |
| 7 / 14 (水) | | | | 島原城の入館者に島原城の文字と観光マップを印刷した「島原城うちわ」を配布(市) | | | | |
| 7 / 15 (木) | | | | | | | 安中三角地帯の嵩上げに伴う島原市の徳法寺木堂解体工事開始 | |
| 7 / 18 (日) | | | | 道の駅「みずなし本陣ふかえ」に「昔空ふるさと市場」を設置(町) みずなし本陣・がまだす夏の陣のイベント開催(町)(～8月25日) | | | | |
| 7 / 21 (水) | | | | | 長崎県議会離島平島地域振興特別対策委員会、道の駅「みずなし本陣ふかえ」を視察(県) | | | |
| 7 / 23 (金) | | | | 安中三角地帯で最後の被災家屋を取り壊し(市) | | | | 「震災サバイバルキャンプ'99」が東京で開催。鐘ヶ江菅一前市長もゲスト参加(～26日) |
| 7 / 24 (土) | | | | | | | | 第1回「まちづくり市民大学講座」開催 |

1999年(平成11年)7月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 N.T.T・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|------------------------|---------------------------------|---|------------------------|--------------------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| 7 / 26 (月) | | | | | (財)長崎県災害対策基金理 事会(県) | | | |
| 7 / 27 (火) | | | | | | | 鏡ヶ江管一前市長、木の印 税25万425円を寄付 | 島原半島幹線道路網建設促 進期成会総会 |
| 7 / 29 (木) | | | | (財)島原市義援金基金理事 会(市) (財)深江町災害対策基金理 事会(町) | | | | |
| 7 / 30 (金) | | | | 島原市勤労者総合福祉セン ターが安徳海岸埋立地に完 成、落成式(市) | | | | |
| 7 / 31 (土) | | | | | | | | 有明海栽培漁業推進委員会 クロダイの稚魚を放流 |

1999年(平成11年)8月

| 月 日 | 火山活動 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|------|------------------------|---------------------------------|--|--|------------------------------------|--|---|
| 8 / 1 (日) | | | | 島原勤労者総合福祉センタ ー開館(市) | | | | 「第26回日独スポーツ少年 団同時交流」でドイツから 8人来島。被災家屋などを 見学し交流(～4日) |
| 8 / 3 (火) | | | | 1991年6月3日の火砕流で 犠牲となった消防出員(12 人)を顕彰する「雲仙普賢岳 噴火災害消防殉職者慰霊碑 」の起工式(市) | 第3回雲仙普賢岳みどりの 復元連絡会(建設省) | | | |
| 8 / 10 (火) | | 定期火山情報 第8号 | | | | | | |
| 8 / 11 (水) | | | | 島原第四小学校の移転工事 着工(2000年7月完成予定) (市) | | | | 大相撲の中立親方が合宿で 来島。吉岡市長来年11月の 巡業を申し入れ 連合長崎川野会長復興アリ ーナ野外ステージ寄贈目録 を島原市へ贈呈 |
| 8 / 13 (金) | | | | | | | | 第12回島原木まつり |
| 8 / 18 (水) | | | | | 大学生を対象とした「'99キ ャンプ砂防in雲仙」を開催 (建設省)(～26日) | | | |
| 8 / 20 (金) | | | | | 県議会経済活性化特別委員 会、道の駅「みずなし本陣 ふかえ」を視察(県) | | | |
| 8 / 21 (土) | | | | 第3回ろくべえどんまつり (町)(～22日) | 県立島原温泉病院建替工事 起工(県) | | | 市民大学講座で吉岡市長が 「島原市のまちづくり構想」 を、市職員の本木伸一さん が「火山との共生」について 講義 |
| 8 / 22 (日) | | | | 陳建中国駐日特命全権大使 ら11名、道の駅「みずなし 本陣ふかえ」の「土石流被災 家屋保存公園」を視察(町) | | | | |
| 8 / 23 (月) | | | | | | | 深江町再生の森づくり実行 委員会発足 | |
| 8 / 25 (水) | | | | | 「災害時の医療救護に関する 協定」を県医師会と締結 (県) | | 長崎市松原緑の少年団、旧 大野木場小学校横の建設省 情報センターの一角にモミ ジなどの苗木70本を植樹 | |
| 8 / 26 (木) | | | | | 長崎県長期構想検討委員会 (県)(～27日) | | | |
| 8 / 27 (金) | | | | | | | | 第7回島原温泉ガマガス花 火大会に約15,000人の人出 |

1999年(平成11年)8月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|------------------------|---------------------------------|------------|--|------------------------------------|-------------------------|--|
| 8 / 29 (日) | | | | | | | | 九州学校保健学会で伊福彰 長崎総合科学大学教授ら、 曾賢岳噴火終息3年後に火 砕流災害被災地の中学生を 対象に調査した結果を報告 第4回Just Now がまだせ コンサートin平成町開催 |
| 8 / 31 (火) | | | | | 出水時の情報伝達演習と工 事現場での避難訓練及び合 同安全パトロールを実施 (建設省、県) | | | |

| 月 日 | 火山活動 | 雲仙岳観候所 九大観測所 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|--|---|---------------------------------|--|--|------------------------------------|--------------------------|--|
| 9 / 1 (水) | | | | | 島原第四小学校用地の未買収地について県収用委員会は、権利取得裁決及び明渡裁決を市の提示価格で下す(県) | | | 鎌ヶ江管一前 元市長、「雲仙・普賢岳災害に遭遇して」と題して長崎市で講演 |
| 9 / 2 (木) | | | | | | | | 第4回しまばらガマダス阿波踊り大会を前に「観客動員12万人達成総決起大会」を開催 |
| 9 / 7 (火) | | | | 安中三角地帯嵩上げ事業で宅地部分の地権者323世帯のうち74世帯が住宅再建を望み、そのうちの49世帯が農業再開を希望と判明(市) | | | | 鎌ヶ江管一前市長、「普賢岳噴火と消防団活動」と題して有明町で講演 |
| 9 / 9 (木) | | | | 吉岡市長、(財)島原市義援金基金の2001年度で終了後も住宅再建助成などは基金に代わる対応の検討の考えを明示(市) | | | | |
| 9 / 10 (金) | | 定期火山情報 第9号 | | | | | | |
| 9 / 11 (土) | 10日からの総雨量200ミリを超え、土砂崩れなどが発生 9:05から21分間と15:55から21分間の2回発生 | 昨年6月13日以来約1年3か月ぶりに午前と午後の2回土石流とみられる震動波形を観測 | | | | | 大雨による部分運休(島鉄) | |
| 9 / 12 (日) | | | | | | | 大雨による部分運休が17:00に全線開通(島鉄) | |
| 9 / 13 (月) | | | | 災害救助法等市町村担当者会議(市) | 水無川2号砂防ダムで流出土砂約10万m ³ を中尾川4号砂防ダムで約3万m ³ の土砂の捕捉を観測(建設省) | | | |
| 9 / 14 (火) | 平成新山溶岩ドーム一部崩落(23:32~23:33) | | | | | | | |
| 9 / 15 (水) | | | | 旧大野木場小学校被災校舎をライトアップ(町) | 大野木場メモリアルデー'99開催(建設省) | | | |
| 9 / 16 (木) | 第11溶岩ドーム大規模崩落 | | | | | | | |
| 9 / 22 (水) | | | | | 湯江橋着工(建設省) | | | NHKの生放送で「おじゃまします島原市ーガンバでがまだす島原市」を紹介 |

1999年(平成11年)10月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|----------------------|-------------|------------------------|---------------------------------|------------------------------|--|------------------------------------|--|---|
| 10 / 8 (金) | | | | | | | | 島原半島観光同盟、マリン メッセ福岡で開催される「 アジア・太平洋旅行博」で 観光PR(～11日) |
| 10 / 12 (火) | | 定期火山情報 第10号 | | | | | | |
| 10 / 14 (木) | | | | 大千浜埋立地で土のう積み 訓練(市) | | | | |
| 10 / 15 (金) | | | | | 水無川赤松谷地区治山ダム 4基を起工(県) | | | 関東島原半島会、「大観座 まつり・音と光のパレード 」に島原提灯行列を出し、 元気になった島原半島をア ピール(東京) |
| 10 / 17 (日) | | | | | | | | しまばら温泉不知火まつり の市中パレード 福知山市よりしまばら温泉 不知火まつりに170名来島 |
| 10 / 19 (火) | | | | | | | | 「99火山防災フォーラム」 をフィリピンのピナツボ火 山周辺で開催(～21日) |
| 10 / 23 (土) | | | | 「第6回島原半島ソーデー マーチ」開催(～22日) | | | | |
| 10 / 25 (月) | | | | 安中地区市長を囲む懇談会 (市) | 第1回垂木台地火山学習施 設等計画検討会(県) | | | |
| 10 / 26 (火) | | | | 森岳地区市長を囲む懇談会 (市) | 緑のダイヤモンド計画の一 環の田手原トレイルセンタ ーが完成。一般公開 (環境庁) | | | |
| 10 / 27 (水) | | | | | | 観光トロッコ列車の乗客が 10万人を突破(島鉄) | | |
| 10 / 28 (木) | | | | | | | 本田好泰さん、噴火災害後 2月に復旧した水田で収穫 した米を島居で天皇陛下に 献納 | |
| 10 / 31 (日) | | | | | | | | 第12回名水の里島原ジョギ ングフェスティバル |

1999年(平成11年)11月

| 月 日 | 火山活動 十石流 | 雲仙岳観測所 九大観測所 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|----------------------|-------------|------------------------|---------------------------------|------------------------------|---|------------------------------------|---------------------------------------|---|
| 11 / 1 (月) | | | | | ケーブルテレビジョン島原の「はっと・ほっと・チャンネル24」に防災情報の提供を開始(建設省) 衛星通信車を整備、河川情報システムを利用した防災情報の提供を開始(建設省) | | | ケーブルテレビジョン島原雲仙復興工事事務所が所有する監視カメラの映像や雨量計のデータなどの各種防災情報「はっと・ほっと・チャンネル24」の終日放送を開始 噴火災害からの農林業の復興を口指して組織した、がまだアグリ王国の「国民」を募集 |
| 11 / 7 (日) | | | | | | | 雲仙百年の森づくりの会、森林の復元を目的とする種子拾いを実施 | |
| 11 / 8 (月) | | | | | | | | 一般国道57号等県南地域幹線道路整備促進期成会、地域高規格道路島原道路の整備促進を建設省雲仙復興工事事務所に要望 |
| 11 / 9 (火) | | | | | 県議会文教委員会、大野木場小学校などを現地調査(県) | | | |
| 11 / 10 (水) | | 定期火山情報 第11号 | | 再生の森づくり実行委員会を開催(町) | 科学技術庁を中心とした火山研究グループ、雲仙普賢岳の噴火メカニズムを解明する「山体掘削」に12月初旬に着工と発表(科学技術庁、東大地震研究所、九大島原地震火山観測所他) | | | |
| 11 / 11 (木) | | | | | 国、県、市などの防災機関普賢岳上空で共同空中偵察を行う 雲仙・普賢岳みどりの復元連絡会、リーフレット「ふるさとの山・雲仙普賢岳にみどりを復元しよう」を発行(環境庁他) | | | |
| 11 / 12 (金) | | | | | 第1回雲仙普賢岳砂防指定地利活用整備計画検討委員会、われん川の整備を来年度から着工する方針を確認(建設省) 県議会土木委員会、道の駅などを現地調査(県) | | | 雲仙普賢岳火山砂防促進期成同盟会、建設省に砂防事業促進を要望 地域高規格道路「島原道路」島原市区建設促進期成会建設省雲仙復興工事事務所他2箇所を要望 京都府京北町議会、深江町を視察 |
| 11 / 13 (土) | | | | | | | 大野木場小学校6年生の児童ら火砕流被災地に植樹してあるイチョウの木の手入れ | 雲仙普賢岳鎮静祈念創作舞台「普賢岳の下で」を島原市で開催 |
| 11 / 14 (日) | | | | 白山地区住民を対象に眉山崩壊に備えた避難訓練を実施(市) | 水無川下流導流堤を利用した「雲仙普賢岳フェスティバル'99」を開催(建設省) | | | |

1999年(平成11年)11月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|----------------------|-------------|------------------------|---------------------------------|---|---|------------------------------------|---------------------------------------|--|
| 11 / 15 (月) | | | | 深江町産業まつり(町) | 第11溶岩ドームの挙動観測の結果について、山頂部付近が最大約52mmふもと側へ移動していると発表(建設省) | | | |
| 11 / 17 (水) | 噴火から丸9年 | | | 島原防災の日(市) 1991年6月3日の火砕流で犠牲となった消防団員(12人)を慰霊する「雲仙普賢岳噴火災害消防殉職者慰霊碑」が完成、除幕式(市) 「防災の日」自主防災会研修会役員研修会を開催(市) | | | | 一般国道57線等県南地域幹線道路整備期成会、建設省などへ陳情(東京) |
| 11 / 18 (金) | | | | 三会地区市長を囲む懇談会(市) | | | | |
| 11 / 19 (金) | | | | 白山地区市長を囲む懇談会(市) | 長期構想「県総合計画(仮称)の島原半島」ブロック会議(県) | | | |
| 11 / 20 (土) | | | | 第16回がまだす島原産業まつり(市)(～21日) | | | | |
| 11 / 21 (日) | | | | 第16回深江町産業まつり(町) | | | | |
| 11 / 22 (月) | | | | | | | | 一般国道57線等県南地域幹線道路整備期成会、県知事と県議会議長に要望 |
| 11 / 24 (水) | | | | | | | | 地域高規格道路「島原道路」島原市工区建設促進期成会 建設省九州地方建設局へ要望 |
| 11 / 26 (金) | | | | 雲丘地区市長を囲む懇談会(市) | | | | 島原半島幹線道路網建設促進期成会、半島の道路整備について知事に要望書を提出 |
| 11 / 29 (月) | | | | 杉谷地区市長を囲む懇談会(市) | | | 本田好泰さん復旧した水田で初めて収穫した米(宮中献教記念米)を県知事へ贈呈 | 島原城にイルミネーションを試験点灯 |

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳観測所 九大観測所 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 N T T・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|----------------------|-------------|------------------------|---------------------------------|--|--|--------------------------------------|--|--|
| 12 / 1 (水) | | | | | | | | 「99島原ファンタジア」の 開催で島原城と堀端桜並木 にイルミネーション点灯 (～1月10日) |
| 12 / 4 (土) | | | | | | | | 「99島原ファンタジア」の イルミネーション山車パレ ード |
| 12 / 6 (月) | | | | | 科学技術庁を中心とした噴 火のメカニズムを解明する 雲仙火山科学掘削による噴 火機構とマグマ活動解明の ための国際共同研究に着手 開航式(科学技術庁研究開 発局、東大地震研究所、九 大島原地震火山観測所他) | | 安中三角地帯での再建第1 号となる横田英明さんの住 宅建設に着工 | |
| 12 / 10 (金) | | 定期火山情報 第12号 | | | | | | |
| 12 / 12 (日) | | | | 第2回島原・雲仙学生駅伝 大会(市、町) | | | | |
| 12 / 14 (火) | | | | | | | | 島原港ターミナルビルに隣 接する「島原港緑地公園」 オープン |
| 12 / 15 (水) | | | | | 垂水台地火山学習施設等計 画検討委員会、設計方針に ついて論議(環境庁) | | | |
| 12 / 16 (木) | | | | 李瑞環中国人民政治協商会 議主席、道の駅「みずなし 本陣ふかえ」を視察(町) | | | | |
| 12 / 18 (土) | | | | | | | 大野木場小学校児童、仮校 舎でもちつき | 「99島原ファンタジア」キャ スルスステージ」を島原市で 開催 |
| 12 / 21 (火) | | | | 島原第四小学校移転工事全 体会議(市) | | | | |
| 12 / 28 (火) | | | | | 独自の今年の10大ニュース を発表(建設省雲仙復興工 事事務所) | | | |
| 12 / 31 (金) | | | | | | | | 「輝く2000年へ発進!カウ ントダウンIN島原」開催 |

2000（平成12）年
1月～12月

2000年(平成12年)1月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|---|---------------------------------|--|--|------------------------------------|---|--|
| 1 / 7 (金) | | | | 雲仙普賢岳資料館の入場者 が5年8ヶ月余で20万人を 突破(県) | | | | |
| 1 / 11 (火) | | 定期火山情報 第1号 | | | | | | |
| 1 / 12 (木) | | | | | 雲仙天草町立公園雲仙地域 管理計画検討会(国) | | 安中地区住民、北上木場農 業研修所跡地保存の要望書 を提出 大野木場小学校児童、新校 舎への移転を前に仮設校舎 で書初め | |
| 1 / 13 (木) | | | | | | | | 島原市の橋国輔さんの写真 展「島原・安中の風景」を長 崎市で開催(~2月2日) |
| 1 / 14 (金) | | 4月1日より名称を島原地 震火山観測所から「九州大 学大学院理学研究部附属地 震火山観測研究センター」 に変更と発表(九大島原地 震火山観測所) | | | | | 島原花卉(株)生産組合、阪 神・淡路大震災の追悼式に 白菊1,000本を発送 島原ボランティア協議会、 神戸市の追悼式に使う種火 を「平成新山の火」から採火 して神戸市に出発 | |
| 1 / 16 (日) | | | | | | | | 「全国災害救援ボランティ アネットワーク」発足の記 念イベントが島原市と神戸 市で同時開催 |
| 1 / 17 (月) | | | | | | | 安中まちづくり推進協議会 噴火10年目の節目として「 被災者からの報告(仮称)」 を発行するための編集委員 会を開催 | 「島原そして神戸へ1.17」 で午前5時45分から万町ア ーケードで阪神・淡路大震 災の犠牲者を追悼する鎮魂 の灯を点灯 |
| 1 / 18 (火) | | | | 島原都市計画道路及び土地 区画整理事業変更案の縦覧 (市)(~31日) | | | | |
| 1 / 20 (木) | | | | | 第2回(財)雲仙岳災害対策 基金理事会、「雲仙岳災害 記念館(仮称)」の周辺整備 などに10億5,000万円を支 出することを決定。また、 2002年度末で解散した後も 新財団を設立し、災害復興 支援を継続すると発表(県) | | | |
| 1 / 21 (金) | | | | 島原市義援金配分委員会解 散。残金約4億2,000万円 は(財)島原市義援金基金(総額約11億円)に一本化(市) | | | | 島原市農協、噴火被災農家 利用の農産物出荷所を起工 |
| 1 / 24 (月) | | | | | | | | 岩手山火山砂防計画検討委 員会一行10人、普賢岳噴火 災害被災地を視察 「公共交通機関の活用と市 街地の活性化を考える」シ ンポジウム |

2000年(平成12年)1月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の山頂村・その他 |
|---------------------|-------------|------------------------|---------------------------------|------------|---|------------------------------------|---|--|
| 1 / 25 (火) | | | | | 金子知事、今年11月の復興 記念事業で各種の催しを実 施と発表(県) 雲仙岳・防災会議協議会 | | | |
| 1 / 27 (木) | | | | | 県議会経済労働委員会一行 道の駅「みずなし本陣ふか え」を視察(県) | | | 別府市の水墨画家安枝楠游 さん、「島原城春爛漫」を島 原市に寄贈 1991年6月3日の火砕流で 死亡したタクシー運転手の 遺族側の敗訴確定 |
| 1 / 28 (金) | | | | | | | 雲仙普賢岳みどりの復興連 絡会、新年度に実施される 緑化事業予定を発表 | |
| 1 / 30 (日) | | | | | | | 安中三角地帯での住宅再建 第1号なる横田英明さ ん宅の棟上げ式 | |

2000年(平成12年)2月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳観候所 九大観測所 予知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|------------------------|---------------------------------|--|--|------------------------------------|--|--|
| 2 / 7 (月) | | | | 噴火災害ビデオテープをア ナログからデジタル変換に よる劣化防止作業に着手 (市) | あなたの選ぶ「橋の顔」一親 柱デザインのパネルを掲示 (建設省)(~18日) | | | |
| 2 / 8 (火) | | | | | 長崎県都市計画地方審議会、 島原市都市計画士地区画整 理事業内容を変更(県) | | | |
| 2 / 9 (水) | | | | | 島原半島広域管農団地農道 (通称・雲仙グリーンロード) 完成(県) | | | |
| 2 / 10 (木) | | 定期火山情報 第2号 | | | | | 島原第五小学校へ入学予定 の園児達による記念植樹 | |
| 2 / 13 (日) | | | | | | | ふかえ桜パーク「再生の森 づくり」に約800人が参加し て植樹祭 | |
| 2 / 18 (金) | | | | | | | 千本木1号砂防ダム右岸袖 部において、島原半島内の 高校卒業予定の高校生約53 0人による「卒業の森」記念 植樹 | |
| 2 / 19 (土) | | | | | | | | 「第42回九州地区体育指導 委員研究大会」が島原市で 開催。約3,200人が参加 (~20日) |
| 2 / 22 (火) | | | | 深江町立大野木場小学校新 校舎完成(町) | 平成11年度雲仙岳・眉山地 域治山対策検討委員会、落 岩ドームの調査結果を報告 (九州森林局、県) | | 避難生活を送っていた大野 木場小学校の児童を応援し てきた尾仲一頼さん、田辺 スミ子さん、山口ミツ子さ んの3氏と児童の対面式と 交流会 | |
| 2 / 23 (水) | | | | | | | 連合長崎、水無川右岸のふ かえ桜パークで実施する植 栽工事の安全祈願祭 | |
| 2 / 24 (木) | | | | 2000年一般予算176億7,200 万円を発表(市) | 広域農道の水無川流域に 架かる橋梁の名称が「安中 大橋」と決定(建設省) | | | まちづくり講演会「島原市 の活性化と中心市街地のあ り方」 |
| 2 / 25 (金) | | | | | | | 大野木場小学校仮設校舎で の8年半余りにわたる最後 の授業 | |
| 2 / 26 (土) | | | | | 国際共同研究の雲仙普賢岳 の科学掘削を一般公開、約 500人が見学(建設省) | | | |
| 2 / 28 (月) | | | | | | | 島原市三会地区財産区管理 会、同財産区の廃止に伴い 三会海岸埋立て事業の再開 などの要望書を市に提出 大野木場小学校新校舎で8 年8ヶ月ぶりに授業開始 | |

2000年(平成12年)月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|------------------------|---------------------------------|------------|-------------------------|------------------------------------|-------------------------|--------------------------|
| 2 / 29 (火) | | | | | 国道251号安徳大橋一部開 通(建設省) | | | |

2000年(平成12年)3月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測所 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|------------------------|---------------------------------|--|---|------------------------------------|---|---|
| 3 / 1 (水) | | | | | | | 大野木場小学校児童、約8年8ヶ月学んだ仮設校舎に別れの遠足 | 島原半島広域観光ルート形成事業に係る全体会議 |
| 3 / 3 (金) | | | | | 第2回雲仙普賢岳砂防指定地和活用整備計画検討委員会で「われん川整備計画」を了承(建設省) | | | |
| 3 / 6 (月) | | | | | | | | 長崎県教組島南総支部が大野木場小学校に書籍とビデオを、県退職婦人協議会が図書購入代として105万円を贈呈 |
| 3 / 8 (水) | | | | | 機構改革により4月1日で長崎県島原振興局雲仙岳土木災害復興部の廃止を発表(県) 雲仙普賢岳噴火10周年復興記念事業作業部会(九州森林管理局、県) | | シャンソン歌手寺井一通さん、大野木場小学校にグラランドピアノを寄贈 | |
| 3 / 9 (木) | | | | | | | 中学卒業生143名の代表6名がふかえ桜パークで卒業記念植樹 | |
| 3 / 10 (金) | | 定期火山情報 第3号 | | | | | | |
| 3 / 11 (土) | | | | | 航空緑化工を実施(県)(~30日) | | | |
| 3 / 15 (水) | | | | | 「平成新山自然観察センター(仮称)」の計画検討委員会、県の整備計画案を了承(県) | | | 島原市漁協、普賢岳噴火の火山灰を使って開発した「島原灰干し「普賢」と「島原一夜干し「うらわの里」」を発表 |
| 3 / 16 (木) | | | | 雲仙岳警戒区域設定等について協議する調整会議で、南千本木町の一部の垂水台地を3月31日で解除すると決定(市) | | | | |
| 3 / 17 (金) | | | | | 安中大橋の3タイプの親柱デザインアンケートを実施(県) | | 島原第四小学校で移転のため現校舎での最後の卒業式 大野木場小学校第一期生9人が新校舎で卒業式 | |
| 3 / 18 (土) | | | | | 「雲仙普賢岳火砕流地帯に昆虫や小動物の生態が確立されつつある」と発表(林野庁長崎森林管理署) | | | 島原半島の雲仙・島原・小浜の各旅館・ホテルの女将らが島原半島をPRするCMを撮影 |
| 3 / 20 (日) | | | | | | | | 佐賀大学半田駿教授、「雲仙普賢岳へのマグマの供給源は長崎県野母崎町から西方の五島灘の海底下の可能性」と発表 |

2000年(平成12年)月

| 月 日 | 火山活動 | 雲仙岳観測所 九大観測所 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|------|---|---------------------------------|--|--|------------------------------------|-------------------------|---|
| 3 / 21 (火) | | | | | 一般県道千本木島原港線「 島原まゆやまロード」とし て約9年ぶりに開通 (建設省) | | | |
| 3 / 23 (木) | | | | | 第4回がまだ計画推進委 員会(県) 雲仙・普賢岳噴火10年復興 記念事業実行委員会発足 (県) | | | |
| 3 / 24 (金) | | | | | 平成12年度の事業予算(約 128億円)及び事業概要を 発表(建設省) | | | |
| 3 / 26 (日) | | | | 安中三角地帯嵩上げ事業竣 工.(市) | 千本木1号砂防ダム、水無 川2号砂防ダム完成 (建設省) 千本木1号砂防ダム等竣工 記念フォーラム開催 (建設省) | | | |
| 3 / 27 (月) | | | | | 中尾川広域基幹河川改修事 業竣工(県) | | | |
| 3 / 30 (木) | | 太田一也前九大島原地震火 山観測所長、有珠山につい て「島原の教訓が生かされ ている」との見解を発表 | | 有珠山噴火の予測を受け、 支援策などを検討する会議 (市) | | | | |
| 3 / 31 (金) | | | | 商工業施設再建支援助成金 の支給状況は、今日現在で 177件287,685,000円(市) 第54次警戒区域設定延長 (～平成13年3月31日) | 長崎県島原振興局雲仙岳土 木災害復興部の看板を降納 (県) 島原半島地域再生行動(が まだ計画)の計画書を提 出(県) | | | 雲仙岳観光協会、小浜町南 木指の国道57号に雲仙温 泉「ゲートサイン」を設置 (小浜町) |

2000年(平成12年)4月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳観候所 九大観測研究センター 了知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|--|---------------------------------|---|---|------------------------------------|---|---|
| 4 / 1 (十) | | 九州大学大学院理学研究科 附属島原地震火山観測所を 改組し、「九州大学大学院 理学研究科附属地震火山観 測研究センター」と名称を 変更 | | 道の駅「みずなし本陣ふか え」開館1周年。入場者は 647,000人に達する(町) 市政60周年記念式典 | 一般国道57号島原深江道路 安徳IC(ONランプ)供用 開始(建設省) | 観光トロッコ列車PRイ ベント(島鉄) | | 島原市漁協、火山灰を使っ て独自に開発した水産加工 品「灰干し「普賢」と一夜干 し「うらわの星」を発売 橋公園観桜火宴(千々石町) 原城一揆まつり(～2日) |
| 4 / 2 (日) | | | | 有珠山噴火災害支援委員会 義援金の目標額を1,000万 円と決める(市) | | | | 島原名水茶会 第13回全九州花火師競技大 会(小浜町) 島原大変遭難者慰霊祭 |
| 4 / 3 (月) | | | | | | | NPO法人「島原普賢会」が 発足 | 吉岡市長、有珠山噴火の周 辺の伊達市、虹田町、牡警 町の避難住民を見舞う (～4日) 横田町長、有珠山噴火の伊 達市周辺の被災地を見舞う (～5日) |
| 4 / 4 (火) | | | | | 有珠山噴火被災地に川端一 夫県企画部長ら職員3人を 北海道庁へ派遣と発表(県) | | | |
| 4 / 6 (木) | | | | 吉岡市長ら有珠山周辺の視 察を報告(市) | | | | |
| 4 / 7 (金) | | | | | 中尾川砂防工事で長崎県知 事、六ツ木橋より釘原橋ま での約550m区間の土地収 容法に基づく収容等の手続 き開始を告示(県) 有珠山被災地へ川端一夫企 画部長ら職員の派遣を決定 (県) | | 大野木場小学校新校舎で18 人の入学式 | |
| 4 / 8 (土) | | | | | | | 島原市職員組合、有珠山周 辺の3自治体の組合に対し て「雲仙普賢岳の噴火災害 記録集」を贈る。また、N PO法人島原普賢会も記録 誌「雲仙・普賢岳の噴火災 害を体験して―被災者から の報告」を届ける NPO法人島原普賢会も大 町辰朗さんら4名、有珠山 周辺の被災地を訪問し避難 体験をまとめた冊子を贈り 励ます | |
| 4 / 10 (月) | | 定期火山情報 第4号 | | | | | | |
| 4 / 11 (火) | | | | | | | | がまだす稚芽生産組合の苗 床稚芽栽培施設が島原市に 完成 |

2000年(平成12年)4月

| 月 日 | 火山活動 | 雲仙岳測候所 九大観測研究センター 子知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|------|-----------------------------|---------------------------------|---|---|------------------------------------|--|---|
| 4 / 12 (水) | | | | | 雲仙岳防災会議協議会 | | | |
| 4 / 13 (木) | | | | 有珠山被災地への義援金募 金活動を協議。一世帯1,00 0円を目安にすることを決 定(市) | | | | 長崎大学、「普賢岳復興の 記録」を出版 |
| 4 / 14 (金) | | | | | | | 島原ボランティア協議会、 有珠山被災地での活動を報 告 | |
| 4 / 15 (土) | | | | | | | | 連合長崎の「ふかえ桜パー ク」内の植栽事業竣工 |
| 4 / 16 (日) | | | | | | | | 森と緑のコンサート 花祭UNZEN(～14日) |
| 4 / 17 (月) | | | | | 安徳大橋親柱デザイン「平 成新山」のパネル展示 (建設省)(～28日) | | 島原市の種村繁守さん、大 野木場小学校に自著「山遊 記」50冊を寄贈 | |
| 4 / 19 (水) | | | | 「第22回全国豊かな海づく り大会」の地元誘致を目的 に同大会島原発起人会、今 月25日に知事などに陳情す ることを決定(市) | | | | 北海道観光キャラバン隊の 西日本隊近畿・九州班の25 人が島原市へ来島 |
| 4 / 20 (木) | | | | 平成11年の観光客動態調査 の結果を発表。宿泊者数は 前年比3.1%減の約25万3, 000人で入込客数は前年比 0.4%増の約163万1,000人 (市) | 南千本木町の中尾川上流域 で「防災の森」植樹祭 (県、市) | | | |
| 4 / 21 (金) | | | | 有珠山義援金の21日現在の 中間集計発表。201万7,994 円(市) | 北海道有珠山噴火被災地へ の見舞金5万7,000円を吉 岡市長へ寄託(建設省) | | | |
| 4 / 22 (土) | | | | | 雲仙諏訪の池ビジターセン ター完成(県) | | | |
| 4 / 24 (月) | | | | | 大野木場情報センターの入 館者が5万人を達成 (建設省) | | | |
| 4 / 25 (火) | | | | 「第22回豊かな海づくり大 会」の開催誘致を県に陳情 (市) | | | | 道の駅「みずなし本陣ふか え」の一角に噴火災害犠牲 者の冥福を祈る阿彌陀三尊 像建立 島原半島農林業立国宣言推 進委員会 |
| 4 / 26 (水) | | | | | | | | 北海道建設部道路計画課の 中谷登土管ら3名、災害復 興の道路・砂防事業の視 察で来島(～27日) |

2000年(平成12年)4月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測研究センター 千知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|-----------------------------|---------------------------------|------------|--------------|------------------------------------|--|---|
| 4 / 28 (金) | | | | | | | | 中国雲南省防災管理視察団 の李漢柏団長ら7名が来島 し、被災地の復興状況を視 察 |
| 4 / 29 (土) | | | | | | | 「みどりの日」自然環境功労 者環境庁長官表彰式で「雲 仙百年の森づくりの会」が 表彰される | |

2000年(平成12年)5月

| 月 日 (月) | 火山活動 | 雲仙岳測候所 九大観測研究センター 子知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|------|-----------------------------|---------------------------------|---|---|------------------------------------|---|---|
| 5 / 1 (月) | | | | 有珠山義援金1,200万円を 突破(市) | | | | 島原大変遭難者供養祭 |
| 5 / 2 (火) | | | | | 平成14年度にオープンする 「雲仙岳災害記念館(仮称)」 の整備事業実施計画の概要 を発表(県) | | | 雲仙普賢岳火山砂防促進期 成同盟会総会で引き続き直轄 火山砂防事業の推進を要望 することを決定(市) |
| 5 / 5 (金) | | | | | | | 「有珠山噴火災害チャリテイ ーコンサート」を道の駅「み ずなし本陣ふかえ」で開催 | |
| 5 / 8 (月) | | | | | | | | (社)全日本司厨士協会島原 雲仙分会、有珠山支援の「 がまだずシェフのカレー」 チャリティー開催 |
| 5 / 10 (木) | | 定期火山情報 第5号 | | | | | | |
| 5 / 11 (木) | | | | 島原簡易保険保養センター と「災害時における相互協 力体制に関する覚書」を4 月1日付けで締結(市) | | | 島原市PTA連合会、有珠 山噴火被災地の子どもたち を励ますため、小中学生が 描いた「がまだせフラッグ」 10枚を小嶺教育長に寄託し また、義援金150万円を伊 達市、虹田町、社警町PT Aに寄贈 しまばら不知火連、博多ど んたくで集めた有珠山支援 募金約8万円を吉岡市長に 寄託 | |
| 5 / 13 (土) | | | | | | | | 関東島原半島主催の「島原 半島会ふるさとツアー」で 来島(～15日) 島原・天草・長島架橋構想 及び九州西岸輪構想推進地 方大会(熊本県長島町) |
| 5 / 15 (月) | | | | 5月15日現在の有珠山義援 金が1,500万円を突破(市) | 災害危険箇所の現地調査 (県、市他) | | | |
| 5 / 16 (火) | | | | | | | 島原第三中学校生徒会、北 海道社警町の社警中学校に 義援金5万円と「激励フラ ッグ千羽鶴」を贈る | |
| 5 / 17 (水) | | | | | | | | 島原大変流死者供養祭 |
| 5 / 19 (金) | | | | 有珠山噴火災害支援実行委 員会(市) | | | | |

2000年(平成12年)5月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測研究センター 予知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 N T T・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|--|---------------------------------|---|---|--------------------------------------|--------------------------------|--|
| 5 / 20 (土) | | | | | | | 中尾川流域の「防災の森」で 約400人が参加して植樹祭 | |
| 5 / 22 (月) | | 第84回火山噴火予知連絡会 で普賢岳は「落ち着いた状 態」と報告 | | | | | | 2002年の「全国城下町」シン ポジウム」が島原市で開催 と決まる |
| 5 / 25 (木) | | | | | 島原振興局管内危険箇所現 地調査(県) | | | |
| 5 / 26 (金) | | | | | | | | 自治労神奈川県本部県央ブ ロック共闘会議、雲仙普賢 岳噴火災害調査視察に来島 |
| 5 / 27 (土) | | | | (財)島原市義援金基金理事 会、被災住宅助成金など約 6億7,000万円を見込む (市) | | | | がまだすアグリ王国、福岡 県粕屋郡久山町の新鮮市場 に出店し、島原半島の農産 物をPR 第43回歴史地理学会島原大 会開催(～29日) |
| 5 / 28 (日) | | | | | | | | 第43回歴史地理学会島原大 会シンポジウム「災害・防 災への歴史地理学的アプロ ーチ」開催 |
| 5 / 29 (月) | | | | | | | | 有明海漁場環境調査協議会 現地報告会 |
| 5 / 30 (火) | | | | | 水無・中尾川水系安全対策 協議会、土石流を想定した 出水時の情報伝達の訓練と 避難訓練及び合同パトロー ル(建設省他) (財)雲仙岳災害対策基金理 事会(県) | | | |
| 5 / 31 (水) | | | | 有珠山噴火災害地の伊達 市などへ義援金を届けた報 告会(市) | | | | 九州電力(株)、島原花と緑 のまちづくり実行委員会に 苗木100本と緑化樹80本を 寄贈 |

| 月 日 | 火山活動 十石流 | 雲仙岳観測所 九大観測研究センター 予知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|-----------------------------|---------------------------------|--|---|------------------------------------|---|--|
| 6 / 1 (木) | | | | 島原市防災会議(市) | 土砂災害防止月間のパネル 展示とビデオ上映(建設省、 ～7日) | | 鐘ヶ江管一前市長、「普賢 鳴りやまず」の第12版分の 印税約25万円を寄付。総計 金額約467万円となる | 福岡県直方市の尾仲一顯さ ん、「仮設校舎で学んだ子 どもたち1991～2000」を自費 出版。大野木場小学校に寄 贈 10月開催予定の「2000年が まだせコンサート」のキャ ンペーンソング「がまだす 手と手をつないで」のCD 発売 |
| 6 / 2 (金) | | | | | 土砂災害防止月間の街頭 キャンペーン(建設省) | | | |
| 6 / 3 (土) | | | | 火災流から9年目の「いの りの日」に各種の追悼行事 が行われる(市、町) | | | 火砕流殉難の日に、犠牲者 が出た安中地区北上木場の 農業研修所跡地から初めて の精霊船(安中丸)を出して 供養 島原市職員内嶋善之介さん 自作の創作舞台「普賢の光」 を朗読。また、戯曲「沈黙 する定点」を自費出版 島原第四・第五小学校、「 いのりの日」集会で追悼 | 火砕流殉難者慰霊法要 道の駅「みずなし本陣ふか え」でも観光客らが午後4 時8分に仏像の前で黙祷 第7回島原半島ツーデーマ ーチ(市)(～4日) 有珠山噴火災害チャリティ ーコンサート |
| 6 / 6 (火) | | | | 島原地域防災連絡会、危険 箇所や普賢岳の活動状況な どを報告(市) | | | | |
| 6 / 7 (水) | | | | | 「雲仙・普賢岳災害を振り 返り、危機管理を考える」 と題した「いのりの日公開 セミナー」を開催(建設省) 太田一也前九州大学島原火 山観測所長を土砂災害防止 功労者に大臣表彰と発表 (建設省) | | | |
| 6 / 10 (土) | | | | | | | | 災害と報道を考える市民と マスコミの対話集会「第9 回雲仙集会」、「火山との共 生」をテーマに災害報道に おけるマスコミの役割とあ り方を検証。110名参加 負けるな有珠山噴火一元気 になる講演会「虹田町民も 必ずできる一基金創設によ る住民参加の復興対策」で、 島原生き残り復興対策協 議会の宮本秀利さんが講演 (北海道社警) |
| 6 / 11 (日) | | | | | | | | 連合長崎、島原野外ステー ジを起工 |

2000年(平成12年)6月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測研究センター 予知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|-----------------------------|---------------------------------|---|--|------------------------------------|---|--|
| 6 / 12 (月) | | 定期火山情報 第6号 | | | | | | |
| 6 / 13 (火) | | | | | | | | 九州治水期成会同盟連合会 の合同要望で横田深江町長 が意見を発表(東京) |
| 6 / 15 (木) | | | | 災害危険箇所を視察(市) | | | | |
| 6 / 16 (金) | | | | 防災連絡会議を開催(町) | | | 深江商工会青年部、虹田町 の商工会に「六兵衛うどん」 1,000食分を贈る | |
| 6 / 21 (木) | | | | | | | 安心・安全の街づくりネッ トワーク実行委員会 | |
| 6 / 23 (金) | | | | 島原市や建設省雲仙復興工 事事務所などの5機関、島 原消防局と「土砂・山地災 害防止協定」を調印 | 土砂災害防止に関する協力 協定を島原市、島原郵便局 長崎森林営業署、長崎県島 原振興局と調印(建設省) | | | |
| 6 / 27 (火) | | | | | | 島鉄の乗客数前年より4.3 %減の215万1,000人 | | |

2000年(平成12年)7月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測研究センター 子知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の山(町)村・その他 |
|---------------------|-------------|-----------------------------|---------------------------------|------------|---|------------------------------------|--|--|
| 7 / 1 (土) | | | | | | | | 有珠山災害被災地にエールを送ろうと「しじゅう」や島原ジュニア合葬社がチャリティライブ「2000がまだせ!!コンサート」を開催 |
| 7 / 7 (金) | | | | | | | 移転する島原第四小学校で現校舎とのお別れ集会 | |
| 7 / 10 (月) | | 定期火山情報 第7号 | | | | | | |
| 7 / 12 (火) | | | | | | | | 復興10年日の11月27日に行われる大相撲「島原場所」の調印式 |
| 7 / 13 (水) | | | | | | | | 廖志洪(リョウ・シヨウ)中国領事司副司長ら13人、島原・雲仙を視察(～14日) 人間国宝の尺八奏者青木鈴寿氏、平成新山展望園地で追悼の演奏 |
| 7 / 15 (土) | | | | | | | | 深江漁協マグチ1万5,000匹を放流 |
| 7 / 16 (日) | | | | | | | | 島原商工会議所、「島原市長、島原振興局長を囲む議員懇談会」で市・県に対しそれぞれ6項目を要望 |
| 7 / 19 (火) | | | | | | | 移転する島原第四小学校で最後の卒業式 島原市新町の中央公園が建設省「手づくり郷土賞」を受賞 | 長崎県総合水産試験場、クルメエビの稚魚1万5,000匹を放流 第4回全国マリンスポーツフェア体験教室(～20日) |
| 7 / 20 (水) | | | | | | | | 島原半島観光復興対策協議会、福岡～島原半島間に無料バス「がまだす号」の運行を開始(～8月31日) |
| 7 / 22 (土) | | | | | | | | 「九州自治体職員サッカーフェスティバルin島原」で復興をアピール 新能「原城(はらぎ)」上演(南有馬町) |
| 7 / 23 (日) | | | | | | | | 第28回全九州剣道錬成大会(小浜町) |
| 7 / 24 (月) | | | | | 第1回(財)雲仙岳災害対策基金理事会 | | | |
| 7 / 26 (水) | | | | | 「緑よ甞れ・十年の軌跡」治山フォーラム実行委員会、11月に治山フォーラムの開催を決定(県) | | | |

2000年(平成12年)8月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳観測所 九大観測研究センター 予知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|-----------------------------|---------------------------------|--|---|------------------------------------|---|--|
| 8 / 1 (火) | | | | | | | | 第50回雲仙国際ゴルフ大会 で、1991年6月3日の火砕 流で犠牲となったクラフト 夫妻の友人オーブリック夫 妻が島原市を訪れ、クラフ ト夫妻の最後の足跡を辿り 業績を偲ぶ |
| 8 / 2 (水) | | | | | 県企画部、(財)雲仙岳災害 対策基金の返還計画を発表 また、被災者支援も別の支 援策を検討(県) | | | 中国福建省訪日雲仙普賢岳 治山対策現地視察 |
| 8 / 4 (金) | | | | | | | | 「GAMADASU元気塾」で招かれ た虹田町立洞爺湖温泉小学 校の5、6年生49名と引率 の教師8名が来島(～6日) |
| 8 / 5 (土) | | | | | | | | 尾仲一頼さんの写真展「仮 設校舎で学んだ子供たち」 開催(～19日) 第13回島原水まつり 第3回小浜温泉太鼓まつり |
| 8 / 6 (日) | | | | | | | 島原第四小学校新校舎へ引 越し | |
| 8 / 8 (火) | | | | | | | | 森岳商店街に残る大正時代 の洋風建築物の「理髪店」を ギャラリーとして保存する ための工事に着手 |
| 8 / 10 (木) | | 定期火山情報 第8号 | | 噴火災害を振り返る写真展 を開催(町)(～19日) | | | | |
| 8 / 17 (木) | | | | | 「キャンプ砂防2000in雲仙」 を開催。11人の大学生が参 加(建設省)(～25日) | | | |
| 8 / 19 (土) | | | | 第4回ろくべえどんまつり (町)(～20日) | | | ガマダス杉谷盆踊り大会が 4年ぶりに開催される | |
| 8 / 20 (日) | | | | | | | 深江太鼓保存会、有珠山噴 火チャリティー演奏会「龍 響祭2000」に出演し、チャ リティーコンサート時の義 援金を贈る | 全九州小浜観光弓道大会 (小浜町) |
| 8 / 22 (火) | | | | 雲仙・普賢岳噴火十年復興 記念事業「2000火山フォー ラム」の内容を発表(市) 三宅島の三宅村へ降灰袋20 万枚を寄贈。また、三宅村 他2村に各10万円づつの見 舞金を送付(市) | | | NPO法人島原普賢会、災 害記録誌「雲仙・普賢岳の 噴火災害を体験して一被災 者からの報告」を出版、販 売開始 | 有明沿岸主要幹線道路網の 早期整備促進について雲仙 復興工事事務所、県他へ要 望 |
| 8 / 23 (水) | | | | | 噴火10周年記念式典部門専 門委員会(県) | | | |

2000年(平成12年)8月

| 月 日 | 火山活動 | 雲仙岳測候所 九大観測研究センター 予知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|------|-----------------------------|---------------------------------|---|--|------------------------------------|--------------------------|---|
| 8 / 24 (木) | | | | 三宅島の三宅村へ降灰袋10 万枚を寄贈。また、有珠山 被災地の4町村に計25万5, 000円の見舞金を送付(町) | | | | |
| 8 / 25 (金) | | | | | 「キャンプ砂防2000in雲仙」 の学生ら、吉岡市長、横田 町長と懇談(建設省) | | | |
| 8 / 26 (土) | | | | | | | | 鹿屋市礼元商工親睦会、「普 賢岳噴火後における商店街 及び市の対応」テーマに視 察研修に来島 第3回小浜温泉太鼓まつり |
| 8 / 27 (日) | | | | | | | | 島原温泉ガマダス花火大会 |
| 8 / 28 (月) | | | | 島原復興アリーナ完成(市) | | | | 北京市の観光調査団を招待 |
| 8 / 30 (水) | | | | | | | 安心・安全の街づくりネッ トワークin島原 | |
| 8 / 31 (木) | | | | 有珠山義援金が1,600万円 を突破(市) | | | | |

2000年(平成12年)9月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳観候所 九大観測研究センター 千知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|-----------------------------|---------------------------------|---|---|------------------------------------|-------------------------|---|
| 9 / 1 (金) | | | | 「島原復興アリーナ」オープ ン(市) | | | 島原第四小学校の落成式と 始業式 | |
| 9 / 2 (土) | | | | | われん川の再生事業に約40 0人が参加(建設省) | | われん川の再生事業に約40 0人が参加 | 高校生サミット「ここがへ んだよ島原半島」開催 |
| 9 / 5 (火) | | | | 「しまばら水と住民のシン ポジウム」を11月14、15日 に開催と発表(市) | | | | 東京都の職員3名が来島。 降灰対策などで島原市の助 言を受ける |
| 9 / 6 (水) | | | | | 福岡ー島原半島間の無料バス 「がまだす号」の利用者は 13,040人と発表(県) | | | |
| 9 / 7 (木) | | | | | | | | 郵政省九州郵政局、11月1 日から発売の年賀ハガキの 九州版絵入りハガキに「平 成新山と島原城」を採用と 発表 |
| 9 / 10 (日) | | 定期火山情報 第9号 | | 道の駅「みすなし本陣ふか え」に“ふれあいショップ” オープン(町) | | | | |
| 9 / 14 (木) | | | | 第1回雲仙の森林(もり)空間 再生検討委員会(市) | 「メモリアルデー火山学習 教室in大野木場ーふるさと 大野木場を知らう」を5、 6年生を対象に水無川砂防 工事現場で開催(建設省) | | | |
| 9 / 15 (金) | | | | | 大野木場メモリアルデー台 風14号の接近で中止 (建設省) | | | |
| 9 / 19 (火) | | | | | | | | 中国訪日団体観光団第一陣 45名来島 |
| 9 / 21 (木) | | | | | 島原市浜の町十地区区画整理 事業に着工(県) | | | |
| 9 / 23 (土) | | | | 道の駅「みすなし本陣ふか え」の入場者が100万人を突 破し、記念セレモニー(町) | | | | 湧水ウォーク |
| 9 / 25 (月) | | | | 三宅島噴火災害支援島原委 員会、被災地への支援とし て一戸あたり500円の義援 金(目標額600万円)を募る ことを決定(市) | | | | 九州郵政局、平成新山を観 光資源とした島原市の魅力 をPRする写真入りエコー はがき「島原まゆやまロー ド」を発行 小浜町他が企画した有珠山 被災地支援ツアーに70人参 加。義援金150万円を寄贈 |

2000年(平成12年)10月

| 月 日 | 火山活動 | 雲仙岳測候所 九大観測研究センター 子知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|----------------------|------|-----------------------------|---------------------------------|--|--|------------------------------------|-------------------------|---|
| 10 / 1 (日) | | | | | | | 大野木場小学校で地域ぐる みの運動会 | |
| 10 / 2 (月) | | | | | | | | 普賢岳火道掘削に向けて「 雲仙科学掘削技術国際ワー クショップ」を開催 (～4日) |
| 10 / 4 (水) | | | | 噴火災害10周年の「火山と ともに生きる－雲仙・普賢 岳の噴火災害記録ダイジェ スト」を全国の義援金送付 者に発送(市) | 普賢岳の噴火研究チーム、 火道掘削計画を発表(通産 省、科学技術庁、東京大学 九州大学他) | | | |
| 10 / 6 (金) | | | | | 噴火のメカニズムを探る科 学掘削調査第2弾の安全祈 願祭と開坑式(通産省工業 技術院地質調査所、科学技 術庁、九州大学他) また、第1弾調査で20万年 前後に20回の火砕流があっ たと報告(建設省) | | | |
| 10 / 10 (火) | | 定期火山情報 第10号 | | | | | | |
| 10 / 11 (水) | | | | | 「緑よ甞れ・10年の軌跡」治 山フォーラムの第2回実行 委員会、具体的な内容を決 定し、併せて火山教育用絵 本も発行と発表(県) | | | |
| 10 / 14 (土) | | | | | | | | 第21回島原温泉不知火まつ りの献湯祭 |
| 10 / 15 (日) | | | | | | | | 第5回島原ガマダス阿波踊 り大会 島原温泉不知火まつり市中 パレード 島原城新能 |
| 10 / 16 (月) | | | | | | | | 島原市北部漁業協同組合、 アサリの稚貝500kgを放流 |
| 10 / 20 (金) | | | | | | | | がまだす恵比寿まつりで鯛 などの稚魚を放流 |
| 10 / 21 (土) | | | | | | | | 有珠山と三宅島から高校生 など8人が来島。3被災地 の住民らが懇談 がまだせコンサート前夜祭 (～22日) |
| 10 / 22 (日) | | | | | | | | 連合長崎が建設した野外ス テージが竣工。「2000年が まだすコンサート」開催 |

2000年(平成12年)10月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳観測所 九大観測研究センター 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|----------------------|-------------|-----------------------------|---------------------------------|-----------------|--------------|------------------------------------|--------------------------|--|
| 10 / 23 (月) | | | | | | | | 有珠山・三宅島住民が古岡市長を表敬訪問 |
| 10 / 26 (木) | | | | 森岳地区市長を囲む懇談会(市) | | | | 九州管区広域緊急救助隊合同訓練に約500人が参加して訓練を実施 |
| 10 / 27 (金) | | | | | | | | ながさき安全・安心のまちづくりネットワークin島原オープンセレモニー |
| 10 / 28 (土) | | | | | | | | 第1回全国災害救援ボランティア全国大会(～29日) 森岳商店街「町おこし夜なべ談義」を開催 森岳商店街に保存建物の「青い理髪店」オープン |
| 10 / 29 (日) | | | | | | | | 千本木1号砂防ダム袖部で全国の災害救援ボランティアらによる記念植樹 |
| 10 / 30 (月) | | | | 安中地区市長を囲む懇談会(市) | | | | |
| 10 / 31 (火) | | | | | | | 島原第五小学校児童、三宅島へ見舞金を市教委に寄託 | |

2000年(平成12年)11月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳湖候所 九大観測研究センター 予知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 N.T.T・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|----------------------|-------------|-----------------------------|---------------------------------|---|--|--------------------------------------|---|---|
| 11 / 1 (水) | | | | | 長崎県長期総合計画島原半 島地域説明会(県) | | | |
| 11 / 3 (金) | | | | | | | | 故西川清人氏の写真展を道 の駅「みずなし本陣ふかえ」 で開催(～30日) |
| 11 / 5 (日) | | | | | | | | 「しまばら水と住民のシン ポジウム」開催 K.T.N特別番組「この山に 生きるー普賢岳噴火10年」 を放送 第13回名水の里ジョギング フェスティバル |
| 11 / 6 (月) | | | | 白山地区市長を囲む懇談会 (市) | 「雲仙岳災害記念館(仮称)」 着工(県) | | | 地域高規格道路「島原道路」 島原市工区建設促進期成会 雲仙復興工事事務所、県知 事などに要望 |
| 11 / 8 (水) | | | | | | | | 吉岡市長、「三宅島噴火災 害募金」で集まった義援金 600万円を三宅村立川事務 所へ届ける |
| 11 / 9 (木) | | | | | 「緑よ甦れ・10年の軌跡」治 山フォーラム開催(県) (～11日) | | | |
| 11 / 10 (金) | | 定期火山情報 第11号 | | 島原市が実施した来年版「 観光年賀絵はがき」の絵画 コンクール表彰式(市) 「自主防災会の活動状況に 関するアンケート調査」の 結果を発表(市) | 「緑よ甦れ・10年の軌跡」ー 日本緑化工学会公開シンポ ジウム 復興記念式典の概要を発表 (県) | | | |
| 11 / 11 (土) | | | | | | | 「緑よ甦れ・10年の軌跡」治 山フォーラム参加者約130 名による記念植樹 | 「島原はいま展」と「島原う まか市」を福知山市で開催 (～12日) |
| 11 / 12 (日) | | | | 安中地区住民を対象に眉山 崩壊に備えた防災避難訓練 (市) | | | | 島原市職員内嶋善之助さん の戯曲「沈黙する定点」が県 文学新人賞を受賞 |
| 11 / 13 (月) | | | | | | | | 一般国道57号等県南地域幹 線道路整備促進期成会、建 設省へ要望 |
| 11 / 15 (水) | | | | | 第2回雲仙の森林(も)空間 再生検討委員会(県・市他) | | | 方町商店街復興組合コミュ ニティセンターの起工式 がまだす広場駐車場オープ ン |
| 11 / 16 (木) | | | | | 島原地区防災検討委員会解 散 | | | |

2000年(平成12年)11月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測研究センター 予知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 N.T.T・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|----------------------|-------------|--|---------------------------------|---|--|--------------------------------------|---|---|
| 11 / 17 (金) | | 普賢岳は落ち着いた状態だが、溶岩ドームは要警戒と発表(九州大学島原地震火山研究センター) | | 噴火10周年を記念した作文・絵画・フォトコンクールの表彰式(市) | 雲仙・普賢岳噴火十年復興記念式典(県) 2000年火山砂防フォーラム in 島原「火山を知り、火山とともに生きる―火山地域の新世紀に向けて」 | | 火砕流で犠牲となった消防団員の慰霊碑に献花し、復興を報告 | 故西川清人氏の遺作写真展が東京で開催(～23日) 内嶋善之助さん創作舞台「普賢組曲」を発表 フジテレビ「めざましテレビ」が島原市から生中継 北海道社警町長ら来島 |
| 11 / 18 (土) | | | | 島原市産業まつり(市) (～19日) | われん川環境整備事業第1工区「ふるさとの泉」竣工(建設省) 土木の日フェスタ2000IN雲仙(建設省)(～19日) 第4回雲仙普賢岳フォーラム(建設省) | | 安中まちづくり推進協議会による「噴火10周年記念植樹祭」に約1,000人が参加して水無川導流堤に約2万本の苗木を植樹 | 「普賢岳フォーラム」を開催(長崎大学、土木学会西部支部共催) |
| 11 / 19 (日) | | | | | 「雲仙普賢岳フェスティバル2000」を開催。約2,000人が参加(建設省) | | 安中地区住民による住民主権・復興シンポジウム「雲仙普賢岳噴火災害当時の関係者が語る会」を開催 | |
| 11 / 20 (月) | | | | 三合地区市長を囲む懇談会(市) | | | | |
| 11 / 21 (火) | | | | 杉谷地区市長を囲む懇談会(市) | | | | 地域高規格道路「島原道路」島原市工区建設促進期成会建設省九州地方建設局に要望 |
| 11 / 22 (水) | | | | | 地域高規格道路「島原中央道路」について地元住民への説明会(建設省) | | | |
| 11 / 23 (木) | | | | | | | | 島原市と深江町の青年農業者3団体、初の復興イベント「Thanks 2000」を開催 |
| 11 / 25 (土) | | | | | 科学掘削で採取したサンプルを一般公開(建設省) (～26日) | | | |
| 11 / 26 (日) | | | | 吉岡市長3選(市) 第17回深江町産業まつり(町) | | | | |
| 11 / 27 (月) | | | | | | | | 島原市制60周年記念事業の1つ「大相模島原場所」開催 |
| 11 / 28 (火) | | | | | | | 島原第四小学校の新築落成を祝い、同小出身の彫刻家野島泉里氏が彫刻「四小通り」を、有明町在住の画家佐藤利宗氏が絵画「平成新山遠望」を贈る | |
| 11 / 29 (水) | | | | 深江町活性化事業実行委員会、国道57号と251号沿いの2ヶ所に「ろくべえどん人形」を設置(町) | | | | 「2000島原ファンタジア」を前に島原城にイルミネーションを試験点灯 |

2000年(平成12年)12月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測研究センター 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の山頂(村・その他) |
|----------------------|-------------|-----------------------------|---------------------------------|--|---|------------------------------------|---------------------------|--|
| 12 / 1 (金) | | | | | | | | 島原ファンタジア2000開幕 (～1月10日) |
| 12 / 2 (土) | | | | | | | | 「有珠山・洞爺湖復興PR キャラバン隊」の20人が来 島し、新生洞爺湖をPR |
| 12 / 5 (火) | | | | | | | | 島原広域市町村圏組合や島 原半島復興対策協議会など 復興支援など6項目の要望 書を国会議員や関係省庁に 提出(東京) |
| 12 / 6 (水) | | | | | | | | 「うんぜん墓の会」垂木台地 の開発計画に対し、見直し を求める要望書を島原復興 局と環境庁九州自然保護事 務所へ提出 |
| 12 / 7 (木) | | | | 噴火災害を後世に残すため に災害記録集を発行するこ とを発表(市) | 平成13年度末で期限切れと なる雲仙岳災害対策基金に ついて、終了後も被災者の 住宅再建などは別の方法で 継続的に支援する方針を 公表(県) | | 大野木場小学校新校舎完成 後初のもちつき大会 | |
| 12 / 9 (土) | | | | | | | | 第18回九州学生駅伝対抗選 手権大会「第3回島原・雲 仙学生駅伝」開催 |
| 12 / 11 (月) | | 定期火山情報 第12号 | | 国勢調査で島原市の人口は 前回より2.9%減の39,605 人、深江町は前回より3.5 %増の8,149人となる | 宇土山トンネル(仮称)の掘 削工事に着手(建設省、県) | | | |
| 12 / 12 (火) | | | | | | | | 中国中央電子台TV取材で 来島 |
| 12 / 13 (水) | | | | | | | | |
| 12 / 16 (土) | | | | | | | | 「2000島原ファンタジア」で イルミネーション山中パレ ード 「2000島原ファンタジア」冬 の花火大会(小浜町) |
| 12 / 19 (火) | | | | 島原市議会、4万人割れの 人口減により来年度の地方 交付税4,500万円減との見 通しを発表(市) | | | | |
| 12 / 20 (水) | | | | 吉岡市長、市議会本会議で 「平成新山(溶岩ドーム)」が 世界遺産の登録基準に該当 か否かを検討する意向を 発表(市) | | | | |

2000年(平成12年)12月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳観候所 九大観測研究センター 子知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|----------------------|-------------|-----------------------------|---------------------------------|------------|---|------------------------------------|--|--|
| 12 / 21 (木) | | | | | | | 島原市安中地区の長寿会連 合会、安中公民館に「普賢 岳噴火記念碑」を建立。除 幕式 | |
| 12 / 30 (土) | | | | | 雲仙復興工事事務所職員に よる今年の10大ニュース決 定(建設省) | | | |
| 12 / 31 (日) | | | | | | | | 島原ファンタジアの「キャ ッスル&カウントダウン ステージ」を島原城で開催 ながさき阿蘭陀年推進協会 「平成新山の火」を採火 |

2001 (平成 13) 年
1 月～12 月

2001年(平成13年)1月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測研究センター 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 N.T.T・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|-----------------------------|---------------------------------|--------------------------------------|--|--------------------------------------|------------------------------------|--|
| 1 / 6 (土) | | | | | 中央省庁の再編により「建設省」が「国土交通省」となる | | | |
| 1 / 9 (火) | | | | | 1月6日からの中央省庁の再編に伴い建設省雲仙復興工事事務所の名称が「国土交通省九州地方整備局雲仙復興工事事務所」に変更の庁名板の除幕式(国土交通省) | | | |
| 1 / 10 (水) | | 定期火山情報 第1号 | | | | | | 三宅村議会議員2名来島し普賢岳噴火災害を教訓に今後の対応策などを吉岡市長と懇談 |
| 1 / 12 (金) | | | | | 中尾川に架かる「河原(こう)橋」の架替え完了(国土交通省)雲仙岳災害対策基金事業商工労働関係説明会(県) | | | |
| 1 / 13 (土) | | | | みずなし本陣ふかえてがまだす大取樓祭とノルウェー大会(町) (~14日) | | | | |
| 1 / 16 (火) | | | | | 「長崎県長期総合計画等に関する島原半島地区対象の地域別意見交換会」を開催し、概要を説明(県) | | | |
| 1 / 19 (金) | | 火山性地震の増加により火山観測情報発表(雲仙岳測候所) | | | 県議会経済労働委員一行復興アリーナなどを視察(県) | | | |
| 1 / 20 (土) | | | | | 宇土山トンネル現地見学会 | | 安中三角地帯の中安徳町に住宅を再建した大町一郎左衛門さんが引越す | |
| 1 / 21 (日) | | 火山性地震が減少と発表(雲仙岳測候所) | | | | | 島原市消防団第14分団の新詰め所と格納庫を10年ぶりに北安徳町に着工 | |
| 1 / 22 (月) | | | | | 第1回雲仙温泉集団施設地区計画策定検討委員会、「島原半島の情報発信基地」とする活性化案を提示(県) | | | |
| 1 / 29 (月) | | | | | | | | 南共第79号共同漁業権者会平成13年度で期限切れとなる雲仙岳災害対策基金で実施中の漁業種苗放流対策事業の5年間延長を県に要望 |

2001年(平成13年)1月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測研究センター 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|-----------------------------|---------------------------------|------------|---|------------------------------------|--|--|
| 1 / 31 (水) | | | | | 本年度の科学掘削の調査を終了。また平成14年度より計画の「火道掘削」については小浜町「あざみ谷」から湯江川上流の普賢岳北側斜面に変更(経済産業省、東京大学、九州大学他) 雲仙普賢岳噴火災害10周年記念事業幹事会(県) | | 島原市、深江町の青年農業者ら、雲仙普賢岳復興イベント「Thanks 2000」で集めた義援金50,000円を復興事業視察中の三宅村職員に寄託 | 中国からの初の修学旅行団「中国北京中学生日本修学旅行第1団」の一行32名来島 |

2001年(平成13年)2月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測研究センター 子知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|-----------------------------|---------------------------------|--|---|------------------------------------|---|--|
| 2 / 1 (木) | | | | | | | | 島原半島の1市3町で葉タバコの豊作祈願祭と種まき |
| 2 / 2 (金) | | | | | | | | 阪神・淡路大震災の被災地神戸市より感謝の気持ちを届ける「希望の灯り」市民ランナー一行来島。吉岡市長が「平成新山の火」と「希望の灯り」を交換 |
| 2 / 3 (土) | | | | | | | | 福岡市の私立九州女子高校ダンス部による災害と復興をテーマにした創作ダンスのチャリティー公演 |
| 2 / 4 (日) | | | | | 地域高規格道路の一部国道251号の「島原深江道路」(秩父が浦町～下折橋町の約4.5km)の杭打式(国土交通省) | | | |
| 2 / 7 (水) | | | | | 第3回百花台公園基本計画策定協議会、基本計画の素案をまとめる(県) | | | 北海道庁有珠山活動災害復興対策室参事や虻田町、壮瞥町の職員6名、普賢岳被災地の災害対策、復興状況視察のため来島 まちづくり講演会講演会「中心市街地の活性化をめぐる」を開催 |
| 2 / 8 (木) | | | | | | | 今春卒業する島原半島内10校の高校生約750人が千木木1号砂防ダム右岸袖部で約1,000本の苗木を卒業記念植樹 | |
| 2 / 12 (月) | | | | | | | | 島原市制60周年記念事業の一環として、日本男子バスケットボール公式戦「プレスマーリーグ島原大会」開催 |
| 2 / 13 (火) | | 定期火山情報 第2号 | | | | | | |
| 2 / 15 (木) | | | | | 雲仙岳・眉山地域治山対策検討委員会、本年度の調査結果を報告。眉山付近の地盤は地下水域で安定しているが普賢岳は引き続き警戒が必要と指摘(県) | | | |
| 2 / 22 (木) | | | | 2001年度一般会計当初予算は前年比23.9%減の134億5,500万円と発表(市) | | | | |
| 2 / 24 (土) | | | | | | | | 三宅島商工業者の復興にかかわるシンポジウムに深江町商工会長の石川嘉明さんがアドバイザーとして出席(東京) |

2001年(平成13年)2月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳御所 九大観測研究センター 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|----------------------------|---------------------------------|---|--------------------------------|------------------------------------|-------------------------|---------------------------|
| 2 / 26 (月) | | | | (財)島原市義援金基金理事会、臨時理事会で被災者の住宅再建助成は基金が13年度で終了後も財源を確保していくことを発表(市) | 広域農道の水無川部分に架かる「安中大橋」が開通(国土交通省) | | | |
| 2 / 27 (火) | | | | 北上木場農業研修所跡地と「定点」の保存整備を検討中であることが判明(市) | | | | 島原水と共に生きる—水環境シンポジウム開催(島原) |

2001年(平成13年)3月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測研究センター 子知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|-----------------------------|---------------------------------|------------|---|------------------------------------|--|---|
| 3 / 1 (木) | | | | | 平成11年度から12年度までの山体掘削の成果速報。約2万7000年前より以前に「島原大変」レベルの山体崩壊が3回あったと発表(文部科学省) | | | |
| 3 / 2 (金) | | | | | 雲仙科学掘削の火道掘削計画についての説明会(経済産業省、文部科学省、東京大学、九州大学他) | | | |
| 3 / 3 (土) | | | | | | | ふるさとの種子でふるさとの森をードングリの種まき | |
| 3 / 6 (火) | | | | | 旧大野木場小学校西側に「大野木場監視所(仮称)」を建設と発表(国土交通省) | | | |
| 3 / 12 (月) | | 定期火山情報 第3号 | | | | | | |
| 3 / 13 (火) | | | | | | | | 島原市万町商店街に「ふれあいホールサンプラザ万町」完成 |
| 3 / 17 (土) | | | | | | | 島原第四小学校に同窓の住民村本隆則さんよりブロンズ像「杉谷っ子」が寄贈される | |
| 3 / 19 (月) | | | | | | | 島原第四小学校新校舎で初の45名の卒業式 | |
| 3 / 20 (火) | | | | | 水無川導流堤竣工(国土交通省) | | | |
| 3 / 21 (水) | | | | | | | | 北海道虻田町の商工会役員4名が噴火災害見舞のお礼に来島 |
| 3 / 23 (金) | | | | | 雲仙普賢岳砂防指定地利活用整備計画検討委員会、「北上木場農業研修所跡地」と報道関係者らの撮影ポイントの「定点」周辺を「災害メモリアルゾーン」として保存することを決定。またわおん川整備計画も議論(国土交通省) | | | |
| 3 / 24 (土) | | | | | | | | 市制60周年と雲仙普賢岳噴火10年の記念事業の一環として「がまだすカップ全日本モトクロス選手権in島原」を島原市で開催(～25日) |

2001年(平成13年)3月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳観測所 九大観測研究センター 子知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|---|---------------------------------|---|---|------------------------------------|-------------------------|--------------------------|
| 3 / 26 (月) | | 昨年度実施した「雲仙科学 掘削」の一環で山体掘削の 穴に地震計1基と水中マイ ク16個を設置(九大地震火 山観測研究センター) | | | | | | |
| 3 / 27 (火) | | | | | 雲仙岳警戒区域設定等の調 整会議、深江町が岩床山の 一部を3月31日正午に解除 することを発表、了承(県) | | | |
| 3 / 28 (水) | | | | | 第5回島原地域再生行動計 画(かまたす計画)推進委員 会、330事業のうち287事業 に着手し、着手率約87%と 報告(県) | | | |
| 3 / 30 (金) | | | | | 平成13年度の事業概要を登 表。予算総額71億4,000万 円(前年度比45%の減)で砂 防事業の縮小見直しの方針 (国土交通省) | | | |
| 3 / 31 (土) | | | | 第55次警戒区域設定延長 (～平成14年3月31日) 岩床山の一部警戒区域解除 | | | | |

2001年(平成13年)4月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測研究センター 予知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|-----------------------------|---------------------------------|---|---|---|--|--|
| 4 / 1 (日) | | | | | | 5年目の観光トロッコ列車 「ハッピートレイン」運行開 始(島鉄)(～11月15日) | | 眉山治山祈念公苑保勝会に よる島原大変遭難者慰霊祭 |
| 4 / 3 (火) | | | | | | | 被災者の相談などを受けて きた江口隆淳さんに島原市 より感謝状贈呈 | |
| 4 / 9 (月) | | | | | | | 移転新築した島原第四小学 校で52人の初の入学式 | |
| 4 / 10 (火) | | 定期火山情報 第4号 | | | | | | 復興を願って島原市へ寄贈 された絵画48点の展示会 (～15日) |
| 4 / 13 (金) | | | | | | | 南千本木町の中尾川上流で 緑の少年団員ら400人によ る防災の森植樹祭 | |
| 4 / 18 (水) | | | | 雲仙・普賢岳火山砂防促進 規制同盟会幹事会(市) | | | 島原生き残り復興対策協 議会、運営委員会を3年ぶ りに開催 | 北海道議会有珠山噴火災害 対策特別委員会と道庁職員 ら21人が旧大野木場小学校 被災校舎を視察 |
| 4 / 21 (土) | | | | | | | | 「北京マスコミ長崎県取材 団」の5名、島原城や小浜 町などを取材(～22日) |
| 4 / 22 (日) | | | | | | | 農協観光九州営業本部の約 180人、千本木1号砂防え ん堤でヤマボウシなどの苗 木約190本を記念植樹 シマバライチゴを守る会、 千本木火砕流溶岩上のアカ マツに印付け | 雲仙岳山開き(小浜町) |
| 4 / 25 (水) | | | | 平成12年の観光客動態調査 結果を発表。入込観光客数 は前年比9.0%増の約177万 8,000人、宿泊客数は3年 ぶりに3.4%増の26万1,814 人(市) | | | | |
| 4 / 27 (金) | | | | 噴火丸10年となる6月3日 に開く「雲仙・普賢岳噴火 災害十周年犠牲者追悼式典 」の実施要領を発表(市) | 災害メモリアル遺構として 保存する「北上木場農業研 修所跡地」の第1回ワーク ショップで、保存整備計画 の策定に向けて被災地住民 らが具体的な意見や要望を 出す(国土交通省) | | | |

| 月 日 | 火山活動 | 雲仙岳測候所 九大観測研究センター 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|------|-----------------------------|---------------------------------|---|---|------------------------------------|--|--|
| 5 / 3 (木) | 土石流 | | | 雲仙普賢岳火山砂防促進期 成会総会 | | | | |
| 5 / 6 (日) | | | | | | | 第17回水と緑の子供スケッ チ大会 | |
| 5 / 7 (月) | | | | | | | 被災者の井上亮介さんの木 工作品を展示即売するチャ リティーセール | |
| 5 / 8 (火) | | | | | | | | 故西川清人さんの遺作写真 展「普賢岳10年の記録」 (福岡市) (~18日) |
| 5 / 9 (水) | | | | | 金子知事、島原半島(1市 16町)の実情視察(~10日) | | | |
| 5 / 10 (木) | | 定期火山情報 第5号 | | | | | | |
| 5 / 13 (日) | | | | | | | 南千本木町の中尾川上流で 防災の森植樹祭と「親と子 の新緑のつどい」に約370人 が参加してヤマボウシなど の苗木460本を植樹 | |
| 5 / 17 (木) | | | | 水無川近くの川原砂礫に最後 まで残っていた被災家屋6 棟全部を撤去(町) | 島原半島管内における危険 箇所の現地調査 (長崎県島原振興局) | | | |
| 5 / 18 (金) | | | | | 防災関係9機関による眉山 など市内の防災対策現地調 査(国、県、市他) 北上木場農業研修所跡地保 存の第2回ワークショップ 開催。保存整備に向けた利 活用のイメージ図などを提 示(国土交通省) | | | |
| 5 / 19 (土) | | | | | | | 千本木地区の中尾川上流で 諫早市の昭和堂印刷社員会 の約200人、千本木1号砂 防ダム右岸でヤマボウシな ど苗木約400本を記念植樹 | |
| 5 / 21 (月) | | | | | 金子知事定例会見で「雲仙 岳災害記念館(仮称)」を運 営する財団法人について、 行政は関与しないことを表 明(県) | | | 島原半島振興対策協議会と 島原天草架橋建設促進期成 会 |
| 5 / 22 (火) | | | | 安中三角地帯の安中土地区 画整理事業の宅地31区画の 一般販売の申込み締め切る 8区画が売れる(市) | | | 島原第五小学校3年生84人 「いのりの日」を前に、水無 川導流堤で復興に向けた地 域住民の取組みや砂防施設 などを学習 | |

2001年(平成13年)5月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測研究センター 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|--|---------------------------------|---|---|------------------------------------|--|---|
| 5 / 23 (水) | | 平成新山の実地観測登山。 すぐに活発化する兆候はないとの見解を発表 (九大地震火山観測研究センター) | | | | | | 火山災害フォーラム幹事委員会(東京) |
| 5 / 24 (木) | | | | (財)島原市義援金基金理事会、今年度の事業計画案(総額5億7,000万円)を承認(市) | 県議会厚生委員会平成新山展望開地を視察(県) | | | (株)水環境科学研究所で開発した「島原海底堆積火山灰除去装置」の実証実験 |
| 5 / 25 (金) | | | | | | | | 内嶋善之助さんら3人、「定点回帰/オーロラ・日食」を上演 |
| 5 / 26 (土) | | | | | | | | 第8回島原ツデーマーチ開催(～27日) |
| 5 / 27 (日) | | | | | | | しまばらの里山と自然を守る会の約30人、七面登山口付近にアカガシなどの苗木を植樹 | |
| 5 / 28 (月) | | | | 報道関係者の撮影場所だった「定点」に三角錐の標柱を設置(市) | 雲仙普賢岳砂防指定地利活用整備計画検討委員会、「北上木場農業研修所跡地」の遺構保存方針を決定(国土交通省) | | | 三宅村議員ら6人深江町を視察 |
| 5 / 29 (火) | | | | 平成13年度島原地域防災連絡会議、各種防災事業の取組み・現状などを報告、活性化を打ち出す(市) | 梅雨期を前に雲仙普賢岳関係機関、合同現地調査を普賢岳周辺の砂防・治山事業地で実施(国土交通省) 水無・中尾川水系安全対策協議会、両水系の現場作業員を対象に避難訓練を実施(国土交通省他) | | | 三宅村議会議長ら6人、島原市役所で噴火災害時の対策や復興のノウハウを学びその後現地視察 NHK、大火砕流10年「鐘ヶ江管一前市長インタビュー」を放送 |
| 5 / 30 (水) | | | | | (財)雲仙岳災害対策基金理事会、前年度比3割減の約24億円の予算と事業計画を決定。住宅再建など遅れている3事業を3年を限度に継続する方針(県) | | | NHK、大火砕流10年「太田一也九州大学名誉教授インタビュー」を放送 |
| 5 / 31 (木) | | | | 普賢岳周辺被災地を県の防災ヘリで上空から防災視察(市) | | | 島原市職員杉本伸一さん、記録集「雲仙普賢岳噴火・住民の証言と記録 そのとき何が」を自費出版 島原第五小学校2年生を対象に紙芝居「おこりんぼの山」を上演 | (社)全国防災協会の通常総会が島原市で開催され、60人9団体が功労者として表彰される NHK、大火砕流10年「被災遺構保存へ(リポート)」を放送 |

| 月 日 | 火山活動 | 雲仙岳測候所 九大観測研究センター 千知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|------|-----------------------------|---------------------------------|--|--|------------------------------------|---|---|
| 6 / 1 (金) | | | | | 「土砂災害防災月間」の街頭 キャンペーンを島原市で実 施(国土交通省) | | 島原ボランティア協議会、 10年間の記録誌「普賢岳(々) からのメッセージ[災害ボ ランティア]の風」を発行 九州電力(株)島原花と緑の まちづくり実行委員会に緑 化樹と苗木を贈呈 | 故西川清人さんの遺作写真 展「普賢岳一十年間の記録」 (島原市) (~10日) NHK、大火砕流10年「火 山研究最前線」、ニュース 10「普賢岳大火砕流10年・ 火山観測は今」、ラジオリ ポート「普賢岳は今」、ラジ オジャーナル「火山防災の 課題」を放送 土砂災害防止パネル展 (~7日) |
| 6 / 2 (土) | | | | 高田勇元県知事や鐘ヶ江管 一元市長ら5人、仁田団地 の「噴火災害犠牲者追悼之 碑」に献花 | | | 島原第三中学校で避難訓練 の後、隣接する災害復興祈 念公園で生徒会による「噴 火災害十周年一追悼の会」 市内の小・中学校で「いの りの日」の各種行事 | 「災害と報道を考える第10 回雲仙集会(最終回)」「つ なごう島原の今ー市民とマ スコミの対話集会」 NHK、おはよう日本「大 火砕流10年・住民の記録」、 「あす大火砕流10年」を放送 |
| 6 / 3 (日) | | | | 雲仙・普賢岳噴火災害十周 年犠牲者追悼式(市) 仁田団地の「雲仙普賢岳噴 火災害犠牲者追悼之碑」前 と平成11の「雲仙普賢岳噴 火災害消防殉職者慰霊碑」 前の献花所に多数の献花 (市) 午後4時8分市民黙祷(市) | | | 火砕流で犠牲となった消防 団員5名の妻ら、北上木場 農業研修所跡地で慰霊した 後、初めて「定点」を訪れる 災害当時の安中地区の町内 会長と防災関係者のつどい 「いのりの日」親子スケッチ 大会に約170人が参加 | NHK、「きょう大火砕流 10年(中継)」、「被災遺構保 存へ」、「島原で追悼式典」、 「大火砕流10年の被災地」、 「被災地の課題」、九州・沖 縄スペシャル「雲仙・普賢 岳大火砕流から10年」を放 送 マスコミ関係者と火山学者 、タクシー運転手など6、 3の犠牲者23人の追悼法要 クラフト夫妻のための追悼 ミサ |
| 6 / 4 (月) | | | | | | | | 第1回島原平島農林業立国 推進委員会、農畜産物のブ ランド化など本年度の事業 計画を決定 |
| 6 / 5 (火) | | | | 島原市防災会議、市地域防 災計画書の修正案(観測体 制強化など)を承認(市) | | | | |
| 6 / 8 (金) | | | | | 安中三角地帯高上げ推進協 議会に平成13年度の「まち づくり国土交通大臣表彰」 を贈ると発表(国土交通省) | | | |
| 6 / 11 (月) | | 定期火山情報 第6号 | | | | | | |
| 6 / 12 (火) | | | | | 「土砂災害防止に関する絵 画、ポスター、作文等コン クール」で絵画部門「事務次 官賞」受賞の菅茶(ゆかり)さん の表彰状伝達式 (国土交通省) | | | 島原温泉観光協会定期総会 で誘致活動や無料バス「か またす号」の運行(7月21日 ~8月31日)などの事業推 進を決定 |

2001年(平成13年)6月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測研究センター 了知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|-----------------------------|---------------------------------|---|---|------------------------------------|--|--|
| 6 / 13 (水) | | | | | 中尾川上流の千本木地区で 砂防えん堤建設工事(南千 本木1号ダム、北千本木1 号ダム)に着工 (国土交通省) 県の天然記念物「シマバラ イチゴ」を工事区域外へ移 植(国土交通省) 鉄板が絡みついた樹木をマ スコミに公開(国土交通省) | | | |
| 6 / 14 (木) | | | | 吉岡市長、「道路整備を促進 する特定財源の確保」など を求める要望書を国土交通 省に提出する方針を公表 (市) | | | | |
| 6 / 15 (金) | | | | 防災会議開催(町) | | | | |
| 6 / 17 (日) | | | | | | | | 福岡市の似顔絵画家鶴田守 さんの水彩画展「菅賢岳の さまざまな表情を描く」を 深江町で開催(～30日) |
| 6 / 19 (火) | | | | | 第1回雲仙岳災害記念館(仮称)活用推進会議、運 営にあたっての地元や関連 業界の意見を聴取(県) | | | |
| 6 / 20 (水) | | | | | | | 安中三角地帯嵩上推進協議 会が「まちづくり月間」国土 交通大臣表彰を受賞 | |
| 6 / 24 (日) | | | | | | | | NHKのど自慢を島原市の 島原復興アリーナから放送 (NHK) |
| 6 / 27 (水) | | | | | | | | 小浜郵便局、長崎県島原振 興局や長崎県森林管理署、 小浜町などとの地域防災協 力協定を締結 |

| 月 日 | 火山活動 | 雲仙岳測候所 九大観測研究センター 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|------|-----------------------------|---------------------------------|---|---|------------------------------------|---|---|
| 7 / 1 (日) | | | | | | | 島原市武家屋敷で地元自主 防災会などが消火訓練 「いのりの日」スケッチ大会 の入賞者の表彰式 | |
| 7 / 3 (火) | | | | 情報基盤協議会の本年度開 催地の島原地域分科会で取 り組まれる事業計画案の概 要を公表。「防災告知機能 付きIP電話システム」の確 立を主要テーマに取り組む 構想を公表(市) | 第2回雲仙岳災害記念館(仮称)利活用推進会議、入 館料の試算などを話し合う (県) | | | |
| 7 / 4 (水) | | | | | | | 長崎県山地防災ヘルパー協 会島原支部設立総会と第1 回研修会 | |
| 7 / 6 (木) | | | | | | | | 一般国道57号等県南地域幹 線道路整備促進期成会総会 |
| 7 / 10 (火) | | 定期火山情報 第7号 | | | | | 島原市中木場清水川管理組 合、市長と市議会議長に復 元の要望書を提出 | |
| 7 / 12 (木) | | | | | 道路災害防除工事の「吹越 トンネル(小浜町)」の貫通 式(県) | | | |
| 7 / 13 (金) | | | | 情報基盤協議会「島原地域 分科会」設立総会で分科会 開催地に正式決定(市) | | | | |
| 7 / 16 (月) | | | | 自主防災会の活性化を図る ための役員研修会(各2回) を三会地区より開始(市) | | | | |
| 7 / 17 (火) | | | | 第1回「雲仙・普賢岳噴火 災害記録誌」懇話会(市) | | | | |
| 7 / 18 (水) | | | | | 第3回雲仙岳災害記念館(仮称)利活用推進会議(最終 会議)、入館料を大人1,000 円、中学生700円、小学生 500円とする地元の意見を まとめる(県) | | | |
| 7 / 20 (金) | | | | | | | | 島原半島観光速盟の長崎市 一島原半島、福岡市一島原 半島の直行バス「がまだす 号」の運行開始(～8月31日) |
| 7 / 21 (土) | | | | | | | 南千本木町の砂防指定地内 で約120人が参加して再生 タブノキの種子拾い | |
| 7 / 23 (月) | | | | 第1回杉谷地区自主防災会 役員研修会(市) | | | | |

2001年(平成13年)8月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測研究センター 了知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|-----------------------------|---------------------------------|---------------------------|--|--|---|---|
| 8 / 2 (木) | | | | 第2回森岳地区自主防災会 役員研修会(市) | | | | 北海道虻田町の児童・生徒 14名、深江町を訪問。大野 木場小学校児童らと交流 |
| 8 / 3 (金) | | 気象庁新世紀記念防災講演 会 | | | | | | |
| 8 / 4 (土) | | | | | | | 雲仙百年の森づくりの会、 九州朝日放送の「第4回K BC水と緑の大賞」で最優 秀賞を受賞と発表される | 島原水まつり |
| 8 / 6 (月) | | | | 情報基盤協議会島原地区分 科会WG部会(市) | 長崎県島原振興局農林部の 農業学会「上野賞」受賞記念 報告会(県) | | | |
| 8 / 7 (火) | | | | 第1回霊丘地区自主防災会 役員研修会(市) | (財)雲仙岳災害対策基金、 新財団設立委員会を開催し 名称を「(財)雲仙岳災害記 念財団」に決定(県) | | | |
| 8 / 8 (水) | | | | | | 島原一福岡間的高速バス路 線に平成新山の写真をあし らった新車を導入(島鉄) | | 南高有明町の佐藤宗利さん の個展「感謝と復興への願 いをこめて」開催(～12日) 島原半島ながさき森林づま り担い手対策協議会総会 |
| 8 / 9 (木) | | | | 第2回霊丘地区自主防災会 役員研修会(市) | | | | |
| 8 / 10 (金) | | 定期火山情報 第8号 | | | | | | |
| 8 / 16 (木) | | | | | 「キャンプ秘防2001in雲仙」 を開催。全国の理科系大学 生12名が参加(国土交通省) (～24日) | | | |
| 8 / 17 (金) | | | | | | | | 日本野鳥の会サンクチュア リセンターの職員2名が来 島し、三宅島の自然復活の ために島原市の復活への足 取りを学ぶ |
| 8 / 18 (土) | | | | 第5回ろくべえどんまつり (町) | | | | |
| 8 / 20 (月) | | | | 第1回白山地区自主防災会 役員研修会(市) | | | | |
| 8 / 23 (木) | | | | 第2回白山地区自主防災会 役員研修会(市) | | | | |

2001年(平成13年)8月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測研究センター 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 N T T・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|-----------------------------|---------------------------------|--|---|--------------------------------------|--|--|
| 8 / 24 (金) | | | | 「キャンプ砂防2001in雲仙」 の参加学生と深江町長、市 助役、安中地区住民らと懇 談会 | | | | |
| 8 / 26 (日) | | | | | | | 第6回2001年がまだせコン サートが島原復興アリーナ 野外ステージで開催され、 約1,000人が参加 | 九州人形劇サークル協議会 噴火災害10周年を記念し、 「第37回九州人形劇フェス ティバル長崎大会」を島原 市で開催 |
| 8 / 27 (月) | | | | | | | | 第9回島原温泉ガマガス花 火大会に25,000人の人出 |
| 8 / 30 (木) | | | | 平成12年度の決算を発表。 過去最大の196億9,900万円 (市) | | | | |
| 8 / 31 (金) | | | | 基盤情報協議会島原地域分 科会ヒアリング(市) | 水無川流域で震度5の地震 を想定した防災訓練を実施 (国土交通省) | | | |

2001年(平成13年)9月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳観候所 九大観測研究センター 子知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|-----------------------------|---------------------------------|--|--|------------------------------------|---|--|
| 9 / 3 (月) | | | | | | | | 島原温泉観光協会、関東方面へ観光宣伝隊を派遣(～6日) |
| 9 / 4 (火) | | | | | 第1回雲仙・普賢岳火山砂防計画検討委員会、砂防計画を大幅に縮小する見直し案を提示(国土交通省) | | | |
| 9 / 6 (木) | | | | 島原市議会、開館1年の「復興アリーナ」の入場者数が当初見込みの7割に達していないと公表(市) | | | 国見町の川田金太郎さん、奈良県大和町田市立土庫小学校に招かれ、同校児童らと交流 | |
| 9 / 9 (日) | | | | | | | 島原市桜馬場住宅と萩原の4自主防災会が合同防災訓練を実施し、防災意識を再確認 | |
| 9 / 10 (月) | | 定期火山情報 第9号 | | | 「メモリアルデー火山・砂防学習教室in大野木場」を大野木場小5、6年生26人を対象に開催(国土交通省) | | 大野木場小5、6年生26人「メモリアルデー火山・砂防学習教室in大野木場」で防災工事現場などを見学 | 島原名水ブルワリー経営難により今月末で営業中止を発表 |
| 9 / 11 (火) | | | | | | | | 北海道総合企画部有珠山火山活動災害復興対策室の一行7名、島原市と深江町を訪問し、復興対策などを学ぶ |
| 9 / 13 (木) | | | | | (財)雲仙岳災害記念財団の第1回役員会、本年度の事業計画案などを承認。看板を掲げる(県) | | | |
| 9 / 14 (金) | | | | | | | | 島原漁協、噴火災害後の水揚げ高激減の改善のため、アサリの養殖に着手と海底耕運作業の実施を発表 |
| 9 / 15 (土) | | | | | | | | |
| 9 / 17 (月) | | | | 第2次安中七地区画整理事業地内の一部「保留地」の一般販売メモ。23区画中2区画に申込み(市) | | | | 噴火災害で低迷する水産業の振興を図る「アサリ・ワカメ等種苗助成事業」で約250人による漁場の耕運作業(～19日) |
| 9 / 20 (木) | | | | 第2次安中七地区画整理事業地の宅地(保留地)の販売抽選会(市) | 衆議院調査局第三特別調査室員3名、島原市と深江町を訪問し、安中三角地帯などの復興状況を視察(国)(～21日) | | | |
| 9 / 21 (金) | | | | | | | | 故西川清人さんの遺作展—普賢岳10年の記録—を長崎市の十八銀行本店で開催 |
| 9 / 22 (土) | | | | | | | 島原市上新1丁目自主防災会、防災活動の活性化を図るために初期消火訓練を実施 | |

20014年(平成13年)9月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測研究センター 千知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|-----------------------------|---------------------------------|----------------------------------|--------------|------------------------------------|-------------------------|--|
| 9 / 23 (日) | | | | | | | 島原市原町自治防災会防災 訓練 | |
| 9 / 25 (火) | | | | | | | | 中国政府観光促進訪日代表 団の一行約40人、島原市や 深江町を視察 |
| 9 / 27 (木) | | | | | | | | 版画家小崎侃さんと童画家 前田秀信さんの二人展「島 原・平成新山への想い」を 長崎市で開催(～10月1日) |
| 9 / 28 (金) | | | | | | | | 島原半島農林業立地推進委 員会 |
| 9 / 30 (日) | | | | 島原市の義援金は今日現在 で累計43億6,400万円(市) | | | 島原名水ブルワリー営業停 止 | |

2001年(平成13年)10月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測研究センター 予知課 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|----------------------|-------------|-----------------------------|---------------------------------|---|---|------------------------------------|----------------------------|---|
| 10 / 3 (水) | | | | 安中砂防計画見直し説明会 (市) 三宅村役場へ見舞金192万 7,007円を送る。累計は約 792万円となる(市) | 雲仙普賢岳砂防計画の見直 しを説明。また本年度より 普賢岳で無人化施工による 緑化事業に取り組むことを 発表(国土交通省) | | | 葉タバコの買取り開始 (～15日) |
| 10 / 4 (木) | | | | 防災避難調整会議(市) | | | | 北海道伊達市より助役と総 務部長が来島し、被災地を 視察 |
| 10 / 9 (火) | | | | | | | | 中国など海外8ヶ国の消防 関係幹部職員8名、旧大野 木場小学校などの被災地を 視察 |
| 10 / 10 (水) | | 定期火山情報 第10号 | | | 第1回雲仙普賢岳災害記念 館評議員会(県) 雲仙岳災害記念館の愛称と シンボルマークを募集(県) (～11月30日) | | | 島原漁協、アサリの稚貝3. 275トンを放流。今月中に計 232.5トンを放流予定。同 事業により約1億8,000万 円の増収の見込み |
| 10 / 12 (金) | | | | | | | | 三沢博昭さんによる「島原 の湧水と歴史的建築物写真 展」(島原市)(～14日、20、 21日) 島原城薪能 |
| 10 / 13 (土) | | | | | | | | 島原温泉不知火まつり (～14日) 島原温泉をPRするために 観音島温泉公園に「足湯」が オープン |
| 10 / 14 (日) | | | | | | | | しまばらガマダス阿波踊り 大会 |
| 10 / 18 (木) | | | | | 第2回雲仙・普賢岳火山砂 防計画検討委員会、砂防ダ ムを現計画の56基から23基 に削減する整備計画案を提 示(国土交通省) | | | |
| 10 / 22 (月) | | | | | (財)雲仙岳災害記念財団の 職員募集を開始(県) | | | |
| 10 / 25 (木) | | | | 防災管理者資格取得講習会 (市) | | | 島原花と緑のまちづくり実 行委員会、花の植替え | |
| 10 / 26 (金) | | | | | (財)雲仙岳災害記念財団「 雲仙岳災害記念館」を来年 7月1日オープンを決定。 また入館料を大人1,000円、 中高生700円、小学生500円 と決定(県) | | | まちづくり講演会「島原の 街並みをさぐる一民家調査 をとおして」開催 |
| 10 / 27 (土) | | | | | | | | 第22回日本山岳修験学会雲 仙・島原・有家学術大会で 雲仙岳の歴史を講演 |

2001年(平成13年)10月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳観候所 九大観測研究センター 了知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|----------------------|-------------|-----------------------------|---------------------------------|----------------------|--------------|------------------------------------|--|-------------------------------|
| 10 / 28 (日) | | | | | | | 島原市小山町自主防災会、 避難訓練と初期消火訓練を 実施 | |
| 10 / 30 (火) | | | | | | | 島原第三中学校で総合学習 の発表会。普賢岳災害の研究 成果を発表 島原市中堀町下通町内会、 自主防災会を実施 | 島原温泉観光宣伝隊、関西 方面へ出発(～11月2日) |
| 10 / 31 (木) | | | | 霊丘地区市長を囲む懇談会 (11) | | | 島原市立三会小学校の3、 4年生113人、千木木地区 の復興状況、砂防事業を学 ぶ遠足 | |

2001年(平成13年)11月

| 月 日 | 火山活動 | 雲仙岳観測所 九大観測研究センター 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 N T T・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|----------------------|------|-----------------------------|---------------------------------|---------------------|--|--------------------------------------|--|---|
| 11 / 1 (木) | | | | 杉谷地区市長を囲む懇談会 (市) | | | | |
| 11 / 2 (金) | | | | 白山地区市長を囲む懇談会 (市) | | | | |
| 11 / 5 (月) | | | | | | | | 深江町漁協、養殖クルマエビの出荷を開始 |
| 11 / 7 (水) | | | | | 雲仙普賢岳の新計画「第一編火山砂防計画の基本」を策定。「第二編火山砂防施設整備計画」の策定に向け計画案の周知と住民の意見収集を9日より実施(国土交通省)(～29日) | | | |
| 11 / 9 (金) | | | | | | | | 地域高規格道路「島原道路」島原市工区建設促進期成会雲仙復興工事事務所、長崎工事事務所、県知事、県議会議員に要望書を提出 |
| 11 / 12 (月) | | 定期火山情報 第11号 | | | | | 島原市中町町内会自主防災会消火訓練 | |
| 11 / 13 (火) | | | | | | | 鎌ヶ江管一元市長、木の印税約25万円を寄付。累計で4,926,875円となる | |
| 11 / 14 (水) | | | | | | | | 土木学会西部支部地震防災委員会、島原市の九州大学附属地震火山観測研究センターで災害時の危機管理などをテーマに講演会を開催(～15日) |
| 11 / 15 (木) | | | | | | | 南高瑞穂町立岩戸小学校23年生、「雲仙百年の森づくりの会」に種子を寄贈 | 地震防災委員会、水無川流域の被災状況と復興状況視察の現地ツアーを行う |
| 11 / 16 (金) | | | | | | | | 自主防災会活動活性化促進事業の一環として開催された「島原市自主防災会講演会」で、九州大学の清水洋教授が「島原半島の火山と地震」を、長崎大学の高橋和雄教授が「自主防災活動への熱い期待」と題して講演 |
| 11 / 17 (土) | | | | | | | 島原市職員牛嶋善之助さん「異聞・島原大変記一ひとり芝居「山番／朔日」」を上演 | |

| 月 日 | 火山活動 | 雲仙岳測候所 九大観測研究センター 千知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|----------------------|------|-----------------------------|---------------------------------|---|--|------------------------------------|---|---|
| 11 / 18 (日) | | | | 三会地区住民を対象に震度6の地震と溶岩ドームの一部崩壊を想定した避難訓練を実施。約500人参加(市) 第18回深江町産業まつりに約8,000人の人出(町) | 雲仙・普賢岳火山砂防シンポジウム「土石流から安全で住み良いふるさとを作るために」を開催。見直し案に対する住民の意見を収集。約150人が参加(国土交通省) 雲仙普賢岳フェスティバルを開催 | | NPO法人「災害通信ネットワーク」の約100人、湯江川上流域で5年ぶりに樹木の手入れ作業 | |
| 11 / 19 (月) | | | | 三会地区市長を囲む懇談会(市) クルマエビ養殖場造成工事に着工(町) | 「地域戦略プラン」雲仙・普賢岳の森林再生計画で新たに1億5,000万円を追加してヘリコプターによる空中散布に変更(国土交通省) | | | |
| 11 / 20 (火) | | | | | | | 県立島原農業高校野菜部生ごみ研究班の8名と民間業者の共同で、普賢岳の緑化に役立てるため噴火災害で立ち枯れたヒノキなどのチップを使った「堆肥化実験」を南千本木地区で開始 | 地域高規格道路「島原道路」島原市工区建設促進期成会 国土交通省九州地方整備局に要望書を提出 |
| 11 / 21 (水) | | | | 安中地区市長を囲む懇談会(市) | | | | |
| 11 / 23 (金) | | | | | 千本木地区でドングリなどの種子まきを開催。市内の子どもたち約160人が参加(国土交通省) | | 千本木地区で市内の子どもたち約160人がドングリなどの種子まき 島原市土の原3丁目自主防災会、防災施設を見学 | |
| 11 / 24 (土) | | | | | | | 島原市三会町自主防災訓練 | |
| 11 / 25 (日) | | | | | 水無川導流堤で「雲仙普賢岳フェスティバル2001」を開催。約1,500人が参加(国土交通省) 緑化推進に貢献した(社)ゴルファーの緑化推進協力会に感謝状を贈呈(県) | | | |
| 11 / 27 (火) | | | | | | | | 島原地域広域町村圏組合など3団体、復興支援や半島振興などを国土交通省など関係省庁に要請 |
| 11 / 29 (木) | | | | 第1回島原市中心市街地活性化基本計画検討委員会(市) | | | | 「2001島原ファンタジア」の開催を前に島原城でイルミネーションの試験点灯 |

2001年(平成13年)12月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳測候所 九大観測研究センター 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 N.T.T・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|----------------------|-------------|--|---------------------------------|---|--|--------------------------------------|-------------------------------|--|
| 12 / 1 (土) | | | | | | | | 「2001島原ファンタジア」開幕。島原城と堀端桜並木に約17,000個のイルミネーションが点灯(～1月5日) |
| 12 / 2 (日) | | | | | | | 島原市高島2丁目自主防災会、防災訓練 | |
| 12 / 6 (木) | | | | 島原市議会補正予算案2億2,900万円を上程(市) | | | | |
| 12 / 8 (土) | | | | がまだ島原の産業まつり開催(市)(～9日) | | | | 第19回九州学生駅伝対抗選手権大会「島原・雲仙学生駅伝」 |
| 12 / 9 (日) | | | | 島原市中心市街地活性化基本計画策定委員会第1回商業活性化部会(市) | | | | |
| 12 / 10 (月) | | 定期火山情報 第12号 | | | | | | |
| 12 / 11 (火) | | | | (財)島原市義援金基金臨時理事会、復興の遅れている分野について2004年度まで3年間の延長を決定(市) | | | | |
| 12 / 12 (水) | | | | | 県立島原病院完成。1月24日より診療開始(県) | | | |
| 12 / 14 (金) | | | | | 第3回雲仙・普賢岳火山砂防計画検討委員会(最終会議)、計画砂防ダムを現行の56基から23基に減らす国土交通省の削減見直し案を了承 | | 鐘ヶ江管一元市長、島原署で「普賢鳴りやまず」と題した講演会 | |
| 12 / 15 (土) | | 普賢岳周辺で人工地震を起してマグマの火道を探る実験(火道探査)を開始(九州消防火災観測センター)(～24日) | | | | | | |
| 12 / 17 (月) | | 火道探査の様子をマスコミに公開(九州消防火災観測センター) | | | | | | |
| 12 / 18 (火) | | | | 第2回島原市中心市街地活性化基本計画策定検討委員会(市) | | | | |
| 12 / 19 (水) | | | | 安中土地区画整理審議会(市) | | | | |

2001年(平成13年)12月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳観測候所 九大観測研究センター 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深谷町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|----------------------|-------------|------------------------------|---------------------------------|---|---|------------------------------------|----------------------------|----------------------------------|
| 12 / 21 (金) | | | | 島原市議会、平成14年度以降の島原市義援金について復興が遅れている被災者の支援などの3項目について16年度まで3年間の延長を決定(市) | | | | |
| 12 / 22 (土) | | | | | | | | 2001島原ファンタジア冬の 花火大会(小浜町) |
| 12 / 25 (火) | | | | 島原復興アリーナ開館1周年記念クリスマスコンサート(市) | | | | |
| 12 / 27 (木) | | | | | 計画砂防ダム56基から23基に縮小を柱とした「新雲仙・普賢岳火山砂防計画」を策定(国土交通省) | | | |
| 12 / 30 (日) | | | | 道の駅「みすなし本陣ふかえ」の入場者数が2年9ヶ月で200万人に達し記念セレモニー。久留米市の小宮新一さんに記念品贈呈(町) | | | | |
| 12 / 31 (月) | | | | | | | | 「第3回カウントダウンin 島原城」に約5,500人が参加 |

2002（平成14）年
1月～12月

2002年(平成14年)1月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳観候所 はなねし観候センター 予知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|-----------------------------|---------------------------------|--|--|------------------------------------|--|--|
| 1 / 7 (月) | | | | | | | | ケーブルテレビジョン島原 無料インターネットホット スポットサービス(要メン バー登録)を島原外港ター ミナルに開設 |
| 1 / 10 (木) | | 定期火山情報 第1号 | | | | | | |
| 1 / 11 (金) | | | | (財)島原市義援金基金臨時 理事会で平成14年度から16 年度までの3年間延長する 基本方針を原案どおり承認 住宅再建など10事業の復興 支援を継続(市) | | | | |
| 1 / 12 (土) | | | | | 県立島原病院落成。1月24 日より診療開始(県) | | | |
| 1 / 18 (金) | | | | 第2回島原市中心市街地活 性化基本計画策定検討委員 会(市) | | | | |
| 1 / 20 (日) | | | | 安中土地区画整理事業換地 計画の縦覧 (市)(～2月4日) | | | | |
| 1 / 21 (月) | | | | 島原市議会全員協議会、各 種団体に対する市単独補助 金183件中の118件について 一律10%(約1,686万円)削 減することを決定(市) | | | | |
| 1 / 22 (火) | | | | | | | | 国有林治山事業安全祈願祭 (島原市) |
| 1 / 24 (木) | | | | | 第1回肩山トンネル等技術 検討委員会、基本方針など を話し合う(国土交通省) | | | |
| 1 / 25 (金) | | | | | 事務所発足10周年にあたり 「雲仙復興工事事務所10周 年記念行事実行委員会(仮 称)」の委員6名程度を公募 すると発表(国土交通省) | | 安中地区連絡協議会、島鉄 新駅設置に関する今後の取 組みについて話し合う 長崎県島原警察署協議会、 安中地区の安徳荘住所の再 建用地などを視察 | |
| 1 / 26 (土) | | | | | 雲仙科学掘削の現在までの 研究成果や今後の狙いを一 般に報告する普及講演会「 火山はどうなっているの? ー雲仙科学掘削プロジェクト からの報告」を開催。宇 井忠英北海道大学教授他3 氏が講演。約100人が参加 (文部科学省) | | | |

2002年(平成14年)1月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳湖候所 はなね山噴火センター 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 高山市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の山町村・その他 |
|---------------------|-------------|-----------------------------|---------------------------------|----------------------------|--------------|------------------------------------|-------------------------|--------------------------|
| 1 / 29 (火) | | | | 第5回活性化モデル事業ワ ーキング委員会(市) | | | | |

2002年(平成14年)3月

| 月 日 | 火山活動 七石流 | 雲仙岳湖候所 見聞センター 子知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|-------------------------|---------------------------------|------------------------------|--|------------------------------------|--|---|
| 3 / 3 (H) | | | | | 雲仙復興工事事務所10周年 記念行事実行委員会、水無 川などを現地視察 (国土交通省) | | 九州電力(株)創立50周年記 念「雲仙普賢の森植林ボラ ンティア」で約2,500名が参 加して、南千本木町の垂木 台地でヤマザクラなどの苗 木約11,000本を植樹 島原市桜馬場町内会自主 防災訓練 | |
| 3 / 6 (水) | | | | | 愛野島原線の中央部に位置 する宇七山トンネルが貫通 (県) | | | |
| 3 / 7 (木) | | | | | | | 島原生き残りど復興対策協 議会が10年半余の活動を終 えて解散 安中地区住民でつくる「雲 仙国道57号水無大橋上流一 般架橋建設推進協議会」、 上流への架橋推進の要望書 を島原市へ提出 | |
| 3 / 9 (土) | | | | | | | 「島原まちづくりフォーラ ム」開催。パネルディスカ ッション | がまだアグリ王国新鮮市 場を大阪府と兵庫県で開催 (～10日) |
| 3 / 11 (月) | | 定期火山情報 第3号 | | | | | | |
| 3 / 12 (火) | | | | | | | | 神戸市のボランティア団体 「この町・花の街・作戦」実 行委員会の田村治典委員長 ら3名、深江町立大野木場 小学校やふかえ桜パークな どに「希望りんご」の苗木50 本を寄贈 |
| 3 / 13 (水) | | | | | | | 「希望りんご」の苗木を深江 中学校などで記念植樹 | |
| 3 / 17 (H) | | | | | | | 島原市宇土町町内会自主 防災訓練 | 三宅島、有珠山、雲仙普賢 岳など火山災害被災者らが フォーラムを東京で開催。 災害支援策の統一を訴える |
| 3 / 20 (水) | | | | | 島原大橋上部工工事連結式 (県) | | | |
| 3 / 23 (土) | | | | 安中三角地帯復興記念式典 に約400名が参加(市) | | | 安中再生記念公園(仮称)で 記念碑の除幕式 われん川でタブノキなどの 苗木約500本を記念植樹 安中三角地帯嵩上推進協議 会解散 | |
| 3 / 25 (月) | | | | | | | | 情報基盤協議会島原地域分 科会総会 |

2002年(平成14年)3月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 雲仙岳湖候所 はくろ院センター 予知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|---------------------------|---------------------------------|--------------------------------------|---|------------------------------------|-------------------------|--------------------------|
| 3 / 27 (水) | | | | 情報通信関連事業所「コー ルセンター島原支店」を誘 致(市) | がまだず計画推進委員会、 計画された325事業のうち 292事業に着手し、進捗率 は90%と発表し、組織の解 散を宣言。また、雲仙岳災 害記念館を視察(県) | | | |
| 3 / 29 (金) | | | | 町営住宅大野木場用地10戸 完成(町) | 2002年度事業概要を発表。 事業費は対前年度比31%減 の49億3,900万円 (国土交通省) | | | |
| 3 / 31 (日) | | | | 第56次警戒区域設定延長 (～平成15年3月31日) | | | | |

2002年(平成14年)4月

| 月 日 | 火山活動 | 福岡県気象台・情報センター 火山監視センター 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|------|--|---------------------------------|---|--------------|--|--|---|
| 4 / 1 (月) | | | | | | 今年で6年目の観光トロッ コ列車「ハッピートレイン」 の運行開始。目標は初年度 実績の45,000人(島鉄) (~11月15日) | | |
| 4 / 5 (金) | | 火山活動解説資料 第4号 (旧名:定期火山情報) (今月より「福岡管区気象台 火山監視・情報センター」 が発表) | | | | | | |
| 4 / 6 (土) | | | | 4月6日の「城の日」にちな み、天守閣入場者に絵はが きセットを無料配布(市) | | | | |
| 4 / 7 (日) | | | | | | | 島原山江戸町内会消防訓 練 | 島原大変遭難者慰霊祭 |
| 4 / 14 (日) | | | | | | | 森岳まちづくりの会、島原 城に鯉のぼりと武者のぼり を掲げる アララクリーン会、ふかえ 桜パークに桜の木40本を植 樹 | |
| 4 / 15 (月) | | | | | | | | 島原漁協、島原市内6箇所 のうち5箇所でアサリの稚 魚の発育不良と資源保護な どにより22日より潮干狩り を中止と発表 |
| 4 / 20 (土) | | | | | | | 1991年9月の大火破壊で焼 失した大野木場簡易郵便局 が10年半ぶりに再建し開局 県中小企業家同友会、約成 30周年を記念してふかえ桜 パークに八重桜150本を植 樹 | |
| 4 / 21 (日) | | | | | | | 長崎市の音楽家寺井・通さ ん作曲の「生きていたんだ ね」を旧大野木場小学校で 全児童86名が合唱を披露 シマバライチゴを守る会、 約40本のシマバライチゴを 元池の森に移植 | 「三宅島島民連絡会」の設立 で島原普賢会の大町辰明理 事長が出席し、カンパとエ ールを送る(東京) |
| 4 / 22 (月) | | | | | | | 島原ライオンズクラブ結成 40周年記念で水無川1号砂 防えん堤左岸袖部に桜など 約180本を植樹 | |

2002年(平成14年)4月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 福留区福祉センター・健康センター 福祉研修センター 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|-------------------------------------|---------------------------------|------------------------|--|------------------------------------|-------------------------|--------------------------|
| 4 / 25 (金) | | | | かんぼの宿との災害時協力 調印式(市) | 「雲仙普賢岳砂防指定地利 活用構想」に基づき、地域 住民らの自己責任において 利用している砂防施設など 20箇所の安全利用点検を実 施(国土交通省) 県道愛野島原線の付替工事 のうち、中尾川を渡る火山 砂防工事の一部区間「中尾 川横断橋(仮称)」の上部工 が竣工(国土交通省、県) | | | |
| 4 / 29 (月) | | | | | 「ふるさとの木による森づ くりネットワーク島原」が 発足し、「緑の里親制度」が スタート(国土交通省) | | | |

2002年(平成14年)5月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 福都政議出火履歴・備忘録 大規模噴火履歴センター 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|------------------------------------|---------------------------------|--|---|------------------------------------|----------------------------|--|
| 5 / 1 (水) | | | | | | | | 島原大変遭難者供養祭 |
| 5 / 7 (火) | | 火山活動解説資料 第5号 | | | | | | |
| 5 / 9 (木) | | | | 平成13年の観光動態調査結果を発表。入込み客数は約159万9,800人(前年比10%減)、宿泊客数は約26万2,800人(前年比0.4%増)、修学旅行生は依然として22%に留まる(市) | | | | |
| 5 / 10 (金) | | | | | 住民に利用させている砂防施設の安全利用点検の結果を発表(国土交通省) | | | |
| 5 / 12 (日) | | | | | | | | 三宅島の民生児童委員協議会の一行13名、島原市の民生児童委員協議会の人らに災害当時の話や復興に向けた取組みなどを聞く |
| 5 / 15 (水) | | | | 仁田団地第一公園内の「普賢岳噴火災害犠牲者追悼の碑」に火災流犠牲者43人の芳名板を設置し、6月3日の「いのりの日」に除幕式を行うと発表(市) | | | | |
| 5 / 17 (金) | | | | | 梅雨期を前に深江町の赤松谷流域など半島の危険箇所を現地調査(県) | | | |
| 5 / 22 (水) | | | | | | | | 北海道伊達市より市議会総務企画常任委員会一行が来島し、ケーブルテレビ回線を活用して情報化推進の島原市の現状を視察 |
| 5 / 23 (木) | | | | | | | | 有明海水産振興協議会と有明海栽培漁業推進協議会の総会で今年度の事業計画を決定 |
| 5 / 24 (金) | | | | (財)島原市義援金基金理事会、約3億4,500万円の今年度予算案や事業計画など3議案を原案どおり承認(市) 防災対策現地視察(市) | 島原地域防災連絡会議、県消防防災課が今年度より2ケ年計画で実施する「雲仙活断層群に関する調査」の概要を発表。また、島原半島内の危険箇所は639箇所と発表(県) | | | |
| 5 / 25 (土) | | | | | | | | 第21回全国城下町シンポジウム島原大会「島原平成の乱一創成への息吹」が開催(~26日) |

2002年(平成14年)5月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 被害調査・復旧・調査センター 大規模火山噴火調査センター 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 N.T.T・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|--|---------------------------------|---------------------------------------|--|--------------------------------------|-------------------------|--|
| 5 / 27 (月) | | | | | (財)雲仙岳災害対策基金理 事会、今年中に解散後は(財)雲仙岳災害記念財団へ 約20億4,600万円の寄付を 了承(県) | | | パキスタン政府のアフガニ スタン難民執行官アリーム ・アフリディ氏、雲仙普賢 岳噴火災害からの復興の経 過などを視察のため来島 「雲仙・普賢岳噴火災害写 真公募展」をサンプラザ万 町で開催(~6月2日) |
| 5 / 28 (火) | | | | | 第2回雲仙復興工事事務所 10周年記念行事実行委員会 (国土交通省) | 2001年度3月期決算で9年 連続赤字(島原鉄道) | | |
| 5 / 29 (水) | | | | | 雲仙岳災害記念館評議員会 7月1日開館に向けた準備 状況(初年度入場者20万人 を見込む)を報告(県) 南千木木町の中尾川治山ダ ム群入口に親水公園(千木 木湧水)完成、出水式(県) | | 花と緑のまちづくり運動実 行委員会 | 東京都の青山副知事ら5 名、普賢岳噴火被災地の復 興状況視察のため来島 |
| 5 / 30 (木) | | | | 九州・沖縄「道の駅」連絡会 総会(町) 中心市街地活性化研修会 | 出水期を控え、普賢岳噴火 災害被災地など危険箇所を 県や関係機関と合同現地調 査(国土交通省) 水無川・中尾川水系安全対 策協議会、中尾川上流域の 工事現場で160人が参加し て避難訓練(国・県他) | | | 東京大学地震研究所、地球 惑星科学合同学会で眉山地 下へマグマが供給されてい る可能性が高いと発表 島原半島復興対策協議会及 び島原・天草架橋建設促進 期成会総会 |
| 5 / 31 (金) | | | | | 7月1日に開館する雲仙岳 災害記念館(愛称:がまだす ドーム)の(財)雲仙岳災害 記念財団理事会、今年度の 事業計画案などを承認。ま た、理事長に金子原二郎長 崎県知事、館長に河野俊文 氏、名誉館長に鎌ヶ江晋一 氏などの人事を決定(県) | | | 雲仙・普賢岳火山防犯促進 期成会総会 |

2002年(平成14年)6月

| 月 日 | 火山活動 | 雲仙岳噴火履歴・備忘録 はなびセンター 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 | |
|---------------------|------|-------------------------------|---------------------------------|--|--|------------------------------------|--|---|-------------------------------------|
| 6 / 1 (土) | | | | | | | | 第9回島原半島ツアー 一斉開催、2,939人参加 (～2日) | |
| 6 / 2 (日) | | | | | | | 島原市職員内嶋壽之助さん 、噴火災害11周年記念ひとり 芝居・ひとり語り「異聞・ 島原大変記」(山番/朔日(まじ つ))を上演 島原市指定文化財「清水川 を管理する中木場清水川管 理組合員が同水路を清掃 | | |
| 6 / 3 (月) | | | | 大火砕流から丸11年、犠牲 者の追悼と「いのりの日」の 様々な行事(市) 仁田団地内の雲仙普賢岳噴 火災害犠牲者追悼の碑前に 献花所を設置。吉岡市長ら 5名が献花。また、終日市 民らが献花(市) 同追悼の碑に犠牲者44名の 芳名板が設置され除幕式 (市) 午後4時8分市民黙祷(市) 島原市防災会議(市) | | | | 犠牲者の遺族7名、北上木 場農業研修所跡地と定点を 訪れ、午後4時8分に黙祷 市内の各小中学校「いのり の日」に併せた集会を行う 島原第三中学校では杉本伸 一さんが、島原第四小学校 では橋本徹也さんが体験談 を語る | 土砂災害に関するパネル展 とビデオ上映(サンプラザ カ町) |
| 6 / 4 (火) | | | | 梅雨期を前に眉山や水無川 流域で関係9機関の約50名 が防災対策現地視察(市) | 雲仙岳災害記念館館長の河 野俊文氏と名誉館長の鎌ヶ 江管一氏に辞令交付(県) | | | | |
| 6 / 5 (水) | | | | | 土砂災害防止月間の街頭キ ャンペーン(国土交通省) | | 九州電力(株)、花と緑のま ちづくり運動実行委員会に 苗木380本を贈呈 | | |
| 6 / 6 (木) | | | | | | | 土砂災害防止月間の本年度 「土砂災害防止功労者」国土 交通大臣表彰に選ばれた島 原第五小学校の表彰式 | | |
| 6 / 7 (金) | | 火山活動解説資料 第6号 | | | | | 島原第五小学校と大野木場 小学校の児童ら約200人、 雲仙岳災害記念館を見学 | | |
| 6 / 10 (月) | | | | | | | | 雲仙・普賢岳噴火災害写真 展(長崎市)(～16日) | |
| 6 / 12 (水) | | | | 防災会議を開催(町) | | | | | |

2002年(平成14年)6月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 調査・調査台知照機・情報センター 大規模研究センター 予知速達 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|---------------------------------------|---------------------------------|---|--|------------------------------------|---|--|
| 6 / 20 (木) | | | | | 「土砂災害防止に関する絵 画・ポスター・作文コンク ール」のポスター部門で砂 防部長賞を受賞した千々石 中2年光永圭孝君の表彰伝 達式(国土交通省雲仙復興 工事事務所) | | | 西日本新聞創刊125周年記 念の「安全・安心の地域づ くりシンポジウム」が島原 市で開催され、伊藤一長 崎市長、高橋和雄長崎大学 教授らパネラー6名と助言 者の貝原俊民前兵庫県知事 らによるパネルディスカッ ション。約500人が参加 |
| 6 / 23 (日) | | | | | 雲仙岳災害記念館(愛称:が まだすドーム)、7月1日 の開館の前に、島原半島の 希望者を無料招待(県) | | | |
| 6 / 24 (月) | | | | 防災告知機能付きIP電話に よる「防災・行政同報告知 システム」モデル事業を今 年10月から開始と発表。端 末機約100台を消防署や学 校などに配置し、実用性な どの実証実験を行う(市) | | | | |
| 6 / 26 (水) | | | | | | | 有明町在住の画家佐藤利宗 さんが絵画「焼郷」を雲仙岳 災害記念館に寄贈 | |
| 6 / 27 (木) | | | | | | | | 7月1日開館の雲仙岳災害 記念館の宣伝キャラバン隊 14名、長崎市でオープン案 内のチラシを配布 |
| 6 / 29 (土) | | | | | 7月1日開館の前に雲仙岳 災害記念館(愛称:がまだす ドーム)の開館記念式典 (県) | | | |

| 月 日 | 火山活動 十石流 | 島原半島観光情報センター 大野木場情報センター 予知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|-----------------------------------|---------------------------------|------------|---|------------------------------------|--|--|
| 7 / 1 (月) | | | | | 雲仙岳災害記念館(愛称:が まだすドーム)オープン、 約1,000名が入館。初年度 入館者22万人を見込む(県) 長崎県島原振興局、加津佐 町、加津佐郵便局と「土砂 災害および内山災害防止に 関する三者の協力に係る実 施協定」を締結(県) | | | 故西川清人さんの写真展が 雲仙岳災害記念館の開館に 併せて同館で開催(~27日) |
| 7 / 2 (火) | | | | | 雲仙復興工事事務所10周年 記念行事の内容とシンボル マークを発表(国土交通省) | | | 島原半島観光連盟総会 |
| 7 / 3 (水) | | | | | | | | 観光業関係者でつくる「島 原の交流人口を増やす会」、 島原半島の観光誘致政策など の研修会 |
| 7 / 4 (木) | | | | | 漁場再生に向けた水無川河 口域の海底の底質改善を図 る事業に着手(県) | | | |
| 7 / 5 (金) | | 火山活動解説資料 第7号 | | | | | | |
| 7 / 7 (日) | | | | | 開館後初の日曜日の雲仙岳 災害記念館に約2,800人の 入館者。延べ入館者数約9, 020人(県) | | | |
| 7 / 12 (金) | | | | | 海底の底質改善工事の様子 を公開(県) 第3回雲仙復興工事事務所 10周年記念行事実行委員会 (国土交通省) | | 安中三角地帯の嵩上げ事業 により解体された中安徳町 の八幡神社の再建起工式 | |
| 7 / 13 (土) | | | | | | | 杉谷地区まちづくり協議会 の主催で、中尾川河川敷で 島原第四小学校と島原商業 高校の児童・生徒ら約100 名がコスモスの種まき | |
| 7 / 18 (木) | | | | | | | | 中国北京市の修学旅行団「 日中青少年友好訪問団」一 行の小中高校生ら約100名、 雲仙岳災害記念館など見学 |
| 7 / 20 (土) | | | | | | | 鉄板が絡まったタブノキの 種まき大会 | 島原半島観光連盟の島原一 福岡間往復無料バス「がま だす号」の第1便福岡市で 出発式(~9月1日) |
| 7 / 21 (日) | | | | | ふるさとの木による森づく りキャンペーンでタブノキ の種まき(国土交通省) | | 「ふるさとの木による森づく りネットワーク島原」、 大野木場情報センターで「 雲仙・緑の里親制度」のキャ ンペーンを実施(~28日) | |

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 N.T.T・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|--------------|--------------|--------------------------------------|---|--------------------------------|
| 8 / 1 (木) | | | | | | 中国駐長崎総領事王昆氏ら2名が来島し、雲仙岳災害記念館を視察 |
| 8 / 2 (金) | | | | | | 故西川清人さんの遺族、遺作写真42点を雲仙岳災害記念館に寄贈 |
| 8 / 3 (土) | | | | | NPO法人島原普賢会の大町辰朗さん、「キャンプ砂防2002in雲仙」で大学生に講話 | 第15回島原水まつり |
| 8 / 7 (水) | | 火山活動解説資料 第8号 | | | | |
| 8 / 10 (土) | | | | | | |
| 8 / 23 (金) | | | | | | |
| 8 / 24 (土) | | | | | | |
| 8 / 27 (火) | | | | | | |
| 8 / 28 (水) | | | | | | |
| 8 / 29 (木) | | | | | | |
| 8 / 30 (金) | | | | | | |

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 福知川線大井町駅・新井町駅 大井町駅・新井町駅 予知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|---------------------|-------------|-----------------------------------|---------------------------------|---|---|------------------------------------|----------------------------|---|
| 9 / 2 (月) | | | | | 雲仙岳災害記念館内に設置した「三宅島噴火災害義援金」で募金した222,370円を三宅村役場へ送付(県) | | | |
| 9 / 3 (火) | | | | | 防災週間にならみ、中尾川流域の導流工が崩壊したとの想定で地震防災訓練を実施(国土交通省) | | | 観光交流まちづくり推進事業展開計画に関する意見交換会(島原市) |
| 9 / 4 (水) | | | | | 第4回雲仙復興工事事務所10周年記念事業実行委員会(国土交通省) | | | |
| 9 / 5 (木) | | | | | 大野木場監視所の愛称は南高布津町の松尾美波さん応募の「大野木場砂防みらい館」に決定(国土交通省) | | | |
| 9 / 6 (金) | | 火山活動解説資料 第9号 | | | | | | |
| 9 / 7 (土) | | | | | 雲仙岳災害記念館開館2カ月余(69日)で入場者が10万人を達成、10万人の福岡県筑後市の下川富士さんに記念品を贈呈(県) | | | |
| 9 / 11 (木) | | | | 深江町ふるさと伝承館着工(町) | | | | |
| 9 / 13 (金) | | | | | | | | 諫早市の(株)昭和堂印刷社長永江正澄氏、あらかきゆみさんの油絵「夢の芽吹き」を雲仙岳災害記念館に寄贈 |
| 9 / 15 (日) | | | | 旧大野木場小学校被災校舎で大野木場メモリアルデー開催と被災校舎のライトアップ(町)(～16日) | 大野木場メモリアルデー2002を開催、約200名参加 大野木場監視所(愛称:大野木場砂防みらい館)が旧大野木場小学校西側に開所 伊藤和明氏を講師に「雲仙・普賢岳子供塾」を開催、3小学校から児童16名が参加 雲仙・普賢岳火山・砂防学習教室発表会(国土交通省) | | | |
| 9 / 24 (火) | | | | | | | | 島原漁協、海底に堆積する火山灰層を耕しアサリを放流する、本年度の「アサリ・ワカメ等種苗助成事業」に着手。漁民約300人による海底と海岸の耕うん作業(～25日、10月3～5日) |
| 9 / 25 (水) | | | | 島原市議会全員協議会、雲仙岳災害対策基金より寄付される運用財産が10億数千円であることを公表(市) | | | | |

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 福清大蔵山噴火センター 大蔵山噴火調査センター 予知班 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|----------------------|-------------|-----------------------------------|---------------------------------|---------------------|--|------------------------------------|---|---|
| 10 / 4 (金) | | | | | 第5回雲仙復興工事事務所 10周年記念事業実行委員会 (国土交通省) | | | 長崎観光大学「観光ボラン ティア創設講座」を開催。 15人が参加して組織化や活 動内容などについて研修 |
| 10 / 5 (土) | | | | | | | | 「島原・天草・長島架橋構 想及び九州西岸軸構想推進 地方大会」が島原市で開催 |
| 10 / 6 (日) | | | | | | | 第7回がまだコンサート 開催。約500名が参加 | |
| 10 / 7 (月) | | 火山活動解説資料 第10号 | | | | | | 島原市と国際協力事業団九 州センター、同事業団の草 の根技術協力事業「火山と の共生」でフィリピンより 公務員で防災担当者のライ ブ・セドリックさんとアラ ゴン・ジェイソンさんが島 原市で研修開始(～29日) |
| 10 / 11 (金) | | | | | | | 上木場災害遺構保存会、北 上木場農業研修所跡地の保 存について、被災車両や災 害当時使用されていた半鐘 を「慰霊の鐘」として保存す ることなどの5項目を島原 市に要望 | |
| 10 / 13 (日) | | | | | | | | 島原温泉不知火まつり (～15日) |
| 10 / 18 (金) | | | | 安中地区市長を囲む懇談会 (市) | | | | |
| 10 / 21 (月) | | | | 杉谷地区市長を囲む懇談会 (市) | | | | |
| 10 / 22 (火) | | | | | | | 島原市千本木地区の千本木 湧水広場源泉付近を約20人 が清掃・整備作業 | |
| 10 / 24 (木) | | | | | | | | 島原漁協、島原市前浜地区 の有明海にアサリの稚貝約 9トンを放流。11月中旬ま でに約220トンを放流予定 |
| 10 / 27 (日) | | | | | | | | NPO法人島原普賢会、三 宅島島民連絡会、洞爺にぎ わいネットワークの3団体 で作った「火山地域の市民 体相互支援ネットワーク」 主催でフォーラムを開催。 約70名が参加 (北海道釧田町) |

2002年(平成14年)10月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 噴煙状況の監視・観測センター 火山噴煙監視・観測センター 予知速達 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|----------------------|-------------|---|---------------------------------|------------|--------------|------------------------------------|--|--|
| 10 / 28 (月) | | | | | | | | NPO法人島原普賢会と三宅島島民連絡会のメンバー、有珠山の西口火口を視察 |
| 10 / 29 (火) | | | | | | | | 国際協力事業団九州国際センターと島原市共催の草の根技術協力事業「火山との共生」の閉講でフィリピンより来日の2人の研修終了 |
| 10 / 30 (水) | | | | | | | 島原市南千本木町で九州地区緑化推進大会記念植樹 島原市豊丘公民館で避難訓練 | |
| 10 / 31 (木) | | | | | | | | 東京都総務局三宅支庁の福島章人支庁長ら4名来島。三宅村復興のための島原市の復興状況を視察 |

| 月 日 | 火山活動 | 島原地区火山防災・防災センター 九十九町地区火山防災センター 予知車 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|----------------------|------|--|---------------------------------|--|--|------------------------------------|---|---|
| 11 / 1 (金) | | | | 霊丘地区市長を囲む懇談会 (市) | | | | |
| 11 / 3 (日) | | | | 「島原防災の日」の自主防災 会研修会を開催(市) | 「島原防災の日」の自主防災 会研修会で、宇都浩三独立 行政法人産業技術総合研究 所火山活動研究グループ長 が講演の中で来年2月より 3年計画で普賢岳北側斜面 の火道掘削調査を開始と公 表 | | | |
| 11 / 6 (水) | | | | | 雲仙岳災害記念館に時計塔 を寄贈した島原ライオンズ クラブに金子知事が感謝状 を贈呈(県) | | | |
| 11 / 7 (木) | | | | | | | 島原花と緑のまちづくり実 行委員会、花の植え替え | 地域高規格道路「島原道路」 島原市工区建設促進期成会 と雲仙普賢岳火山砂防促進 期成会同盟会、国土交通省 雲仙復興工事事務所に島原 道路や砂防施設の整備など の事業推進を要望 |
| 11 / 8 (金) | | 火山活動解説資料 第11号 | | | | | | |
| 11 / 9 (土) | | | | | | | 白山っ子ひろば、紙芝居「 島原大変普賢岳噴火」上演 | 明るく活力ある半島づくり フォーラム「島原半島の未 来は、いっぺんどうなってし まうのか!!」を開催 |
| 11 / 10 (日) | | | | | | | 九州電力(株)「第2回雲仙・ 普賢の森植樹ボランティア 」で島原市千本木町の垂木 台地で約1,400名がタブノ キなど10,000本を植樹 | |
| 11 / 11 (月) | | | | | | | | 島原半島復興対策協議会及 び島原・大草架橋建設促進 期成会、雲仙復興工事事務 所と島原振興局へ要望 |
| 11 / 13 (水) | | | | | 第6回雲仙復興工事事務所 10周年記念行事実行委員会 (国土交通省) | | | |
| 11 / 15 (金) | | | | 平成15年版観光絵はがきに 島原第一小学校3年の岩永 香苗さんの作品を採用と発 表(市) 三会地区市長を囲む懇談会 (市) | | | 島原市職員内嶋善之助さん スライド芝居「寛政と平成 の島原大変記- (普賢岳噴 火案内)」を上演 | |
| 11 / 16 (土) | | | | | 雲仙岳災害記念館、噴火12 周年にあわせて第1回スケ ッチ大会を開催(県) | | | |

2002年(平成14年)11月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 御嶽山噴火情報・観測センター 大規模噴火観測研究センター 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|----------------------|-------------|--|---------------------------------|----------------------------------|---|------------------------------------|---|---|
| 11 / 17 (日) | | 雲仙普賢岳噴火丸12年 | | | 雲仙岳災害記念館、開館4 ヶ月半で入場者数20万人を 達成。20万人目の福岡県田 川市の藤岡弘子さんと記念 セレモニー(県) | | 島原市職員内嶋善之助さん 島原大変を題材にした普賢 岳噴火の日特別公演・ひと り語り「山番」を上演 | |
| 11 / 21 (木) | | | | 観光絵はがき絵画コンクー ル入賞者表彰式(市) | | | | |
| 11 / 22 (金) | | | | | | | わかくさ保育園児、九大地 震火山観測研究センターを 感謝の想問 | |
| 11 / 23 (土) | | | | 「2002がまだ島原の産業 まつり」開催(市)(～24日) | 雲仙復興工事事務所の開所 10周年記念式典とシンポジ ウム「私たちの描く夢・私た ちのふるさと」を開催 雲仙・普賢岳火山・砂防学 習教室発表会 雲仙復興俳句大会優秀作品 表彰(国土交通省) | | | |
| 11 / 24 (日) | | | | 深江町産業まつり(町) | 「雲仙普賢岳フェスティバ ル2002」を開催。約2,000名 が参加 森づくり講演会とどんぐり の種まき(国土交通省) | | 土石流で壊滅的な被害を受 け、安中三角地帯の嵩上げ 事業で移転していた徳法寺 が鎌田町の現地で再建の棟 上げ式 | |
| 11 / 28 (木) | | | | 白山地区市長を囲む懇談会 (市) | | | | |
| 11 / 29 (金) | | | | 森岳地区市長を囲む懇談会 (市) | | | | |
| 11 / 30 (土) | | | | | | | | 姉妹都市福知山市へ噴火災 害支援に対するお礼と復興 PRのための友好親善訪問 の旅に吉岡市長ら100名が 出発(～12月2日) |

2002年(平成14年)12月

| 月 日 | 火山活動 | 福井県立火山防災・防災センター 大野木場小学校環境研究センター 予知速 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|----------------------|------|---|---------------------------------|------------|--|------------------------------------|--|--------------------------------------|
| 12 / 1 (日) | | | | | | | | 2002島原ファンタジアのイルミネーションが島原城に点灯(～1月13日) |
| 12 / 2 (月) | | | | | | | 大野木場小学校児童88名、「旧大野木場小学校環境保全活動」として旧校舎周辺を清掃 | |
| 12 / 5 (木) | | | | | 雲仙岳災害記念館、来館者からの義援金259,397円を三宅村役場に送付。送金累計は481,767円となる(県) | | | |
| 12 / 6 (金) | | 火山活動解説資料 第12号 | | | | | 水無川流域の被災農地の地権者(757名)で作る島原深江土地改良区、中安徳町で約30名が出席して一帯の農業振興の拠点となる研修施設の起工式 | |
| 12 / 6 (金) | | | | | | | | 第20回九州学生駅伝対抗選手権大会「第5回島原・雲仙学生駅伝」 |
| 12 / 8 (日) | | | | | 雲仙復興工事事務所10周年記念行事の一環として、北千本木1号砂防堰堤・南千本木砂防ダム完成記念植樹祭(国土交通省) | | 北上木場農業研修所跡地の保存事業開始を前に現地で安全祈願祭「ふるさとの木による森づくりネットワーク島原」、中尾川流域の南千本木1号砂防ダム袖部で約230名が参加して被災タブノキの種子から育てた苗木とクヌギなど約2,000本を植樹 | |
| 12 / 9 (月) | | | | | | | 北上木場農業研修所跡地の災害遺構の保存事業開始 | |
| 12 / 10 (火) | | | | | 雲仙・普賢岳無人化施工・砂防ソイルセメント現地講習会を実施(国土交通省)(～11日) | | 北上木場農業研修所跡地で始まった遺構保存事業で、警察自約20名が土砂に埋もれた被災パトカーを掘り出し収容。また、車内から双眼鏡も見つかる 北上木場災害遺構保存会も消防車など被災車両を掘り出す | |
| 12 / 20 (金) | | | | | (財)雲仙岳災害記念財団第2回理事会、同年度事業計画変更案などを原案どおり承認。また、好調の雲仙岳災害記念館の入場者数を当初の22万人より約70%増の38万人に上方修正 | | | |
| 12 / 21 (土) | | | | | | | | 2002島原ファンタジア冬の花火大会(小浜町) |

2002年(平成14年)12月

| 月 日 | 火山活動 土石流 | 海嘯防災施設・避難センター 大規模地震防災センター 予知連 | 防災機関 (警察・消防・陸上自衛隊 ・海上自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力ガス・道路・水道 NTT・島原鉄道) | 住 民 ボランティア 学校・商工業 | マスコミ 研究者 他の市町村・その他 |
|----------------------|-------------|-------------------------------------|---------------------------------|-------------------------|--------------|------------------------------------|-------------------------|--------------------------|
| 12 / 24 (火) | | | | 島原市中心市街地づくり推 進協議会(市) | | | | |
| 12 / 31 (火) | | | | | | | | 第3回「カウントダウンin 島原城」開催 |

2003（平成 15）年
1 月～12 月

2003年（平成15年）1月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報センター 九大地震火山観測研究センター 予知室 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|--|------------------------|---|---|----------------------------|---|--------------------|
| 7 (火) | | 火山活動解説資料(12月) 昨年1年間の火山活動に大きな変化は認められず引き続き静かな状態が続く | | | | | | |
| 11 (土) | | | | | | | 島原市安中地区の水無川導堤「親子ふれあいの」集い 中尾川砂防安全協議会主催の鬼火大会 | |
| 16 (木) | | | | | 中尾川流域の砂防事業に伴う県道愛野島原線の付替え工事で島原市宇土に架設された橋の名称が「すぎたに大橋」と決定 | | | |
| 17 (金) | | | | 雲仙普賢岳噴火災害の記録集「平成島原大変」を発行(島原市義援金基金より、6,000万円)し、市内全世帯に配布する作業開始(市) | 雲仙復興工事事務所のホームページをリニューアル。「防災とボランティアの日」の今日から運用開始(国土交通省) | | | |
| 21 (火) | | 活火山の定義を「過去2000年以内に噴火」から「約1万年以内に噴火」に変更し、新たに火山活動の活発度をABCの3段階に分類する。また危険度評価を3ランクに分類。雲仙岳や桜島など13火山がAランクに入り、86あった活火山は108に増えた(気象庁、火山噴火予知連絡会) | | | | | | |
| 23 (木) | | | | 平成新山の東側山麓の2地点で噴気活動の現地確認。落石の危険があるため、立ち入らぬよう呼びかける。火山活動の活発化はない(市) | | | | |
| 24 (木) | | | | | 第2回眉山トンネル等技術検討委員会、「提起された課題は解決できる(計画に支障なし)との結論を得た」と発表(湧水群には影響ないが地下水観測を提言)。委員会の審議終了 | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 29 (水) | | | | | 「雲仙火山科学掘削による噴火機構解明のための国際共同研究」の最終プロジェクト「火道掘削」の工事に着手。2月13日に開坑式と発表(文部科学省) 環境省の「緑のダイヤモンド計画」に基づき島原市南千本木町の垂木台地に整備した自然火山学習施設「平成新山ネイチャーセンター」を2月5日のオープン前に地元行政関係者や報道陣に公開(環境省) | | | |
| 30 (木) | | | | | | | | 「青年社会活動リーダー育成プログラム」が始まり、ウィリアム・シェプターさんら13名、雲仙岳災害記念館を見学しNPO法人「島原ボランティア協議会」と交流し、災害下の取組みなど学ぶ |
| 31 (金) | | | | | 本年度補正予算の概要を発表。砂防・道路事業をあわせた予算総額は61億8900万円(国土交通省雲仙復興工事事務所) | | 国有林で伐採、治山事業に携わる関係者の安全を祈願する国有林治山事業安全祈願祭 | |

2003年（平成15年）2月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報センター 九大地震火山観測研究センター 予知課 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島鉄) | 住民 ボランティア 学 校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|------------------------|---|---|----------------------------|---|---------------------------------|
| 4 (火) | | | | | 第7回雲仙復興工事事務所10周年記念実行委員会(国土交通省) 雲仙岳・眉山地域治山対策委員会衆議院総務委員会視察 | | | 閑伐材を利用した漁礁40基を島原市前浜町沖合に設置 |
| 5 (水) | | | | | 環境省が整備した火山と自然の学習施設「平成新山ネイチャーセンター」がオープン 島原市の町並み景観賞の最 | | 島原市安中地区の導流堤で「親子ふれあいの集い」 中尾川砂防安全協議会の鬼火大会 | |
| 6 (木) | | | | | 世界初の無人化施設施工による鋼製スリット砂防堰堤の現場見学会を開催(国土交) | | | 長崎・佐賀・熊本県機動警察通信隊約50名による3県合同災害訓練 |
| 7 (金) | | 火山活動解説資料(1月) 引き続き静かな状態が続く | | | | | | |
| 13 (木) | | | | | 文部科学省の科学技術振興調整費による「国際共同研究の火道掘削」の開坑式(文部科学省、東大地震研究所他) | | | |
| 14 (金) | | | | 島原市中心市街地まちづくり推進協議会 | | | 島原半島内10高校の3年生760名、南千本木町の中尾川流域の南千本木川1号砂防堰堤の右岸袖部にクヌギなど約1600本を卒業記念植樹 | |
| 21 (金) | | | | | | | | しまばら観光ボランティアガイド研修講座 |
| 25 (火) | | | | みずなし本陣ふかえの入場者がオープン3年11ヶ月余で300万人を達成。記念セレモニーで300万人目の山口県岩国市の長岡良恵さんに記念品を贈呈(町) | | | | |
| 27 (木) | | | | 2003年度一般会計当初予算発表。総額138億1600万円(前年度比8.3%増)(市) | | | | |

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報センター 九大地震火山観測研究センター 予知連 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|------------------------|---|--|----------------------------|---|--|
| 2 (日) | | | | | | | 上木場災害遺構保存会、約100名が参加して同跡地で被災した消防自動車の保存作業を行う。カメラレンズが見つかる | |
| 3 (月) | | | | | | | 島原第五小学校6年生と在京しまばら会など約95名、島原市大下町(安中地区)の水無川導流堤左岸で梅林復元のため梅の苗木200本を植樹 | 九州農政局、「平成新山ネイチャーセンター」のカラー写真をあしらったエコーはがき5万枚を発行 |
| 7 (金) | | 火山活動解説資料(2月)落ち着いた状態が続くが、2月約8ヶ月ぶりに火山性微動を観測 | | | | | | |
| 16 (日) | | | | | 「ふるさとの木による森づくり」キャンペーンの一環で「どんぐり類の種まき大会」を開催(国土交通省) | | 「ふるさとの木による森づくりネットワーク」による「どんぐり類の種まき大会」が旧大野木場小学校隣で開催され、児童ら約60名がコナラなど5種類の種を植える | |
| 17 (月) | | | | | (財)雲仙岳災害記念財団、「第1回平成新山フィールドミュージアム構想推進会議」を開催(県) | | | |
| 18 (火) | | | | 雲仙岳警戒区域設定等の調整会議、警戒区域を現行のまま、31日正午から平成16年3月31日正午まで延長を決定(第57次) | | | | |
| 20 (木) | | | | | | | 国登録有形文化財に島原市の「青い理髪店」など森岳地区の建造物10件が登録を答申される | |
| 24 (月) | | | | | | | | |
| 27 (木) | | | | | 雲仙岳災害記念館の入場者数が開館約8ヶ月半で30万人を突破(県) | | | |
| | | | | | 雲仙・普賢岳火山砂防学習教材検討委員会、小学校高学年を対象とした砂防事業の子供向け副読本作成のための第1回会合(国土交通省) 「がまだす懇話会」発足。第1回会合継続中のプロジェクトなど官民一体で推進することを討議(県) | | | 「青年社会活動コアリーダー育成プログラム」が始まり、ウィリアム・シェファーさんら13名、雲仙岳災害記念館を見学しNPO法人「島原ボランティア協議会」と交流し、災害下の取組みなど学ぶ |
| 31 (月) | | 雲仙岳測候所、24時間体制で行ってきた夜間業務を中止。福岡管区気象台火山監視・情報センターに集約される | | | 雲仙復興工事事務所の平成15年度事業概要説明会を開催(国土交通省) | | 国有林で伐採、治山事業に携わる関係者の安全を祈願する国有林治山事業安全祈願祭 | |

2003年（平成15年）4月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知室 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 学校 住民 ボランティア | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|----------------------------|-------------------------------------|--|---|--------------------|---|
| 1 (火) | | | | | 雲仙復興工事事務所を「雲 仙復興事務所」と改称。 平成15年度の事業概要を 発表。砂防事業36億900万円 (前年度比20%減)、道路 事業は4億3000万円で前年 度と同額(国土交通省) | 今年で5年目となる島原 ハッピートレイン「観光ト ロッコ列車」運行開始。今 年度は3万人の乗車を見込 む (～11月30日)(島原鉄道) | | 間伐材を利用した漁礁40基 を島原市前浜町沖合に設置 |
| 6 (日) | | | | 4月6日の「城の日」を記 念して登閣者記念品を贈呈 (市) | | | | |
| 7 (金) | | 火山活動解説資料(3月) 静かな状態が続く | | | | | | 長崎・佐賀・熊本県機動警 察通信隊約50名による3県 合同災害訓練 |
| 10 (木) | | | | | | | | |
| 13 (日) | | | | | | | | |

2003年（平成15年）5月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 千知通 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住民 学校 ボランティア | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|----------------------------|---|---|--------------------------------|---|---|
| 1 (木) | | | | | (財) 雲仙岳災害記念館「 平成新山フィールドミュー ジウム構想」のシンボル マークを一般公募。30日 切 (県) | | | |
| 7 (水) | | | | | 出水期を前に、土石流発生 時の情報伝達の演習(国土 交通省) | | | |
| | | | | (財) 島原市義援金基金理 事会、15年度の事業計画案 を決定。また噴火災害教訓 伝達事業としてNPO法人 「島原普賢会」に100万円 を助成 (市) | | | | |
| 9 (金) | | 火山活動解説資料(4月) 静かな状態が続く | | 国県市など関係機関の関係 者44名、眉山で防災対策現 地視察 (市) | | | | |
| 12 (月) | | | | 平成14年(1~12月)観光動 態調査結果を発表。入込み 客数は前年より8万人増の 186万人(前年度比5%増)。 宿泊客数は前年より約1万4 千人減の約24万9千人(前年 度比5.2%減) (市) | | | | |
| 14 (水) | | | | | | | | NPO法人「島原普賢会」な ど3被災地で作る「火山 地域の市民団体相互支援 ネットワーク」、被災者生 活再建支援法の改正を求 め、約14万人分の署名簿を 議員民輔衆議院議長に提出 |
| 20 (火) | | | | | 出水期を控え関係機関から 約50名が参加して深江町赤 松谷上流などで管内危険箇 所の現地調査 (県) | | | |
| 22 (木) | | | | | | | 火砕流で被災したパトカー の部品を北上木場農業研修 所跡地に搬入。また、5月 23日~6月3日までに腐食を 押さえるコーティング作業 と屋根をかける | |
| 26 (月) | | | | | | | | 雲仙普賢岳火山砂防促進期 成同盟会総会 |
| 27 (火) | | | | | 島原地域防災会議。災害危 険箇所は641箇所 (県) | | | |
| | | | | | (財) 雲仙岳災害記念財団 評議員会同記念館の初年度 入場者数が35万人を突破と 発表 (県) | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|--|--|--|---|--|---|--|
| 30 (金) | | | | | <p>梅雨期を前に雲仙普賢岳関係機関の合同現地調査(国交省) 水無川1号の砂防堰堤工事現場で約150名が参加して避難訓練(国交省) (財)雲仙岳災害記念財団理事会、初年度の入場者数は約35万4千人と報告。オープン2年目の目標入場者数を30万人とし、入場料収入を249,000,000円と見込む(県)</p> | | <p>鐘ヶ江菅一前市長、著書「普賢鳴り止まず」の第14版の印税166,950円を島原市義援金に寄付。累計額が5,093,825円となる</p> | |
| 31 (土) | | | | | <p>ビデオライブラリーシステムを島原城観光復興記念館に導入(市)</p> | | | |

2003年（平成15年）6月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知室 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 学校 住民 ボランティア | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|----------------------------|---|--|--------------------------------|--|---|
| 2 (月) | | | | | 雲仙復興工事事務所、10周年記念行事の一環で記念誌「子供たちへのメッセージ」を発行(国土交通省) | | | |
| 3 (火) | 火砕流から丸12年 | | | 「いのりの日」仁田団地の雲仙普賢岳噴火災害犠牲者追悼の碑の前に献花所設置。終日献花が続く(市) 平成町の消防殉職者慰霊碑に献花所設置(市) 午後4時8分黙禱(市) 島原市防災会議 | | | 北上木場農業研修所跡地で遺族が慰霊 島原第三中学校で噴火災害12周年追悼の会 島原第四、第五小学校で「いのりの日」集会 市仏教会6.3の集い 日本画家関口雄揮さん、まゆやまロード沿いで襷絵の下絵を描く | みずなし本陣で「ふかえ」で普賢岳噴火災害犠牲者法要 |
| 4 (水) | | | | 国・県と合同で街頭キャンペーンを実施(市) | 土砂災害防止月間で街頭キャンペーンとパネル展を実施 | | | 島原半島振興対策協議会及び島原天草架橋建設促進期成会総会 |
| 6 (金) | | 火山活動解説資料(5月) 静かな状態が続く | | | | | | |
| 9 (月) | | | | | | | | 地域高規格道路「島原道路」島原市工区建設促進期成会、本年度の事業計画を決定 |
| 17 (火) | | | | | | | | 島原半島観光連盟、総会でマイカー観光客の宿泊プラン「がまだすガンリンパック(7月19日～9月30日)」の発売を決定 |
| 25 (水) | | | | | 土砂災害防止の作文で国土交通省砂防部長賞に入賞した西有家町の龍石小5年近藤聖哉君に表彰状を伝達 | | | |
| 29 (日) | | | | | 「ふるさとの木による森づくり」キャンペーン 鉄板が絡まったタブノキの種まき大会 | | ふるさとの木による森づくりネットワーク、雲仙復興工事事務所と共催でタブノキの種まき大会 | |

2003年（平成15年）7月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知速 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住民 学校 ボランティア | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|----------------------------|---|--|--------------------------------|--------------------|---|
| 1 (火) | | | | | 雲仙岳災害記念館、開館2 年目を迎え、目標入館者30 万人を見込む(初年度入場 者数は約38万人)。修学旅 行は250校、約2万2千人の 予約あり。感謝キャンペー ン始まる(～20日、県) | | | |
| 2 (水) | | | | I P電話を使った「防災行 政同報告知システム」の試 験運用を開始(市) | | | | |
| 7 (月) | | 火山活動解説資料(6月) 引き続き静かな状態 | | | | | | |
| 10 (木) | | | | | | | | 太田一也九大名誉教授環境 大臣表彰を受賞 |
| 14 (月) | | | | 島原市義援金基金、平成1 4年度の事業報告と決算を 承認。残高約448,000, 000円(市) | | | | |
| 18 (金) | | | | | 第2回平成新山フィールド ミュージアム構想推進会 議、本年度の9事業を承認 (県) | | | |
| 24 (木) | | | | 吉岡市長と横田町長、水俣 市の土石流被災地を見舞う | | | | |
| 30 (水) | | | | | | | | 釧路市の釧路湖稜高校サッ カー部、復興義援金20,000 円を島原市へ寄付 |
| 31 (木) | | | | (財)雲仙岳災害記念財団理 事会、平成14年度の事業報 告と決算報告。入館者数は 約358,000人(目標達成率 94.5%, 収入約2億 96,000,000円) 開館1周年記念キャンペー ンの懸賞クイズの抽選会 (県) | | | | |

2003年（平成15年）8月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知室 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住民 学校 ボランティア | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|----------------------------|--|--|--------------------------------|---|---|
| 3 (日) | | | | | | | NPO島原ボランティア協 議会、水俣市の集中豪雨災 害支援 | |
| 6 (水) | | 火山活動解説資料(7月) 引き続き静かな状態 | | | | | | |
| 7 (木) | | | | | | | 安中三角地帯に集会所「再 生館」完成 | |
| 18 (月) | | | | | | | | 島原半島復興夏祭り |
| 19 (火) | | | | 県防災ヘリコプターによる 眉山の上空視察(市) | | | | 普賢岳チャリティーイベン トDA PUMP JAPAN TOUR REBORN |
| 20 (水) | | | | | 「キャンプ砂防2003in雲仙」 開催。東大他9大学から12 名参加(国土交通省、～29 日) | | | |
| 22 (金) | | | | | | | NPO法人「島原普賢会」の 大町辰朗さん、「キャンプ 砂防2003in雲仙」で講義 | |
| 23 (土) | | | | 平成新山フィールドミュー ジウム構想のシンボルマー ク全応募作品展示会(県) | | | | |
| 27 (水) | | | | | | | | 第11回島原温泉ガマダス花 火大会 |
| 28 (木) | | | | | 雲仙普賢岳砂防指定地利活 用整備計画検討委員会、火 砕流被災地などで保存・管 理する災害遺構など44件を 了承(国土交通省) | | | |

2003年(平成15年)9月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知速 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住民 学校 ボランティア | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|----------------------------|---|-----------------------------------|--------------------------------|---|--------------------|
| 8 (月) | | 火山活動解説資料(8月) 引き続き静かな状態 | | | | | | |
| 9 (火) | | | | | | | 大野木場小学校と岐阜県上 宝村の栴尾小学校と衛星通 信を使って火山災害などの 研究成果の発表と交流会 | |
| 11 (木) | | | | | 「雲仙火山・火道掘削」が 再開(文部科学省、東大 他) | | | |
| 15 (月) | | | | 「大野木場メモリアルデー 2003」を開催。被災校舎を ライトアップ(町) | 「大野木場メモリアルデー 2003」を開催(国土交通省) | | 大野木場小学校5,6年生 23人、旧校舎の前で「火山 ・砂防学習」の発表会 | |
| 21 (日) | | | | | | | がまだせ!コンサート2003 | |
| 28 (日) | | | | | | | 島原農高で雲仙普賢岳植 樹・堆肥づくりボランティ ア結団式 | |

2003年（平成15年）10月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知速 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住民 学校 ボランティア | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|----------------------------|---------------------------|--|--------------------------------|---|--|
| 6 (月) | | | | | | | 上木災害遺構保存会、島原 市北上木場農業研集所跡地 に被災した半鐘を「慰霊の 鐘」として設置するための 工事に着手 | |
| 7 (火) | | 火山活動解説資料(9月) 引き続き静かな状態 | | | | | | |
| 9 (木) | | | | | 都市計画区域マスタープラン 公聴会(市) | | | |
| 11 (土) | | | | | 第2回がまだすドームス ケッチ大会開催(雲仙岳災 害記念館) | | | 島原温泉不知火まつり |
| 12 (日) | | | | | | | | しまばらガマダス阿波踊り 大会 |
| 15 (水) | | | | | 雲仙普賢岳火道掘削調査に 関する勉強会を開催 | | | |
| 16 (木) | | | | | | | | 「HOPE計画20周年記念 全国シンポジウム2003島原 大会」(~18日) |
| 19 (日) | | | | | 第2回がまだすドームス ケッチ大会表彰式(雲仙岳 災害記念館) | | | |
| 22 (水) | | 全国の活火山の活動状況に 応じて「レベル0から5」の 6段階で雲仙普賢岳はレベ ル1(静穏)と公表(気象 庁) | | | | | | |
| 25 (土) | | | | 第10回島原半島ツーデー マーチ(~26日) | | | | |
| 30 (木) | | | | | ぶらりながさき小旅行検討 委員会作業部会、島原半島 の観光ルート化「三湯物語」 計画(九州運輸局長崎運輸 支局) | | | |

2003年(平成15年)11月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報センター 九大地震火山観測研究センター 予知室 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・MTT・島鉄) | 住民 学校 ボランティア | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|------------------------|--------------------------------|---|----------------------------|---|--|
| 1 (土) | | | | | 雲仙岳災害記念館、開館1年4ヶ月で有料入場者が50万人を突破。熊本市の島崎久美子さんに記念品を贈呈(県) 第1回平成新山フィールドミュージアム火山学習クラブ(県?) | | | |
| 2 (日) | | | | 杉谷地区の中尾川下流域の住民を対象に防災避難訓練を実施(市) | | | | |
| 7 (金) | | 火山活動解説資料(10月) 引き続き静かな状態 | | | | | | 富士山からの「崩れの昔と今を視る雲仙・長崎2泊3日モニター旅行」の一行、行政関係者や被災者らと交流 |
| 8 (土) | | | | | 雲仙普賢岳の火道掘削調査の作業進捗状況を報道陣に公開。10日に本年度の作業を終了(文部科学省他) | | | |
| 9 (日) | | | | | | | 九州電力創立50周年記念「第3回雲仙・普賢の森植林ボランティア」でツツジ約11,000本を垂木台地で植樹 | |
| 11 (火) | | | | | | | 上木場災害遺構保存会、島原市北上木場農業研集所跡地の釣鐘堂に被災した半鐘を「慰霊の鐘」として設置また説明板を設置 | |
| 13 (木) | | | | 観光絵はがき絵画コンクール入賞者表彰式(市) | | | | |
| 14 (金) | | | | 上大野木場に田崎線登山遊歩道(約4.3km)が完成(町) | | | | |
| 17 (月) | 噴火丸13年 | | | | 雲仙岳災害記念館、「ドキュメント災害史ー島原大変1792と富士山1707の大噴火展」を開催(県、～平成16年1月8日) | | 上木場災害遺構保存会、火砕流で犠牲になった消防団員(12名)と警察官(2名)の14名の名前を刻んだ石碑と同跡地名を刻んだ石柱を設置 | 雲仙普賢岳火山砂防促進期成会他2団体、雲仙復興工事事務局に事業推進などを要請 島原がまだす農業PR隊、長崎市浜町でイベントを開催 |
| 18 (火) | | | | | | | | 半島振興と三県架橋で島原振興局長に要望 |
| 19 (水) | | | | | | | | フリーカメラマン石川文洋さん、10年ぶりに被災地を訪れ、普賢岳などの復興を撮影 地域高規格道路「島原道路」島原市工区建設促進期成会、国土交通省九州整備局に要望 |
| 21 (金) | | | | | 文化審議会、平成新山を天然記念物に指定することを河村建夫文部科学大臣に答申 | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|--|--|----------------------------|---------------------------------|--|--|--|
| 22 (土) | | | | | | | | 普賢岳、有珠山、三宅島の3被災地で作る「火山地域の市民団体相互支援ネットワーク、第2回フォーラム」を開催 |
| 23 (日) | | | | 自主防災研修会を開催。清水洋九州大学教授が講演(市) | 「雲仙普賢岳フェスティバル2003」を水無川導流堤で開催(国) | | | 有珠山、三宅島の被災地住民が「雲仙普賢岳フェスティバル2003」に参加 |
| 28 (金) | | | | | | | | 11回目の「2003島原ファンタジア」を前に17,000個のイルミネーション点灯 |
| 29 (土) | | | | がまだす島原の産業まつり(市、～30日) | | | | |

2003年（平成15年）12月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知課 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住民 学校 ボランティア | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|----------------------------|------------|--|---|--|---|
| 1 (月) | | | | | | | | 「2003島原ファンタジア」 開幕（～平成16年1月12 日） 島原ウィンターナイト点灯 式（～平成16年1月10日） |
| 2 (火) | | | | | | | | 全国火山系博物館連絡協議 会一行15名被災地を視察 中国上海市から修学旅行考 察団来島 |
| 6 (土) | | | | | 第2回平成新山フィールド ミュージアム火山学習クラ ブ(県?) | | | 島原・雲仙学生駅伝大会 |
| 7 (日) | | | | | 「ふるさとの木による森づ くりネットワーク島原」の 植樹を後援（国） | | 「ふるさとの木による森づ くりネットワーク島原」、 島原市南千本木町の1号砂 防ダム周辺でタブノキなど の苗約400本を植樹 | |
| 9 (火) | | 火山活動解説資料(11月) 引き続き静かな状態 | | | | | | がまだすアグリ王国体験学 習講演会 |
| 18 (木) | | | | | | | 島原農業高校3年生18名が 雲仙岳災害記念館に葉ぼた ん約500本を植える | |
| 22 (月) | | | | | 被災者住宅再建支援制度が 2004年度予算の財務省原案 (一世帯最高200万円)に認 められる | | | |
| 24 (水) | | | | | | 地域高規格道路「島原道路 (島原市工区)」の愛称が村 崎緑さんの「がまだすロ ード」に決定（県） | | |

2004（平成16）年
1月～12月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知室 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|--|----------------------------|------------|---|--------------------------------|--|--|
| 9 (金) | | 火山活動解説資料(12月) 昨年1年間の火山活動度レ ベルは「1」の静穏な状態で 引き続き静かな状態が続く | | | (財)雲仙岳災害記念館、 「平成新山フィールド ミュージアム構想」の実現 に向けて住民ワークショップ の参加者を募集 | | | |
| 13 (火) | | | | | | | | 島原半島観光連盟、大阪市 で物産展「福岡博多・長崎 うまかもん自慢」を共同開 催し、島原半島の観光をP R(～18日) |
| 14 (水) | | | | | | | 国際協力銀行(JBIC) の「国民参加型援助促進セ ミナー」がフィリピンで開 催され、NPO法人島原普 賢会の杉本伸一さんが参加 し、講演(～21日) | |
| 17 (土) | | | | | (財)雲仙岳災害記念館の主 催で、地元の児童ら18名が 第3回火山学習クラブで砂 防えん堤などを視察 | | | |
| 19 (月) | | | | | 水無川導流堤下流部に建設 中の橋梁の名称が、島原市 秩父が浦町の古瀬育洋さん と同市下折橋町の嶋田美保 子さんの「われん川大橋」 に決定と発表(国、市) | | | |
| 22 (木) | | | | 雲仙岳防災会議 | | | | |
| 23 (金) | | | | | 公募で決定した地域高規格 道路「島原道路」の愛称「が まだすロード」などの名付 け観5名を表彰(長崎県島 原振興局) | | | |
| 24 (土) | | | | | | | | 三県架橋建設促進協議会、 三県架橋職員連盟と合同で 「島原、天草、長島架橋構 想及び九州西岸軸構想推進 地方大会」を島原市で開催 |
| 27 (火) | | | | | 長崎県国有林連絡協議会、 眉山神社で治山工事の安全 祈願祭 | | | 島原温泉観光協会、九州新 幹線鹿児島ルートの開通に 向け「島原温泉観光誘致宣 伝事業」を鹿児島市などで 展開(～29日) |
| 29 (木) | | | | | | | | (財)都市計画協会主催の 「平成15年度まちづくり拝 見研修会」が島原市で開催 され、全国のまちづくりに 携わる職員ら41名が参加。 島原市の事業報告など受 け、雲仙岳災害記念館など を視察 |
| 31 (土) | | | | | | | | 北京市の月壇中学校修学旅 行団97名、雲仙岳災害記念 館を見学 |

2004年(平成16年)2月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報センター 九大地震火山観測研究センター 予知速 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島鉄) | 住民 ボランティア 学 校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|------------------------|--|--|----------------------------|--|---|
| 1 (日) | | | | 島原市職員組合60名、14年ぶりに雲仙普賢岳に登山 | 雲仙岳災害記念財団、雲仙岳災害記念館で「フィールドミュージアム構想」の「住民ワークショップ」開催。27名のメンバーや関係者ら計33名が参加。モデルコースなど話し合う | | 南高有明町の写真家故西川清人さんの作品展が小浜町雲仙で開催(～3月15日) 島原市のカメラマン荒木省三さんの写真展「ふげんさんと共に-市民が撮った記録写真」雲仙岳災害記念館で開催(～3月31日) | |
| 2 (月) | | | | | | | | 国際協力機構九州国際センターと島原市の草の根技術協力事業「火山との共生」研修開始。フィリピンより3名が受講(市、～20日) |
| 5 (木) | | | | | 平成新山ネイチャーセンター開館1周年。来館者数は計約72,000人。 | | オランダなど海外3カ国のボランティア13名、島原市で雲仙普賢岳災害の被災状況や火山学習。島原市南千本木町の垂木台地で植樹 | |
| 6 (金) | | 火山活動解説資料(1月) 火山活動はレベル1で引き続き静かな状態が続く | | | | | 全国消防団員意見発表会(東京)で、島原市消防団第15分団副団長の佐藤幸三さんが意見発表し、最優秀賞を受賞 | |
| 10 (火) | | | | | 雲仙岳・眉山地域治山対策検討委員会、火山活動の状況や治山対策の効果などの調査報告。なお長期的な観測必要性を報告 | | | |
| 14 (土) | | | | | | | 島原市漁協約270名、垂木台地でコナラなど各400本を「漁民の森づくり記念植樹」で植樹 | |
| 16 (月) | | | | | 雲仙岳警戒区域設定等調整会議、設定期限を来年3月まで延長を決定 | | | |
| 17 (火) | | | | | | | 島原半島内の全10校の高校3年生約800名、島原市上折橋町の千本木1号砂防えん堤で卒業記念植樹。通算約9000本となる | |
| 20 (金) | | | | | | | | 国際協力機構九州国際センターと島原市が実施した草の根技術協力事業「火山との共生」研修の閉講式。 |
| 21 (土) | | | | | | | | 島原・天草・長島架橋構想推進事業の一環で三県少年サッカー大会 |
| 23 (月) | | | | 大野木場小学校が校舎南側に建設した「かどわき歴史災害記念館」が完成、開館式(町) | | | | |

2004年(平成16年)3月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報センター 九大地震火山観測研究センター 予知室 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|------------------------|------------|--|----------------------------|--|---|
| 5 (金) | | 火山活動解説資料(2月) 落ち着いた状態が続く | | | | | | |
| 13 (土) | | | | | | | | 島原中心市街地街づくり推進協議会主催の講演会。鮫島和夫長崎総合科学大学助教が「湧水のまち育て」と題する講演 |
| 14 (日) | | | | | | | 島原流協、垂木台地で漁民の森づくり記念植樹 水無川導流堤内のわれん川で、ふるさとの木による森づくりネットワーク主催によるどんぐりの種まき大会。コナラなど6,600個をビニールポットに蒔く | |
| 15 (月) | | | | | | | 旧大野木場小学校の校庭に風力と太陽光を活用したハイブリッド発電表示装置が設置され、始動式 | NPO法人リアルタイム地震情報利用協議会と三菱電機(株)、IP電話を利用した緊急地震速報の音声伝達システムを島原市役所でカポチャテレビの回線網を通じて全国初の公開実験 |
| 16 (火) | | | | | 第2回雲仙普賢岳砂防指定地活用整備計画検討委員会、中尾川上流域の災害遺構の現地保存や焼山湧水を活用した公園整備の方針などを了承(国) 雲仙普賢岳警戒区域検討会議、現行のまま04年度末(平成17年3月31日)まで1年間の延長を決定(県) | | | |
| 19 (金) | | | | | 第2回がまだず懇話会 | | | |
| 20 (土) | | | | | | | | がまだず道路開通記念ウォーキング大会 |
| 23 (火) | | | | | 平成新山フィールドミュージアム学習講座。雲仙普賢岳噴火災害に詳しいボランティアの観光ガイドを養成する講座(計8回)を開催(県、～5月18日) | | | |
| 24 (水) | | | | | 地域高規格道路「島原道路」の「がまだずロード」の一部区間下折橋町～出平町間約2.2kmが開通(県) | | | |
| 27 (土) | | | | | | | | 安中三角地帯の嵩上げで仮移転していた徳法寺が島原市鎌田町に再建され、落成慶讃法要 |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|--|--|--|---|--|--|--|
| 30 (火) | | | | | 雲仙復興事務所、平成16年 度の事業概要予算を公表。 総額42億7,600万円で、前 年度比4%減(国) 第2回平成新山フィールド ミュージアム学習講座 | | | |
|-----------|--|--|--|--|---|--|--|--|

2004年（平成16年）4月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報センター 九大地震火山観測研究センター 予知課 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島鉄) | 学校 住民 ボランティア | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|---------------------------------------|---|------------------------|--|---|--|--------------------|--|
| 1 (木) | | 九大地震火山観測研究センター長に同大教授清水洋氏が就任 | | | | 8年目となる観光トロッコ列車「ハッピートレイン」が運行開始。今年は3万人の乗車を見込む。 (島鉄、～11月30日) | | 荒木省三さんの写真展「ふげんさんと共に-市民が撮った記録写真」に延約1万人が来館 |
| 4 (日) | | | | | | | | 島原大変遭難者慰霊祭 |
| 5 (月) | 雲仙普賢岳の溶岩ドーム平成新山(標高1486m)が国天然記念物に指定される | | | | | | | |
| 7 (水) | | 火山活動解説資料(3月)静かな状態が続く | | | | | | |
| 13 (火) | | | | | 第3回平成新山フィールドミュージアム学習講座(ボランティアガイドの養成) | | | |
| 14 (水) | | | | | | | | テレビ番組「もしもツアーズ・トロッコ列車で行く雲仙普賢岳」の収録 |
| 15 (木) | | | | | | | | 島原半島観光連盟、福岡都市圏の誘客を目的に「島原半島ぐるっとまわろうキャンペーン」を開始。西鉄福岡(天神)駅で装飾電車「がまだすトレイン島原半島号」の出発式(～7月14日) |
| 20 (火) | | | | | 第3回平成新山フィールドミュージアム学習講座 (①平成の大噴火②火砕流・土石流について) | | | |
| 22 (木) | | | | 深江町災害対策基金臨時理事会 | | | | |
| 24 (土) | | | | | | | | 島原半島温泉めぐり連絡協議会、同半島内の10施設のホテルなどの温泉をスタンプリヤー(2ヶ所目は2割引、3～5ヶ所目まで1割引)で楽しめる計画を実施(～9月30日) |
| 25 (日) | | | | | 第7回平成新山フィールドミュージアム学習講座(野外観察-水無川及び中尾川流域等) | | | |
| 28 (水) | | | | 平成15年度の観光動態調査結果を発表。宿泊客は約261,700人でほぼ横ばい(前年比5.1%増)。入り込み客は約167万人(前年比99.4%)。修学旅行は11,926人で災害前の10%にとどまる(市) | | | | |
| 29 (木) | | | | | | | | 環境省が整備した「雲仙お山の情報館」が小浜町雲仙に仮オープン |

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 平知通 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住民 学校 ボランティア | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|--|---|--|--------------------------------|--------------------|--|
| 1 (土) | | | | | | | | 島原大変遭難者供養祭 |
| 10 (月) | | 火山活動解説資料(4月) 静かな状態が続く | | | | | | |
| 12 (水) | | | | | 出水期を前に普賢岳周辺で の土石流発生を想定した情 報伝達演習(国交省) | | | |
| | | | | | 雲仙岳火道掘削が約半年ぶ りに再開 | | | |
| 15 (土) | | | | 「みずなし本陣ふかえ」入 場者が400万人を達成。記 念セレモニーで400万人目 の茨城県水戸市の渡辺武 紀・智恵子さん夫婦に記念 品贈呈(町) | | | | |
| 16 (日) | | | | | 島原市南千本木町の垂木台 地で「垂木台地森林公園」 の竣工式。ヤマボウシの苗 5本を記念植樹(県) 第7回平成新山フィールド ミュージアム学習講座-周 遊バスで実地研修 | | | |
| 18 (火) | | | | (財)島原市義援金基金、 理事会で平成16年度で最終 事業年度とし、解散する議 案を了承(市) 梅雨期を前に雲仙普賢岳関 係機関の45名が参加して眉 山六溪など防災対策現地視 察(市) | 第8回平成新山フィールド ミュージアム学習講座-ま とめ | | | |
| 19 (水) | | | | | 防災関係機関の60名が参加 して管内危険箇所(赤松谷 上流など)を現地調査(県) | | | |
| 23 (日) | | | | 水と緑のスケッチ大会入賞 者表彰式(市) | | | | |
| 24 (月) | | | 島原警察署、中尾川上流の 千本木砂防区域など9箇所 で災害危険予想箇所の実地 踏査 | | | | | |
| 25 (火) | | | | | 島原地域防災連絡会議。53 関係機関から約70名出席し て防災体制を確認(県) | | | |
| 28 (金) | | | 陸上自衛隊幹部候補生学校 の幹部候補生184名島原市 を訪れ、被災状況や当時の 陸上自衛隊活動などについて学ぶ | | (財)雲仙岳災害記念財団、 評議員会で次年度の目標を 入館者28万人にすることを 提案、承認 | | | 島原半島振興対策協議会など、総会で半島振興法の改正・延長の実現に向けた要望活動他を引き続き実施を決定 |
| 29 (土) | | | | | | | | 体験型観光の受け皿となる 地域連携ネット「島原半島 体験型観光ネットワーク」 (愛称:がまだすネット)」 立ち上げを発表 |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|--|--|--|---|--|--|---|
| 30 (日) | | | | | | | | しまばら未来塾第二期開講式と第1回講義（講師はフジテレビキャスター笠井信輔氏） |
| 31 (月) | | | | | (財)雲仙岳災害記念財団、理事会で平成15年度の事業実績を発表。2年目の入館者目標30万人に対して、約296,600人(達成率98.9%)で、入館料収入は約2億3760万円(98.9%) | | | 南高布津町の「風の森ミュージアム 雲仙リス村」閉園 |

2004年(平成16年)6月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知室 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 学校 住民 ボランティア | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|--|---|---|--|---|--|
| 1 (火) | | 松島健助教授、島原市防災 会議で雲仙普賢岳は落ち着 いてると報告、 | 前市長鎌ヶ江管一氏、「雲 仙・普賢岳災害の回顧と教 訓」と題して島原署で講演 920回に達する | 島原市防災会議。関係18機 関の防災担当者約30名出席 し、防災体制を確認(市) | | | | |
| 2 (水) | | | | 「6.3いのりの日」を前 に吉岡市長の談話を発表 (市) | | | | |
| 3 (木) | 火砕流から丸13年 | | | 「いのりの日」仁田団地の 雲仙普賢岳噴火災害犠牲者 追悼の碑の前に献花所設 置。終日献花が続き犠牲者 の冥福を祈る(市) 平成町の消防殉職者慰霊碑 前に献花所設置。犠牲者の 冥福を祈る(市) 午後4時8分黙祷(市) | | | 北上木場農業研修所跡地で 遺族ら約100名が犠牲者を 慰霊 島原第三中学校の「追悼の 会」で全生徒が集い献花 島原第一小学校で杉本伸一 さんが講演。第四小学校の 「いのりの日」集会で松下 英爾さんが講演。第五小学 校「いのりの日」集会で児 童らが発表 | |
| 5 (土) | | | | | (財)雲仙岳災害記念財団、 「平成新山フィールド ミュージアム公開セミ ナー」を開催。約250名参 加 | | | |
| 8 (火) | | 火山活動解説資料(5月) 静かな状態が続く | | | | | | |
| 9 (水) | | | | | 「資源を育む長崎の海づく り事業」の一環として標識 をつけたトラフダの稚魚約 3万尾を放流 | | | 「観光ボランティアガイド (14名)」養成の第2回講座 で松尾卓次氏が島原の歴史 「島原大変」を講話 |
| 10 (木) | | | | | | | 九州電力、島原花と緑のま ちづくり運動実行委員会に 苗木350本を贈呈 | |
| 15 (火) | | | | | 雲仙岳火道掘削で「火道」 の位置を特定する手がかり の火山ガラス(マグマ)を採 取(東大地震研究所、九大 他) | | | 島原郵便局、土砂災害に関 する講習会を開き、職員40 名が災害発生時の連絡体制 の強化を再認識 |
| 16 (水) | | | | 深江町防災会議(町) | | | | 島原温泉観光協会、定期総 会で新年度事業計画として 「リピーター客の増加を図 る」などを決定 |
| 17 (木) | | | | 深江町漁協、新クルマエビ 養殖場に種苗85万尾を投 入。年間16トンの出荷を見 込む(町) | | | | |
| 20 (日) | | | | | | | | 普賢岳噴火災害で消失した 普賢神社の再建に向け、「 『お普賢さま』再建並びに 温泉神社改築奉賛会」発会 式(小浜町) |
| 23 (水) | | | | | | | | 「災害復興から文化復興 へ」を合言葉に第6回 「ジャズフェスタ」開催 |
| 25 (金) | | | | | | 平成16年度決算で約5,000 万円の利益を計上。5年ぶ りに黒字となる (島原鉄道) | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 30 (水) | | | | | 「雲仙科学掘削プロジェクト」の火道掘削作業を7月5日で終了と発表（独）産業技術総合研究所、東大地震研究所、九大他 | | | |
|-----------|--|--|--|--|--|--|--|--|

2004年(平成16年)7月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知室 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|----------------------------|--|---|--------------------------------|--------------------|---------------------------------------|
| 1 (木) | | | | | 雲仙岳災害記念館、開館2周年感謝キャンペーンの第1弾として、キャラクターマスコット(溶岩)の名称募集と溶岩の体重当てクイズを開始(県、～7月31日) | | | 「島原半島体験型観光ネットワーク(愛称がまだすネット)」発足 |
| 2 (金) | | | | | 火道掘削の現場を報道関係者に公開。同日までに目標距離を超えて約2000mまで掘進(独)産業技術総合研究所、東大地震研究所、九大他) | | | 高原半島観光連盟、大阪市で物産展を開催し、島原半島の観光をPR(～18日) |
| 5 (月) | | | | | 中田節也東大教授、「雲仙火山科学掘削」プロジェクトで「火道」に到着した可能性が大と発表(独)産業技術総合研究所、東大地震研究所、九大他) | | | |
| 6 (火) | | | | | 最後の岩石採取を行い、平成15年2月からの「雲仙火山科学掘削プロジェクト」の火道掘削作業を終了(独)産業技術総合研究所、東大地震研究所、九大他) | | | |
| 7 (水) | | 火山活動解説資料(6月) 静かな状態が続く | | | | | | |
| 9 (金) | | | | 雲仙・普賢岳火山砂防促進 期成同盟会総会で火山砂防 事業推進の陳情などの活動 計画を決定(市) | | | | |
| 10 (土) | | | | | 雲仙岳災害記念館、開館2周年感謝特別企画展「アフリカの活火山展—ニイラコンゴ火山と雲仙火山はどこが違うか—」を開催(～9月12日) | | | |
| 13 (火) | | | | | 「雲仙火山科学掘削プロジェクト」の火道掘削作業終了報告会で、採取した溶岩が平成噴火の溶岩だったとほぼ断定したことを明らかにした。また火道の温度も比較的低温(200度程度)であったなどと発表(独)産業技術総合研究所、東大地震研究所、九大他) | | | |
| 14 (水) | | | | 土砂災害防止に関する郵便 局との協定締結式(町) | | | | |
| 16 (金) | | | | | 第3回平成新山フィールドミュージアム構想推進会議、16年度の実施事業計画書案を承認。17年度以降の運営のあり方を検討するため地元主導の「あり方検討会議」の設置を決定(県) | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|--|--|--|---|--|---|--|
| 17 (土) | | | | | | | | 島原半島観光通盟、島原半島に宿泊すると、1泊1人につき50のガソリンをプレゼントする「がまだすガソリンパック」を開始 (～9月30日) |
| | | | | | | | 島原市南千本木町の砂防えん堤群内で「ふるさとの木による森づくりネットワーク島原」の登録者の親子連れなど40名が参加して4回目のタブノキの種まき大会 | |
| 22 (木) | | | | | 平成新山ネイチャーセンターで「2004年夏イベント」を開催(県、～8月22日) | | NPO法人島原普賢会など県内3団体と島原市、新潟など集中豪雨被災地への救援物資のタオルの提供を呼びかけ(～30日) | 島原半島農林業立国推進委員会「がまだすアグリ王国」、島原半島体験学習講演会を開催、約170名が体験型観光の効用や理念を学ぶ |
| 23 (金) | | | | | 緑のダイヤモンド計画に基づき環境省が整備した「雲仙お山の情報館」が開館。太田一也九大名誉教授が「雲仙の火山と温泉を知ろう」と題する記念講演(国) | | | 江川詔子氏「社会のことあれこれー私の取材ノートから」と題して講演 |
| 26 (月) | | | | | (財)島原義援金基金理事会で、平成15年度の事業報告と決算を承認。残高の約3億円は各種事業にすべて支出して、16年度末で解散と発表(市) | | | 「第31回日独スポーツ少年同時交流」で来日したドイツのスポーツ青少年団員が島原市で4泊5日の交流 |
| 28 (水) | | | | | (財)雲仙岳災害記念財団、第1回理事会で平成15年度の事業報告と決算を承認。入館者数は目標30万人に対して296,843人(98.9%)、約56万円の黒字を計上。平成16年度の事業案を了承(県) | | | |

2004年（平成16年）8月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報センター 九大地震火山観測研究センター 予知室 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|------------------------|------------|---|----------------------------|---|--|
| 2 (月) | | | | | 「キャンプ砂防in雲仙」雲仙復興事務所で開催。大学生4名が参加（国土交通交省、～6日） 2周年感謝キャンペーンで募集した溶岩兄妹の名称が「がんだ」と「めぐみ」に決定（県） | | | |
| 4 (水) | | | | | 雲仙岳災害記念館、開館2周年感謝キャンペーンの溶岩(妹「めぐみ」)の体重当てクイズの計測会と抽選会。「めぐみ」の体重は463kg。ピタリと当てた熊本県の小牟田さんにホテルのペア宿泊券などを贈る（県） | | | |
| 5 (木) | | | | | (財)雲仙岳災害記念財団、「平成新山フィールドミュージアム」の愛称を募集（県、8月31日〆切） | | | |
| 6 (金) | | 火山活動解説資料(7月) 静かな状態が続く | | | | | | |
| 7 (土) | | | | | | | | 第17回しまばら水まつり |
| 12 (木) | | | | | | | | 島原商工会議所など「長崎新幹線と経済・観光の振興に関する意見交換会」長崎ルートの実現に向け行動を起こす方針で意見を集約 |
| 16 (月) | | | | | 島原市内で微弱な人工地震を使った「雲仙活断層群調査(反射法探査)」を開始（県、～9月15日） | | | |
| 22 (日) | | | | | 親子で学ぼう火山・砂防学習教室を開催 | | 九州地区子ども会ジュニアボランティア・リーダー大会で、市職員杉本伸一さんが「災害時のボランティア活動」について講演 | しまばら未来塾第2回講義「島原湧水シンポジウム」で「命の源“水”の恵みと島原湧水群に学ぶ」をテーマに「島原中央道路眉山トンネル」の影響をクローズアップし討論 |
| 26 (木) | | | | | 島原市鎌田町一北安徳町間の高架橋「われん川大橋」が開通（国） | | | |
| 27 (金) | | | | | | | | 第12回島原温泉ガマダス花火大会 |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|--|--|--|--|--|--|---|
| 28 (土) | | | | | | | | 雲仙普賢岳、三宅島、北海道有珠山の3地域でつくる「火山地域の市民団体相互支援ネットワーク」の第3回フォーラム「三宅島の復興を考える」開催（東京） 第25回長崎県手をつなぐ育成会島原大会で、鐘ヶ江菅一前市長が「災害と私の人生」と題して記念講演 |
|-----------|--|--|--|--|--|--|--|---|

2004年（平成16年）9月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知室 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|----------------------------|---|---|--------------------------------|--------------------|---|
| 8 (水) | | 火山活動解説資料(8月)静かな 状態が続く | | | | | | |
| 14 (火) | | | | | | | | 出水市自治公民館連合会、 先進地視察研修で来島 |
| 15 (水) | | | | 平成3年9月15日の大火砕 流から丸13年の夜、旧大野 木場小学校で関係者約250 名が参加して「大野木場メ モリアルデー2004」が行わ れ、5,6年生の火山・砂 防学習発表会。校舎ライト アップ(町) | 雲仙岳災害記念館、開館2 周年感謝特別企画展として 開催した「アフリカの活火 山展クイズ」の当選者発表 (県) | | | |
| 16 (木) | | | | | 雲仙岳を含む29火山を対象 に減災緊急計画を作成する 方針を決定(国土交通省) | | | |
| 17 (金) | | | | クルマエビ養殖場で東京や 京都に向けクルマエビの出 荷が始まる(町) | | | | 島原半島観光連盟、大阪市 で物産展を開催し、島原半 島の観光をPR(～18日) |
| 18 (土) | | | | | | | | 第8回ろくべえどんまつり |
| 23 (木) | | | | | | | | 噴火で消失した普賢神社が 14年ぶりに再建され、ご神 体の入魂式(小浜町) |

2004年（平成16年）10月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報センター 九大地震火山観測研究センター 予知速 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|------------------------|--|--|----------------------------|--|--|
| 1 (金) | | | | | 雲仙復興事務所、「防災の日」にちなんで地震防災訓練を島原市と深江町で実施(国) | | | |
| 4 (月) | | | | 国際協力機構(JICA)九州国際センターと島原市との「草の根技術協力事業『火山との共生』研修」でフィリピン・インドネシアから3名の研修員を受け入れ開講式(市、～22日) | | | | 島原半島観光連盟、大阪市で物産展を開催し、島原半島の観光をPR(～18日) |
| 6 (水) | | | | 深江中学校で火山学習 | | | | |
| 7 (木) | | 火山活動解説資料(9月) 静かな状態が続く | | | | | | |
| 12 (火) | | | | 第1回地域再生計画「特定地域プロジェクトチーム」の会議(市) | | | | ぶらりながさき小旅行雲仙・島原地区会議、「三湯物語」などを企画。乗り合いタクシーも11月まで運行 |
| 14 (木) | | | | | | | | 地域高規格道路「島原道路」島原市工区建設促進期成会、雲仙復興事務所に要望 |
| 16 (土) | | | | | 第3回がまだすドーム親子スケッチ大会開催(県) | | | 第25回しまばら温泉不知火まつり |
| 17 (日) | | | | | | | | しまばら温泉不知火まつり市中パレード 島原ガマダス阿波踊り大会 |
| 22 (金) | | | | JICAと島原市との「草の根技術協力事業『火山との共生』研修の閉講式(市) | | | | |
| 23 (土) | | | | 「島原半島ツアーマーチ」開催。延2000人が参加(市、～24日) | 第3回がまだすドーム親子スケッチ大会作品展(県、～11月7日) | | | |
| 24 (日) | | | | | | | 森岳地区防災避難訓練 | |
| 25 (月) | | | | | 雲仙復興事務所、地域高規格道路「島原道路」島原市工区建設促進期成会の要望書に対して、現地説明会(国) | | | |
| 26 (火) | | | | 新潟県中越地震の被災地山古志村に対し、毛布など救援物資を市職員2名が届けるために出発(市) | | | | |
| 28 (木) | | | | 本年度の島原城登閣者数が70,000人を達成。福岡県鞍手町の坂本敏彦さんに記念品贈呈 | | | NPO島原ボランティア協議会宮本秀利理事長、新潟県中越地震の被災地視察報告会 再建された安中八幡神社で14年ぶりに奉納相撲 | |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 31 (日) | | | | 吉岡市長ら新潟県中越地震 と福知山市の台風被害の被 災地を見舞うため出発 (市、～11月1日) | | | | |
|-----------|--|--|--|--|--|--|--|--|

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報センター 九大地震火山観測研究センター 予知課 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|------------------------|--|--|----------------------------|--|---|
| 1 (月) | | | | 島原漁協「アサリ、ワカメ等種苗助成事業」で島原市三会地区地先にアサリの稚貝を放流 | | | | がまだす広場駐車場の「足湯」オープンセレモニー |
| 5 (金) | | | | | | | | 一般国道57号等県南地域幹線道路整備促進期成会、雲仙復興事務所に要望 |
| 7 (日) | | 火山活動解説資料(10月) 静かな状態が続く | | | | | 第9回「がまだせコンサート2004」開催。新潟県中越地震の被災地へエール九州電力島原市南千本木町の垂木台地森林公園で創立50周年記念「雲仙・普賢の森植林ボランティア植樹」で約1,000名がタブノキなど20種類計1万本の苗木を植樹。累計約43,000本となる | |
| 8 (月) | | | | | (財)雲仙岳災害記念財団、「平成新山フィールドミュージアム」の愛称を発表。南高布津町の草野真由さんの「平成新山がんばんランド」に決定(県) | | | |
| 12 (金) | | | | | | | | 地域高規格道路「島原道路」島原市工区建設促進期成会、半島振興・三県架橋等で国土交通省に要望 |
| 14 (日) | | | | | 「雲仙普賢岳フェスティバル2004」が水無川導流堤のわれん川周辺で開催され、100本のイチョウの植樹や被災地を巡る雲仙復興ウォッチングなどのイベントで賑わう(国土交通省他) | | | |
| 16 (火) | | | | | | | 九大清水洋教授、島原第五小学校で「雲仙普賢岳噴火について」講演。5、6年生が火山学習 | |
| 17 (水) | 噴火から丸14年 | | | | | | 「島原生き残り」と復興対策協議会が雲仙岳災害記念館の敷地に建立した記念碑の除幕式 大野木場小学校児童、新潟県中越地震で被災した子ども宛に励ましの手紙を書く 九大清水洋教授、島原第一小学校で「雲仙普賢岳噴火について」講演 | 薩ヶ江管一前市長、福岡市で通算937回目の講演 |
| 18 (木) | | | | | | | NPO「島原普賢会」「雲仙普賢岳フェスティバル2004」で募った義援金を市に寄託 | |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|--|--|---------------------------------|---|--|--|--|
| 21 (日) | | | | | 親と子の火山学習会「雲仙 火山についてー火山の恵み を中心に」を雲仙岳災害記 念館で開催 (県) | | | |
| 27 (土) | | | | 「2004がまだす島原の産業 まつり」開催 (～28日) | | | | |
| 29 (月) | | | | 島原市長に吉岡隆二郎氏が 4選を果たす (市) | | | | |

2004年（平成16年）12月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知課 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|----------------------------|-------------------|----------------------------------|--------------------------------|--------------------|---|
| 1 (水) | | | | | | | | 今年で12回目の「2004島原ファンタジア」開幕。島原城天守閣と堀端を17,000個のイルミネーションで飾る（～1月10日） 島原外港緑地公園で「ウィンターナイト」開始 |
| 4 (土) | | | | | | | | 島原・雲仙学生駅伝（第22回九州学生駅伝対抗選手権大会） |
| 5 (日) | | | | | | | | 環境シンポジウム島原大会（県地球温暖化防止活動推進委員会センター主催）開催 |
| 7 (火) | | 火山活動解説資料(11月) 静かな状態が続く | | | | | | |
| 12 (日) | | | | | | | | 第4回しまばら未来塾で女優の中野良子さんが「魅力ある町づくり」と題して講演 |
| 14 (火) | | | | 防災行政無線通信訓練 (市) | | | | 安徳駐在所が島原市中安徳町に11年ぶりに再建され開所式 |
| 20 (月) | | | | | 雲仙普賢岳資料館が情報発信基地として改装オープン。入場無料(国) | | | |
| 31 (木) | | | | | | | | 「島原ファンタジア・カウントダウンin島原城」開催 |

2005（平成17）年

1月～12月

2005年(平成17年) 1月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知課 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|--|----------------------------|--------------------------|---|--------------------------------|--------------------|---|
| 9 (日) | | | | | 雲仙岳災害記念館の入場者 数が80万人を突破。福岡県 田川郡添田町の河西久美子 さんに記念セレモニーで記 念証書などを贈呈(県) | | | |
| 11 (火) | | 火山活動解説資料(12月) 昨年1年間の火山活動度レ ベルは「1」の静穏な状態で 引き続き静かな状態が続く | | | | | | |
| 19 (水) | | | | | | | | 国内外の13の防災施設など で構成する「災害語り継ぎ ネットワーク」の発起人会 に鐘ヶ江管一前市長も参加 |
| 21 (金) | | | | 雲仙岳防災会議協議会と南 高来郡町村会総会 | | | | |
| 22 (土) | | | | | | | | 高原・天草・長島架橋及び 九州西海岸軸構想推進地方 大会 |
| 23 (日) | | | | | 雲仙岳災害記念館で平成新 山がんばんランド公開セミ ナー(県) | | | |
| 24 (月) | | | | | (財)雲仙岳災害記念財団理 事会で雲仙岳災害記念館の 本年度目標入館者数を28万 人から20万人に下方修正。 また運用財産から6,000万 円を繰り入れる予算案を承 認(県) | | | |

2005年(平成17年)2月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知速 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 氏 ボランティア 学 校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|----------------------------|---|-----------------------------------|--------------------------------|---|---|
| 3 (木) | | | | | | | | アメリカなど3カ国から来 日した「青年社会活動コア リーダー育成プログラム」 の13人、旧大野木場小など を訪問し、垂木台地で記念 植樹 |
| 5 (土) | | | | | | | | 西彼琴海町自主防災会視察 に来島 |
| 6 (日) | | | | | | | | 平成がらばランド「語り部」 ネットワークのワーク ショップ |
| 8 (火) | | 火山活動解説資料(1月) 引き続き静かな状態が続く | | | | | | |
| 14 (月) | | | | | 雲仙普賢岳砂防指定地利活 用整備計画検討委員会 (国) | | | |
| 15 (火) | | | | | | | 島原漁協約170名が参加し て、垂木台地にコナラなど 約1000本の苗木を植樹 | |
| 18 (金) | | | | | 第3回雲仙岳災害記念館の あり方に関する懇話会 (県) | | | |
| 26 (土) | | | | 「雲仙科学掘削」の成果を紹 介する市民講座「マグマの 火道を掘り抜くー科学掘削 で何がわかったか」を開催 (市、(財)震災予防会) | | | | |
| 27 (日) | | | | | | | 島原半島10校の高校3年生 約150人、中尾川上流の千 本木2号砂防えん堤の「卒 業の森」で約1000本の苗木 を卒業記念植樹 | |

2005年（平成17年）3月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知室 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住 民 ボランティア 学 校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|----------------------------|------------|---|--------------------------------|--|---------------------------------------|
| 9 (水) | | | | | 米国政府職員が視察研修 (雲仙復興事務所) | | | |
| 15 (火) | | | | | | | | 新潟県山古志村の長島村長ら5名普賢岳噴火災害からの復興状況を視察のため来島 |
| 17 (木) | | | | | 雲仙岳・眉山地域治山対策 検討委員会(国・県) | | | |
| 18 (金) | | | | | 雲仙岳警戒区域設定等調査 会議で普賢岳北西部を31日 正午に解除を決定 | | | |
| 19 (土) | | | | | | | 島原漁協約170名が参加し て、コナラとモミジの苗木 1000本を垂木台地で植樹 | |
| 24 (木) | | | | | 平成新山フィールドミュー ジウム構想推進委員会、 「平成新山がんばランド・ アクションプログラム」の 素案を示す(県) | | | |
| 25 (金) | | | | | 雲仙復興事務所、平成17年 度の事業概要を発表(予算 総額4億500万円)(国) | | 9回目の観光トロッコ列車 運行開始。3万人の利用を 見込む(島原鉄道) | |
| 27 (日) | | | | | | | われん川でどんぐり等の種 まき大会 | |

2005年（平成17年）4月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知連 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 学校 住民 ボランティア | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|----------------------------|------------|------------------------------------|--------------------------------|---|--|
| 1 (金) | | | | | 川田洋島原振興局長 4/1 付で県地域振興部理事に就 任 | | | |
| 3 (日) | | | | | | | | 島原大変遭難者慰霊祭で大 火砕流犠牲者の慰霊も行う |
| 9 (土) | | 火山活動解説資料(3月) 静かな状態が続く | | | | | | 鐘ヶ江管一前市長、松本市 と福岡市のラジオ放送(11 日)で防災講演 |
| 10 (日) | | | | | | | | 「しまばら未来塾」でキャ スターの筑紫哲也さんが「 地方都市の生き残り戦術」 と題して講演 |
| 16 (土) | | | | | | | | 鐘ヶ江管一前市長、新潟県 新発田市の陸上自衛隊本新 発田駐屯地で講演 |
| 19 (火) | | | | | | | | JICA火山学会土砂災害 対策研修生が復興した被災 地と雲仙岳災害記念館など を調査 |
| 28 (金) | | | | | | | 「島原普賢会」の大町理事 長他18名、帰島が進む東京 都三宅島でボランティア活 動(～5月2日) | |

2005年(平成17年)5月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 千知通 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住民 学校 ボランティア | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|-----------------------------|--|--|--------------------------------|--|---|
| 1 (日) | | | | | | | | 島原大変供養祭 |
| 9 (月) | | | | | 出水期を前に防災関係9機 関の44名市内危険箇所の防 災対策現地視察(国、県 他) | | | |
| 10 (火) | | | | | | | 島原中心市街地街づくり推 進協議会、「島原湧水と調 和した町並み絵ハガキ」を 発行 | |
| 13 (金) | | | | | 出水期を前に雲仙復興事務 所、土石流発生時に備えた 情報伝達演習(国) | | | |
| 19 (木) | | | | | 第46回県総合防災訓練を安 徳海岸埋立地で実施。67関 係機関から1200名が参加 (県、市、16町) | | | |
| 20 (金) | | | | 平成16年の観光動態調査結 果を発表。入込み客数は 約1,484,800人(前年比 11.1%減)。宿泊客数は約 235,300人(前年比10.1% 減)島原城入場者数は約26 万人(前年比2.8%減) 雲仙・普賢岳火山砂防促進 期成同盟会総会、本年度の 事業計画を決定(市、3 町) | | | | |
| 24 (火) | | | | | | | | 日本火山学会総会で「第5 回火山都市会議(COV)」 の島原市開催に向け誘致活 動を決定し、国際火山学会 に立候補申請の方針を決定 |
| 26 (木) | | | 梅雨を前に災害危険箇所を 現地調査(島原警察署) | | | | | 島原半島農林業立国推進委 員会解散を決定。今後は 「島原半島体験型観光ネッ トワーク」などに活動を引 き継ぐ |
| 27 (金) | | | | 5月31日の解散を前に、 (財)島原市義援金基金理事 会、残金約3,570万円を島 原市に寄付することを決定 | | | | |
| 28 (土) | | | | | 雲仙お山の情報館、断層見 学ツアー開催 | | | |
| 30 (月) | | | | 防災関係者、調査を兼ねて 雲仙普賢岳溶岩ドーム(平 成新山)に登山 | 県島原振興局、関係機関約 50名が参加して梅雨を前に 島原半島内の災害危険箇所 を現地視察(県) | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 31 (火) | | | | | <p>(財)雲仙岳記念財団理事会、理事長の金子知事他が退任し、地元中心の経営的組織に理事会を改編。新スタート。平成16年度の入館者数は約214,800人で下方修正した20万人を突破するも前年比約8万2000人の減少(県)</p> | | | |
|-----------|--|--|--|--|--|--|--|--|

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報センター 九大地震火山観測研究センター 予知室 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島鉄) | 学校 住民 ボランティア | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|------------------------|---|---|----------------------------|--|---|
| 1 (水) | | | | | | | | 地域高規格道路「島原道路」 島原市工区建設推進大会 |
| 2 (木) | | | | | | | | 前市長鎌ヶ江管一氏、島原 警察署で「雲仙・普賢岳の 回顧と教訓」と題して講 演。全国講演回数は954回 となる |
| 3 (金) | 火砕流から丸14年 | | | 「いのりの日」仁田団地の 雲仙普賢岳噴火災害犠牲者 追悼の碑の前に献花所を設 置。朝吉岡市長らが献花。 終日献花が続き犠牲者の冥 福を祈る(市) 平成町の消防殉職者慰霊碑 前に献花所設置。遺族らが 慰霊に訪れ犠牲者の冥福を 祈る(市) 午後4時8分市民黙禱 (市) | | | 北上木場農業研修所跡地で 遺族らが犠牲者を慰霊 島原第三中学校の「追悼集 会」で長谷川重雄さんの体 験談を聞く。 島原第四小学校で川村清二 さんが体験談を講演。 第五小学校「いのりの日」 集会で児童らが災害学習の 成果を発表。3年生の代表 が仁田団地の慰霊碑に折鶴 を捧げ犠牲者の冥福を祈る | |
| 7 (火) | | | | | | | 九州電力、花と緑のまちづ くり実行委員会に苗木を寄 贈 | |
| 10 (金) | | | | | 県島原振興局、関係54機関 から約80名が出席して、梅 雨を前に、島原地域防災連 絡会議を開催(県) | | | |
| 13 (月) | | | | | | | | 地域高規格道路「島原道路」 島原市工区建設促進期成 会、雲仙復興事務所他に要 望活動 |
| 14 (火) | | 九大清水洋教授、日本火山 学会が年内にも国際火山学 会に立候補を予定している 「第5回火山都市会議(CO V)」の島原市開催に向け、 地元の関係機関(約20団 体)に対し正式に協力を要 請 | | 島原市防災会議(市) | | | | 「島原半島体験型観光ネッ トワーク(愛称がまだす ネット)」今秋「NPO法 人がまだすネット」の設立 を決定 雲仙普賢岳火山砂防促進期 成会、雲仙復興事務所に要 望 |
| 15 (水) | | | | | | | | 地域高規格道路「島原道路」 島原市工区建設促進期成 会、国土交通省九州地方整 備局に要望 |
| 16 (木) | | | | | | | | 高原温泉観光協会、新年度 の事業計画を決定 |
| 20 (月) | | | | | | | | しまばら未来塾第3期開講 「私の野球人生と島原との 関わりについて」と題して 稲尾和久氏が講演 |
| 22 (水) | | | | | | | | 島原市南上木場町で平成3 年6月3日の大火砕流で犠 牲になった報道関係者の遺 品の報道機材が大量見つかる |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|--|--|--|--|--|---|--|
| 24 (金) | | | | | | | 島原市の観光名所「鯉の泳ぐまち」を管理している同市下新町町内会が「まちづくり功労者国土交通大臣表彰」を受賞 | |
| 25 (土) | | | | | | | | |

2005年（平成17年）7月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報センター 九大地震火山観測研究センター 予知室 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|------------------------|------------|--|----------------------------|--|-------------------------|
| 1 (金) | | | | | 雲仙岳災害記念館開館3周年記念「平成新山絵画展」開催（～8月1日） 通算入場者数は6月30日現在884,268人 県内の小中学生ら有料入館者を対象に交通費の助成を開始（県） | | | |
| 3 (日) | | | | | | | ふるさとの木による森づくりネットワークと雲仙復興事務所の主催で約50人が参加してタブノキの種まき大会 | |
| 11 (月) | | 火山活動解説資料(6月) 静かな状態が続く | | | | | | |
| 21 (木) | | | | | 雲仙岳災害記念館開館3周年記念夏休み企画「クイズに答えながら火山や自然災害について学ぼう」開催（～8月31日）（県） | | | |
| 23 (土) | | | | | 平成新山ネイチャーセンター夏休みイベント開始（～8月31日）（県） | | | |
| 29 (金) | | | | | 日本火山学会が立候補を予定している「第5回火山都市会議」の島原開催に向け中田節也東大教授と清水洋九大教授が島原市に具体的な協力を要請 | | | 島原半島観光連盟、総会で今年度の事業計画を決定 |

2005年（平成17年）8月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知室 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|---------------------------------------|---|----------------------------|--|--|--------------------------------|--------------------|---|
| 6 (土) | | | | | 雲仙岳災害記念館で、夏休 み親子地震・火山スクール 「九州大学清水洋先生と一 緒に『地球をサイエン ス!』」を開催(県、～7 日) | | | |
| 7 (日) | | | | | 上記親子地震・火山スクー ル「九州大学清水洋先生と 一緒に『地球をサイエン ス!』」で普賢岳登山と野 外観察を開催(県) | | | |
| 8 (月) | | | | | 今年度の「キャンプ砂防in 雲仙」開催。テーマは「火山 との共生ーよみがえる雲 仙」理科系大学生5名参加 (国、～12日) | | | |
| 9 (火) | 火山活動解説資料 7月の 火山活動は引き続き静かな 状態が続く | | | | | | | |
| 10 (水) | | | | | | | | 日本テレビ・読売新聞・毎 日新聞、6月22日に発見さ れた大火砕流で被災した報 道機材を島原市に寄贈。雲 仙岳災害記念館で展示され ることになった NHK被災カメラを寄託 |
| 11 (木) | | | | | 雲仙岳災害記念館の有料入 館者が90万人を達成。北海 道上川郡愛別町の年藤涼平 君に記念品を贈呈(県) | | | |
| 14 (日) | | | | | | | | しまばら未来塾 「地方の伝統行事とまちお こしについて」と題して大 林彦彦氏が講演 |
| 19 (金) | | | | (財)島原市義援金基金の第 2回清算委員会、清算業務 報告を承認し解散に係るす べての清算手続きを終了 | | | | |
| 22 (月) | | | | | 雲仙岳災害記念財団平成17 年度第1回経営委員会 (県) | | | |
| 26 (金) | | | | | | | | 第13回島原温泉ガマダス花 火大会。約28,000人の見物 客 |
| 31 (水) | | | | | | | | 台湾の防災担当者が雲仙復 興事務所研修 |

2005年(平成17年)9月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知室 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|---|---|----------------------------|---|--|--------------------------------|--------------------|--|
| 1 (木) | | | | | 地震防災訓練。約50人が参 加(県) | | | |
| 2 (金) | | | | | 寄贈された被災放送機材の 常設展示を雲仙岳災害記念 館で開始(県) | | | |
| 6 (火) | 台風14号による大雨で赤松 谷川上流部で平成11年9月 以来6年ぶりに土石流が発 生 | | | | | | | |
| 9 (金) | | 火山活動解説資料(8月) 火山活動は引き続き静かな 状態が続く | | | | | | |
| 11 (日) | | | | | 雲仙岳災害記念館開館3周 年記念夏休み特別企画懸賞 クイズの抽選会(県) | | | |
| 15 (木) | | | | 大野木場メモリアルデー 2005を開催。5,6年生が 火山学習の成果を発表 | | | | |
| 20 (火) | | | | | 雲仙岳災害記念館平成17年 度第2回経営委員会(県) | | | 島原市民文化講座で寺井邦 久氏が「島原半島の活断層 を読むー地震災害から身を 守るためにー」と題する講 演会 |
| 25 (日) | | | | | | | | 今年6月に見つかった報道 関係者の遺品の報道機材の うち、日本テレビのテーブ の映像と音声を復元し、10 月17日に放送する |
| 30 (金) | | 82年間続いた雲仙岳測候所 の有人観測を終了。10月1 日より無人化観測に移行 | | | | | | |

2005年（平成17年）10月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知室 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|----------------------------|--|--------------|--------------------------------|--------------------|---|
| 1 (土) | | 雲仙岳測候所無人化観測に 移行 | | | | | | |
| 4 (火) | | | | | | | | 島原半島観光連盟、大阪市 で物産展を開催し、島原半 島の観光をPR（～18日） |
| 7 (金) | | | | | | | | |
| 11 (火) | | 火山活動解説資料(9月) 静かな状態が続く | | | | | | |
| 12 (水) | | | | | | | | ぶらりながさき小旅行雲 仙・島原地区会議、「三湯 物語」などを企画。乗り合 いタクシーも11月まで運行 |
| 16 (日) | | | | | | | | 第26回島原温泉不知火まつり 市中パレード |
| 17 (月) | | | | | | | | 午前0時55分よりNNNド キュメント'05「解かれた 封印 雲仙大火砕流378秒 の遺言」を放送 |
| 22 (土) | | | | 第12回島原半島ツーデー マーチ（～23日） | | | | 宇宙飛行士毛利衛さんと宇 宙飛行した種から育った 「宇宙桜」の苗木4本が雲 仙災害記念館の敷地内に植 樹される |
| 23 (日) | | | | | | | | 焼山神社移転新築再建 |
| 25 (火) | | | | | | | | 一般国道57号等県南地域幹 線整備促進期成会、雲仙復 興事務所と長崎河川国道事 務所に要望 |
| 28 (金) | | | | 島原城の本年度の登閣者が 7万人を突破、札幌市の木 村鐘康さんに記念品を贈呈 | | | | |

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報センター 九大地震火山観測研究センター 予知速 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|------------------------|--|-------------------------------------|----------------------------|--|--|
| 6 (日) | | | | 麓丘地区の31町内会を対象に島原市防災避難訓練を実施(市) | | | | |
| 7 (月) | | | | | | | | アジア防災センターの「防災体制研修」の一環としてフィリピンのマリア・ゴーンさんとタジキスタンのディロロ・ミロバさんが来島し、普賢岳噴火災害について学ぶ(～8日) |
| 8 (火) | | 火山活動解説資料(10月) 静かな状態が続く | | | | | 噴火から丸15年を前に「上木場災害遺構保存会」の5名が災害遺構として保存整備された北上木場農業研修所跡地の周辺を清掃 | |
| 10 (木) | | | | | | | | 国際協力機構九州センターと島原市が実施する今年度の「草の根技術交流事業『火山との共生』研修」始まる。フィリピンのホセ・イグナシオ・バレラさんとインドネシアのタミー・ポロボヨノさんが受講(～29日) |
| 11 (金) | | | | | | | | 雲仙普賢岳噴火災害を題材にした創作舞台「フグン・オン・ザ・プラネットII 普賢岳1990～2005」を内嶋善之助さんら4名が上演 |
| 13 (日) | | | | | | | 九州電力創立50周年記念事業「雲仙・普賢の森植樹ボランティア」で垂木台地で植樹 | |
| 17 (木) | 噴火から丸15年 | | | NPO法人日本火山学会と島原市の主催で計画している「火山都市国際会議」の実現に向けた実行委員会発足、初会合(市) | 「平成噴火から15年」と題した地震・火山セミナー開催。約120名参加。 | | | |
| 18 (金) | | | | | | | | 土木学会火山工学研究小委員会の主催で「火山工学セミナーinUNZEN2005」開催。中田節也氏ら5名が提言 |
| 19 (土) | | | | | | | | しまばら未来塾特別講座「眉山トンネル工事の島原湧水群に及ぼす影響と保全について」開催 |
| 20 (日) | | | | | | | 安中まちづくり協議会主催で、「雲仙普賢岳フェスティバル」に代えて「平成噴火の日・われん川再生行事」で約100名が参加して川の清掃。また、安中地区の砂防指定地にイチョウの苗木20本を植樹 | 日本地熱学会雲仙大会で九州大学名誉教授太田一也氏他による講演 |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|--|--|--|---|--|--|--|
| 25 (金) | | | | 島原市主催の自主防災会研 修会で寺井邦久氏の「島原 半島の活断層を読む」と題 する講演 | | | | |
| 26 (土) | | | | 第22回がまだす島原の産業 まつり | (財)自然公園・雲仙支部の 主催で平成新山ネイチャー センターで寺井邦久氏によ る、火山入門シリーズその 1-「火山の岩の見分け方」 を開催 | | | |
| 28 (月) | | | | | | | | しまばら未来塾、眉山トン ネル工事の島原湧水群に及 ぼす影響について、吉岡市 長と島原市議会に対して再 調査を求める要望書を提出 |
| 29 (火) | | | | | | | | 「草の根技術交流事業『火 山との共生』研修」の閉講 式 |

2005年(平成17年)12月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知室 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|----------------------------|---|--------------|--------------------------------|---|--|
| 1 (木) | | | | みずなし本陣ふかえ、開業 以来6年8ヶ月で入場者が 500万人を突破。500万人目 の大阪府の餅取美穂さんに 記念セレモニー(町) | | | | 今年で13回目「2005島原 ファンタジア」開幕。島原 城天守閣と堀端を17,000個 のイルミネーションで飾る (~1月8日) |
| 2 (金) | | | | | | | 島原市の仁田の丘町内会、 防災行政無線屋外受信施設 の設置を求める要望書を市 へ提出 | NPO法人がまだすネット 設立記念フォーラムin雲仙 「島原半島を元気にするー 地域連携による体験型観光 の推進ー」を開催 |
| 3 (土) | | | | | | | | 島原・雲仙学生駅伝 |
| 8 (木) | | 火山活動解説資料(11月) 静かな状態が続く | | | | | | 島原市中心市街地街づくり 推進協議会他4組織、「街 づくり協定」の承認申請書 を市長へ提出 |
| 9 (金) | | | | | | | | 第4回しまばら未来塾で「 郷土の未来を掘り起こす」 と題する長崎総合科学大学 ブライアン・パークガフニ |
| 15 (木) | | | | 火山都市国際会議島原大会 実行委員会、誘致に向けて 金子知事に協力・支援を要 請(市) | | | | |
| 20 (火) | | | | | | | | |
| 23 (金) | | | | | | | | 「キャンドルナイトin島原 城」開催(~24日) |
| 31 (土) | | | | | | | | 「島原ファンタジア・カウ ントダウンin島原城」開催 |

2006（平成18）年
1月～12月

2006年（平成18年）1月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知室 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|----------------------------|--|--------------|--------------------------------|--------------------|---|
| 10 (火) | | 火山活動解説資料 12月 引き続き静かな状態 | | | | | | |
| 21 (土) | | | | 「火山都市国際会議」の勝 致に向け吉岡市長を団長に 実行委員会の一行4名がエ グアドルの首都キト市を訪 問（～2月1日） | | | | |
| 24 (火) | | | | | | | | 中国北京市の北京月壇中学 の生徒ら104名、修学旅行 で来島（～25日） |
| 26 (木) | | | | 島原たばこ生産組合、苗床 への種まき | | | | |
| 27 (金) | | | | 「火山都市国際会議」の勝 致が決定。平成19年11月17 日前後の5日間の日程で開 催する | | | | 島原健康半島推進協議会の 主催で、平成新山の火山灰 を利用した「特産品開発講 習」で、火山粘土でキーホ ルダーなどの土産品製作 （～28日） |

2006年（平成18年）2月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知速 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|----------------------------|--|--|--------------------------------|--|---|
| 6 (月) | | | | | 島原中央道路の関連に約19億5千万円の補正予算が計上される(国土交通省九州地方整備局) | | | |
| 7 (火) | | 火山活動解説資料 1月 引き続き静かな状態 | | | | | | |
| 8 (水) | | | | | | | | 仁田団地内の「雲仙普賢岳噴火災害犠牲者追悼之碑」の被災現場付近への移転を求め、島原仏教会が要望書を提出 |
| 9 (木) | | | | | 被災現場の土砂を使った砂防えん堤工法「砂防ソイルセメント(CSG)工法」を開発し、改良試験(国土交通省雲仙復興事務所、～10日) | | | |
| 10 (金) | | | | | | | 島原半島の高校3年生約730名、島原市上折橋町の中尾川流域の砂防指定地でヤブツバキの苗木など1000本を卒業記念植樹 | |
| 17 (金) | | | | 火山都市国際会議の第5回会議の誘致に成功した吉岡市長らが記者会見。平成19年11月17日～23日の日程で開催される(市) | | | | |
| 19 (日) | | | | | 雲仙岳災害記念館の有料入館者が3年7ヶ月で100万人目を達成。栃木県佐野市の飯塚久宜さんに記念証書と記念品を贈呈。他、100万人達成記念キャンペーンを実施。3月からは全国科学館連携協議会巡回展「毛利宇宙飛行士の部屋」などを開催する(県) | | ふるさとの木による森づくりネットワーク島原、中尾川上流の島原市南千本木町の2号砂防えん堤周辺でオシマザクラなど600本を記念植樹 | |
| 20 (月) | | | | | フィリピンやパキスタンなど発展途上の防災担当職員を研修生として受け入れる「JICA防災行政管理者セミナー」を開催。計9カ国から10名が参加(国土交通省雲仙復興事務所) | | | |
| 24 (金) | | | | | | | | 15年からの出発～普賢岳災害が伝えたもの」をテーマに第12回よみうり西部フォーラム長崎会議を開催。長崎大学高橋和雄教授の基調講演の後、九大清水洋教授ら6名によるパネルディスカッション |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 25 (土) | | | | | <p>全国にある火山の噴火に備え火山ごとに策定する「緊急減災対策計画」の指針を今秋をめぐりにまとめることを決定。対象となるのは108の活火山のうち、雲仙岳など29火山（国土交通省）</p> | | | |
| 27 (月) | | | | | | | <p>中尾川・水無川砂防安全対策協議会、「砂防関係工事における安全施工管理技術についての研究発表会」</p> | |

2006年（平成18年）3月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知速 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 高原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住 民 ボランティア 学 校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|----------------------------|-----------------------------|---|--|---|--------------------------------------|
| 1 (水) | | | | | | | | 長崎県警小浜署、立入禁止 の警戒区域に入った男性を 書類送検 |
| 7 (火) | | 火山活動解説資料 2月 引続き静かな状態 | | | | | | |
| 11 (土) | | | | | | | 長崎新聞社に委嘱された島 原市内の小学5年生9名の 小学生記者、古里紹介など で雲仙普賢岳噴火災害から の復興の歩みや基幹産業な どを熱心に取材 | |
| 13 (月) | | | | | 水無川導流堤を国道57号よ り上流で渡す高架橋「水無 川上流橋(仮称)」の建設 (総工事費約9億円)に着 工と発表。平成20年度の完 成予定(国土交通省雲仙復 興事務所) | | | |
| 16 (木) | | | | | 雲仙岳警戒区域設定等の調 整会議、警戒区域を現行の まま平成19年3月31日正午 まで延長を決定 | | | |
| 20 (月) | | | | 深江埋蔵文化財・噴火災害 資料館がオープン(町) | | | | |
| 23 (木) | | | | | 水無川導流堤を国道57号よ り上流で渡す高架橋「水無 川上流橋(仮称)」の建設に 着手。供給開始は平成21年 3月予定(国土交通省雲仙 復興事務所) | | | |
| 25 (土) | | | | | | 10回目の観光トロッコ列車 運行開始。3万人の乗車を 見込む(島原鉄道) | 島原漁協、垂木台地でヤマ ボウシなどの苗木400本を 植樹 | |
| 28 (火) | | | | | 雲仙岳災害記念財団第3回 評議会で、雲仙岳災害記念 館の平成18年度の目標入場 者数を当初目標より1万人 少ない19万人と設定 (県) | | | |
| 30 (木) | | | | | 雲仙岳災害記念財団、普賢 岳火砕流から15年の記念事 業として「火砕流の残した もの展(仮称)」の開催を計 画(県) | | | |
| 31 (金) | | | | | 平成18年度の事業概要を発 表。総額44億2千万円で前 年度比10%増(国土交通省 雲仙復興事務所) | | | |

2006年（平成18年）4月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知室 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 学校 住民 ボランティア | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|----------------------------|---|---|--------------------------------|---|---|
| 2 (日) | | | | | | | | 島原大変遭難者慰霊祭 |
| 3 (月) | | | | 火山都市国際会議島原大会 の大会事務局を雲仙岳災害 記念館内に開設。事務局は 市災害対策課の杉本伸一理 事他5名(市) | | | | |
| 6 (木) | | | | | | | 地元農家で作る島原深江土 地改良区が昨年度(3月) の農業農村整備優良地区コ ンクールで最優秀の農林水 産大臣賞を受賞 | |
| 10 (月) | | 火山活動解説資料 3月 引き続き静かな状態 | | | | | 安中地区まちづくり推進協 議会、「みどりの愛護」功 労者として国土交通大臣表 彰を受賞 | |
| 11 (火) | | | | | インドネシアなど4カ国か らの外国人研修生7名が参 加して受け入れる「第2回 JICA火山学・総合土砂 災害対策研修」を開催。 (国土交通省雲仙復興事務 所) | | | |
| 15 (土) | | | | | | | | 災害対応の第一人者で雲仙 普賢岳災害にも関わった、 東京大学大学院教授の廣井 脩氏が死去 |
| 16 (日) | | | | | | | | 平成新山国指定天然記念物 記念日(平成16年指定) |
| 21 (金) | | | | 火山都市国際会議島原大会 PR用のロゴマーク発表と ホームページ運用や大会案 内書作成で記者会見(市) | | | | |
| 26 (水) | | | | | 入場者100万人記念キャン ペーンプレゼントの抽選会 「がまだす賞」10名など計 100名の当選者が決まる (県) | | | |

2006年（平成18年）5月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報センター 九大地震火山観測研究センター 予知課 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島鉄) | 住民 学校 ボランティア | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|-------------------------------------|---|---|----------------------------|---|---|
| 1 (土) | | | | | | | | 島原大変遭難者供養祭 |
| 9 (火) | | 火山活動解説資料 4月 引き続き静穏 | | 梅雨を前に防災対策現地視察を国・県の防災関係機関(55人)と市内6箇所で行って現状を確認(市) | | | | |
| 11 (木) | | | | 火山都市国際会議島原大会実行委員会、第5回火山都市国際会議島原大会に向けて日本語版ホームページを開設(英語版は先月開設)(市) | | | | |
| 12 (金) | | | | 火山都市国際会議島原大会を全国の防災関係者にPRしようと、大会キャラバン隊が東京都三宅島で開催の「火山市民ネットフォーラム」に参加 | 今年の出水期を前に中尾川上流など土石流発生を想定した情報伝達演習(国土交通省雲仙復興事務所) | | | (社)県建設協会島原支部、「大規模災害発生時における支援活動(社会貢献)に関する協定」を長崎県島原振興局と締結 |
| 15 (月) | | | | | 文部科学省の地震調査会、昨年3月に公表した雲仙活断層群南西部長期評価について、北側の部分と南側の部分で地震発生確率を別々に評価するなどの一部改訂を行ったと発表 | | | |
| 16 (火) | | | 梅雨期を前に管内の島原市内の災害危険箇所7箇所を現地調査(島原警察署) | 火山都市国際会議島原大会事務局、6月3日に「いのりの日」子ども発表会を開催すると発表 | | | | |
| 17 (水) | | | | | 地震調査研究推進本部地震調査会、雲仙活断層群南西部長期評価の内容変更を受け、県内の防災担当者への説明会を開催(県) 梅雨期を前に警察や消防など防災関係機関(約60名)、島原半島内6箇所の災害危険箇所を現地調査(県島原振興局) | | | |
| 24 (水) | | | | 火砕流惨事から丸15年の6月3日に5年ぶりに実施する市主催追悼式の行事内容を発表(市) | | | | |
| 25 (木) | | | | | | | 中尾川・水無川砂防安全対策協議会がいのりの日を前に北上木場農業研修所跡地周辺などを清掃 | |
| 28 (日) | | | | | 「雲仙普賢岳火砕流惨事から15年—火砕流の爪痕」と題するミニ企画展を開催(6～25日) | | 親子新緑のつどい、島原市南千本木町の垂水台地森林公園で植樹他火山学習などを行う | シマバラ表現主義クラブ代表の内嶋善之助さんら、普賢岳噴火15周年・朗読劇「哀会」「虹」を上演 |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|--------------------------------------|--|--|---|--|--|---|
| 29 (月) | | | | | (財)雲仙岳災害記念財団 第2回理事会で、河野俊文 初代館長の5月31日付で退 任の申し出を受理し、後任 は公募することを了承。平 成17年度の事業報告と収支 決算を承認 | | | |
| 30 (火) | | 九大地震火山観測研究セン ターなど平成新山で防災登 山を実施 | | | | | | |
| 31 (水) | | | | 島原市防災会議(18機 関)、市地域防災計画修正 案を承認(市) | 雲仙岳災害記念館の河野俊 文館長が退任。後任は公募 (県) | | 上木場災害遺構保存会、6 月3日を前に北上木場農業 研修所跡地周辺を清掃 | 兵庫県西宮市の武庫川女子 大学附属中学・高校の中学 3年生64名、修学旅行で雲 仙岳災害記念館を訪問し、 語り部から雲仙普賢岳噴火 災害の話聞く |

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知速 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 学校 住民 ボランティア | マスコミ 研究者 その他 | |
|----------|-------------|---|-----------------------------|---|--------------|--------------------------------|---|--|--|
| 1 (木) | | | | 地権者との交渉難航で区画 整理4.3ヘクタールのを 断念(市) | | | | | |
| 2 (金) | | | | 火山都市国際会議島原大会 の第1回実行委員会(約50 団体)、市民参加型の大会 など運営方針を説明 | | | 島原市内の各小・中学校、 6月3日を前に「6.3い のりの日集会」を開く 島原第三中学校では雲仙普 賢岳復興祈念公園で追悼の 会。災害学習で卒業生の荒 木淳子さんが教育実習で体 験を語る。またボランティ アの太石和美さんが体験談 を語る 島原第四小学校で松下英爾 さんの講話。3年生が発表 島原第五小学校で3年生67 名が雲仙普賢岳噴火災害に ついて学んだことを発表 | | |
| 3 (土) | | | | 雲仙・普賢岳噴火災害15周年 犠牲者追悼式が仁田団地 第一公園の雲仙普賢岳火 災犠牲者追悼之碑前で開 催。犠牲者の冥福を祈る 遺族や関係者50名が自衛隊 ヘリで被災地などの上空視 察(市) 市消防団、島原復興アリー ナ東側にある消防殉職者慰 霊碑前で「消防殉職者15周 年追悼献花式」を開催。消 防団員12名の冥福を祈る (市) 火山都市国際会議島原大会 のプレイベントとして「い のりの日こども発表会」を 開催(市) 午後4時8分市内に慰霊の サイレンが鳴り市民が黙禱 し冥福を祈る(市) | | | | 地元消防団員の遺族ら、北 上木場農業研修所跡地で、 火砕流発生の午後4時8分 に慰霊の半鐘を鳴らし、犠 牲者を供養 「いのりの日こども発表 会」で島原第四・第五小学 校児童による発表。また寺 井邦久氏による火山・雲仙 岳の子ども向け講話 島原高校放送部の4名、式 典の様子を収録 | |
| 6 (火) | | | 陸上自衛隊、北上木場の農 業研修所跡地で現地研修 | | | | 九州電力、島原花と緑のま ちづくり運動実行委員会に 苗木360本を贈呈 | | |
| 8 (木) | | 火山活動解説資料 5月 引き続き静かな状態 | | | | | | 中国遼寧省の2テレビ局の 制作スタッフが観光番組の 制作に来島し、島原城や 雲仙地獄などを取材 | |
| 9 (金) | | | | 平成17年の観光動態調査の 結果を発表。入込み客数は 約141万人で前年比5%の 減。宿泊客数は約21万6千 人で8.1%の減(市) 島原地域防災連絡会議(35 機関)半島の災害危険箇所 は1019箇所(市) | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|--|--|--|--------------------------|---|--|--|
| 14 (水) | | | | | | | | 県立シーボルト大学の看護学科4年生69名が、島原市で雲仙普賢岳噴火災害時の被災地の状況や救急医療体制に関する「災害時看護管理実習」を開始（～15日） |
| 21 (水) | | | | | 大野木揚砂防みらい館で防災訓練（雲仙復興事務所） | | | |
| 23 (金) | | | | | | 定時株主総会で平成17年度決算を発表。当期純損益は約1億5千5百万円の赤字（島原鉄道） | | |
| 26 (月) | 停滞する梅雨前線の影響の大雨で水無川上流の赤松谷川で小規模な土石流が2回発生 | | | | | | | |
| 30 (金) | | | | | | | | 地域高規格道路「島原道路」島原市工区建設促進期成会、国土交通省長崎河川国道事務所へ陳情 |

2006年(平成18年)7月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知速 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|----------------------------|---|---|--------------------------------|---|--|
| 1 (土) | | | | | | | | 島原温泉旅館組合、女性宿 泊客に浴衣をプレゼント し、「浴衣をもらって城下 町・島原をさるこう」キャ ンペーンを開始 (～9月30日) |
| 6 (木) | | | | | | | | 各種期成会、島原道路や火 山砂防事業の整備促進を国 土交通省九州整備局と雲仙 復興事務所に要望書を提出 地 |
| 9 (日) | | | | | | | | 韓国高陽市のジョンバル中 学校の生徒40名、修学旅行 で島原市を訪問 |
| 10 (月) | | 火山活動解説資料 6月 引き続き静穏 | | | 雲仙岳災害記念館で第2回 平成新山絵画展が開催(～ 9月10日)。他数種の夏の 特別企画行事を開催(県) | | | ジョンバル中学校の生徒が 吉岡市長を表敬訪問 |
| 11 (火) | | | | | | | | 雲仙普賢岳火山砂防促進期 成同盟会、国会議員・国土 交通省・財務省に要望活動 |
| 12 (水) | | | | | | | | 島原市杉山町の温泉熊野神 社の湧水が平成15年9月以 来約3年ぶりに復活 |
| 15 (土) | | | | | 雲仙岳災害記念館、小・中 学生の夏休みがまだセプラン (県内の小中学生の入館料 の半額や親子火山実験教室 など)を開始(～8月31 日) | | | (有)三角島原フェリー、島 原-三角航路のフェリーの 運航を8月29日で中止 |
| 18 (火) | | | | | 雲仙岳災害記念館の新館長 に河本富士雄氏が決定。任 期は8月1日から平成20年 3月31日まで | | 南島原市深江町の大野木場 小学校の5、6年の児童39 名、9月15日のメモリアル デーに向けて、水無川2号 砂防えん堤と大野木場砂防 みらい館で災害学習 | |
| 19 (水) | | | | 火山都市国際会議島原大会 において平成新山の周辺地 域をバスで視察する「巡検」 の予行演習を兼ねた第1回 下見 | | | | |
| 21 (金) | | | | | | | 島原署の旧広馬場交番を 「広馬場安全安心ステー ション」と名づけ、「白山 地区安全安心連絡会」が オープン | |
| 22 (土) | | | | | 雲仙岳災害記念館で「火山 をまるかじり！」と題した 夏休み親子火山実験教室を 開催。21組53名が参加 (県、～23日) | | | |
| 30 (日) | | | | | 平成新山がんどランド夏休 み親子火山教室「普賢岳に 登ろう！」を開催し、49名 が普賢岳登山(県) | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|--|--|--|--|--|--|---|
| 31 (月) | | | | | | | | 火山都市国際会議島原大会 のキャラバン隊が苫小牧市 で開催される「北海道火山 サミット」としてPR。「全 国からの報告『過去の教訓 に学ぶ』」で団長の杉本伸 一氏が「雪仙・普賢岳災害 の教訓－火山都市国際会議 ー島原発世界へ」と題した 講演 |
|-----------|--|--|--|--|--|--|--|---|

2006年（平成18年）8月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知課 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|--|--|--|--------------------------------|--|---|
| 1 (火) | | | | | 雲仙岳災害記念館新館長に 公募で決まった河本富士雄 氏に辞令を交付(県) | | | |
| 3 (木) | | | | | | | | 地域高規格道路「島原道 路」島原市工区建設促進期 成会、県知事と県議会議長 へ要望 |
| 6 (日) | | | | | | | | 第19回島原水まつり |
| 7 (月) | | | | | 第9回キャンプ砂防in雲仙 「火山との共生ーよみがえ る雲仙」に大学生5名が参 加(雲仙復興事務所、～11 日) | | | |
| 8 (火) | | 火山活動解説資料 7月 引き続き静穏 | | | | | | |
| 9 (水) | | | | 火山都市国際会議島原大会 事務局と関係機関、大会行 事の1つの被災地視察の対 象地域内の第1回巡検下見 | | | | |
| 12 (土) | | | | | 平成新山ネイチャーセン ター主催で「親子で遊ぼ う！ネイチャーゲームーた るきの自然を発見！」 (県) | | | |
| 23 (水) | | | | 火山都市国際会議島原大会 事務局主催で「やさしいも てなし英会話講座」の公募 講師の初会合 | | | | |
| 24 (木) | | | | | | | | 島原半島振興対策協議会と 島原・天草架橋建設促進期 成会、総会で本年度の事業 計画を決定 |
| 26 (水) | | | | | | | 南島原市深江町大野木場小 学校の児童など約75名が参 加してメモリアルデーを前 に「親子砂防学習ー親子で 学び・語る噴火災害や防災 事業」を赤松谷川流域で学 習 | |
| 28 (月) | | | 陸上自衛隊前川原駐屯地の 幹部候補生ら島原市などで 雲仙普賢岳噴火災害に関す る現地研修。太田一也九大 名誉教授が水無川砂防えん 堤付近で講演 | | | | | 島原温泉ガマダス花火大会 に観客約32,000人 |

2006年（平成18年）9月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知室 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|--|--|--|--------------------------------|--|------------------------------|
| 1 (金) | | | | | 防災の日で大規模地震（震 度5弱）を想定した防災訓 練（雲仙復興事務所） | | | 第3回しまばら半島未来塾 「哲学」美輪明宏氏の講演 |
| 5 (火) | | | | 平成19年11月に開催される 「火山都市国際会議」をPR するために実行委員会、島 原市役所など5箇所に巨大 看板を設置 | | | | |
| 6 (水) | | | | | 全国科学館連携協議会で、 加盟施設の職員同士の研修 会や来館者増加のための工 夫などについて会合 | | | |
| 9 (土) | | | | | 平成新山ネイチャーセン ターで、寺井邦久氏による 自然観察会「火山入門シ リーズその2ー地形を読み 解く」を開催 | | | |
| 11 (月) | | 火山活動解説資料 8月 引き続き静穏 | 陸上自衛隊大村駐屯地の第 4施設大隊が災害対処応急 橋梁架設訓練 | | | | | |
| 14 (木) | | | | | 雲仙岳災害記念館4周年記 念抽選会で、特賞の「がま だす賞」に埼玉県川口市の 山田さん他3名を決定 (県) | | | |
| 15 (金) | | | | 大野木場メモリアルデー 2006。5年生による火山・ 砂防学習発表などを行い、 災害の継承を誓う（南島原 市深江町） | | | | |
| 25 (月) | | | | (財)十八銀行社会開発振興 基金の助成を受けて完成し た島原城天守閣入口のアル ミ製説明案内板の除幕式 (市) | | | | |
| 27 (水) | | | | | | | 南島原市深江中学校1年 生80名、深江町の歴史と普 賢岳噴火災害を学ぶ総合学 習で砂防ダムなどを見学 (南島原市深江町) | |

2006年(平成18年)10月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知室 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|----------------------------|-------------------------|--|--------------------------------|--|---|
| 2 (月) | | 雲仙岳測候所無人化観測に 移行 | | | | | 火山都市国際会議に備え、 「やさしいおもてなし英会 話」講座が始まる。11月ま で市内7つの公民館で随時 開催され、約140名の市民 が受講する予定 | |
| 4 (水) | | | | | | | | 島原半島地域観光振興検討 会議 |
| 5 (木) | | | | | | | | ドイツのビュルツブルク市 市長夫妻他7名吉岡市長を 表敬訪問し、雲仙岳災害記 念館などを見学 |
| 14 (土) | | | | | | | 「雲仙百年の森づくりの会」 雲仙市田手原で種拾い | しまばら温泉不知火まつり |
| 15 (日) | | | | | | | | しまばら温泉不知火まつり 市中パレード がまだす阿波踊り大会 |
| 17 (火) | | | | | | | | |
| 21 (土) | | | | | 雲仙岳災害記念館で第5回 がまだすドーム親子スケッ チ作品展(～11月3日) | | | 島原温泉旅館組合、島原市 鎌田町の水無川導流堤右岸 他5箇所ヒカンザクラを 植樹 |
| 22 (日) | | | | 島原半島ツデーマーチ (～10月23日) | 同入賞者表彰式 | | | |
| 24 (火) | | | | | | | | 「島原半島の道路網計画検 討委員会」初会合 |
| 28 (土) | | | | | | | 「第19回島原水まつり」の一 環として、島原市南千本木 町の垂木台地森林公園でヤ マボウシなどの苗木250本 を記念植樹 島原第二小学校の6年生54 名、2本のモミジを植樹 | |

2006年(平成18年)11月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知室 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|--|----------------------------|---|--|--------------------------------|---|--|
| 2 (木) | | | | | | | | 道路期成会、愛野小浜バイ パス建設促進期成会、島原 半島道路網建設促進期成 会、県と県議会へ要望 |
| 3 (金) | | | | | | | | 内嶋善之助さん主宰のシマ バラ表現主義クラブ、フラ ンス人火山学者クラフト夫 妻をモデルとした演劇「定 点を超えて」と戯曲「定点 回帰」を上演 |
| 5 (日) | | | | 安中地区で島原市防災避難 訓練を実施(市) | | | | |
| 6 (月) | | 午後7時半ごろ平成新山南 斜面に赤い発光が確認され る | | | | | | |
| 7 (火) | | 平成新山南東側中腹斜面を 上空観察の結果、山火事の 可能性との判断 火山活動解説資料 第2報 (福岡管区気象台) | | 市議会の前夜確認された平 成新山南東側中腹斜面の発 光現象について災害対策課 の平尾明課長が状況説明 | | | | |
| 8 (水) | | 午後3時半ごろ山火事発生 | ヘリコプター6機による消 火活動(自衛隊) | | 県危機管理防災課、防災ヘ リによる「島ノ峰」一体に広 がった火災の消火活動を開 始(県) | | | |
| 9 (木) | | 清水洋教授、発光現象の原 因について、落雷による火 災で火山活動によるもので はないと断定 (九大地震火山観測研究セ ンター) | 消火活動を継続 | | 消火活動を継続(県) | | | |
| 10 (金) | | 6日からの発光現象につい て、火山活動ではないと正 式発表(福岡管区気象台) 山火事は午後2時すぎ鎮 火。約22hを焼失 | | | 雲仙岳災害記念館で巡回展 「三宅島火山ーその魅力と 噴火の教訓」始まる (～平成19年1月10日) | | | |
| 12 (日) | | | | | | | 島原市南千本木町の垂木台 地で九州電力の主催で雲 仙・普賢の森植林ボラン ティアによるタブノキなど 1万本を植樹。これまでに 累計約63,000本となる | 第4回しまばら半島未来塾 |
| 13 (月) | | 清水洋教授、平成新山ド ームの登山調査の結果、地下 は順調に冷却が進んでいる と発表。また山火事につい ては、火山活動とは関係が ない現象と考えられると発 表。 | | | | | | |
| 17 (金) | | | | | 噴火丸16年に合わせ島原市 南千本木町の千本木展望所 をリニューアル(雲仙復興 事務所) | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|--|------------------------|---|--|--|---|--|
| 18 (土) | | | | | | | | ネットワーク三宅島代表の 宮下加奈さんと三宅村消防 団長の平松一成さんによる 「2000年三宅島噴火を体験 して」と題する講演会 |
| 19 (日) | | | | 火山都市国際会議島原大会 1年前イベント。大会 の目的や「住民参加型」の大会 を目指して基調講演や意見 交換。昭和新山・三松正 夫記念館館長の三松三朗さ んら6名によるパネルディ スカッション。バス野外研 修やポスター発表 | | | 安中地区まちづくり推進協 会、旧議会、「平成噴火の日わ れん川再生行事」と銘打っ た清掃活動 水無川1号砂防えん堤左岸 で約100人が参加して、10 年前に埋められたタイムカ プセルの開封式 NPO法人災害通信ネット ワーク復興植樹10周年記念 碑除幕式 | |
| 20 (月) | | | 島原消防本部がドクターヘ リの運航訓練 | 島原城の本年度天守閣登閣 者7万人目の山口市の長峯 久男さんに記念品贈呈 | | | 島原農高園芸科、雲仙岳災 害記念館の花壇に菫牡丹を 植える | |
| 22 (水) | | | | 「島原防災の日」にちなみ自 主防災会の研修会。県危機 管理防災課の川原邦博課長 が「自主防災会の役割につ いて」と題する講演 | | | | |
| 25 (土) | | | | 2006がまだず島原産業まつ り | | | | |

2006年（平成18年）12月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知課 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|----------------------------|------------|--|--------------------------------|--------------------|---|
| 1 (金) | | | | | | | | 島原ウィンターナイト・ ファンタジア開幕 (～平成19年1月7日) |
| 2 (土) | | | | | | | | 島原・雲仙学生駅伝大会 (第24回九州学生駅伝対校 選手権大会) |
| 4 (月) | | | | | | | | 日本赤十字社九州8県支部 合同災害救護訓練 |
| 11 (月) | | 火山活動解説資料 11月 引き続き静穏 | | | | | | |
| 12 (火) | | | | | | | | まちづくりセミナー「島原 の良いまちづくりに向けて コンパクトで賑わいあふ れる島原へ」開催 |
| 18 (月) | | | | | | | | がまだせ川田金太郎クリス マスコンサート |
| 23 (土) | | | | | 平成新山ネイチャーセン ター、「平成新山の立体模 型を作ろう!」を開催 平成新山ネイチャーセン ター、「平成新山写真展ー 地元の目線から見た溶岩 ドーム」を開催(県、～平 成19年1月7日) | | | キャンドルナイトin島原城 |
| 31 (日) | | | | | | | | カウントダウンin島原城 |

2007（平成 19）年
1 月～12 月

2007年（平成19年）1月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知室 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|----------------------------|--|--------------|--|--------------------|--------------------|
| 9 (火) | | 九州地方の火山活動解説資 料。雲仙普賢岳は引続き静 穏な状態 | | | | | | |
| 22 (月) | | 九州地方の火山活動解説資 料。昨年1年間の火山活動 は静穏な状態 | | | | | | |
| 23 (火) | | | | 島原市で開催された各種ス ポーツ大会などの誘致によ る宿泊者数(推計)は延約 2万2千人に上る | | | | |
| 31 (水) | | | | | | 2007年3月末で島原外港一 加津佐間(通称南目線、 35.3km)の路線廃止を発表 観光トロッコ列車も11月末 で終了(島鉄) | | |

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報センター 九大地震火山観測研究センター 予知室 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|------------------------|--|---|----------------------------|---|---|
| 6 (火) | | | | | 島原中央道路関連に6億円 の予算が配分されたと発表 (国土交通省雲仙復興事務所) | | | |
| 8 (木) | | 九州地方の火山活動解説史 料。雲仙普賢岳は引続き静 穏な状態 | | | | | | |
| 9 (金) | | | | 路面などに設置した道案内 用表示板の社会実験を開始 (市、～3月11日) | | | 島原半島10校の高校3年生 820人、砂防えん堤近くで ヤマモミジなど1,200本を 卒業記念植樹 | |
| 13 (火) | | | | | | | 島原市の安中地区町内会連 絡協議会と安中地区まちづ くり推進協議会、島原鉄道 南目線の存続を求める要望 書を島原鉄道に提出 | |
| 19 (月) | | | | | | | | JICAが企画した防災研 修でジャマイカなどからの 研修生22人、雲仙復興事務 所などで噴火災害のあらま しや防災体制について学ぶ |
| 20 (火) | | | | | 長崎県島原振興局と県港湾 漁港建設業協会、災害時の 情報集などの「大規模災害 並びに事故発生時における 支援活動協定」を締結 | | | |
| 21 (水) | | | | 災害下で活躍した陸上自衛 隊のヘリコプター1機と装 甲車1台を災害派遣の功績 を伝えるため、島原市市営 平成町多目的広場の1角に 展示する | | | | |
| 23 (金) | | | | 「火山都市国際会議島原大 会」の準備状況などを知ら せる地元向けの説明会・意 見交換会を開催。大会プロ グラムなどを公開 | | | | |
| 24 (土) | | | | | チョコレートなどを使い溶 岩ドームの仕組みを学ぶ実 験「おいしく学ぼう! キッ チン火山学-チョコとココ アの溶岩ドーム」を開催 (平成新山ネイチャーセン ター) | | | |
| 28 (水) | | | | | | | | 旧大野木場小学校校庭にあ るイチョウの木の植樹活動 を続けている上大野木場自 治会、苗木づくりに協力し ている障害者更生施設「普 賢学園」に感謝状を贈呈 |

2007年(平成19年)3月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知課 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住 民 ボランティア 学 校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|----------------------------|--|--|---|---|---|
| 6 (火) | | | | | | | | |
| 9 (金) | | 九州地方の火山活動解説資 料。雲仙普賢岳は引き続き静 穏な状態 | | | | | | |
| 18 (日) | | | | | | | | 島原市合併1周年記念「ま ちづくり講演会」が開催さ れ、「市民協働のまちづく り」について考える |
| 19 (月) | | | | | | | 「杉谷を守る会」、島原第四 小を卒業した児童10人と折 橋町の締切り堤周辺にツツ ジ100本を植樹 | |
| 20 (火) | | | | | (財)雲仙岳災害記念財団評 議委員会、平成19年度の事業 計画案(展示物新設など改 装)を原案通り了承。年間 入場者数を前年度と同じ19 万人と設定(県) | | | 南島原市の鉄道廃止問題対 策本部会議、島原鉄道に南 目線の存続の要望をまとめ る |
| 21 (水) | | | | 無償貸与を受け常設展示す る陸上自衛隊の大型ヘリの 設置作業開始(市) | 九大地震火山観測研究セン ターと共催で平成新山がん ばランド春の親子火山実験 教室「火山をまるかじり 2」を開催(雲仙岳災害記 念館) | | 島原第五小学校を卒業する 6年生87名、北安徳町の水 無川導流堤で梅の木を卒業 記念植樹 | |
| 22 (木) | | | | 雲仙岳警戒区域設定等の調 整会議、雲仙市の一部区域 32haを3月31日正午で解 除。残る区域は平成20年3 月31日まで延長(第61次延 長)を決定 | | | | |
| 24 (土) | | | | | 水無川流域で「第1回がま だすドーム親子フィールド ハイキング」を開催 (雲仙岳災害記念館) | | 島原漁協、約150人が参加 して南千本木町の垂木台地 で、ヤマボウシなど1000本 を「漁民の森づくり植樹」 | |
| 25 (日) | | | | | | 10周年の観光トロッコ列車 が運行開始。南目線の廃止 に伴い今年で最後の可能性 (島鉄、～11月30日) | | |
| 26 (月) | | | | | | | 島原漁協、『豊かな海作り は森づくりから』を目指し て島原市南千本木町の垂木 台地森林公園で「漁民の森 づくり記念植樹」でヤマボ ウシとヤマモミジの苗木 | |
| 30 (金) | | | | | | 南線の廃止届けを国土交通 省に提出(島鉄) | | |

2007年（平成19年）4月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・ 情報センター 九大地震火山観測研究セン ター | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 学校 住民 ボランティア | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|--|----------------------------|--|--|--------------------------------|--|---|
| 2 (月) | | | | | | | | 島原温泉旅館組合、十八銀 行が創立130周年事業の一 環として寄贈した排寒桜の 苗木50本を植樹 |
| 7 (土) | | | | | | | 第32回島原大変遭難者慰霊 祭 | |
| 10 (火) | | | | | JICAの第3回火山学総合士 砂災害対策研修「雲仙・桜 島現地調査」でフィリピン などの7名が研修 | | | |
| 15 (日) | | | | | | | 「いのりの灯」実行委員会 主催でキャンドルづくり 島原市田町で寛政4年の 「島原大変」で犠牲になっ た人々を供養 | |
| 17 (火) | | | | 島鉄自治体連絡協議会、第 1回路線廃止問題対策会議 で南目線存続要望相次ぐ (市) | | | | |
| 22 (日) | | | | | 「空から見る垂木大地の変 遷」と題した航空写真展 (平成新山ネイチャーセン ター、～5月31日) | | | |

2007年(平成19年)5月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報センター 九大地震火山観測研究センター 予知課 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島鉄) | 住民 学校 ボランティア | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|--|---|---|----------------------------|---|---------------------------------|
| 1 (火) | | | | | | | 1792(寛政4)年の「島原大変遭難者供養祭」 | |
| 9 (水) | | | | 危険地域の現地視察。8関係機関から55人参加(市) | | | | 火山都市国際会議を前に英会話講座を開催(～7月25日、12回) |
| 10 (木) | | | | 火山都市国際会議島原大会実行委員会、第1回会合で大会プログラムの概要決まる(市) | | | | |
| 11 (金) | | | | | 土石流発生に備えた情報伝達演習(雲仙復興事務所) | | | |
| 14 (月) | | | | 「雲仙・普賢岳火山砂防促進期成同盟会」、砂防施設の整備促進等の要望活動の事業計画を決定(市) | | | | |
| 16 (水) | | | | | | | 島原第四小の4年生38人、雲仙普賢岳災害被災地で災害学習 | |
| 17 (木) | | | | | | | | |
| 24 (木) | | | | | | | 6.3大火砕流から丸16年目の6月3日のキャンドルイベントに向け島原第一小学校3年生81名キャンドルづくり | |
| 27 (日) | | | | | (財)雲仙岳災害記念財団評議員会、昨年度の事業報告で、入場者数は約172,700人で目標の約91%と発表「雲仙普賢岳火砕流惨事から16年—火砕流の爪痕展」を開催(雲仙岳災害記念館、～6月24日) | | | |
| 28 (月) | | | | | | | 上木場災害遺構保存会、火砕流で焼け残った柿の木4本が見える昔の生活道路を「柿の木坂」と命名 | |
| 29 (火) | | | | | | | 上木場災害遺構保存会、6月3日を前に上木場農業研修所跡地を清掃 | |
| 30 (水) | | | 陸上自衛隊幹部候補生229名、災害派遣現場の被災地で研修。太田一也九大名誉教授の水無川2号砂防えん堤上流右岸での講演の後、北上木場農業研修所跡地で現地研修(6月15日にも別の55名が研修) | | 雲仙岳災害記念館理事会(県) | | | |
| 31 (木) | | | | 火山都市国際会議の巡検(野外視察)の下見を兼ねて研究者ら75名が雲仙普賢岳・平成新山を防災登山 | | | | |

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報センター 九大地震火山観測研究センター 予知速 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島鉄) | 学校 住民 ボランティア | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|--|-------------------------|---|--|----------------------------|--|--|
| 1 (木) | | | | | 「島原地域防災連絡会議」で島原半島の災害危険区域が示される（雲仙復興事務所） | | 島原第三中学校、雲仙普賢岳復興祈念公園で「追悼の会」を開催 島原第四小学校、「いのりの日集会」を開催 | |
| 3 (土) | | | | 雲仙普賢岳の大火砕流惨事から丸16年の「いのりの日」で「雲仙普賢岳噴火災害犠牲者追悼の碑」「消防殉職者慰霊碑」の献花台、「北上木場農業研修所跡地」の焼香台に多数の市民が慰霊に訪れる（市） 自衛隊より島原市へ無償貸与のヘリコプターと装甲車の引渡し式（市） | | | 「北上木場農業研修所跡地」の焼香台に遺族や多数の市民が慰霊に訪れ、鎮魂の鐘を打ち鳴らし17回忌法要 「いのりの灯」実行委員会、キャンドル約千個を灯し約400名が鎮魂の祈りを捧げる 内嶋善之助さんの追悼朗読 | 島原市仏教会による「雲仙普賢岳噴火災害殉難者17回忌追悼法要」北上木場農業研修所跡地で法要 ジャーナリスト江川紹子さんの「『大火砕流に消ゆ』の著者が語る一雲仙普賢岳噴火災害から私が学んだこと」と題する講演会 |
| 4 (日) | | | | 2006年の市観光客動態調査を発表。入込み客数1,355,085人(前年度比3.9%減)、宿泊客数206,891人(前年度比4.4%減)でいずれもわずかに減少（市） | | | | |
| 5 (月) | | | | | | | 九電島原営業所、「花と緑のまちづくり実行委員会」に花の苗木300本を寄贈 | 島原半島観光連盟総会で、NPO法人「がまだすネット」組織統合の方針を承認 |
| 6 (火) | | | 陸上自衛隊、北上木場の農業研修所跡地で現地研修 | | | | | |
| 7 (水) | | 清水洋教授、島原市防災会議で雲仙岳の現状と今後の推移について、防災登山の調査結果を一部報告 5月の雲仙岳は引続き静穏な状況（福岡管区気象台火山監視・情報センター） 新火山情報を11月から導入（気象庁） | | 島原市防災会議、地域防災計画の一部修正案を承認（市） | | | | |
| 8 (木) | | | | | | | | |
| 10 (金) | | | | | | | 火山都市国際会議の参加者に配布する四葉のクローバーのコサージュを市民有志が制作 | |
| 21 (水) | | | | | | | | 火山都市国際会議と連動して、日本災害情報学会開催の初回実行委員会 |
| 25 (月) | | | | 今秋開催される第5回火山都市国際会議島原大会のPRのために市議会で大大会ロゴマークのポロシャツを着用（市） | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|--|--|-------------------------------------|--|--|--|--|
| 30 (土) | | | 島原城の登閣者用にウチワ 2万本を作成し城内に設置 (市) | | | | |
|-----------|--|--|-------------------------------------|--|--|--|--|

2007年（平成19年）7月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知室 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|----------------------------|------------|---|--------------------------------|--|---|
| 1 (日) | | | | | | | | 島原温泉観光協会、「浴衣 まつりキャンペーン」開 始。22軒のホテルなどで浴 衣付き宿泊パックを用意 (～9月24日) |
| 4 (水) | | | | | | | 南島原市深江町の大野木場 小学校5年の児童14名、9 月15日のメモリアルデーに 向けて、水無川2号砂防え ん堤と大野木場砂防みらい 館で災害学習 | |
| 5 (木) | | | | | | | やさしいもてなし英会話講 座初級 | |
| 6 (金) | | | | | | | 長崎市の長崎南山中学校の 全校生徒102名、島原市と 南島原市を訪れ噴火災害の 実相と復興状況を学ぶ | |
| 7 (土) | | | | | | | ひかわ第一幼稚園園児、11 月の火山都市国際会議島原 大会で来島の外国人に贈る 四つ葉のクローバーのコ サージュづくり | |
| 8 (日) | | | | | 雲仙岳災害記念館、開館5 周年記念イベントとして 「第3回平成新山絵画展」 開催（～9月2日） | | | |
| 11 (水) | | | | | | | | 島原半島振興対策協議会と 島原・天草架橋建設促進期 成会総会で、地域高規格道 路の整備促進の要望・啓発 活動などを盛り込んだ事業 計画を決定 九州・中国地方のバス ツアー企画会社に県内の観 光情報を提案し旅行商品の 充実を図る説明商談会の開 催で島原の観光を売り込む (～12日) |
| 17 (火) | | | | | 雲仙岳災害記念館、海外か らの来館者向けに4カ国語 対応の「音声ガイドシステ ム(英語、中国語、韓国 語、台湾語)190台を導入し 無料貸出しの運用開始 | | | |
| 19 (木) | | | | | | | | 地域高規格道路「島原道 路」島原市工区建設整備促 進促進期成会、国土交通省 長崎河川事務所や県知事等 に要望 |
| 24 (火) | | | | | | | | 地域高規格道路「島原道 路」島原市工区建設整備促 進促進期成会、国土交通省 九州整備局と雲仙復興事務 所に要望 |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|--|--|--|---------------------------------|--|--|--|
| 26 (木) | | | | | | | | |
| 28 (土) | | | | | | | | |
| 29 (日) | | | | | 夏休み親子キッチン火山実験講座「火山をまるかじり」を開催(県) | | | |
| 31 (火) | | | | 第3回「高原100年のまちづくり実行委員会」、「しまばら百選」以外の郷土自慢の項目の洗出しと絞込み作業(市) | | | | |

2007年（平成19年）8月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知室 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|----------------------------|---|--|--------------------------------|---|----------------------|
| 1 (日) | | | | | | | 第20回「島原水まつり」開 催(～7日) | |
| 6 (金) | | | | | 「火山との共生ーよみがえ る雲仙」をテーマに「キャ ンプ砂防in 雲仙」を開催 (雲仙復興事務所) | | | |
| 18 (水) | | | | | | | 噴火災害で途絶えていた安 中地区の夏祭りが17年ぶり に復活 | |
| 20 (金) | | | | | 開館5周年を記念して「日 本におけるジオパーク認定 第1号を目指して」と題す る講演会(雲仙岳災害記念 館) | | | |
| 21 (土) | | | | 第5回火山都市国際会議島 原大会のリハーサルや会場 レイアウトなどの準備状況 を確認、報道関係者に公開 (市) | | | | |
| 22 (日) | | | | | | | 島原工業高校郷土部の生徒 らが白黒のつまようじ6万 本を使って制作した島原城 のパネルを島原城に贈呈 | |
| 25 (水) | | | | | | | 島原・神戸を結ぶ風の会、 「呼吸する記憶ー普賢岳と 神戸が出会う」を公演 | |
| 28 (土) | | | | | | | | 第25回島原温泉ガマダス花 火大会 |

2007年(平成19年)9月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知室 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|----------------------------|--|--|--------------------------------|---|---|
| 3 (月) | | | | | 「防災の日」にちなみ大規模な地震の発生を想定した防災訓練を実施。関係機関より約60名が参加して情報伝達などの連携を訓練(雲仙復興事務所) | | | |
| 7 (金) | | 8月の雲仙岳は引続き静穏な状況(福岡管区気象台火山監視・情報センター) | | | | | | |
| 9 (日) | | | | | | | | |
| 11 (火) | | | | 吉岡庭二郎島原市長、島原外港以南の存続を今後検討すると表明 | | | | 青森市新町商店街振興組合加藤氏によるまちづくりセミナー「島原のより良いまちづくりへの提案」と題する講座 |
| 14 (金) | | | | 大野木場メモリアルデー2007。5年生が災害学習発表し、焼失当時教頭で仮設校舎での校長を務めた高柳忠昭さんとまた雲仙復興事務所の秦耕二所長が講話。「生きていたんだね」を合唱して火山との共生を誓う(南島原市深江町) | | | | |
| 26 (水) | | | | | | | 火山都市国際会議に備え開講されていた、「やさしいおもてなし英会話」講座の閉講式 | |

2007年（平成19年）10月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報センター 九大地震火山観測研究センター 予知速 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|-------------------------------|--|--|---|---|---|
| 3 (水) | | | | | | | 島原市北上木場町の定点近くに「雲仙岳災害記念碑」を搬入。11月に除幕式 | |
| 9 (火) | 小規模の土石流を観測 | | | | | | | |
| 12 (金) | | | | 島原城新館で「第28回しまばら温泉不知火まつり」開催(市) | 噴火災害の記憶を伝える広報設備等を充実。旧大野木場小周辺通路の供用開始(国) | | 島原ライオンズクラブ、火山都市国際会議実行委員会に50万円を寄付 | 第28回しまばら温泉不知火まつり(～14日) |
| 13 (土) | | | | | | | | 第28回しまばら温泉不知火まつり献湯祭 |
| 14 (日) | | | | | | | | 同市中パレード |
| 18 (木) | | | | 火山都市国際会議島原大会実行委員会、準備状況(34カ国・553名の参加)を報道関係者に公表(市) | | | | |
| 20 (土) | | | | 島原半島ツデーマーチを開催。980名が参加(～21日) | | | 島原青年会議所、「島原半島コンファレンス」を開催し、地元の3市長が人口減少問題について意見交換 | |
| 23 (火) | | | 島原署協議会、火山都市国際会議中の交通・警備対策などを協議 | | | 「観光トロッコ列車」の乗客30万人を突破。30万人目の福岡県筑紫野市の森内シカさんに最後の乗車記念品を贈呈(島鉄) | | |
| 25 (木) | | | | | | | 島原市の坂本茂喜さんが火山都市国際会議の成功を願って製作した工芸品の瓢箪を島原市に贈呈 | 2007火山砂防フォーラムが都城市で開催され、吉岡市長が火山都市国際会議をPR |
| 28 (日) | | | | | | | 島原第三中学校の生徒ら約140人、火山都市国際会議の会場となる島原復興アリーナなどを清掃 | |
| 31 (水) | | | | 島原城の登閣者70,000人を達成。山口県下関市の安達昭浩さんに記念品贈呈(市) | | 代替バス運行案示す(島鉄) | | |

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報センター 九大地震火山観測研究センター 予知課 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|---|--|---|---|--|--|
| 1 (木) | | | | | 雲仙岳災害記念館の有料展示ゾーン内にVTR「雲仙・大火砕流378秒の遺言」など4点の新設展示を開設(県) | | | |
| 4 (日) | | | | | | | | 長崎県地方史研究会、島原大変等をテーマに発表 |
| 8 (木) | | | | | 雲仙普賢岳の噴火前後の地形を精密な立体画像で再現し、堆積した火山噴出物などを時系列で分析できるシステムを開発と発表(長崎県島原振興局) | | 山本徳一郎氏が富士山の溶岩と10万円を島原市に寄贈 | |
| 9 (金) | | | | 雲仙普賢岳災害で被災地の復興に尽力した前長崎県知事高田勇氏の功績を称え後世に伝えようと、安中三角地帯の一角に胸像の除幕式平成20年版観光年賀絵はがき絵画コンクール表彰式観光年賀はがきを無料配布 | | | | |
| 10 (土) | | | | | 「植物標本展示会-垂木台地に復元する植物たち-」と題するを開催(平成新山ネイチャーセンター、~30日) | | 九州電力「九州ふるさとの森づくり」と銘打つ「雲仙・普賢森植林ボランティア」で約1200名によるコナラなど一万本の苗木を垂木台地で植林。累計で7万3千本となる | |
| 11 (日) | | | | | | | | 第5回火山都市国際会議島原大会を盛り上げようとして「島原城秋のおもてなしのぼり揚げ」FMしまばら開局 |
| 13 (火) | | | 九州管区警察局と県警、島原市の安徳海岸埋立地で大規模災害を想定した九州管区広域緊急援助隊の合同訓練 | | | | | 福岡県宇美町桜原小学校6年生64名、修学旅行で旧大野木場小学校を訪れ校庭を清掃し火山災害を学習 |
| 15 (木) | | | | | | 12月9日限定で島原駅-加津佐駅間で島鉄ハッピートレインを南目線に初めて運行するため、定員90名、弁当付料金3,000円で予約開始 | | |

| | | | | | | | |
|-----------|--|--|--|--|--|---|--|
| 16 (金) | | | | 北上木場町の農業研修所跡地の西側「定点」近くに雲仙岳災害記念碑を設置。約50名が参加して除幕式(市) | | 高原市北上木場町の定点近くに、約50名が出席して「雲仙岳災害記念碑」の除幕式 シマバラ表現主義クラブ、音楽と映像と朗読による創作舞台「フゲンカタログ&フゲンノート」を上演 県立島原農業高校の生徒らメイン会場の島原復興アリーナに約400鉢の花の苗を飾る | 日本災害情報学会第9回学会大会が第5回火山都市国際会議島原大会に先立ち開催。普賢岳噴火災害に関する諸研究発表が行われる 長崎大学工学部高橋和雄教授と4年生の寺島健太さんがアンケート調査結果の研究報告等始まる (～17日) |
| 17 (土) | | | | | | | 日本災害情報学会の参加者ら約90名、噴火災害の被災地を視察して閉幕 第1回廣井賞の授与式。静岡大学教育学部の小山真人教授ら2個人、1団体が受賞 第5回火山都市国際会議島原大会(COV5)に参加する国内外の研究者などの島原入り始まる 島原ウインターナイト・ファンタジア開催 |
| 18 (日) | | | | 第5回火山都市国際会議島原大会の歓迎パーティー「アイスプレーカー」で島原子ども狂言で参加者を歓迎 | | 島原市安中地区の花き農家ら、島原復興アリーナ玄関に菊の花などで平成新山のモニュメントを制作 | 続売テレビ「遠くへ行きたい」で歌手のダ・カーポが島原を紹介 |
| 19 (月) | | | | 第5回火山都市国際会議島原大会(COV5)開幕。37カ国と地域から約600名の研究者等が参加。学術会議は「火山を知る」「火山と都市」「火山とともに生きる」をテーマに分科会を開催(日本火山学会主催他) (島原復興アリーナ、雲仙岳災害記念館、～23日) 太田一也九州大学名誉教授が記念講演 外国人研究者23名、北上木場町の農業研修所跡や「定点」を視察 | | 「普賢の記憶2007」開催(～12月2日) アーケード街で「一番街秋乃陣」と銘打ち水屋敷長池屋を大会に合せ一般公開。他にもイベントで大会を盛り上げる 第5回火山都市国際会議の会場島原復興アリーナの入口に安中地区の花農家が花で大会ロゴマークを作成 | 「火山市民ネット第6回フォーラム島原大会」開催(火山地域の市民団体相互支援ネットワーク主催)。「市民の視点から見た噴火災害」をテーマにパネルディスカッションを開催 活動火山等都道府県議会協議会懇談会 |
| 20 (火) | | | | 火山都市国際会議住民マスメディアフォーラム「防災の、これから一普賢岳から考える」を開催。災害時のマスコミの役割や報道のあり方、次の災害への備えなど議論。他学術発表、ポスターセッションなど 北海道有珠山噴火を経験した鎖かもと優太さんと伊豆大島噴火で全島避難した清水芳恵さんが子どもを対象にした防災教育について発表 | 災害教訓の継承に関するフォーラム「雲仙・普賢岳噴火災害の教訓」を開催。約600名が参加して伊藤和明氏他5名がパネルディスカッション(県) | | 関西学院大学災害復興制度研究所主催「被災地つなぐ再生への思想-日本災害復興学会立上げへ」フォーラムが開催。「日本災害復興学会」設立に向けて議論を交わす |

| | | | | | | | | |
|-------------|--|--|--|---|---|--|--|---|
| (21) (水) | | | | 「雲仙噴火1990-1995年の噴火の被災地と復興過程」をテーマに国内外の火山研究者415人が参加して被災地を巡検 島原市立第五小学校などで交流 | | | 火山都市国際会議の外国人参加者、島原第三中学校を訪問し、隣接する雲仙普賢岳復興記念公園の祈りの像に献花。3年生の福岡樹宝君が英語で説明 島原市の瀧行豊人さんが被災現場で外国人参加者に語る 島原城などで「島原城パーティ」が開かれ、外国人参加者ら約1,000名が参加して市民と交流 | |
| 22 (木) | | | | 噴火予知などに関する最新の研究成果発表が相次ぐ 火山都市国際会議参加の外国人研究者ら約30名が北上木場地区を訪れ、モーリス・クラフト夫妻など火砕流犠牲者を追悼 | 「火山砂防と減災フォーラム」開催。官民の防災担当者ら約100名参加（九州地方整備局） | | 県立島原病院看護部長の藤田弘子さんが「普賢岳火砕流時の救護活動」と題する講演。他に3名が発表 NPO法人島原普賢会の主催で国内外の研究者約60名が島原市安中地区を訪問し住民と交流 | 寺井邦久氏「火山教育と学校」と題した研究発表で、雲仙普賢岳の溶岩ドーム成長過程について、撮影した1万枚以上の写真を基に25秒に動画化した映像を公開 |
| 23 (金) | | | | 第5回火山都市国際会議島原大会が5日間の日程を終え閉幕。吉岡市長が「火山と共生する都市(まち)づくりを目指す」と平成新山アピールを宣言し閉幕 次期開催地は2009年スペインカナリア諸島のテネリフェに決定 国内外の研究者がヘリコプターで雲仙普賢岳を上空から巡検 | | | NPO法人島原ボランティア協議会、「災害ボランティア国際シンポジウム」を開催（～24日） 日本火山の会、体験学習「火山を丸かじり!キッチン火山実験」を開催 | 火山都市国際会議、「こども火山フォーラムin島原」を開催（九州火山ネットワーク等主催）。県内外の小中学生が日頃の研究成果を発表 |
| 24 (土) | | | | | | | | 火山都市国際会議に参加した外国人研究者約60名、南島原市深江町の権現跡遺跡を巡検し、数千年前の火山灰の残る地層を視察 |
| 25 (日) | | | | | | | | 火山都市国際会議に参加した外国人火山学者83名、平成新山に登山し溶岩ドームを視察 |
| 29 (木) | | | | | 地域高規格道路「島原道路」の一部で本体工事に着手した「島原中央道路」の現地見学会を市民対象に実施（国土交通省） | | | |
| 30 (金) | | | | | | | 平成9年4月にスタートした島原鉄道の観光トロッコ列車が11年間の定期運行を終了。運行期間に約31万人が利用。最終便には123名が乗車（島鉄） | |

2007年（平成19年）12月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知室 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|--|----------------------------|--------------------------------------|--------------|--------------------------------|-------------------------------------|--|
| 1 (土) | | 火山に関する新しい警報の 運用開始 | | 第10回島原・雲仙学生駅 伝。第3回島原・雲仙学生 女子駅伝 | | | | |
| 2 (日) | | | | | | | | コミュニティFM「FMし まばら」開局 |
| 6 (金) | | 11月の雲仙岳の火山活動は 変化なく静穏に経過 (福岡管区気象台火山監 視・情報センター) | | | | | | |
| 8 (日) | | | | | | | 2007がまだ島原の産業ま つり | |
| 10 (火) | | | | | | | 島原市の種村繁守さん南千 本木の垂木大地にカシの種 を播く | |
| 18 (水) | | | | | | | | 島原温泉旅館組合、水無川 導流堤沿いにヒカンザクラ 50本を植樹 |
| 21 (土) | | | | | | | | 島原半島を未来につなぐ 会、「島鉄存続問題を考え る集会」を開催 |
| 28 (土) | | | | | | | | 島原半島を未来につなぐ 会、街頭署名活動 |

2008（平成 20）年
1 月～12 月

2008年（平成20年）1月

平成20年1月1日～31日

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報センター 九大地震火山観測研究センター 予知速 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|------------------------|------------|--------------|----------------------------|------------------------|--|
| 17 (木) | | | | | | | | 島原半島を未来につなぐ会、島原鉄道南線の存続を願う要望書を約36,000名の署名を添えて南島原・島原市に提出 |
| 23 (水) | | | | | | | | 島鉄自治体連絡協議会路線廃止問題対策会議、廃線後の4月1日より運行する代替バス計画案を承認 |
| 25 (金) | | | | | | | 島原城下ひなめぐり開催 (～3月9日) | |

2008年（平成20年）2月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知室 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|----------------------------|--|--|--------------------------------|---|--|
| 4 (月) | | | | 火山都市国際会議島原大会 第2回実行委員会、3月に 「火山との共生推進協議会」 の発足を決定 | | | | |
| 6 (水) | | | | | | | | 島原半島観光連盟、天草宝 島観光協会と両地域の連携 や観光振興について会談 |
| 12 (火) | | | | | | | 島原半島内の今春卒業する 公・私立高校の3年生や職 員ら650名、島原市上折橋 町の千本木砂防えん堤付近 にヤマボウシなどの苗木約 1,000本を記念植樹。10年 間で1万本を超える | |
| 14 (木) | | | | 島原半島3市と関係団体が 島原半島ジオパーク推進連 絡協議会を設立。ジオパー ク国内第1号の認定実現を 目指し活動を展開する | | | 島原ライオンズクラブ、結 成50周年記念に約50名が参 加して島原市鎌田町の水無 川導流堤付近にヒカンザク ラ100本を記念植樹 | |
| 16 (土) | | | | | | | 島原市中心市街地の活性化 のために専門家が実施した 調査結果を基に約30名が参 加して助言等を行う報告会 | |
| 17 (日) | | | | | | | ふるさとの木による森づく りネットワーク島原、島原 市南千本木町で「第2回育 樹の集い」を開き、自生種 のアラガシなどの苗6種類 約500本を植樹。累計約 6,500本となる | |
| 18 (月) | | | | | | | | (独)国際協力機構が計画し た防災研修に、インドネシ アなどの防災担当政府職員 など17名が島原市を訪問、 雲仙普賢岳噴火災害の砂防 專業を視察し、防災対策な どを学ぶ |
| 20 (水) | | | | | 長崎県島原振興局、(社) 県造園建設業協会県支部 と大規模災害発生時の支援 活動に関する協定を締結 | | | |
| 25 (月) | | | | 2008年度一般会計当初予算 にジオパークの国内登録に 向けPR活動費など約230 万円を新たに計上(市) | | | | |

2008年(平成20年)3月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報センター 九大地震火山観測研究センター 予知室 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|--|--|----------------------------------|---|--|---|
| 3 (月) | | | | | | | | 島原半島の未来をつなぐ会、「島原鉄道南線存続を検討する法定協議会の設置にかかる請願」を島原市議会に提出 |
| 5 (水) | | | | 吉岡市長「島鉄南線の維持、存続は困難」との認識を示す(市) | | | | |
| 6 (木) | | | | | | | 島原第五小学校6年生74名、島原市北安徳町の水無川導流堤付近に梅の若木100本を卒業記念植樹 | |
| 9 (日) | | | | | 「第3回がまだすドーム写真展—平成噴火の記録」開催(～4月6日) | | | |
| 11 (火) | | | | 島原市議会総務委員会、島鉄南線存続を検討するための法定協議会設置を求める請願の採決を持ち越し継続審査とする(市) | | | | |
| 13 (木) | | | | | | 4月1日からのダイヤ改正を発表。上下とも6便増便し、各29本に。また3月末で廃止される南線の「さよならイベント」として29、30日に島原—加津佐間で観光トロッコ列車を運行 | | |
| 14 (金) | | | 「雲仙岳警戒区域等の設定会議」、警戒区域を現行のまま平成21年3月31日正午まで1年間延長を決定 | | | | | 島原温泉旅館組合、5月の創立100周年を記念して島原市の鎌田町の水無川導流堤沿いでヒカンザクラ15本を記念植樹 |
| 21 (金) | | | | 島原市議会、島鉄南線存続請願を5対17で不採択(市) 中心市街地活性化を目的に整備した温浴施設「島原温泉ゆとろぎの湯」落成式(市) | | | | |
| 26 (水) | | | | | | | 第5回火山都市国際会議島原大会の大会報告書など資料51点を収めたタイムカプセルを北上木場町の北上木場農業研修所跡の「雲仙岳災害記念碑」横に埋設。25年後の2033年春に開封予定 | |

| | | | | | | | |
|-----------|--|--|--|--|---|---|---|
| 27 (木) | | | | | 雲仙普賢岳噴火の火砕流最長到達点が一目で分かるようにと、南島原市深江町のふかえ桜パーク内の火口から約5.6キロ地点にイチョウの木3本を植樹。パネルと最長到達点を示す標柱も設置（国土交通省雲仙復興 | | |
| 28 (金) | | | | | 雲仙岳災害記念財団、第2回理事会で平成20年度の目標入館者数を175,000人と設定 | | 島原温泉旅館組合、(財)十八銀行社会開発振興基金より寄贈されたヒカンザクラの木15本を、約20名が参加して島原市門内町の水無川導流堤沿いに植樹 |
| 30 (日) | | | | | | 観光トロッコ列車特別運行(島鉄) | |
| 31 (月) | | 火山噴火時に火山灰が届く範囲を示す「降灰予報」や火山ガス濃度が高まる地域を知らせる「火山ガス予報」をHPで開始。当面は三宅島が対象(気象庁) | | | | 島原外港駅ー加津佐駅間35.5kmが廃止。最後の運行を終え80年の歴史に幕を下ろす(島鉄) | |

2008年（平成20年）4月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・ 情報センター 九大地震火山観測研究セン ター | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 学校 住民 ボランティア | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|--|----------------------------|---|-------------------------|--------------------------------|--------------------------------------|---|
| 1 (火) | | | | | 雲仙復興事務所の所長に渡 部文人氏が就任 | | 島原大変の流死者供養 島鉄南線廃止に伴う代替バ スの運行開始 | 道の駅みずなし本陣ふかえ 開業10周年の記念式典 |
| 4 (金) | | | | 島原半島ジオパーク推進連 絡協議会、マスコミ関係者 へ説明会を開催し、今後の 取組みをアピールし、目標 達成に向け決意を新たに | | | | |
| 6 (日) | | | | | | | 第33回島原大変遭難者慰霊 祭 | |
| 8 (火) | | | | | | | 島鉄南線廃止に伴う高校生 の通学バスの運行開始 | |
| 9 (水) | | 雲仙岳の3月の火山活動に 変化なし(福岡管区気象台 火山監視・情報センター) | | | | | | |
| 21 (月) | | | | | | | | 島原半島観光連盟総会で、 がまだすネットとの一元化 による「体験型観光」をさ らに推進を図る |
| 30 (水) | | | | 梅雨期を前に関係機関より 53名が参加し、防災対策現 地視察。 | | | | |

2008年(平成20年)5月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報センター 九大地震火山観測研究センター 予知室 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島鉄) | 住民 学校 ボランティア | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|--|-------------------------|------------|--|----------------------------|--|---|
| 1 (木) | | | | | | | 島原大変遭難者供養祭 | |
| 9 (金) | | 雲仙岳の4月の火山活動に変化なし(福岡管区気象台火山監視・情報センター) | | | | 島原鉄道創立100周年 | | |
| 10 (土) | | | | | | | 島原半島地質巡検「親子バスハイキング」に10組27名が参加 | |
| 12 (月) | | | | | 金子知事島原市を訪問。復興状況などを視察。島原道路の整備促進は重点的に取り組む姿勢を示す 梅雨期を前に土石流発生を想定した情報伝達演習(国土交通省雲仙復興事務所) | | | |
| 13 (火) | | | | | | | | 雲仙・普賢岳火山砂防促進期成同盟会、総会で同岳周辺の砂防施設の整備促進や観測強化などを国などに要望 |
| 16 (金) | | | | | | | 島原市立三会小学校4年生46名、6月3日の火砕流犠牲者を追悼するイベント「いのりの灯(ともしび)」で使用するキャンドル120個を作成 | 文化審議会、国の文化財登録に島原市の伊東氏庭園と長崎市の平和公園を登録記念物に登録するよう答申 |
| 20 (火) | | 島原市と合同で第8回平成新山防災登山を関係者53名が参加して実施(九大地震火山観測研究センター) | | | | | | |
| 22 (木) | | | | | (財)雲仙岳災害記念財団、昨年度実績年間入館者数は約166,800名で、目標19万人の87.8%、対前年比96.6%と発表(県) | | | |
| 23 (金) | | | | | 島原振興局、梅雨を前に島原半島管内の危険箇所を関係10機関から67名が参加して現地調査 | | 安中地区まちづくり推進協議会、(社)全国治水砂防協会から表彰を受ける | |
| 24 (土) | | | | | 企画展「雲仙・普賢岳火砕流から17年—火砕流の爪痕」を開催。被災カメラなど約40点を展示(雲仙岳災害記念館、～6月22日) | | | |
| 26 (月) | | | 島原署、島原市内の災害危険箇所7箇所を現地調査 | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|--|--|---|--|--|--|---|
| 27 (火) | | | | 平成19年の「観光客動態調査」を発表。入込み客数約136万人で対前年比0.5%増、宿泊客数約21万人で同0.5%増。「火山都市国際会議島原大会」の効果がとりわけ大きく、外国からの宿泊客が大幅に伸びる | 雲仙岳災害記念館、2008年度の入館者数は前年度比約6,000人減の約167,000人と報告 | | | 島原温泉旅館組合、総会で今年度の事業計画を決める。 |
| 28 (水) | | | | | | | | 雲仙地区安全対策協議会、30名が6月3日の「いのりの日」を前に島原市北上木場町の砂防指定地で清掃作業。上木場災害遺構保存会の7名も同研修所跡を清掃 |
| 30 (金) | | | | 島原地域防災連絡会議、約40機関から防災担当者ら約60名が出席し、島原半島での災害発生に備え各防災機関が連携と対応を確認(市) | | | | |

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知室 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 学校 住民 ボランティア | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|----------------------------|---|--|--------------------------------|--|--|
| 3 (火) | | | | 6月3日の大火砕流から丸 17年の「いのりの日」、仁 田団地第一公園の「雲仙岳 噴火災害犠牲者追悼之碑」 前に献花所を設置、大勢の 市民らが参拝。犠牲者の真 福を祈る。 午後4時8分サイレンが鳴 り響き黙禱 | 「島原市アーケード商店街 周辺地区」を本年度の「にぎ わい・やすらぎのまちづく り推進事業のモデル地区」 に選定（県） | | 火砕流で亡くなった地元消 防団員の遺族ら、北上木場 農業研修所跡地を訪れ、上 木場災害遺構保存会が設置 した供養所に慰霊の参拝 消防団員を慰霊する「雲仙 普賢岳噴火災害消防殉職者 慰霊碑」に遺族らが訪れ犠 牲者の真福を祈る 島原市立第三中学校、「い のりの日」に同校南側の島 原市雲仙普賢岳復興祈念公 園で追悼会を開き噴火災害 の継承を誓う。当時県職員 で雲仙岳記念館の語り部ボ ランティア大石和美さんの 講和を聞く 島原市立第四小学校、「い のりの日集会」で災害学習 を発表。また永石一成校長 の講和を聞く 島原市立第五小学校3年生 88名が災害学習成果を発表 雲仙岳災害記念館の第2回 「いのりの灯(ともしひ)」で 児童らが手作りのキャンド ル800個を灯し、犠牲者を 追悼 | |
| 6 (金) | | 雲仙岳の5月の火山活動に 変化なし（福岡管区気象台 火山監視・情報センター） | | | | | | |
| 17 (火) | | | | | | | | 有明海栽培漁業推進協 会、標識をつけたトラフグ の稚魚450,000匹を放流。 本年度は8月までに雲仙市 国見町とで20回に分け、50 万匹を放流予定 |
| 20 (金) | | | | | | | | 南島原市深江町漁協、クル マエビの稚エビ約115万匹 を放流 |
| 27 (金) | | | | | 雲仙岳災害記念館、有料 ゾーン内に長崎県島原振興 局が開発した雲仙普賢岳を 立体画像で全方位から表示 する「空間情報システム」 を新設展示するセレモニー (県) | | | |
| 30 (月) | | | | 16年にわたる島原市災害対 策課の看板外し式。7月1 日から生活安全課に名称変 更 | | | | |

2008年(平成20年)7月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知課 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|----------------------------|--|---|--------------------------------|---|---|
| 3 (木) | | | | 吉岡市長、ドイツで開かれ た「第3回世界ジオパーク 会議」に参加し、国内初の ジオパーク認定に向けての 「手応え」を報告(市) | | | 南島原市深江町の大野木場 小学校5年生の児童27名、 水無川砂防えん堤と大野木 場砂防みらい館で災害学習 | |
| 5 (土) | | | | | 国内初認定を目指し、島原 半島の地質を学ぶ「島原半 島ジオパーク勉強会」を開 催。観光関係者など約40名 が参加(県) | | | |
| 7 (月) | | | | | 雲仙岳災害記念館の開館6 周年を記念した「第4回平 成新山絵画展」を開催(県、 ～9月6日) | | 本年度の「にぎわい・やす らぎのまちづくり推進事 業」のモデル地区に選定さ れた「島原市アーケード商 店街周辺地区」のまちづく りについて研究・協議する まちづくり研究会発足。来 年3月をめどにまちづくり 協働プランを策定 | |
| 8 (火) | | | | | | | | 地域高規格道路島原市工区 建設促進期成会、專業推進 を求める要望書を国土交通 省雲仙復興事務所などに提 出 |
| 9 (水) | | 雲仙岳の6月の火山活動に 変化なし(福岡管区気象台 火山監視・情報センター) | | | | | | |
| 11 (金) | | | | 島原半島ジオパーク推進連 絡協議会臨時総会で、「世 界ジオパークネットワー ク」への加盟申請について 承認。近く日本ジオパーク 委員会に申請書提出を決 定。名称を「島原半島ジオ パーク」と正式決定(市) | | | | |
| 17 (木) | | | | 第1回「市都市計画マス タープラン」市民会議 | | | | |
| 18 (金) | | | | 島原半島ジオパーク推進連 絡協議会、日本ジオパーク 委員会に加盟申請書を提出 (市) | | | | |
| 19 (土) | | | | | | | | 第2回島原城下浴衣まつり 開催(～8月31日) |
| 22 (火) | | | | | | 南線のレールなどの撤去作 業開始(島鉄) | | |
| 26 (土) | | | | | | | 県職員など約70名が参加し て島原市上折橋町の中尾川 縮切堤の砂防指定地の清掃 | |
| 27 (日) | | | | | 雲仙普賢岳をパソコン画面 で分かりやすく理解できる 空間情報システムが始動 (雲仙岳災害記念館) | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|--|--|------------------------------------|--|--|--|--|
| 30 (水) | | | | 高原市防災会議、約30人が出席して市地域防災計画の修正案を承認(市) | | | | |
|-----------|--|--|--|------------------------------------|--|--|--|--|

2008年(平成20年)8月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知速 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|----------------------------|---|--------------|--|--------------------|---|
| 1 (金) | | | | 第1回外港・水無川間利活用 検討委員会、3月で廃止 された高鉄南線の島原市区 間の利活用について話し合 う | | | | |
| 4 (月) | | | | | | | | 第21回島原水まつり開催 (～8月9日) |
| 8 (金) | | 雲仙岳の7月の火山活動に 変化なし(福岡管区気象台 火山監視・情報センター) | | | | | | 世界ジオパークを目指し、 舞岳記念登山。約200名が 参加 |
| 12 (火) | | | | | | 南島原市に対し、廃線区間 の買上げまたは借上げによ る活用を要望(島鉄) | | 中尾川河川敷の利活用を図 る住民組織「中尾川利活用 推進委員会」発足 |
| 13 (水) | | | | | | | | 島原温泉旅館組合、高鉄南 線の跡地活用問題で世界一 長い防寒桜トンネル「健康 フラワーロード」を造成し ギネスブックへの登録を目 指すアイデアを提案 |
| 17 (日) | | | | | | | | 「島原市アーケード商店街 周辺地区」の第2回ワーク ショップのまち歩き |
| 19 (火) | | | | | | | | 大火砕流で犠牲になったフ ランス人火山学者モーリ ス・クラフトさんとカティ アさん夫妻の火山の写真集 8冊が島原市寺町の善法寺 に寄贈される |
| 22 (金) | | | | 市勢振興計画審議会、構想 案を吉岡市長に答申 | | | | |
| 25 (月) | | | | 水無川上流橋「吉祥白天 橋」が島原市白谷町に完成 し、関係者約300名が出席 して通り初め式 | | | | |
| 27 (水) | | | | | | | | 第16回島原温泉ガマダス花 火大会に約35,000人の人出 |

2008年（平成20年）9月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報センター 九大地震火山観測研究センター 予知室 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|------------------------|--|---|----------------------------|--|-----------------------------------|
| 1 (月) | | | | 島原半島ジオパーク推進連絡協議会、「世界ジオパーク国内認定第1号」を目指すロゴマークの募集を開始(10月20日〆切) | | | | |
| 4 (木) | | | | 吉岡市長次期市長選に不出馬を表明(市) | | | | |
| 10 (水) | | | | 島原半島ジオパークのボランティアガイド養成講座開始(市、～平成21年3月、7回) | | | | |
| 12 (金) | | | | | | | 「大野木場メモリアルデー2008」を大野木場小学校で開催。当時同小5年生だった大山秀樹さんの体験談や5年生27名の災害学習の発表など行い、第二校歌「生きていたんだね」を合唱し、災害の継承を誓う | |
| 23 (火) | | | | | | | | 日本ジオパーク委員会の伊藤和明氏ら3委員による現地調査(～24日) |
| 26 (金) | | | | | 南島原市深江町旧大野木場小校庭で約10名が参加して大規模災害に備えた緊急通信網の確保訓練(長崎河川事務所、雲仙復興事務所) | | | |

2008年（平成20年）10月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報センター 九大地震火山観測研究センター 予知室 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|------------------------|---|--------------|----------------------------|-------------------------------------|--|
| 1 (水) | | | | 第1回外港・水無川間利活用検討委員会、3月で廃止された島鉄南線の島原市区间(約3.3km)のレールの残る線路後を歩いて現地調査を行う(市) | | | | |
| 4 (土) | | | | | | | | 島原城秋祭り |
| 16 (木) | | | | | | | | 島原城新能 |
| 18 (土) | | | | | | | | 第29回しまばら温泉不知火まつり(～19日) |
| 19 (日) | | | | | | | | しまばら温泉不知火まつり 市中パレード 島原とらふぐがんばまつり 開催(～3月末) |
| 20 (月) | | | | 世界ジオパークネットワークに洞爺湖、糸魚川とともに国内候補地として選定される | | | | |
| 22 (水) | | | | | | | | 平成21年用の「観光年賀絵はがき」に三会中学校3年生の寺中香奈子さんの作品「鯉の泳ぐまち」に決定 |
| 25 (土) | | | | 第15回島原半島ツアーマーチ開催。2日間で約1,600名が参加(～26日) | | | 「県民ボランティア振興奨励賞」をNPO法人島原ボランティア協議会が受賞 | |
| 28 (火) | | | | | | | | 島原と諫早の商工会議所が連携して地域の観光振興を図る観光関係部会の合同研修と講演会(～29日) |

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知速 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|----------------------------|---|--|--------------------------------|---|----------------------------|
| 3 (月) | | | | 島原城の今年の7万人目 登閣者の諫早市の持永啓 雄さんの家族に記念品贈 呈(市) | | | | |
| 4 (火) | | | | | | | | 島原城下ひなめぐりをPR するエコーはがき発売 |
| 5 (水) | | | | 女性の施設めぐりに参加し た79名、定点など島原半島 ジオパークの対象地域を見 学(市) | | | | |
| 8 (土) | | | | | | | 九州電力(株)長崎支店、島 原市南千本木町の中尾川治 山ダム郡内で「雲仙・普賢 の森植樹ボランティア」に 1,160名が参加してクロマ ツなどの苗木1万本を植樹 | |
| 10 (月) | | | | 観光年賀絵はがきを3万枚 を先着順に無料配布(市) | | | | |
| 16 (日) | | | | | | | 噴火災害から丸18年「平成 噴火の日われん川再生行 事」で島原市鎌田町の災害 遺構の清掃 | |
| 21 (金) | | | | | | | 元島原市長鐘ヶ江管一さ ん、通算999回目となる講 演を自衛官約70名に行う | |
| 23 (日) | | | | 任期満了に伴う島原市長選 が告示され、前長崎県教育 長の横田修一郎氏と前市議 会議員の古川隆三郎氏が立 候補。30日投開票 | | | | |
| 26 (水) | | | | 島原半島ジオパーク推進連 絡協議会、「世界ジオパー ク国内認定第1号」を目指 し公募したロゴマークを、 315点の応募作の中から大 阪府藤井寺市のデザイナー 永本成児さんの作品に決定 防災情報の新たな伝達手段 としてコミュニティFM放 送を使ったFM専用防災ラ ジオの運用に向け市役所で デモンストレーション | | | | |
| 28 (金) | | | | | 県の県地震等防災対策ア クションプランでの自主防災 組織の組織率は39.9%にと どまる(県) | | | |
| 29 (土) | | | | | | | 島原第二小学校4年生58 名、クヌギのドングリ120 個をポットに植える。2年 後に眉山に植樹する | |
| 30 (日) | | | | 島原市長に横田修一郎氏が 古川隆三郎氏を破り初当選 (市) | | | | |

2008年（平成20年）12月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知速 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|----------------------------|---|--------------|--------------------------------|---------------------------|--|
| 1 (月) | | | | 横田修一郎氏当選の記者会 見 | | | | 島原ウィンターナイト・ ファンタジア2008開催 (～平成21年1月10日) |
| 6 (土) | | | | 第11回島原・雲仙学生駅 伝。第4回島原・雲仙学生 女子駅伝 | | | | |
| 7 (日) | | | | | | | | 麻生太郎首相来島。島原市 上木場地区を訪れ「雲仙岳 災害記念碑」に献花 |
| 13 (土) | | | | | | | 2008がまだ島原の産業ま つり(～14日) | |
| 17 (水) | | 退任した吉岡庭二郎前市長 の功績を称え感謝状を贈呈 (九大理学研究院地震火山 観測研究センター) | | 吉岡庭二郎市長、4期16年 の任期を終え退任。横田修 一郎氏に市政を引き継ぎ (市) | | | | |
| 18 (木) | | | | 横田修一郎氏市長に就任 (市) | | | | |
| 22 (月) | | | | 島原半島ジオパークネット ワーク協議会、世界ジオ パークネットワークへの申 請書を日本ジオパーク委員 会に提出 | | | | |
| 25 (木) | | | | 島原半島ジオパークネット ワーク協議会、日本ジオ パーク委員会に提出してい た認定申請書がユネスコ宛 に提出され、世界ジオパー クネットワークに正式に加 盟申請したことを発表 | | | | |

2009（平成 21）年
1 月～12 月

2009年(平成21年)1月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知室 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|----------------------------|------------|-----------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|
| 17 (土) | | | | | | | 島原市の武家屋敷で島原第一小学校6年生の児童3名が観光ガイドに挑戦 | |
| 23 (金) | | | | | | | 「第5回島原城下ひなめぐり」開催(～3月8日) | |
| 24 (土) | | | | | | | | 「島原・天草・長門架橋構想及び九州西岸軸構想推進委員会地方大会」開催 |
| 26 (月) | | | | | 「第1回雲仙岳火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会」開催(国他) | | | |
| 28 (水) | | | | | | | 前大野木場小教諭松村楊子さん噴火災害教育で文部大臣賞を受賞 | |

2009年（平成21年）2月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報センター 九大地震火山観測研究センター 予知室 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|---|--|--------------|----------------------------|---|--|
| 6 (金) | | | | | | | 静岡県富士見市在住の井村富子さんつるし雛を島原市に贈呈 | |
| 13 (金) | | | | | | | 今年卒業の島原半島の高校生や教諭ら640名、島原市千本木地区の砂防指定地で卒業記念植樹 市民団体の代表らで組織する「芝桜公園をつくる会」設立総会 | |
| 14 (土) | | | | 第5回火山都市国際会議の成果を後世に活かすため発足した「火山との共生推進協議会」研修会に約50名が参加して島原半島のジオサイトを巡り研修 | | | | |
| 18 (水) | | | 「雲仙岳警戒区域設定等の調整会議」警戒区域を現行のまま平成22年3月31日正午まで1年間延長を決定 | | | | | |
| 19 (木) | | | | | | | 元島原市長の鐘ヶ江管一さん、約16年間で全国講演1,000回目を達成 | |
| 20 (金) | | | | 島原半島ジオパーク推進連絡協議会、日本ジオパーク委員会より島原半島3市に認定証を受ける | | | | 日本ジオパーク委員会、記念式典で島原半島ジオパーク推進連絡協議会に認定証を渡す 雲仙天草観光協議会、島原半島3市と熊本県天草の2市1町が連携して圏域の観光客増加に取り組む「雲仙天草観光圏整備計画」を国に申請 |
| 22 (日) | | | | | | | 杉谷を守る会、島原市上折橋町の締切堤の通称「砂防公園」で島原市立第四小学校の児童とツツジの苗木220本を植樹 | |
| 23 (月) | | | | 島原半島ジオパーク推進連絡協議会、島原、雲仙、南島原市の3市長が世界認定に向け決意の記者会見 | | | | |

2009年（平成21年）3月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知課 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|----------------------------|--------------------------------------|--|--------------------------------|---|---|
| 1 (日) | | | | | | | 「ふるさとの木による森づくりネットワーク島原」島原市南千本木町の南千本木川1号砂防えん堤育樹活動 | |
| 2 (月) | | | | | | | 「島原城下ひなめぐり」主催者、島原市中堀町の一番街アーケードで観光客にぜんざいをふるまい、ひなめぐりをPR | |
| 3 (火) | | | | | | | 島原市原町の中尾川河川敷に整備された多目的広場が完成し、宇土町の杉谷公民館で落成式 | |
| 4 (水) | | | | | | | 平成20年度観光セミナーで観光関係者約70名、地質遺産(ジオサイト)の魅力やジオツアーなどを研修 | |
| 6 (金) | | | | | | | 今春卒業の島原第五小学校6年生の児童73名、島原市北安徳町の水無川導流堤で梅の若木100本を卒業記念植樹 | |
| 9 (月) | | | | | | | 元大野木場小学校教諭松村暢子さんが、噴火災害学習で文部科学大臣優秀教員表彰を受ける | |
| 15 (日) | | | | | | | 「芝桜公園をつくる会」、島原市上折橋町の砂防指定地で4色の芝桜の苗25,000本を植栽 | |
| 16 (月) | | | | 横田市長、地域高規格道路「島原道路」の早期調整等を長崎県知事に要望(市) | | | | |
| 20 (金) | | | | | | | | 高原半島の活断層や噴火現象後などを巡る「島原半島ジオパーク観覧会」開催 「雲仙・普賢岳と眉山の噴火史一鍵テフラとしてのアカホヤ火山灰」を開催 |
| 23 (月) | | | | | 雲仙岳災害記念財団、理事会で2008年度の入館者数(見込み)は前年度比約7,000人の減少の約16万人と報告 | | | |
| 26 (木) | | | | | | | | 大塚製薬長崎出張所、バスツアー「ボカリの森みんなで長崎に木を植えよう」の約40名、島原市南千本木町の垂木台地森林公園でヤマモミジ100本を植樹 |
| 28 (土) | | | | 島原市今川町に「観光ガイド大手門番」を設置、開所式(市) | | | | |

2009年（平成21年）4月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・ 情報センター 九大地震火山観測研究セン ター | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 学校 住民 ボランティア | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|--|----------------------------|---|---------------------|--------------------------------|--|--------------------|
| 1 (水) | | | | ジオパーク構想の推進役 (火山専門職員)として大 野希一さんを採用(市) 島原市今川町の「観光ガイ ド大手門番」に電動アシス ト自転車1台配備(市) | | | 島原大変の流死死者供養 | |
| 5 (土) | | | | | | | 第34回島原大変遭難者慰霊 祭 | |
| 7 (月) | | 3月の雲仙岳の火山活動に 変化はなし | | | | | | |
| 19 (土) | | | | | | | 「ふれあい植樹活動 未来 へつなごう垂木台地の森林 (もり)づくり」で島原市千 本木町の垂木台地森林公園 で約80名がヤマボウシなど の苗木200本を植樹 | |
| 22 (火) | | | | | 観光庁「雲仙天草観光圏」 に認定 | | | |
| 29 (火) | | | | | | | 島原市の植生復元の様子を 学ぶ「春の植物観察会—千 本木・焼山トレッキング」 に17名が参加し調査 | |

2009年（平成21年）5月

| | 火山活動 土石流 | 播磨管内気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知課 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住民 学校 ボランティア | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|------------------------------|--|--|--------------------------------|---|--|
| 8 (木) | | | | 8機関54名、水無川など平 成21年度防災対策現地視察 (市) | | | | |
| 10 (土) | | | | | | | 島原半島ジオツアー親子バ スハイキングに親子24名が 地質スポットなどを見学 | |
| 11 (日) | | | | 島原半島ジオパーク推進連 絡協議会総会、ジオパーク 環境整備のための事業計画 を決定 平成20年「観光客動態調 査」を発表。入込客数は約 1,392,700人で前年比2.3 %増。宿泊客数は217,000 人で前年比0.5%減(市) | | | | |
| 19 (月) | | | | | 金子知事、県内視察で島原 市の砂防指定地などを視察 | | | |
| 20 (火) | | | | | | | | 前島原市長吉岡庭二郎氏、 砂防推進の功績で全国治水 砂防協会長表彰を受賞 |
| 21 (水) | | | 島原署、梅雨期を前に災害 危険予想箇所7箇所を視察 | | | | 南島原市立深江小学校5年 生42名、6月3日の火砕流 の犠牲者を追悼するイベン ト「いのりの灯(ともしび)」 で点灯するキャンドル作り | |
| 22 (木) | | | | | | | | 「雲仙・普賢岳火山砂防促 進期成同盟会」、総会で火 山砂防施設の整備促進等を 求める本年度の事業計画を 決定 |
| 25 (日) | | | | | | | 6月3日の大火砕流丸18年 を前に、島原市上木場町の 定点付近を元地元住民ら約 50名が清掃 | |
| 26 (月) | | | | | 雲仙岳災害記念館財団、昨 年度の事業実績を発表。年 間入館者数は約159,200人 (前年比95.4%)で当初目標 175,000人の90.9% | | 南島原市立深江小学校4年 生33名、6月3日の火砕流 の犠牲者を追悼するイベン ト「いのりの灯(ともしび)」 で点灯するキャンドル作り | |
| 27 (火) | | | | 島原市防災会議、市地域防 災計画修正案を了承 | | | | |
| 28 (水) | | | | | | | | 「島原鉄道沿線地域公共交 通活性化協議会」計画の年 度内策定を目指す |

2009年（平成21年）6月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報センター 九大地震火山観測研究センター 予知速 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島鉄) | 学校 住民 ボランティア | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|------------------------|---|--|----------------------------|--|---|
| 1 (木) | | | | | 「島原地域防災連絡会議」で島原半島の災害危険区域が示される（雲仙復興事務所） | | 島原第三中学校生徒、雲仙普賢岳復興記念公園で「追悼の会」を開催 島原第四小学校、「いのりの日集会」を開催 | |
| 2 (金) | | | | | | | 島原第二小学校児童、全校朝会で松尾好則校長より普賢岳災害について学ぶ | |
| 3 (土) | | | | 自衛隊より島原市へ無償貸与のヘリコプターと装甲車の引渡し式（市） 雲仙普賢岳の大火砕流惨事から丸18年の「いのりの日」で「雲仙普賢岳噴火災害犠牲者追悼の碑」の前に献花所を設置。また地元消防団が「消防殉職者慰霊碑」に献花所を設置。大勢の市民が慰霊に訪れ、午後4時8分サイレンに合わせ黙禱 横田市長は全国市長会へ出席のため追悼行事は欠席（市） | | | 「北上木場農業研修所跡地」の焼香台に遺族や多数の市民が慰霊に訪れ、鎮魂の鐘を打ち鳴らし17回忌法要 「いのりの灯」実行委員会、キャンドル約千個を灯し約400名が鎮魂の祈りを捧げる 内嶋善之助さんの犠牲者追悼朗読 「北上木場農業研修所跡地」の上木場災害遺構保存会が供養台に遺族他多数の市民が慰霊に訪れ、午後4時8分に黙禱 島原第三中学校「いのりの日」追悼会で午後4時8分に黙禱し、献花 島原第四小学校「いのりの日集会」噴火災害についての学習発表、永石校長の体験談の講話を聞く 島原第五小学校3年生65名、噴火災害の学習発表 島原市高野小学校、校長下田恭子さんの体験談を聞く 夜、雲仙岳災害記念館で追悼イベント「いのりの灯（ともしび）」が開催され、500本のキャンドルを灯し、火砕流犠牲者の冥福を祈る | 島原市仏教会による「雲仙普賢岳噴火災害殉難者17回忌追悼法要」北上木場農業研修所跡地で法要 ジャーナリスト江川紹子さんの『『大火砕流に消ゆ』』の著者が語る「雲仙普賢岳噴火災害から私が学んだこと」と題する講演会 |
| 4 (日) | | | | 2006年の市観光客動態調査を発表。入込み客数1,355,085人(前年度比3.9%減)、宿泊客数206,891人(前年度比4.4%減)でいずれもわずかに減少（市） | | | | |
| 9 (金) | | 5月の雲仙岳は引続き静穏な状況（福岡管区気象台火山監視・情報センター） | | | | | | 島原市の公共施設に設置される「島原市まちづくり支援自動販売機」の設置除幕式 |
| 11 (日) | | | | 31機関約50名が出席して島原市地域防災連絡会議 | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 17 (土) | | | | | | | 長崎市の小崎侃さん、島原市に版画「平成富士」を贈呈 九電島原営業所とゆうすい女性学級の73名、垂木台地で除草作業 | |
| 19 (月) | | | | | | | | 島原半島ジオパーク講演会「島原大変の科学ー遺構を用いた眉山崩壊に伴う津波の特性とその遡上高」で東京大学地震研究所の都司嘉直(つじよしのぶ)准教授が研究成果を解説 |
| 25 (日) | | | | | | 国土交通省雲仙復興事務所、島原市安中地区の水無川導流堤の砂防地でヤギやヒツジによる雑草処理の実験を開始(国) | | |
| 26 (月) | | | | | | | | アサヒビール(株)、島原半島ジオパーク推進連絡協議会に、寄付金の第1弾として259万円を贈呈 |
| 27 (火) | | | | | | | 長崎市の版画家小崎侃さんの「小崎侃、島原半島を描くー世界ジオパーク認定を目指す、島原半島の光を描く美術展」が開催(～8月20日) | |

2009年(平成21年)7月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報センター 九大地震火山観測研究センター 予知課 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|------------------------|--|---|----------------------------|--|---|
| 1 (土) | | | | | 眉山トンネルの安全施工目指し、眉山トンネル施工管理委員会を設置(国) | | | |
| 2 (日) | | | | | | | 南島原市深江町の大野木場小学校5年生17名、大野木場砂防みらい館や無人化施工現場などで災害学習 島原市第三小学校3年生、島原市緑町に建設中の島原中央道路にシマバライチゴの苗100株を移植 | |
| 7 (金) | | 6月の雲仙岳は引続き静穏な状況(福岡管区気象台火山監視・情報センター) | | | | | | 島原半島ジオパーク世界認定を支援する版画家小崎侃さんの作品展(～20日) |
| 11 (火) | | | | 地場産品のブランド化による地域振興を目指す専門家と地元生産者の農産物流通意見交換会を開催(市) | | | | |
| 13 (水) | | | | | | | | 島原地区危険物安全協会と同地区自衛消防隊連絡協議会、島原半島ジオパーク推進連絡協議会と芝桜公園事業にチャリティゴルフの収益金を贈呈 |
| 17 (月) | | | | | | | | 第3回島原城下浴衣まつりに向けて市内の旅館の女将など女性スタッフが浴衣姿で横田市長にイベントのPR(～8月28日) |
| 24 (月) | | | | 島原半島ジオパーク推進連絡協議会、臨時総会で世界ジオパークネットワーク(GGN)が8月14～17日に実施する島原半島の現地審査のスケジュールや受入態勢等を確認(市) | | | | |
| 25 (火) | | | | | 雲仙岳災害記念館で巡回パネル展「有珠火山ーその魅力と噴火の教訓」開催(～9月6日) | | | |
| 28 (金) | | | | | | | | 「雲仙天草観光圏協議会」、今年度の事業計画を決定 |
| 30 (日) | | | | | | | | 読売新聞主催の「平成百景」に雲仙岳が選ばれ、認定証の授与式 |

2009年(平成21年)8月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知室 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|----------------------------|--|-----------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|--|
| 1 (土) | | | | | | | | 島原温泉観光協会、熊本県 に「熊本新港事務所」を開 設 |
| 3 (月) | | | | | | | | 地域高規格道路「島原道路」 島原市工区建設促進期成会 他、国土交通省九州地方整 備局などに島原道路と直轄 火山砂防の事業推進を要望 第22回島原水まつり開催 (～8日) |
| 5 (水) | | | | | | | 島原半島ジオパークガイド 初級講座開始。27名が登録 | 島原半島振興対策協議会 他、地域高規格道路「島原 道路」の整備促進や三県架 橋構想実現などの要望など の本年度の事業計画を決定 |
| 14 (金) | | | | 世界ジオパークネットワ ーク(GGN、事務局パリ)のク リス・ウッドリースチュ ワート氏とエリザベス・ピ ケット氏の現地審査が始ま る。千々石断層や平成新山 などを視察。また、清水洋 教授などが取組みなどを説 明(～8月17日) | | | | |
| 15 (土) | | | | 両氏、雲仙岳災害記念館や 千本木展望台などを視察 | | | | |
| 17 (月) | | | | 両氏、現地審査を終え記者 会見し、評価と課題を述べ る。22日から中国で開かれ る認定委員会に提出し、認 定可否が審議される | | | | |
| 22 (土) | | | | | | | | 島原半島ジオパーク推進連 絡協議会の杉本伸一氏と長 崎県教育センターの寺井邦 久氏の対談集会「世界ジオ パークをめざしてー島原半 島ジオパーク」を長崎市の 県立図書館で開催 |
| 23 (日) | | | | 世界ジオパークネットワ ーク国内第1号へ洞爺湖有珠 山、糸魚川とともに加盟が 決定し、記者会見 | | | | 世界ジオパークネットワ ーク、日本の洞爺湖有珠山、 糸魚川、島原半島の3地域 (他に中国2地域)を認定 |
| 24 (月) | | | | 島原半島ジオパーク推進連 絡協議会、世界ジオパーク に認定されたことを祝う垂 れ幕を島原、南島原、雲仙 市の市役所庁舎に設置 | | | | |
| 25 (火) | | | | | 眉山トンネル掘削に着手。 島原市幹部が現地視察 (国) | | | |
| 28 (金) | | | | | | | | 第17回島原温泉ガマダス花 火大会 |

2009年（平成21年）9月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知連 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|----------------------------|------------|---|--------------------------------|--|--------------------|
| 6 (日) | | | | | | | 雲仙岳災害記念館の語り部 ボランティアら7名、世界 ジオパークへの自主勉強で 島原市有明町の地層の表面 を剥ぎ取り標本に採取 | |
| 8 (火) | | 8月の雲仙岳は引続き静穏 な状況（福岡管区気象台火 山監視・情報センター） | | | | | | |
| 11 (金) | | | | | 雲仙・普賢岳砂防施設計画 検討委員会、従来の砂防計 画を島原半島ジオパークと 調和した一部見直し案を了 承（国土交通省雲仙復興事 務所） 第5回平成新山絵画展 | | | |
| 14 (月) | | | | | 雲仙復興事務所、眉山トン ネルの現場説明会を開催 | | | |
| 15 (火) | | | | | | | 旧深江町立大野木場小学校 が焼失して18年。南島原市 の小中学校で噴火災害を語 り継ぐ集会や研究発表 「大野木場メモリアルデー 2009」は新型インフルエン ザの影響で開催中止 | |

2009年(平成21年)10月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知室 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|----------------------------|--|--|--------------------------------|---|--|
| 3 (土) | | | | | | | 島原市北上木場町の定点近 くに「雲仙岳災害記念碑」 を搬入。11月に除幕式 | |
| 9 (金) | 小規模の土石流を観測 | | | | | | | |
| 11 (日) | | | | 島原城跡能で「第28回しま ばら温泉不知火まつり」開 催(市) | 噴火災害の記憶を伝える広 報設備等を充実。旧大野木 場小周辺通路の供用開始 (国) | | 島原ライオンズクラブ、火 山都市国際会議実行委員会 に50万円を寄付 | 第28回しまばら温泉不知火 まつり(～14日) |
| 12 (月) | | | | 島原半島ジオパーク推進連 絡協議会臨時総会で、組織 体制の再整備を図るなど具 体的取組みに向けて本格始 動。11月28日に記念事業の ジオツアー実施を決定 | | | | |
| 13 (火) | | | | | | | | 皇太子殿下、雲仙岳災害記 念館を見学 |
| 14 (水) | | | | | | | | 皇太子殿下の臨席のもとに 「第33回全国育樹祭」が島 原市南千本木町の垂木台地 森林公園で開催 |
| 17 (土) | | | | | | | | 第30回しまばら温泉不知火 まつり献湯祭(～18日) |
| 18 (日) | | | | | | | | しまばら温泉不知火まつり 市中パレード |
| 21 (水) | | | | | | | | 眉山トンネルに反対する市 民団体「島原の水を守る 会」が署名活動 |
| 24 (土) | | | | 島原半島ツーデーマーチを 開催。約1,200名が参加 (～25日) | | | | |
| 26 (月) | | | | | | | | 一般国道57号等県南地域幹 線道路整備促進期成会、 「島原道路の」整備促進な どを要望 |
| 28 (水) | | | | | | | | |
| 31 (土) | | | | | | | 九州電力(株)長崎支店、島 原市南千本木町の中尾川治 山ダム群内で植樹活動「雲 仙・普賢岳の森植林ボラン ティア」を開催。1,000名 が参加してアラカシなどの 苗木11,000本を植樹 | |

2009年（平成21年）11月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知室 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|----------------------------|---|--------------|--------------------------------|---|--|
| 2 (月) | | | | | | | | 島原市前浜町の山本孝義さん、ゴルフのチャリティイベントの収益金168,000円を島原市に寄付 コカ・コーラウエスト(株)、公共施設に設置した自動販売機の売上金の1部約137,000円を島原市に寄 |
| 4 (火) | | | | | | | | 島原半島振興対策協議会と島原・天草架橋建設促進期成会、火山砂防・治山事業の整備促進など6項目の要望書を長崎県島原振興局へ |
| 9 (月) | | 10月の雲仙岳は引き続き静穏な状況(福岡管区気象台火山監視・情報センター) | | | | | | |
| 15 (日) | | | | 土砂災害と大規模地震を想定した防災避難訓練を実施(市) | | | | |
| 18 (水) | | | | 平成新山へ防災登山を実施。 | | | | |
| 21 (土) | | | | | | | | 土木学会火山工学研究小委員会、「火山セミナー in UNZEN2009」を開催。九州大学地震火山観測研究センター長の清水洋教授ら3名の講師が講演 |
| 25 (水) | | | | | | | | 島原半島ジオパークをPRするエコーはがきを5万枚 |
| 26 (木) | | | | | | | | 島原の水を守る会、眉山トンネルの反対署名が26,930名に達したことを発表 |
| 27 (金) | | | | | | | 島原市三会中学校1年生57名、「島原半島ジオパーク学習」で雲仙普賢岳噴火災害被災地で火山噴出物を採取 島原市第二小学校1年生54名、クヌギの実を2個ずつポットに植える。5年後垂 | 中国北京や上海のマスコミ関係者28名が来島。雲仙岳災害記念館など取材(～30日) |
| 28 (土) | | | | 島原半島ジオパーク推進連絡協議会、半島の地質遺産などを巡るバスツアー「島原半島ジオさらく」を開催。約100名が参加 | | | | |
| 29 (日) | | | | | | | 島原市南千本木町の島原まゆやまロード平成新山展望地園付近で(社)県トラック協会の主催の第4回「トラックの森」づくり事業の記念植樹祭で約250名が地元で自生するクヌギなどの苗木約1,400本を植樹 | 島原半島ジオパーク認定記念講演会「ジオパークを語る」で日本ジオパーク委員会委員長の尾池和夫氏などが講演 |

2009年(平成21年)12月

| | 火山活動 土石流 | 福岡管区気象台火山監視・情報 センター 九大地震火山観測研究センター 予知室 | 防災機関 (警察・消防・海上・自衛 隊) | 島原市 深江町 | 長崎県 国(国会) | 都市システム (電力・ガス水道・NTT・島 鉄) | 住民 ボランティア 学校 | マスコミ 研究者 その他 |
|-----------|-------------|---|----------------------------|--|--------------|--------------------------------|--------------------|---|
| 1 (火) | | | | | | | | 「島原ウィンターナイト・ ファンタジア2009」開催 (～2010年1月9日) |
| 5 (土) | | | | 平成新山・島原学生駅伝 | | | | |
| 13 (日) | | | | | | | | 旧深江町(現南島原市)大野 木場地区の水原神社18年ぶ りに旧大野木場小学校そば に再建 |
| 16 (水) | | | | 島原半島ジオパーク推進連 絡協議会に、世界ジオパー クネットワークに加盟した ことを正式に証明する「認 定証」が届く | | | | 国際ロータリー第2740地 区、ゴルフ大会で集めた約 58,000円を島原市に寄付 |
| 25 (金) | | | | 島原半島ジオパーク推進連 絡協議会、世界ジオパーク に認定されたことを祝う垂 れ幕を島原、南島原、雲仙 市の市役所が舎に設置 加盟認定証を島原市役所で 披露 | | | | |
| 31 (木) | | | | | | | | 除夜の鐘カウントダウンコ ンサートを島原城で開催 |

雲仙普賢岳の火山災害における各機関の対応の記録(続報)
1997(平成 9)年～2009 年(平成 21)年

2010 年 9 月

発行者

長崎大学工学部社会開発工学科

高橋和雄

〒852-8521 長崎市文教町 1-14

TEL 095-819-2610 FAX 095-819-2627

E-mail takahasi@civil.nagasaki-u.ac.jp